獨協大学
DOKKYO UNIVERSITY

留学ガイド 2025

STUDY ABROAD GUIDE

留学ガイド2025　目次

所長メッセージ …… 1
留学プランニング
　留学は、世界に羽ばたく第一歩 …… 2
　　自分の留学計画を具体化させよう …… 2
　　主な語学試験 …… 8
　2025年度国際交流センター・年間スケジュール …… 10
　プランニングチャート …… 12
留学制度
　獨協大学の留学制度 …… 14
　短期留学　共通事項 …… 18
　短期協定校留学 …… 18
　　短期協定校　留学プログラム …… 19
　　短期協定校留学体験記 …… 24
　　短期協定校留学オンラインプログラム・参加体験記 …… 25
　　短期協定校留学テンプル大学ジャパンキャンパスプログラム …… 26
　短期認定留学 …… 28
　　2025年度短期認定留学プログラム一覧 …… 29
　　短期認定留学（学外ドイツ語活動） …… 30
　　短期認定留学体験記 …… 31
　短期留学　Q＆A …… 32
　短期留学により修得した単位の認定について …… 33
　長期留学　プランニングから留学出発まで …… 38
　交換留学
　　交換留学の資格・条件 …… 40
　　2026年度交換留学募集要項 …… 44
　　協定校情報 …… 48
　認定留学
　　認定留学の資格・条件 …… 68
　　これまでの認定留学先大学一覧 …… 74
　長期留学生（交換・認定）共通事項
　　留学期間の延長 …… 76
　　奨学金 …… 76
　　留学前に行うこと …… 80
　　渡航手続き …… 82
　　留学時の学納金の取り扱い …… 84
　　留学中に行うこと …… 85
　　留学後に行うこと …… 86
　長期留学により修得した単位の認定について …… 88
　長期留学　Q＆A …… 97
　長期留学体験記 …… 100
危機管理・安全対策
　安全な海外留学のために …… 108
　危機管理 …… 110
　海外渡航時に役立つサイト …… 119
就職活動
　留学と就職 …… 120
　長期留学した学生の主な進路一覧 …… 121
　留学経験者による就職活動レポートとアドバイス …… 122
留学統計資料 …… 124

「留学ガイド2025」の掲載内容に変更が生じる場合があります。

所長メッセージ

不安を期待にかえて、挑戦が始まる

国際交流センター所長
野原 ゆかり

今、世界は変化と挑戦の時代を迎えています。気候変動や国際紛争、経済的格差など複雑な課題が山積する一方で、各分野での国際的な連携や技術革新による新しい可能性が広がっています。このような状況の中、国際交流は、未来への希望と成長の道を切り開く重要な役割を果たすものと確信しています。学生の皆さんには、国際交流の担い手として、一歩踏み出していただきたいと思います。

留学への憧れを抱いて大学生になった人も多いと思います。しかし、語学力や経済的な問題、卒業のタイミング等、さまざまな現実が当初の思いを遠ざけることになってしまう人もいるでしょう。

語学力や異文化に飛び込むことに不安がある人には、キャンパス内での身近な国際交流から始めてみませんか。本学では協定校からの交換留学生も学んでいます。国際交流センターでは、獨協生と交換留学生の交流の場を設けています。まずは、このような場に気軽に参加してみてください。異文化理解と自文化への気づきが生まれることと思います。皆さんの次の一歩につながるはずです。

また、最近の円安や物価上昇といった経済状況から、留学に不安を感じる人も多いでしょう。費用面の負担や、海外での生活に対する懸念は決して小さいものではありません。このような経済的な不安を少しでも軽減できるよう、国際交流センターでは奨学金制度の情報提供とサポート体制の充実に努めています。

留学は未知への挑戦です。その道のりでは、さまざまな困難に直面するかもしれませんが、その困難こそが、自己を成長させ、未来への自信を生み出すきっかけとなります。また、留学を通じて得られるのは、語学力や学術的な知識だけではありません。異文化の中で新たな視点を得ること、国際的な人脈を築くこと、自分自身の限界を広げること、これらの経験は、生涯にわたって皆さんを支える力となります。想像するとワクワクしませんか。

不安を期待にかえて、挑戦してほしいと思います。国際交流センターは、皆さんが一歩を踏み出すお手伝いをいたします。

留学プランニング

Study Abroad Planning

留学は、世界に羽ばたく第一歩

獨協大学では、長期休業期間を利用した短期留学プログラム（夏季・春季）と、１～２学期間にわたり留学する長期留学プログラムを用意しています。短期留学は語学力の向上や異文化・生活体験を目指すものであり、長期留学は専攻分野の学習・研究を主目的としています。自分の目的と本学の留学制度を照らし合わせ、自分に合った留学計画を考えてください。

留学は、留学形態にかかわらず十分な準備が必要となります。特に、１～２学期間にわたる長期留学の場合は、留学先大学への出願手続きやそのための語学能力試験の受験準備も含め、留学に出発する約１年半以上前から準備を始めることが求められます。留学に関する情報収集や語学能力試験のスコア取得に向けできるだけ早い時期から取り組みましょう。

ただし、留学がゴールというわけではありません。卒業までに大学でどのようなことを身につけたいかという長期的な学習計画、卒業後の進路を視野に入れた人生計画のステップのひとつが留学なのです。

まずは、この「留学ガイド」に目を通すことから留学準備を始めてください。

自分の留学計画を具体化させよう

留学は、留学費用の準備や保証人の同意や協力を必要とすることから、自分の力だけですぐに実現できるものではありません。留学を実りあるものとするためにも、入念に留学計画を立て、早めに準備することが大切です。

１．留学目的の明確化

留学したいと思ったら、まず留学の目的を明確にしましょう。留学は、語学力の向上、国際感覚の醸成、複眼的な視点の獲得、異文化理解など、得るものが多い反面、肉体的、精神的、金銭的な面で大きな負担がかかります。それだけに、「ぼんやりとした留学のイメージ」を可能な限り具体化させ、目的を明確にすることが大切です。

留学中は、言葉の問題のみならず、文化や習慣の違いからくるストレス等、さまざまな問題に直面します。留学の目的・目標をしっかりと持つことは、これらの困難を克服し、大きな留学成果を上げるための重要な基盤であると言えます。まず、「留学後にどんな自分になっていたいのか」を想像しながら、留学計画を立ててみましょう。

POINT

①なぜ留学をしたいのか？
②何を目的に留学をするのか？
③その目的は留学をしなければ達成できないのか？
④留学を通して何を手に入れたいのか？
⑤留学の経験を将来どのように活かしたいのか？

２．留学情報の収集・留学先の選定

留学に関する正確な情報を得た上で、自分に合った留学先を選びましょう。情報収集の際には、二次情報ではなく、必ず「オリジナルの情報源」から最新情報を得るよう心がけてください。大学の情報を得るには、各大学のHPが最も確かな情報源です。提供されている授業、学内外周辺の環境、宿舎の情報、おおよその生活費等、多くの情報を入手することができます。国によっては、駐日大使館のHP上で留学情報を提供している場合もあります。また、

指導教員や受講している授業の教員に積極的に相談することも重要です。

ビザ取得の手続きや現地の治安に関しては、駐日大使館のHPや外務省が提供している海外安全情報等を確認し、最新の情報を入手するようにしましょう（P.119「海外渡航時に役立つサイト」）。

留学先の選定にあたって考慮すべきポイントは、①学びたい分野、②国・地域、③留学時期・期間、④大学・機関の特徴・規模・施設・地域環境・留学生数、⑤出願時に要求される能力（成績・語学力等）、⑥学費その他の必要経費等です。特に重要な点は、留学先の学科や設置科目の内容が、自分の専攻分野や関心に見合ったものであるかということです。各大学・機関のHPや学校案内（Catalog、Bulletin等）で確認しましょう。

POINT

①学びたい分野は？
②留学したい国・地域は？
③留学する期間、留学開始時期は？
④どのような大学（規模・施設・環境）に留学したいのか？　等

インターネットや書籍等を活用し、自分自身で情報収集する習慣をつけましょう。

3．国際交流センターに相談してみよう

「留学に興味はあるけれど、何から準備を始めたらいいか、わからない」という人は、まず天野貞祐記念館２階にある「国際交流センター」を訪ねてみましょう。各言語圏別にスタッフが相談に応じるほか、さまざまな留学関係の書籍、資料等を取り揃え、一部貸出も行っています。また、留学から帰国した学生のアンケート等も閲覧できます。

窓口オープン時間	通常：月～金 9：00～17：00、土 9：00～12：00 ※夏季休業期間中の開室についてはPorTaⅡ掲示板［お知らせ・ご案内］をご確認ください。
場所	天野貞祐記念館２階

一般的な留学相談については、窓口オープン時間であれば、曜日に関係なくいつでも相談に応じます。

内容により別途予約をお願いする場合があります。

またZoomによる留学相談も行っています。オンライン予約システム（DOORS）から事前予約してください。

変更がある場合は、PorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］でお知らせします。

4．留学説明会、語学試験説明会に参加してみよう

国際交流センターでは毎年４月に行う「海外留学ガイダンス」をはじめとして、さまざまなセミナー、説明会や交流会を開催するほか、留学や海外体験に関する情報提供を行っています。主なものはP.10の2025年度国際交流センター・年間スケジュールに記載しています。詳細はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］で告知します。

5．留学時期・期間の決定

【短期留学】

短期留学は、大学の夏季休暇・春季休暇を利用して海外の提携大学等で行われる約１ヶ月の「短期集中語学研修」で、原則として誰でも参加できます（定員超過の場合のみ選考あり）。なお、参加時期に卒業を予定している８学期生は、本学卒業（３月20日または９月20日）までに終了するプログラムに限り参加できます。

【長期留学】

長期留学は、２～３年次に留学した場合は留学期間を含めて４年間で卒業することも可能ですが、単位の認定および修得状況により卒業時期が延びる可能性があります。卒業後の進路やこれまでの学習状況等を勘案し、無理のない計画を立てましょう。

また、日本と他国の学年暦の違いが障壁になる場合があります。海外の大学の多くは通常８～９月が年度開始時期となっており、この時期から留学を開始するのが一般的です。（学事日程により春学期から留学が開始できない国・地域・留学先があります。）年度始めにオリエンテーションがあることや学習環境への適応を考えると、留学開始を現地の年度始めに合わせることが望ましいと言えます。基本的には学期ごとに入学できるシステムになっている大学でも、留学生に対しては年度始めだけに制限している場合もあります。

オーストラリア、韓国等は２～３月が年度始めとなっており、獨協大学の学年暦とほぼ対応しています。このような地域へ４年次に留学した場合は４年間で卒業できる可能性もありますが、帰国してすぐに卒業となるので、留学前に単位修得の条件等を必ず教務課各学部係窓口で相談するとともに、就職、大学院進学等、卒業後の計画を綿密に立て、キャリアセンターにも相談しながら準備をする必要があります。

POINT

留学の目的、留学希望先の国・地域、在学中の学習・履修計画に合わせて、最適な留学プログラムを選びましょう。

６．留学資金計画

留学は学力、語学力とともに、留学経費をまかなうことのできる財政能力が重要です。留学費用は、渡航前の準備段階から発生します。例えば、語学能力試験の受験料、留学が決まった後は渡航費、ビザ申請費、保険料が必要になります。渡航後の留学費用の大部分は授業料と生活費（住居費・食費等）で、このほかに教材費、通信費、その他雑費等が加わります。留学経費は、国および地域、大学（公立・私立の別、協定校の場合は協定内容）、住居や食事の形態（学生寮・アパート、外食・自炊等）によって異なります。短期留学では約40万円から80万円以上、長期留学では１年間に約150万円から400万円以上かかるところもあります。また外国為替レートの変動により想定以上に費用がかさむこともあります。

留学先、渡航国によっては、留学経費を負担できる経済力を証明できないと入学許可書およびビザが発行されません。一般的には本人の銀行残高証明書や奨学金の受給証明書を提示する必要があります。

以上のことを念頭に、綿密な資金計画を立ててください。また、獨協大学の交換・認定留学制度を利用して留学する場合は、奨学金を申請することもできます（P.76～）。なお、留学先での就労は、多くの国で原則として禁止されています。

【長期留学の費用】

留学に必要な費用の主なものは、次の通りです。

１．留学・渡航準備にかかわる費用
　パスポート・学生ビザの取得、留学準備のため個人的に参加する語学研修の授業料等

２．往復渡航費

３．留学先大学へ支払う授業料、施設費等
　留学中は、本学への授業料は全額免除されます。ただし交換留学では、協定に基づき、留学先大学へ授業料を納入する代わりに、獨協大学へ授業料を納入する場合があります。
　※長期留学中の本学への学納金および大学からの学納金納付案内のスケジュールについては、P.84をご確認ください。

４．住居費

５．保険料等（本学が加入を義務づけている海外旅行保険等（P.110参照）、渡航国・地域や留学先が加入を義務づけている医療保険等）

６．食費、書籍・教材費、被服費、交通費、通信費等、日常生活に必要な費用

【認定留学に必要な費用概算（参考）】

以下に示す費用は、2023年度までに認定留学した学生から提出された留学アンケート等の結果に基づくものです。ただし、留学する大学や地域等によって異なる場合があるため、あくまでも目安として利用しましょう。

留学先	留学先大学へ支払う 登録費・学費等（年額）	学費以外に現地で 必要な費用総額（年額）	獨協大学へ支払う費用※	
			入学年度 2016～2023年度	入学年度 2024年度以降
ドイツ語圏の大学	400～3,350ユーロ（州による）	11,000ユーロ	施設設備費 および 学生教育研究災害傷害保険料 280,800円／年 ＋ 父母の会年会費 12,000円／年	教育充実費 （在籍基本料分） および 学生教育研究災害傷害保険料 160,800円／年 ＋ 父母の会年会費 12,000円／年
英国の大学	10,000～17,000ポンド	9,100～11,400ポンド		
オーストラリアの大学	15,000～33,000豪ドル	16,000～20,000豪ドル		
アメリカの大学	13,000～28,000米ドル	15,000～20,000米ドル		
カナダの大学	12,000～20,000カナダドル	12,000～15,000カナダドル		
フランスの大学	2,000～7,500ユーロ	12,000～14,000ユーロ		
スペインの大学	7,000～10,000ユーロ	7,000～12,000ユーロ		
メキシコの大学	32,000～44,000メキシコペソ	48,000～110,000メキシコペソ		
中国の大学	17,000～30,000元	50,000～60,000元		
台湾の大学	110,000～160,000ニュー台湾ドル	150,000～300,000ニュー台湾ドル		
韓国の大学	600万～1,000万ウォン	1,000万～1,500万ウォン		

参考：１米ドル≒157円、１ポンド（英国）≒196円、１カナダドル≒110円、１ユーロ≒161円、１豪ドル（オーストラリア）≒98円、１メキシコペソ≒9円、１元（中国）≒22円、１ニュー台湾ドル≒5円、１ウォン（韓国）≒0.11円（2025年２月時点）

交換留学の費用は、各協定校の紹介ページ（P.48～）を参照してください。

※長期留学中の本学への学納金および大学からの学納金納付案内のスケジュールについては、P.84をご確認ください。

７．学力の向上

留学先の受入れ可否の決定には、獨協大学の学業成績（GPA）（P.41参照）が考慮されます。また、十分な留学成果を収めるには、その裏付けとなる基本的な学力が備わっていることが必要です。さらに、留学先では授業中の発言や積極的な参加態度も大事な評価対象となりますので、知識を増やすだけでなく、自分の意見を持ち、進んで発言することを日頃から心がけましょう。

POINT

留学のためには、語学力だけでなく学業成績（GPA）も重要です。
獨協大学で履修する授業にも日頃から真面目に取り組み、良い成績を修められるようにしましょう。

8．語学力の向上

語学能力の向上を目的とする短期留学プログラムでは、一部のコースを除き語学スコア等の参加要件はありませんが、長期留学の応募には語学スコア要件が設けられていますので、留学先大学の要件を確認する必要があります。

HP等で調べ、受験プランを立ててください（交換留学希望者は、P.44～の応募条件を参考にしてください）。語学試験の受験準備は留学先選びや情報収集と並行して、またはそれ以前から始めることが必要です。各種語学能力試験については、本冊子を参照するとともに、自分で実施団体のHPを確認しましょう。

語学力の向上には、地道な勉強が必要です。学内の施設や視聴覚教材、外国語講座を最大限活用し、語学力を高める努力をしてください。

●図書館

①３階　言語・語学エリア：多読本、語学検定試験対策の本、CDも借りられます。Maruzen eBook Library収録タイトルなど、オンラインで利用できる英語多読本もあります。

②３階　AVコーナーブース：DVDなどで各国の映画を活用しよう。

③３階　発話トレーニングブース：ALC NetAcademy（アルクネットアカデミー）などを使って、発音・発話練習ができます。教科書の音読もOKです。

④１階　日本学コーナー：日本について外国語や対訳で書かれた資料を言語ごとに配架。日本を紹介する際に役立ちます。

⑤１階　新聞コーナー：英字新聞をはじめ外国語の新聞が読めます。ドイツ語新聞は電子版もあります。Nexis Uni® などのデータベースを使えば、世界の新聞を検索して、記事を読むこともできます。

⑥Galeデータベース：地球規模の社会課題について学習に役立つ文献を収録。英語の難易度表記、音声情報のテキスト付。

●ICZ（International Communication Zone）　天野貞祐記念館３・４階

①チャットルーム：ドイツ語／英語／フランス語／スペイン語／中国語／韓国語の無料会話レッスン※P.7参照

②マンツーマンオンライン英会話

③ピアサポーター：語学学習に力を入れている先輩に、アドバイスや経験を教えてもらえます。

④各言語圏ルームで最新情報を入手：世界のラジオ放送、新聞、雑誌、CD、DVD等

⑤各種語学能力試験の受験料補助、対策講座の実施

⑥留学生との交流・情報交換の場として利用しよう！

⑦何でも相談：大学院生等によるドイツ語／英語／フランス語の学習相談

●英語学習サポートルーム（English Learning Support Room）中央棟１階

全カリ英語履修　８学科対象（ドイツ語学科、フランス語学科、経済学部、法学部）

①英語学習相談：英語学習アドバイザーが学習上の悩みや疑問に答え、個人に合わせた学習計画の支援を行います。英語学習サポートルームの窓口などから予約可能

②ミニ講座：昼休みに、英語学習アドバイザーが効果的な学習法などのワークショップを実施

③ELSR Newsletter：英語学習に役立つ情報満載のニュースレターを定期的に発行

●英語学習相談コーナー（Consulting Corner for English：CCE）言語文化学科対象

①英語学習サポート：言語文化学科の英語担当教員が個人・グループ相談を受け付け、英語力伸長を支援します。オンライン予約システム（DOORS）から事前予約。空きがあれば当日参加可。

②ワンポイントアドバイス講座：テーマを設け、英語学習のヒントをお届けします。

●言語別学習相談コーナー

CCE (英語)【言語文化学科対象】：言語文化学科の英語担当教員が英語学習（留学準備含む）に関する相談を受け付け（個人・グループ）、英語力伸長を支援します。

CCC(中国語)、CCK (韓国語)、CCS (スペイン語)【全学科対象】：各言語の担当教員が各言語の学習に関する相談を受け付け、各言語能力の伸長を支援します。

相談スケジュールなど詳細はPorTaⅡで案内しています。相談の予約は、オンライン予約システム「DOORS」を通じて行ってください。

POINT

- 長期留学（１～２学期間）には、一定の語学力が求められます。
- 語学力は一朝一夕では身につかないので、留学時期にかかわらず、早いうちから継続的に学修する必要があります。
- 学部留学を希望する場合は、ほとんどの大学で指定の語学試験（英語の場合はTOEFL iBT® 、IELTS™など）のスコア提出が求められます。受験機会は限られており、スコア入手までに時間を要しますので、早めに受験準備をしましょう。
- 語学能力試験のスコア提出が求められない大学への留学を希望する場合でも、自分の語学レベルを知るためにぜひ積極的に語学能力試験を受験してください。

PICK UP ！語学力の向上に役立てよう！

●チャットルーム

チャットルームとは、学部・学科問わず、本学の学生ならだれでも無料で参加できる少人数制の会話レッスンのことです。ドイツ語、英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の計６言語で行われています。ネイティブスピーカーの講師と日常会話を練習することができ、授業以外での学びに役立ちます。入門クラスと初級クラスがありますので、習熟度に合わせてご参加ください。

●自身の語学スコアを確認してみよう！

長期留学の応募には語学スコア要件が設けられています。獨協大学では学内でIELTS™試験やTOEFL ITP®テストを受験することができます。自身の語学スコアを確認するために是非活用してください。

■IELTS™試験受験料補助（学内実施分）

英国等への留学に必須とされる英語試験IELTS™は、年に２回、獨協大学の学生を対象に学内で実施されます。

学内会場に限り、受験料25,380円のうち10,000円を大学が補助し、15,380円で受験することができます。受験料補助を受けるには、以下のいずれかを満たしている必要があります。ぜひチャレンジしてください。

IELTS™バンドスコア4.5以上、TOEFL iBT®テスト 50点以上、TOEFL ITP®テスト 475点以上、
TOEIC®LISTENING AND READINGテスト 600点以上（IPテストの場合は本学で受験したスコアのみ可）

※取得日は出願締切日より２年以内のものを有効とします。

※受験料等は変更になる場合があります。受験料補助出願方法等の詳細は、教育研究支援センター（ICZ窓口）で確認してください。

※その他の言語の語学試験についても受験料補助を行っています。詳細はP.8～9を参照してください。

■TOEFL ITP®テスト学内実施

世界中の教育機関でスコアが利用されているTOEFL ITP® テストを学内で実施します。受験料は TOEFL iBT® テストの約 6 ～ 7 分の 1 程度です。ご自身の今の英語力の測定だけではなく、TOEFL iBT® テスト受験に向けた練習としても活用できるテストです。

●語学力要件「CEFR」とは？

CEFR（セファール）という言葉を耳にしたことがありますか。これはCommon European Framework of Reference for Languages（ヨーロッパ言語共通参照枠）の略称で、欧州評議会（Council of Europe）が2001年に公開した言語能力を評価する国際指標です。

CEFRは、外国語の熟達度をA1（初心者）、A2、B1、B2、C1、C2（ほぼネイティブ）の６つのレベルに分けて評価します。各レベルについて、その言語を使って「何ができるか」を表す「can-do descriptor」を用いて具体的に説明しています。次頁の主な語学試験を参照してください。

獨協大学の交換留学応募の語学力要件にも、CEFRのレベルが用いられています。

熟練した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

（出典）ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構
（英語４技能 資格・検定試験 懇談会HPより）

主な語学試験

※語学検定試験の日程等は予定です。最新の情報は各自でご確認ください。

言語	試験名	試験概要	ICZでのサポート	
			受験料補助	その他
ドイツ語	ゲーテ・インスティトゥート ドイツ語検定試験	世界で通用するドイツ語統一試験。A1レベルからC2レベルまで６段階が設けられている。C1以上の合格証書は、ドイツの大学に入学する際の語学試験の代わりになる場合がある。	あり	★試験対策講座（有料） 試験に精通しているゲーテ・インスティトゥートによる授業を本学内で特別料金で受講できる。2025年度春・秋学期には以下2つのレベルの対策講座を開講予定。 ・Goethe-Zertifikat A2 準備講座 ・Goethe-Zertifikat B1 準備講座
	ÖSD（Österreichisches Sprachdiplom Deutsch）	オーストリア政府公認のドイツ語能力検定試験。A1レベルからC2レベルまで６段階が設けられている。各レベルとも筆記試験（読解、聴解、作文）と口述試験によって構成されている。C1以上の合格証書は、ドイツ語圏の一部の大学に入学する際の語学試験の代わりになる場合がある。試験は、年２回実施。		
	ドイツ語技能検定試験	「独検」の名前で広く知られている日本で行われる代表的なドイツ語の技能検定試験。レベルは５級から１級まで（準１級を含む）６段階が設けられている。夏期試験は２級～５級のみ、冬期試験は全級で実施。		★模擬試験（無料） 2025年度、以下の級で模試を実施予定。 春学期：2級・3級（6月）／秋学期：準1級・3級（11月）
	TestDaF	世界共通のドイツ語統一試験。読解・聴解・筆記・口述それぞれの分野でTDN 3～ TDN 5までの３段階の判定があり、ドイツの大学へ留学する際の語学能力証明として認定される。		
英語	TOEFL iBT®（Test of English as a Foreign Language）	英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストで、TOEFL iBT® はインターネット版テストでコンピュータ受験する。日本国内では年に約50回、土日に実施。 「読む」「聞く」「話す」「書く」の４つのセクションからなる。各セクションのスコアは０～30の範囲で採点され総合スコア（０～120）が算出される。米国で大学学部留学に求められるスコアは61点以上。		
	TOEFL ITP®	団体向けテストプログラム。Listening、Structure／Written Expression（文章表現や文法の知識）、Readingで構成され、スコアの範囲は310～677点で、TOEFL iBT® と高い相関性を持つテストである。		★学内実施（有料） 学内実施のテストスコアは本学の一部の協定校で出願要件として利用できる。 2025年度は6月に学内で実施予定。
	IELTS™（International English Language Testing System）	海外留学や研修のための英語力判定試験。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの４つのパートからなる。各パートごとの英語力がバンドスコア（1.0～9.0）で示され、さらに総合評価としてオーバーオール・バンドスコア（1.0～9.0）が出される。一般的に大学学部の入学基準は6.0～6.5。	あり	★学内実施（有料）★試験対策講座（有料） 4技能すべてを対策することができる。特にライティングでは講師による細かな添削もあるため、一人ひとりにあった学習をすることができる。
	実用英語技能検定（英検）	国内最大規模の英語検定試験。「聞く」「話す」「読む」「書く」の４技能を、筆記・リスニング・スピーキングのテストで直接・的確に測定し合否を判定。従来型（一次試験と二次試験を２日間で行う）とS-CBT（スピーキングテストをパソコン上で吹き込み４技能を１日で判定）がある。レベルは５級から大学上級程度の１級（準２級・準１級を含む）までの７段階で、３級以上はスピーキングの試験がある。		
フランス語	DELF・DALF	フランス国民教育省認定のフランス語資格試験。DELF（A1・A2・B1・B2）・DALF（C1・C2）の６つのディプロムから構成されており、聴解・読解・文書作成・口頭表現の４つの能力が評価される。 DELF B2以上を取得すると、フランスの大学の学部に入学する際に義務づけられているフランス語能力評価試験が免除される。	あり	
	TCF	フランス国民教育省認定のフランス語能力検定試験（Test de Connaissance du Français）。結果は点数で示され、欧州共通基準（CECRL）の６段階のレベルに分けられる。聴解・語彙文法・読解の３分野からなる。		TCF TP（一般）：フランス語学科は2年次の終わりに全員受験。（問い合わせはフランス語学科共同研究室まで）
	実用フランス語技能検定試験（仏検）	文部科学省および在日フランス大使館文化部後援。５級から１級（準１級・準２級含む）までの７レベル。春（準１級を除く）・秋（１級を除く）実施。準２級以上の一次試験は筆記と聞き取り・書き取り。二次試験は面接形式。３級以下は筆記試験と聞き取り試験。		★模擬試験（無料）★試験対策講座（無料） 2025年度、以下の級で模試を実施予定。 春・秋学期：2級・準2級（5月・10月） 二次の面接試験の対策講座を6月下旬に実施予定。

スペイン語	DELE	スペイン教育・職業訓練省のもとインスティトゥト・セルバンテスが実施する、外国語としてのスペイン語検定試験。レベルは６段階（A1・A2・B1・B2・C1・C2）で、筆記試験（読解・聞き取り・西作文）と口頭試験からなる。日本国内で年２回実施され、東京では４月、７月にも特別開催（レベル限定）がある。		★試験対策講座（無料） 2025年度、以下のレベルで口述試験対策講座を実施予定。 春学期：A2・B1（6月）／秋学期：B1・B2（10月）
	SIELE	広大なスペイン語圏の多様なスペイン語に対応。「読む」「書く」「話す」「聞く」の４つのセッションからなり、スコアは合計1000点満点で評価され、セクションごとにCEFRに基づいたレベルが示される。受験後３週間以内に結果が出るので、短期間での証明書の取得が可能。証明書の有効期限は５年間。	あり	
	スペイン語 技能検定試験（西検）	文部科学省後援のスペイン語試験。レベルは６級から１級までの６段階。２級以上は面接形式の二次試験がある。		
中国語	HSK・HSKK	中国政府認定の世界共通基準の資格「漢語水平考試」。HSK（筆記試験）は１級から６級までの６段階、HSKK（口頭試験）は初級・中級・高級の３段階に分けられている。	あり	
	中国語検定試験	日本中国語検定協会が実施している、主に日本語を母語とする中国語学習者対象の試験。準４級から１級までの６段階。準１級と１級のみ一次試験合格者および免除者対象に二次試験（口頭試験）を実施。		
	TOCFL （華語文能力測験）	台湾の国家中国語能力試験推進委員会が開発を行い、全世界への普及を推進している、台湾華語（中国語）を母語としない人向けの能力試験。Level １入門級（A2）からLevel ６精通級（C2）までの６段階評価。		
	TECC （中国語コミュニケーション能力検定）	TECCで測定するのは、中国語の実践的な運用能力、総合的なコミュニケーション能力で、初級者から上級者までの実力を1000点満点で測定する。入門レベルのF（０～249点）から上級レベルのA（900～1000点）までの６段階評価。		
韓国語	韓国語能力試験 （TOPIK）	韓国政府が認定・実施する韓国語試験。TOPIK ⅠまたはⅡを選択受験し、点数にしたがってⅠは１～２級、Ⅱは３～６級に振り分けられる。試験科目はⅠが聞き取り・読解、Ⅱが聞き取り・筆記（作文含む）・読解となっている。	あり	
	「ハングル」能力 検定試験	日本語を母語とする韓国語学習者を対象とする試験。レベルは５級から１級（準２級含む）、入門級・IBT ５級（オンライン試験）。試験科目は聞き取り・筆記・書き取り（１級）。１級のみ一次合格者に対して二次試験（面接）がある。		

※上記の試験を活用できる各留学制度およびそのレベルについてはP.44～47、P.70をご確認ください。
※ICZで行うサポートについては天野貞祐記念館３階ICZカウンターにて、その他試験の詳細については外部実施団体にお問い合わせください。

■語学試験受験料の補助について

国際交流センターが指定する長期留学（交換・認定）の語学力条件となっている各種語学検定試験のうち、P.8～9の表にある「受験料補助」の欄に「あり」と記載している試験（１言語につき１試験、計６試験）について指定する条件を満たした場合、下記表に記載のとおり受験料の額に応じて大学から補助を受けることができます。
※長期留学制度を応募する際に設けられている語学力条件に基づき、必要レベル以上の受験についてのみ補助対象とし、語学力条件以下のレベルについては受験料補助の対象外となります。

■受験料の補助金額

検定試験受験料	大学からの補助額
5,000～9,999円	2,000円
10,000円～14,999円	5,000円
15,000円～	10,000円

■受付対象者

- ▶ 獨協大学学部生・大学院生
- ▶ 年度ごとに受付、補助対象となる試験は、各年度４月１日以降に実施される試験で、且つ合格発表日が翌年１月末日までのものが対象です。試験受験前の事前申請のみ補助対象とし、事後申請は対象外となります。

■受付期間

各年度春学期授業開始日から翌年３月10日まで

■補助の制限

受験料補助の回数は同一年度につき各言語１回、上限２言語までとします。受験料補助を受けた場合、次年度以降は直近で合格したレベルよりも高いレベルの試験でなければ受験料補助を受けることはできません。

詳細は天野貞祐記念館３階ICZまでお問い合わせください。

2025年度国際交流センター・年間スケジュール

実施時期は●で示しています。詳細の日程は、PorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］や国際交流センター掲示板で確認し

年	2025				
学期	春学期				
月	4	5	6	7	8
時期	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬
国際交流イベント・説明会（国際交流センター主催、共催）	●海外留学ガイダンス	留学成果報告会（前年度秋学期留学終了者） 長期留学終了者が留学終了後の2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学成果や自身の課題、今後のキャリアプランを発表します。発表者にとっては、参加者からのフィードバックをもらい、次のステップに向けての新たな気づきを得ること、他の学生にとっては、留学や海外体験について考えるきっかけとすることを目的としています。 年間を通して各種セミナー・説明会・交流会を実施します。詳細はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］でお知らせします。		●海外安全対策セミナー	
学内実施 語学試験（教育研究支援センター主催）：IELTS			●説明会	●補助申請締切	
学内実施 語学試験（教育研究支援センター主催）：TOEFL ITP® テスト		●説明会	●申込締切 ●学内実施		

留学制度	種別	留学開始時期	言語圏	派遣期間	4 上旬 中旬 下旬	5 上旬 中旬 下旬	6 上旬 中旬 下旬	7 上旬 中旬 下旬	8 上旬 中旬 下旬
長期留学	交換留学	<2026年度春学期> 2026年2月～	ドイツ語	P.44～の2026年度 交換留学募集要項参照		●説明会		●説明会	
			英語				●説明会	●締切 ●選考 ●内定	
			フランス語			●説明会		●締切 ●選考	●内定
			中国語			●説明会		●締切 ●選考 ●内定	
			韓国語			●説明会	●締切 ●選考	●内定	
		<2026年度秋学期> 2026年8月～	ドイツ語						
			英語				●説明会		
			フランス語						
			スペイン語			●説明会			
			中国語						
			韓国語						
	認定留学	<2025年度秋学期> 2025年9月～			●フランス語圏ガイダンス	事前研修	●申請期限 事前研修		
		<2026年度春学期> 2026年2月～							
短期留学	協定校留学	夏季・春季休業期間中			●夏季プログラム募集説明会	●夏季プログラム募集締切			夏季 短期協定校留学プログラム実施 • ハレ＝ヴィッテンベルク大学 • レジャイナ大学 • フランシュ・コンテ大学 • 東呉大学 • 慶熙（キョンヒ）大学
	認定留学				●夏季プログラム募集説明会		●夏季プログラム募集締切		夏季 短期認定留学プログラム実施

てください。

												2026								
		秋学期																		
9			10			11			12			1			2			3		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
						留学成果報告会（春学期留学終了者） 長期留学終了者が留学終了後の2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学成果や自身の課題、今後のキャリアプランを発表します。発表者にとっては、参加者からのフィードバックをもらい、次のステップに向けての新たな気づきを得ること、他の学生にとっては、留学や海外体験について考えるきっかけとすることを目的としています。							●海外安全対策セミナー							
●オンライン申込締切	●学内実施					●説明会		●補助申請締切							●オンライン申込締切	●学内実施				

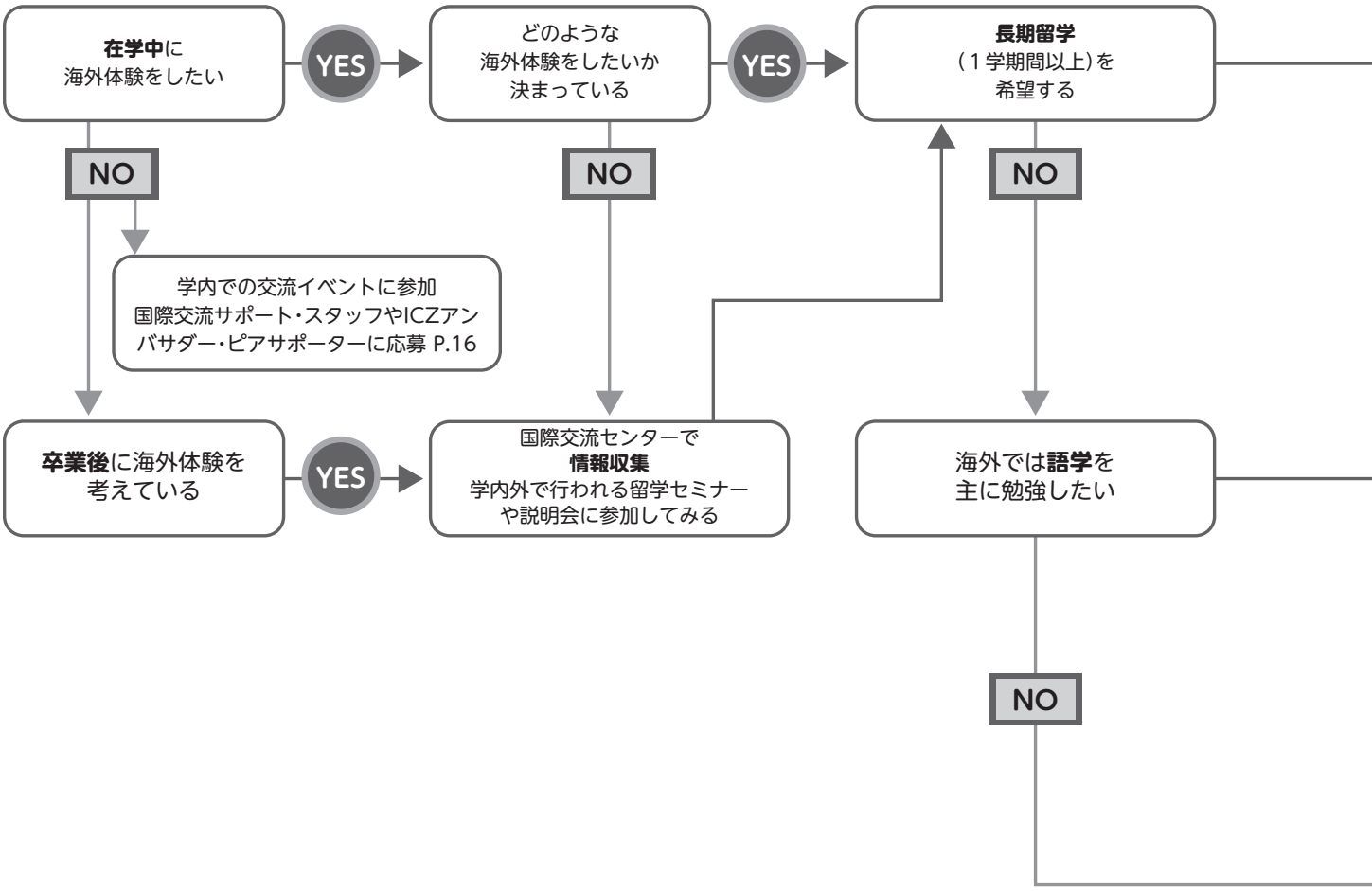
9			10			11			12			1			2			3		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
●締切	●選考 ●内定				●二次募集締切	●選考		●内定												
			●説明会		●二次募集締切	●選考		●内定												
					事前研修				事前研修											
●二次募集締切	●選考	●内定																		
						●説明会							●説明会					●締切	●選考 ●内定	
			●説明会				●一次募集締切		●選考	●内定			●二次募集説明会			●二次募集締切		●選考	●内定	●三次募集締切
													●説明会					●締切	●選考	●内定
			●説明会				●締切	●選考		●内定										
			●説明会					●締切	●選考	●内定										
			●説明会					●締切	●選考	●内定						●二次募集締切		●選考 ●内定		
				フランス語圏ガイダンス ●																
					事前研修				事前研修					●申請期限						
				●春季プログラム募集説明会			●春季プログラム募集締切								春季 短期協定校留学プログラム実施 ・ヨーク大学 ・ウーロンゴン大学 ・グアダラハラ大学					
				●春季プログラム募集説明会					●春季プログラム募集締切						春季 短期認定留学プログラム実施					

交換留学の決定時期とその後の学修

・原則として留学開始の2学期前の学期中に学内選考を行い、留学が内定します。
・留学開始直前学期は、留学に向けて専門や関連科目の知識を深めるとともにより具体的な準備をする学期です。

プランニングチャート

質問に沿って進み、自分にピッタリの留学や海外体験を探してみましょう。
関連ページを参照したり、説明会に参加し、理解を深めましょう。



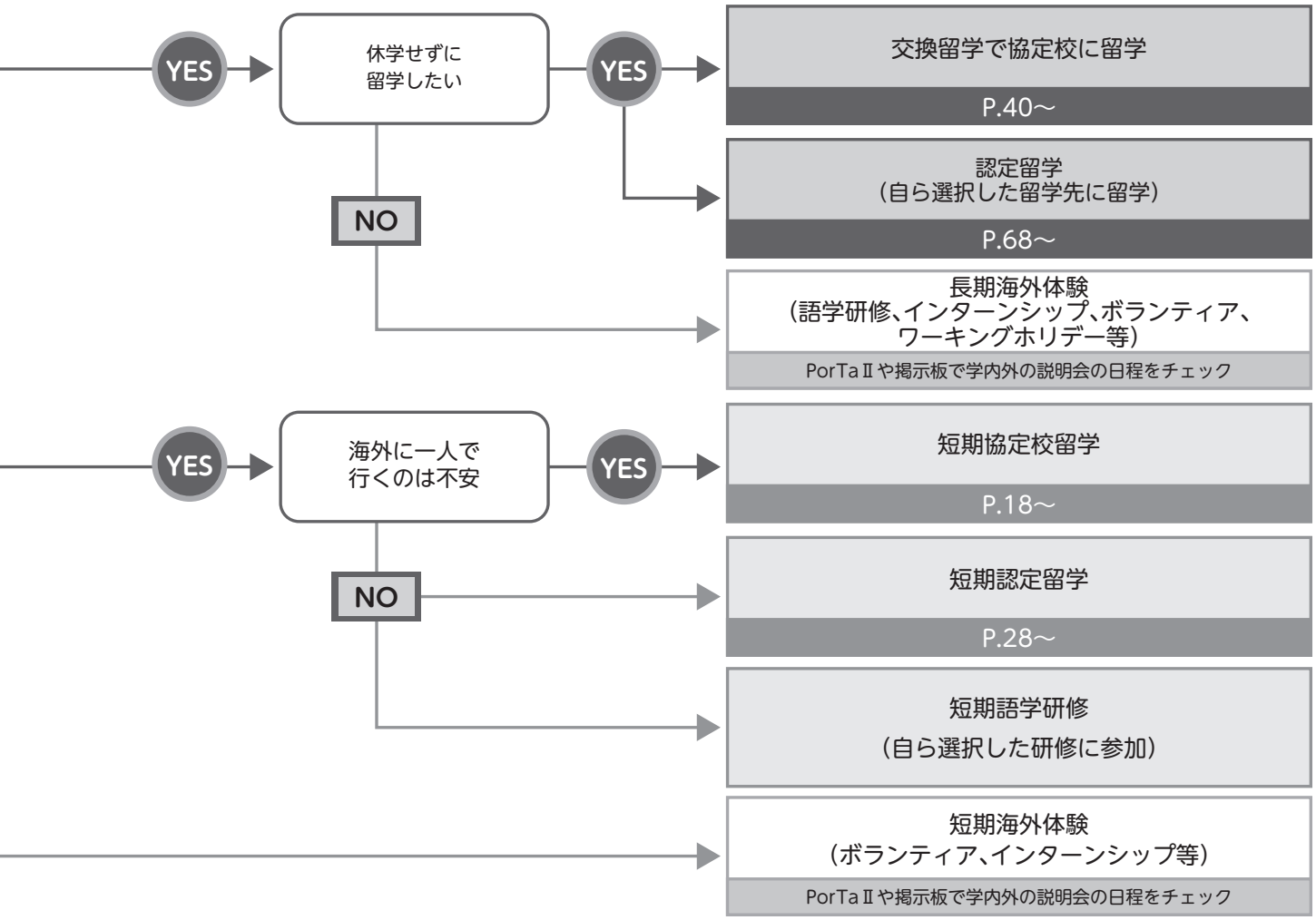
＊＊＊ 学生派遣に関する本学の危機管理と対応について ＊＊＊

新型コロナウイルスの感染拡大により2019年度末から2022年度にかけて留学プログラムは大きな影響を受けました。学生派遣については、本学「海外危機対応マニュアル」ガイドラインに沿った対応を行いました。具体的には、2019年度においては外務省危険情報（感染症危険情報を含む）レベル３が発令された地域に留学中の学生に対しては「留学中止、帰国」の指示（勧告）を出しました（ただし、個々の学生のおかれた状況により帰国が困難である、または現地滞在を継続するほうがより安全だと考えられる場合には、保証人の同意のもと、留学の継続を認めました）。2020年度春学期以降開始の留学については、プログラム開始の概ね45日前時点で外務省危険情報レベルが１以下でない場合は派遣中止としました。その結果ほとんどの長期留学が派遣中止または延期となりました。派遣中止となった学生については、留学予定先大学の授業が日本国内でオンライン受講でき、本人が希望する場合は、その受講を「長期留学」として認めました。2021年度春学期についても同様の対応となりましたが、2021年６月に文部科学省が大学間交流協定等に基づく１年間（派遣期間９ヶ月以上）の海外留学プログラムの支援を条件付きで再開するとの通知を出し、それを受けて、学内協議を重ねた結果、2021年度秋学期から本学が定める条件を全て満たす場合は特例措置として渡航による交換留学を認めました。2022年度も引き続きこの特例措置を適用し、加えて秋学期からは認定留学のうち本学の協定校へ留学する者に限り、条件を満たした場合は特例措置を追加適用し、渡航を認めました。また、外務省危険情報レベルが１に引き下げられた国への通常の認定留学も追加で認める決定をしました。

2023年度以降は留学の対応に関しては概ね従来の状況に戻りました。しかしながら、当面は引き続き慎重に対応しなければならない状況が続くと思われるため、上記方針を原則として、今後も状況に応じて判断してまいります。

短期留学については2022年度は夏季・春季ともに渡航を伴う全プログラムを実施し、加えて協定校実施のオンラインプログラムも単位認定対象の「短期協定校留学オンラインプログラム」として実施しました（それ以降も継続）。

海外学修をめぐる状況が大きく変化したとはいえ、留学が貴重な学修成果を上げる機会であることに何ら変わりはありませんので、大学として皆さんの安心・安全を第一に、今後ともさまざまなサポート、情報提供を行っていきます。



GLOBAL FRONTIER

天野貞祐記念館2階の国際交流センター・日本語教育オフィスと、３・４階ICZ※をまとめて「GLOBAL FRONTIER」と名付け、学内の国際化を推進しています。
※ICZ（International Communication Zone）

URL:
https://www.dokkyo.ac.jp/global_frontier/

facebook: 獨協大学GLOBAL FRONTIER

Instagram: dokkyo_global

X（旧Twitter）: @dokkyoglobal

さまざまなアクティビティを通して世界とつながる［ICZ］

ICZは「異文化交流」をテーマにした施設で、在学生は誰でも利用できます。外国の文化に触れられる書籍や映像資料、ボードゲームなどを取りそろえており、また、留学生や外国人学生も多く利用するため日本にいながら異文化交流ができます。

このICZで活躍してくれているのが**GLOBAL FRONTIERアンバサダーとピアサポーター**の学生たちです。

○活動内容
・アンバサダー：イベントの企画・実施、広報
【例】留学生との交流イベントの企画・実施
ICZの施設や活用法のアドバイス等
・ピアサポーター：外国語学習相談
【例】勉強方法や検定試験対策、留学等に関する相談対応

ICZでは、ゲーテ・インスティトゥートドイツ語検定試験、IELTS等といった留学に必要な資格試験をはじめ、TOEIC(R) L&R公開テスト等、就職活動に活用できる資格試験の受験料補助または割引サポート、また、資格試験や外国語学習に役立つ多数のイベントや講座も実施しています。

ICZで体験できる豊富なアクティビティを通して世界とつながってみませんか？

留学制度

Study Abroad Programs

獨協大学の留学制度

獨協大学の留学制度には、大きく分けて「短期留学」と「長期留学」があります。

短期留学

短期留学には、本学が企画し協定校で実施する教職員同行の「短期協定校留学」と、本学が認定した研修プログラム（教職員の同行なし）から選んで個人で参加する「短期認定留学」の２種類があります。

どちらも本学の夏季休暇・春季休暇を利用して行われる「短期集中語学研修」です。語学力の向上、異文化・生活体験、さまざまな国の学生との交流を目的とするもので、ホームステイができるプログラムもあり、「長期留学」へのステップともなります。また、研修先での修了証と成績表をもとに本学教員が評価し、合格と評価された場合は本学の外国語科目等の単位として認定されます。どの科目の単位が認定されるかは、留学先・所属学科によって異なります（P.33～）。

■短期協定校留学（原則として本学教職員の同行あり） Check P.18～

本学が企画し、旅行会社が旅行業務法上の受注型企画旅行として、協定校で実施する研修です。４月および10月に行われるプログラム別の参加者募集説明会（日程はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］参照）に出席し、プログラム内容や申込方法を確認してください。

テンプル大学ジャパンキャンパスのプログラムについては渡航はありません。詳細はP.26参照。

■短期認定留学（本学教職員の同行なし） Check P.28～

旅行会社が募集型企画旅行として実施する外国語研修プログラムのうち、授業内容、授業時間数、研修時期などが本学基準を満たすプログラムについて、短期認定留学として参加者を募集しています。詳細は４月および10月に行われる短期認定留学参加者募集説明会（日程はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］参照）で配布する募集要項で確認してください。

■短期認定留学（学外ドイツ語活動） Check P.30

ドイツ語学科が推奨するプログラム等から興味のあるプログラムを選択し、個人で申込や航空券、宿泊などの手配を行うドイツ語学科生のみが参加できるプログラムを、短期認定留学（学外ドイツ語活動）として実施します。詳細はP.28を参照してください。

短期留学の目的

夏季・春季休業期間に実施する約１ヶ月の短期留学は、在学生であれば学年を問わず誰でも参加できます（定員超過の場合のみ選考あり）。他国の文化を知り、外国語学習のモチベーションを上げることが目的です。

帰国後は、留学先で学んだ言語の語学能力試験を受験してレベルアップを確認しましょう。可能なら、さらに半年間または１年間の長期留学にもチャレンジしてください。

長期留学

長期留学には、交換留学と認定留学の２種類があります。

いずれも、本学から派遣される留学生としての自覚と責任感を持ち、全ての授業および試験に出席し、単位修得に努めることが求められます。

■交換留学

獨協大学と学術交流協定を結んでいる大学へ、学内選考を通過した学生を派遣します。交換留学生は原則として、獨協大学国際奨学金（交換留学生奨学金）を受給することができます（P.76参照）。

■認定留学

大学間の協定によらず、個人で留学先大学を選択し入学許可を得た上で、本学の承認手続きを経て留学します。応募条件を満たす場合は、本学が給付する獨協大学国際奨学金（認定留学奨学金）に応募することができます（P.76参照）。

長期留学生は、次の優遇措置を受けることができます。

１．留学中の授業料を免除

【交換留学の場合】

それぞれの大学との協定に基づいて、獨協大学または留学先大学のどちらかの授業料が全額免除になります。

【認定留学の場合】

獨協大学の授業料が全額免除され、留学先に授業料を納付します。

※交換留学および認定留学ともに、授業料以外の学納金（教育充実費（在籍基本料分）または施設設備費、学生教育研究災害傷害保険料、父母の会年会費）は期日（春学期４月末・秋学期９月末）までに納める必要があります。

２．単位の認定（振替・換算）

留学先で修得した単位は、32単位を上限として本学の卒業に必要な単位として認定することができます。

３．在学期間として算入

長期留学の期間は在学期間として算入されます。したがって、２.の単位の認定を行うことで留学期間を含めて４年間で卒業することも可能です。

長期留学の目的

１．外国語運用能力、コミュニケーション能力の向上

留学終了後に、留学前のCEFR（P.7参照）のレベルを最低でも１段階上げましょう。

２．国際的視野の獲得

専門の科目履修や他国の人々との交流を通して、自分（日本）の位置を相対化して把握するしなやかな理解力（＝教養）を身につけ、ゼミなどを含む授業やクラブ活動等においてリーダーシップを発揮できるようになりましょう。

３．国際人としての行動力、問題解決能力を養う

留学中の生活で起こるさまざまな問題を自ら解決する逞しい行動力と自立心を身につけ、他国の学生と積極的に交流し、留学後も継続しうるネットワークを作り上げましょう。

４．社会的責任・使命を果たす

留学後は“グローバル・シチズン”としての自覚を持ち、留学中に学んだこと、体得したことを積極的に発信しましょう。また国際社会のために行動することの意義を周囲の人々に伝えましょう。

日本文化を発信する“アンバサダー”へ

留学は、短期の留学であっても、学業面だけでなく精神面にも大きな成長をもたらします。それだけに、自分自身の成長だけにとどまらず、留学先で日本文化を発信し、日本の理解者を世界に増やす“アンバサダー”としての役割もぜひ果たしてください。留学から帰国した皆さんが、獨協大学のグローバル化推進のための原動力となり、卒業後には、国の内外を問わずグローバルに活躍する人材になってほしいと願っています。

留学制度を使わない海外体験・異文化体験

本学の留学制度を使わず、海外へ語学学習に出かけたり、ワーキングホリデーやボランティアに長期間参加する学生もいます。このような目的で大学を長期間休む場合は休学手続きを取る必要があります。休学手続きについては、教務課に確認してください。休学の場合は所定の期日までに手続きを行うことで授業料が免除されます（教育充実費（在籍基本料分）または施設設備費、学生教育研究災害傷害保険料、父母の会年会費を除く）。渡航する日程や利用する航空会社が決まり次第、PorTaⅡ（留学支援 ＞ 海外渡航情報入力）に入力してください。

■海外ボランティア

獨協大学はNPO法人ICYEジャパン学校会員制度のメンバー校です。ICYEジャパン（International Cultural Youth Exchange Japan Committee）は、ドイツに本部を置き、世界4大陸 50カ国以上で青年「国際ボランティア生/インターン生」の派遣・受入を行っているNPO法人です。ICYEジャパン主軸活動である長期派遣プログラム(6・12ヶ月) 、短期派遣プログラム(2週間～4ヶ月)等の事業については、学内説明会も実施しています。説明会開催情報はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］にてお知らせします。

■学内での国際交流

獨協大学では、半年または１年間本学で学修する海外協定校からの外国人留学生（交換留学生）をさまざまな方面からサポートしてくれる学生スタッフを募集しています。

■留学生バディ

海外協定校から来日する外国人留学生のために、主に次のサポートをしてくれる学生を学期ごとに募集しています。

・宿舎入居時の案内（宿舎最寄駅等でのピックアップ含む）
・日用品購入の同行
・市役所等での手続きをサポート
・その後の日本での生活をサポート　など

【募集方法と時期】
●募集方法
PorTaⅡ掲示版［留学支援・国際交流］にてお知らせ
●募集時期（予定）
春学期のサポート：１月中旬、秋学期のサポート：７月中旬

※外国人留学生の受入れ状況により2025年度の募集は変更となる可能性があります。

■GLOBAL FRONTIER アンバサダー・ピアサポーター（P.13参照）

アンバサダーは、GLOBAL FRONTIERの広報やイベントの企画・運営を、ピアサポーターは、学生の外国語学習に関するアドバイス等を行う学生スタッフです。詳細は、天野貞祐記念館３階のICZカウンターまでお問い合わせください。

■日本語学習サポーター

外国人学生・外国人留学生に対して、「日本語」科目の授業内外をサポートする日本語学習サポーターを学期ごとに募集しています。主なサポート内容は次のとおりです。

・「日本語」科目の授業課題や予習・復習の支援
・「日本語」科目の授業参加、留学生への情報提供および話し合いへの参加

日本語学習サポートに興味のある学生は、天野貞祐記念館２階の日本語教育オフィス（国際交流センター隣）までお問い合わせください。

国際的視野を広げるために獨協大学でできること・すべきこと

新型コロナウイルスの感染拡大により私たちは、日本に生きる自分たちの日常が、世界と分かちがたく結びついていることを痛感させられました。世界を知ることなしに、私たちは自らの立ち位置、そして進むべき道を考えることは困難です。世界を知るには留学は大きな力となります。しかし国際的な視野を得るために獨協大学で学べること、学ぶべきことも、実はたくさんあるのです。

本学は外国語学部、国際教養学部、経済学部、法学部の4学部11学科の学生が同じキャンパスで学んでいます。学部・学科を超えた交流を通し、様々な考え方や価値観に触れ、柔軟な思考力を身につけることができます。このオールインキャンパスのメリットを活かして自分が所属する学科･学部の授業だけでなく、他学部他学科で開設されている科目にも目を向け、留学の準備も含め、グローバル・シチズンとして生きていく力を養ってください。

1.グローバルな視点を養うための学び

・履修計画は、卒業要件のみにとらわれることなく、より広い興味・視野に立って考えてみましょう。そのためにはクラス担任や演習指導教員に積極的にアドバイスを求めてください。

・学問研究には専門分野を問わず、その学問体系の根底となる文化や思考方法に対する理解も必要です。学んでいるときには関連性がよくわからずバラバラだったことが、いつか、ああ、そういうことだったのか、と思えることがあるかもしれません。

・視野を広げるには、キーワードによるシラバス検索も役に立ちます。

【基本的な知識を幅広く養う】日本史、世界史、文化史、思想史、宗教史、社会保障、情報、社会調査、統計　など

【地域研究】文化研究、ツーリズム、開発　など

【国際社会理解】国際関係、国際協力、国際経済、国際政治、国際法、NPO、NGO、グローバル　など

【現代社会理解】環境、ジェンダー、SDGs、メディア、移民、難民　など

2.グローバルイベント

・国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」（例年6月に実施）

獨協大学が草加市国際交流協会と共催で本学キャンパス内で実施する国際交流フェスティバルです。世界各国出身の方と草加市民が参加し、自国文化に関連するバザール、料理、音楽、ダンスなどを披露します。2024年度のフェスティバルでは、獨協大学からも、高橋雄一郎ゼミ（外国語学部）、米山昌幸ゼミ（経済学部）、国際親善倶楽部（DIAC）、E.S.S.（英語会）が参加しイベントを盛り上げました。

・Interaction Lounge ～日本語×好きな言語で話そう～

留学生と自分の好きなことや興味のあることを好きな言語で語り合うイベントで、2024年度は秋学期に全18回実施しました。曜日ごとに異なるトピックが設定され、トピックごとのグループに分かれて留学生と会話を楽しむことができます。

2024年度実施のトピック例：

旅行、マンガ/アニメ、音楽など

Instagram: dokkyo_global

イベントの様子はこちら！

3.グローバル時代のキャリアデザイン

・【ICZ】×【国際交流センター】×【キャリアセンター】語学・留学・就職　なんでも出張相談所

ICZ、国際交流センター、キャリアセンターの3課が合同で開設する出張窓口です。

留学と就職、就職と語学学習、語学学習と留学など組み合わせて考えることで将来の選択肢が広がります。ICZ、国際交流センター、キャリアセンターのスタッフが一堂に集まり、さまざまな疑問や質問にお答えします。

※2025年度の内容や実施日は、確定次第、PorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］/［図書館・学修支援・語学学習］でお知らせします。

短期留学　共通事項

短期留学参加者は、国際交流センターが実施する**「海外安全対策セミナー」への出席（P.109参照）**や、**本学指定の海外旅行保険への加入（P.110参照）**が義務付けられています。その他、遵守すべき事項を定めた誓約書を提出してください。最少催行人数に満たない場合、または研修先機関の都合等により、研修が中止となることもあります。本学が危険と判断する事態（戦争、テロ、新型インフルエンザ等の感染症流行など）が発生した場合も、研修の中止や研修期間の短縮またはコース変更を行うことがあります。

※参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じても、特別措置は一切講じません。プログラム選定の際は、十分に留意してください。

■単位認定

留学先が発行する修了証、成績表をもとに単位認定の審査が行われ、その結果により短期留学に参加した翌学期に単位が認定されます。研修に参加すれば自動的に単位認定されるわけではありません。また単位認定で振替・換算できる科目は学部・学科により異なるので、P.33からの「短期留学により修得した単位の認定について」を熟読し、不明点がある場合は必ず申し込む前に教務課の各学部窓口で確認してください。

ホームステイを伴うプログラムについて

以下をよく理解の上、参加申込みをしてください。

1．ホストファミリーの家庭環境は各々異なります。
　ホストファミリーのライフスタイルや家族構成（高齢の夫婦のみの家庭、母子家庭、小さな子どもがいる家庭、同世代の異性の子どもがいる家庭、共働きの家庭、一人暮らしの方等）、人種・民族、文化、食事（ホストファミリーの手作り、冷凍食品、参加者自身による自炊等）、ペットの有無、設備、通学距離・方法等は、滞在する家庭によって異なります。
2．ホームステイ申込書等で、家庭環境（子どもやペットの有無等）の希望を記載できる場合も、必ずしも希望どおりになるわけではありません。
3．他の日本人や、同じプログラムに参加する本学の学生、他国からの学生と同じホームステイ先になる場合があります。ホストファミリーに限らず、留学先で知り合う人たちとは、心を開いて人間関係を築く努力をしましょう。人とのつながりから学べることはたくさんあります。
4．「ゲスト（お客様）」として滞在するのではなく、家族の一員として、滞在中はハウスルール（家庭内の規則）を守り、感謝の気持ちを忘れずに行動しましょう。
5．出発前、プログラム参加中に、参加者の一方的な希望による滞在先の変更はできません。
　ただし、ホストファミリー側のやむを得ない諸事情（不慮の出来事、病気等）により、ホームステイ先が現地手配側により変更される場合があります。

短期協定校留学

「短期協定校留学参加申込書」、「誓約書」その他必要な書類を定められた期日までに国際交流センターに提出してください。上記の書類の提出をもって申込手続き完了となりますが、申込者が定員を超過した場合は選考を行うことがあります。「短期協定校留学参加申込書」、「誓約書」は、PorTaⅡダウンロードセンター＞留学支援＞留学関連提出書類＞短期留学参加申込書類＞短期協定校留学からダウンロードしてください。なお、次ページ以降に記載のプログラム日程・費用等は、変更になる場合があります。

※短期協定校留学は原則として４単位認定プログラム（注）として実施します。また参加者による単位認定申請手続きは不要です。
（注）テンプル大学ジャパンキャンパスのプログラム参加時は選択科目数に応じて、２単位又は４単位の認定となります。

★プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。　※短期協定校留学は４単位認定プログラムです。

夏季プログラム

夏季 ドイツ語	研修先大学	**ハレ＝ヴィッテンベルク大学（ドイツ）**
	クラスのレベル	初級～上級
	１クラスの最大人数	12名
	本学での募集人数	15名（2024年度参加実績15名）
	宿泊形態	ホームステイ
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）
	教室内の授業	週５日　9：00～12：15／13：00～14：30／土曜日 エクスカージョン
	授業科目	総合的なドイツ語授業、ドイツ事情、小グループでのテーマに沿ったプレゼンテーション
	エクスカージョン	３日間のミュンヘン研修、ベルリンおよびライプツィヒへの日帰り観光、ヴィッテンベルク市内観光等。
	応募資格	獨協大学に在学中であること
	研修費用	約69万円（往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、教材費、エクスカージョン費、ミュンヘン研修費、海外旅行保険料、研修期間中の食費（朝・夕）、燃油サーチャージ等を含む）
	研修期間	2025年８月２日(土)～９月１日(月)（31日間）
		８月 2日(土)　羽田発
		８月 3日(日)　フランクフルト経由ベルリン着、ヴィッテンベルクへ
		８月 4日(月)～８月27日(水)　ハレ＝ヴィッテンベルク大学でのドイツ語研修（ホームステイ）
		８月28日(木)　ヴィッテンベルクからベルリンへ。空路でミュンヘンへ移動。ミュンヘン研修（3泊）
		８月31日(日)　ミュンヘン発（機内泊）
		９月 1日(月)　羽田着
	その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。 Institut für deutsche Sprache und Kultur（IDSK）での語学研修。

夏季 英語	研修先大学	**ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校（アメリカ）**
	クラスのレベル	初級～中級
	１クラスの最大人数	10～15名
	本学での募集人数	12～30名（2019年度参加実績14名）
	宿泊形態	学生寮、ホームステイ他
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）
	教室内の授業	週５日　8：00～12：00／13：00～14：30
	授業科目	会話、スピーチ、読解、作文等レベル別クラス。各自のテーマに沿ったプレゼンテーション、ディスカッション。
	エクスカージョン	カヌー体験、ピクニック、キャンプファイヤー、チーズ工場見学等（予定）
	応募資格	獨協大学に在学中であること
	研修費用	約86万円（往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、教材費、海外旅行保険料、研修期間中の食費、燃油サーチャージ等を含む）
	研修期間	2025年度募集中止
	その他	他国の学生が参加する場合もあります。

夏季 英語	研修先大学	**レジャイナ大学（カナダ）**	
	クラスのレベル	プレイスメントテストによりクラス分け	
	１クラスの最大人数	15名程度	
	本学での募集人数	10～25名（2024年度参加実績28名）	
	宿泊形態	学生寮	
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）	
	教室内の授業	週５日　8：30～11：30／12：30～15：00	
	授業科目	総合的な英語力アップのための集中授業。レジャイナ大学学生との交流アクティビティ等。	
	エクスカージョン	ロイヤル・サスカチュワン博物館、カナダ連邦騎馬警察歴史博物館、牧場または農場訪問。	
	応募資格	獨協大学に在学中であること	
	研修費用	約83万円（往復航空運賃、宿泊費、講習費、エクスカージョン費、海外旅行保険料、研修期間中の食事（朝・昼・夕）、燃油サーチャージを含む）	
	研修期間	2025年８月３日(日)～８月24日(日)（22日間）	
		８月　3日(日)	成田発、カルガリー経由レジャイナ着
		８月　4日(月)～22日(金)	レジャイナ大学での英語研修
		８月23日(土)	レジャイナ発カルガリー経由成田へ
		８月24日(日)	成田着
	その他	2023年度から渡航プログラムを実施。他大学学生の参加あり。	

夏季 フランス語	研修先大学	**マリー・エ・ルイ・パストゥール大学（旧フランシュ・コンテ大学）（CLA）（フランス）**	
	クラスのレベル	入門～上級までの５段階	
	１クラスの最大人数	15名程度	
	本学での募集人数	15～25名（2023年度参加実績17名※）	
	宿泊形態	学生寮（個室）	
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）	
	教室内の授業	週５日　9：00～11：00／13：00～16：00　＊曜日により異なる（週23時間）	
	授業科目	会話、読解、発音、聞き取り、文法、作文などの総合的なフランス語の授業を中心に、フランスの文化、文明についての講座、校外学習もあります。	
	エクスカージョン	ブザンソン周辺地域の文化に触れる小旅行等 任意参加、料金別途現地支払い	
	応募資格	獨協大学に在学中であること	
	研修費用	約65万円（往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む）＊エクスカージョンの費用、食費は含まれていません。	
	研修期間	2025年８月２日(土)～８月31日(日)（30日間）	
		８月　2日(土)	羽田発
			イスタンブール経由ジュネーブ着、ブザンソンへ
		８月　4日(月)～８月29日(金)	マリー・エ・ルイ・パストゥール大学でのフランス語研修（マリー・エ・ルイ・パストゥール大学学生寮）
		８月30日(土)	ブザンソンからジュネーブへ
		８月31日(日)	イスタンブール経由で羽田着
	その他	世界各国より参加者あり。他大学学生の参加あり。	

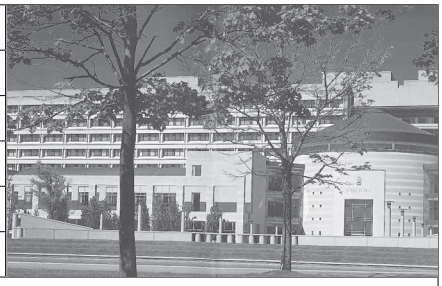
夏季 中国語

研修先大学	**東呉大学（台湾）**	
クラスのレベル	初級～中級	
１クラスの最大人数	12～15名程度	
本学での募集人数	８～10名（2024年度参加実績６名）	
宿泊形態	学生寮（２～４人部屋）	
本学教職員の同行	あり（前半10日間）	
教室内の授業	週４～５日　９：00～12：00／13：00～16：00（週により異なる）	
授業科目	語学課程（聴解・会話・読解・作文など）、文化課程（歴史・芸術・人文・伝統芸能など）	
エクスカージョン	宜蘭（農場体験と葱油餅作り体験）、台北（故宮博物館）、台北（ケーキ博物館でのパイナップルケーキ作り体験）（予定）	
応募資格	獨協大学に在学中であること	
研修費用	約41万円（往復航空運賃、宿泊費、研修費（校外学習含む）、海外旅行保険料、平日の朝食・昼食、燃油サーチャージを含む）	
研修期間	2025年８月３日(日)～８月23日(土)（21日間）（予定）	
	８月　３日(日)	羽田発、台北（松山）着
	８月　４日(月)～８月22日(金)	東呉大学での中国語研修（学生寮）
	８月23日(土)	台北（松山）発、羽田着
その他	東呉大学附属の中国語研修機関である華語教学中心で開講される夏季研修で、午前の語学課程、午後の文化課程、そして校外学習の３つを軸にしたプログラムです。	

夏季 韓国語

研修先大学	**慶熙（キョンヒ）大学（韓国）**	
クラスのレベル	初級～上級	
１クラスの最大人数	15～20名	
本学での募集人数	８～15名（2024年度参加実績10名）	
宿泊形態	学生寮（２人部屋）	
本学教職員の同行	あり（前半10日間）	
教室内の授業	週５日　９：00～13：00／14：10～16：00	
授業科目	韓国語授業（文法、スピーキングなど）、文化体験（詳細未定）、慶熙大生との交流会、会話特別講座	
エクスカージョン	日帰り旅行２日（詳細未定）	
応募資格	獨協大学に在学中であること	
研修費用	約40万円（往復航空運賃、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、燃油サーチャージを含む）	
研修期間	2025年８月３日(日)～８月26日(火)（24日間）（予定）	
	８月　3日(日)	羽田発、ソウル（金浦）着
	８月　4日(月)～８月25日(月)	慶熙大学での韓国語研修
	８月26日(火)	ソウル（金浦）発、羽田着
その他	ソウル市北東部の比較的落ち着いた地域に位置しています。ヨーロッパの歴史的建造物を思わせる建物が並ぶ美しいキャンパスです。韓国語の授業の質にも定評があります。一般向けに行われる授業のほかに獨協大生のみの会話特別講座を組み合わせたカリキュラムで、短期間で韓国語力の向上を目指します。	

春季プログラム



春季 英語	研修先大学	**ヨーク大学（カナダ）**
	クラスのレベル	初級～中級
	１クラスの最大人数	15～20名
	本学での募集人数	15～20名（2023年度参加実績18名）
	宿泊形態	ホームステイ
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）
	教室内の授業	週５日　10：00～12：00／13：15～15：00
	授業科目	リスニング、スピーキング、文法、発音、カナダの歴史・地理・多文化主義等に関する講義・ディスカッション等
	エクスカージョン	ナイアガラの滝見学、CN Tower、水族館ツアー、ホッケー観戦等
	応募資格	獨協大学に在学中であること
	研修費用	未定　＊10月下旬の募集説明会でお知らせします。 （参考：2024年度は約80万円。往復航空運賃、講習費、教材費、エクスカージョン費、ホームステイ費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む）
	研修期間	2026年２月15日（日）～３月８日（日）（22日間）（予定）
		２月15日（日）　羽田発、トロント着（ホストファミリー宅へ）
		２月16日（月）～３月 6日（金）　ヨーク大学での英語研修（ホームステイ）
		３月 7日（土）　トロント発
		３月 8日（日）　羽田着
	その他	大学付属の英語研修機関YUELIで開講されているSpring Break Immersion Program。他大学学生の参加あり。

春季 英語	研修先大学	**ウーロンゴン大学（オーストラリア）**
	クラスのレベル	初級～中級
	１クラスの最大人数	15名程度
	本学での募集人数	15～30名（2023年度参加実績23名）
	宿泊形態	ホームステイ
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）
	教室内の授業	週５日　8：30～12：30または13：30～17：30（クラス別で異なる）
	授業科目	会話、読解、作文等。各国からの学生とグループディスカッションやプレゼンテーションを通しての学習。
	エクスカージョン	シドニー１日ツアー、アクティビティ（水族館、ブルーマウンテンズ、オーガニックファーム、アボリジナルアート体験、老人ホーム訪問等）
	応募資格	獨協大学に在学中であること
	研修費用	未定　＊10月下旬の募集説明会でお知らせします。 （参考：2024年度は約74万円。往復航空運賃、団体行動中の交通費、ホームステイ費、講習費、教材費、エクスカージョン費、海外旅行保険料、研修期間中の食費（一部を除く）、燃油サーチャージ等を含む）
	研修期間	2026年２月21日（土）～３月22日（日）（30日間）（予定）
		２月21日（土）　羽田発
		２月22日（日）　シドニー着、ウーロンゴン大学へ
		２月23日（月）～３月20日（金）　ウーロンゴン大学での英語研修（ホームステイ）
		３月21日（土）　研修終了後シドニーへ移動。シドニー市内自由行動
		３月22日（日）　シドニー発、羽田着
	その他	留学生を対象とした大学付属の英語研修機関で開講されているクラスで、レベル別に分かれて学びます。

春季
スペイン語

研修先大学	**グアダラハラ大学付属語学学校CECM（メキシコ）**	
クラスのレベル	初級～上級まで12段階	
１クラスの最大人数	４～15名程度	
本学での募集人数	８～20名	
宿泊形態	ホームステイ（朝食のみ）	
本学教職員の同行	あり（前半10日間）	
教室内の授業	月～金　9：00～11：30／12：00～14：30	
授業科目	ラテンアメリカスペイン語、会話、文法、語彙等	
エクスカージョン	任意で現地申込（チャパラ湖ツアー等）	
応募資格	獨協大学に在学中であること	
研修費用	未定　＊10月下旬の募集説明会でお知らせします。 （参考：2019年度は約42万円。往復航空運賃、講習費、教材費、ホームステイ費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む）	
研修期間	2026年２月６日（金）～３月９日（月）（31日間）（予定）	
	２月　6日（金）	成田発、メキシコシティ経由グアダラハラ着（ホストファミリー宅へ）
	２月　9日（月） ～３月　6日（金）	CIEでのスペイン語研修（ホームステイ）
	３月　7日（土）	グアダラハラ発、メキシコシティ経由
	３月　9日（月）	成田着
その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。	

短期協定校留学体験記

春季

英語研修

ヨーク大学　　2023年度 プログラム参加　英語学科　I. Y.

私が短期留学にカナダのヨーク大学を選んだ理由は、自分自身の英語力の向上やさまざまなバックグラウンドを持つ人々との交流、異文化理解を深めることでした。実際にヨーク大学での短期留学が始まると、ホームステイ先での生活や大学での授業について不安を感じることもありましたが、ホストファミリーや大学の先生方やスタッフ、一緒に学ぶ仲間のサポートもあり、とても有意義な時間になったと感じています。

授業はレベル分けテストをして、自分の実力に応じたクラスで授業を受けることができます。授業内容は、英語の4技能を伸ばすための授業やカナダの歴史や文化などに触れる授業、日本人が苦手としている英語の発音を矯正するための授業など、さまざまな内容が含まれていたので、毎日楽しみながら学ぶことができました。また、滞在中には、現地の学生が困っていることをサポートしてくれたり、いろいろなアクティビティに連れて行ってくれたりしてくれました。プログラムに含まれるアクティビティでは、アイスホッケーの試合を観戦したり、ナイアガラの滝や美術館や博物館、水族館などを訪れたりしてカナダの自然や文化を感じることができました。授業がない休日には、バスケットボールの試合を観戦したり、広場でアイススケートをしたり、市場やショッピングモールで買い物をしたりして過ごしました。３週間という短い滞在のなかでも、本当に多くのことを経験することができました。また、滞在中の一番好きだった時間はホストファミリーや一緒にホームステイしている他国からの留学生と、１日にあったことやお互いのことを話している時間でした。一人ひとりが違うバックグラウンドや価値観を持ちながらも、同じ話題で交流できて、自分にとって、とても刺激になり視野の広がりに繋がったと感じています。

異国で生活をしてみると、自分が慣れてしまっている生活とのギャップに驚く場面も多々あり、自分が当たり前だと思っていることが当たり前ではないのだということを再認識することができました。特に、多種多様な人たちが集まるカナダで学んだからこそ得ることのできた視点があるのではないかと思っています。今回の経験から、留学は語学だけではなく、自分自身を大きく成長させる機会だと実感しています。これから留学を考えている皆さんも、ぜひ勇気を持って一歩を踏み出してみてください！

夏季

ドイツ語研修

ハレ＝ヴィッテンベルク大学　　2024年度 プログラム参加　ドイツ語学科　K. S.

私がこのプログラムに参加した理由は、最初の10日間はドイツ語学科の先生１名が日本から同行してくださること、渡航費や滞在費、現地の学校での学費などを含めて約70万円と考えるととても安いこと、数回ある事前準備説明会で渡航前にするべきことなどを詳細に教えてくれることなど、さまざまです。長期留学の前に１度短期で行ってみたい、初めての海外は不安などという方には特に参加をおすすめします！

ヴィッテンベルクでは約３週間ホームステイをしながら現地の学校に通い、最後の3日間はミュンヘンに移動し観光を楽しみました。学校のクラスは、最初に行われるテストをもとに成績順に分けられます。どの先生も優しく気さくでした！

授業は大体午前中で終わるため、午後は友だちと街を散策したり、映画館に行ったり、お買い物をしたり、電車に乗ってお出かけしました。また、学校が放課後に開催する参加自由の「アクティビティ」が毎日あり、近くの動物園や海や博物館に連れて行っていただきました。週末には、自分たちでホテルをとってベルリンまで遠出をしました。スマホを片手に電車を調べ目的地まで行くのは大変でしたが本当に楽しかったです！ドイツ人の皆さんはとても優しく、道を聞けば丁寧に教えてくれました。

ホームステイ先の家族は学校の先生とは違い、話す時のスピードがとても速く、初めは会話をするのをとても怖く感じました。ですが「わからない」ことを認めて開き直り、たくさん単語を繰り返し、ジェスチャーを使いながら、とにかくたくさんコミュニケーションをとりました。３週間という短い期間でしたが、オールドイツ語で生活することを意識したため、ホストマザーからドイツ語が上達したとほめてもらえた時はとても嬉しかったです。

最後の３日間を過ごしたミュンヘンでは、あらかじめ手配されているバスと日本人ガイドさんのおかげで安心して行動することができました。自由行動日に３時間かけて見に行ったノイシュバンシュタイン城の美しさは忘れられません。日本と比べて夏は涼しく、歴史深く、まるでおとぎ話の世界のような街並みは本当にきれいです。ヨーロッパに興味がある方にはぜひ行ってみてください！

短期協定校留学オンラインプログラム

2025年度は渡航をともなう短期協定校留学および短期認定留学のほかに、オンラインプログラムを実施します。

■オンラインプログラムのメリット
・渡航することなく現地の授業を受けることができるので費用を抑えることができる。
・ディスカッションやグループワーク等を通じて、他大学や他国・地域の学生と交流することができる。プログラムによっては、現地学生や地元住民との交流も含まれる。
・ライブ授業だけでなく、オンデマンドによるレッスンが充実している。
・オンライン上のコミュニケーション力やITスキルを鍛えることができる。

■オンラインプログラム参加の目的（参加者アンケートより）
・語学力の向上
・語学学習に対するモチベーションの向上
・現地の文化や社会を知ることで視野を広げたい
・長期留学に行くための事前準備

■募集案内・参加申込について
夏季または春季に実施する各プログラム詳細が決まり次第、PorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］でお知らせします。参加を希望の場合は、「短期協定校留学（オンラインプログラム）参加申込書」を定められた期日までに国際交流センターに提出してください。その後、国際交流センターの指示に従い、研修先大学への出願および参加費支払いを完了してください。
「短期協定校留学（オンラインプログラム）参加申込書」は、PorTaⅡダウンロードセンター＞留学支援＞留学関連提出書類＞短期留学参加申込書類＞短期協定校留学（オンラインプログラム）からダウンロードしてください。
※短期協定校留学（オンラインプログラム）は、２単位認定プログラムです。また参加者による単位認定申請手続きは不要です。

■単位認定
留学先が発行する修了証、成績表をもとに単位認定の審査が行われ、その結果により単位が認定されます。研修に参加すれば自動的に単位認定されるわけではありません。また単位認定で振替・換算できる科目は学部・学科により異なるので、P.33からの「短期留学により修得した単位の認定について」を熟読し、不明点がある場合は必ず事前に教務課の各学部窓口で確認してください。

■参加に係る留意点
・時差：プログラムの開始時間は必ずしも日本時間の日中にあたるものばかりではありません。授業が行われる時間を事前に確認の上、参加を決める必要があります。
・通信機器・環境・通信データ量
使用されるオンラインツールはZoom、Microsoft Teamsなどプログラムによって異なります。マイクやカメラのほか、安定した通信環境を整えるとともに、授業で利用するアプリなども最新のバージョンにアップデートしておきましょう。

以下は2025年３月１日時点の情報です。プログラムが追加または中止されたり、日程や内容および費用が変更となる場合があります。

※日程および時間は日本時間で表記しています。

研修言語	英語
国・地域名	カナダ
プログラム提供	レジャイナ大学
プログラム名	Learn English and Experience Western Canada Online
クラスのレベル	初級～中上級
日程（プログラム日数）	夏季：2025年８月10日～29日、８月31日～９月19日　春季：2026年２月初旬～下旬（予定）
授業時間数	69時間（4,140分）
授業内容	総合的な英語力アップのための集中講座：語学のみならず、さまざまなトピックを通してカナダの文化を学ぶ。観光地を巡るバーチャルツアーも含む（ライブ授業 38.5時間／オンデマンド授業 30時間）
費用	1,000カナダドル（約110,000円）＋オプション費用別途

※参考　1カナダドル≒110円（2025年2月時点）

協定校提供　短期オンラインプログラム参加体験記　　**英語研修**

レジャイナ大学（カナダ）　　**英語学科　O. M.**

レジャイナ大学のオンライン留学プログラムに参加しようと思ったのは、長期休暇中に英語力を鍛えたい、何か一つのことを頑張りたいという思いがあったからです。元々長期休暇には海外に留学したいと思っていましたが、コロナで渡航ができなかったので、大学の案内を見てオンライン留学の参加を決めました。

本プログラムの良かった点は３つあります。１つ目は授業が午前中という点です。時差の関係で昼前に授業が終わるので長期休暇でも規則正しい生活ができます。午後は基本的に自由に過ごせるので充実した一日が送れました。２つ目は多くのアクティビティが含まれていたことです。毎週レジャイナ大学周辺の博物館や農場へリアルタイムのオンラインツアーなどのイベントがありました。ツアーガイドの方と会話をしながらなので、家にいながらもカナダに留学しているような気分になりとても楽しかったです。３つ目はレジャイナ大学学生との交流機会です。Zoomのブレイクアウトルームでレジャイナ大学に留学中の学生と（私は中国人学生と）１対１で話しました。お互い母語は英語ではないので相手の英語の訛りに苦戦しながらも、文化の違いやコロナ禍の状況などたくさん話すことができ、少しですが会話力が鍛えられた気がします（笑）。

３週間毎日英語に触れる環境に身を置くことで、英語コミュニケーション能力に自信がつき、とても充実した長期休暇になりました！

テンプル大学ジャパンキャンパスプログラム

日本国内	大学名	**テンプル大学ジャパンキャンパス AEP**		
		Temple University Japan Campus (Academic English Program)		
	URL	https://www.tuj.ac.jp/jp/aep		
	大学設立年	1982年	協定締結年	2024年
	所在地	東京都世田谷区太子堂1-14-29		
	大学紹介	米国ペンシルベニア州立総合大学であるテンプル大学の日本校として設立され、2005年２月に文部科学省が外国大学日本校に指定した。本学との協定は、米国本校とは関わりなく、ジャパンキャンパスのAEPに限定。学部生の交換はなく、AEPが開講するプログラムを獨協生が受講する形式で、対象となるプログラムは獨協大学国際交流センターが指定・案内する。		
	派遣期間	現状では獨協大学の春期休暇期間中（短期プログラム）に限定して運用中		
	成績条件	なし		
	外国語力条件	募集の際に公示する		
	費用概算	授業料	289,800円（2025年実施例／２科目受講）	
		教材費	0～10,000円(受講科目による)	
		合計	約300,000円	
	備考	単位認定には条件があるため申し込む前に確認すること（P.27参照）		

テンプル大学ジャパンキャンパス短期留学プログラムの認定科目、認定単位数一覧

学部学科		60時間分修得の場合	120時間分修得の場合
外国語学部	ドイツ語学科	一研修につき、「English」として１単位×２科目まで認定されます。	一研修につき、「English」として１単位×４科目まで認定されます。
	英語学科	【2023年度までの入学者】 プログラムに参加した翌学期に「Communication Skills」（２単位×１科目）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（２単位）として認定されます。	【2023年度までの入学者】 プログラムに参加した翌学期に「Communication Skills」（２単位×２科目）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（４単位）として認定されます。
		【2024年度以降入学者】 プログラムに参加した翌学期に「Communication Seminar」（２単位×1科目）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Seminar」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（２単位）として認定されます。	【2024年度以降入学者】 プログラムに参加した翌学期に「Communication Seminar」（２単位×2科目）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Seminar」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（４単位）として認定されます。
	フランス語学科	一研修につき、「English」として１単位×２科目まで認定されます。	一研修につき、「English」として１単位×４科目まで認定されます。
	交流文化学科	【2023年度までの入学者】 プログラムに参加した翌学期に学科共通科目「Communication Skills」（２単位×１科目）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（２単位）として認定されます。	【2023年度までの入学者】 プログラムに参加した翌学期に学科共通科目「Communication Skills」（２単位×２科目）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（４単位）として認定されます。
		【2024年度以降入学者】 プログラムに参加した翌学期に学科専門科目「Discussion」（２単位×１科目）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Discussion」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（２単位）として認定されます。	【2024年度以降入学者】 プログラムに参加した翌学期に学科専門科目「Discussion」（２単位×２科目）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Discussion」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（４単位）として認定されます。
国際教養学部		研修に参加した翌学期に卒業要件外科目として認定されます。ただし、次の条件を満たす場合は、記載している表（※１）の科目を１単位×２科目まで（ただし、英語上級、英語演習Ⅱ、上級英語演習Ⅰ、上級英語演習Ⅱは２単位×１科目まで）卒業要件単位として振り替えることができます。 ・学生が科目の振り替えを希望し、当該科目を未修得であること。 ・振り替えることができる科目は、研修に参加した学期までに当該学生が履修可能な科目に限る。 ・５学期に研修に参加した場合、英語上級は１科目２単位まで振り替え可とする。	研修に参加した翌学期に卒業要件外科目として認定されます。ただし、次の条件を満たす場合は、記載している表（※１）の科目を１単位×４科目まで（ただし、英語上級、英語演習Ⅱ、上級英語演習Ⅰ、上級英語演習Ⅱは２単位×２科目まで）卒業要件単位として振り替えることができます。 ・学生が科目の振り替えを希望し、当該科目を未修得であること。 ・振り替えることができる科目は、研修に参加した学期までに当該学生が履修可能な科目に限る。 ・５学期に研修に参加した場合、英語上級は１科目２単位まで振り替え可とする。
経済学部		研修に参加した翌学期に「English（全カリ選択必修科目）」（１単位×２科目）として単位認定します。	研修に参加した翌学期に「English（全カリ選択必修科目）」（１単位×４科目）として単位認定します。
法学部		研修に参加した翌学期に「English」の単位として振り替え（２単位）	研修に参加した翌学期に「English」の単位として振り替え（４単位）

※１　国際教養学部の英語科目一覧

【2023年度以前入学者】

		履修可能学期	科　目　名
英語研修	1から7学期で研修に参加	1	英語Ⅰ（IE）、（W）、（S）
		2	英語Ⅱ（IE）、（W）、（S）
		3	英語Ⅲ（IE）、（W）
		4	英語Ⅳ（IE）、（W）
		5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ

【2024年度以前入学者】

		履修可能学期	科　目　名
英語研修	1から7学期で研修に参加	1	英語Ⅰ（IE）、（W）、（S）
		2	英語Ⅱ（IE）、（W）、（S）
		3	英語Ⅲ（IE）、（W）
		4	英語Ⅳ（IE）、（W）
		5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ

★プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。

短期認定留学

本学の指定する旅行会社の主催・運営による短期認定留学に参加した場合、所定の手続きと申請に基づき、短期認定留学により修得した単位を、一定の基準に基づいて本学で修得すべき授業科目の単位として認定することができます。プログラムへの参加を希望する人は、次の手続きを行ってください。なお、短期認定留学の申込にあたっては、プログラムに参加する学期は、在学していることが必要です。

1．短期認定留学プログラム説明会への出席

詳細はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］にてお知らせします。
夏季プログラム：2025年４月16日（水）/ 春季プログラム：2025年10月８日（水）（予定）

2．短期認定留学研修先の決定

「2025年度短期認定留学プログラム一覧」から研修先を選択してください。各プログラムに関する質問はエスティーエートラベルが応じます。また、各プログラムのパンフレットは、PorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］にも掲載します。
※実施プログラムの開始日は、各学期の定期試験期間終了後に設定していますが、参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じても、特別措置は一切講じられません。プログラム選定の際は、各自で十分に留意してください。

3．研修の申込

プログラムの申込については、1.の短期認定留学プログラム説明会にて説明します。
■オンライン申込：各プログラム募集要項記載のＱＲコードより申込
■国際交流センターに「短期認定留学参加申込書」、「誓約書」を以下の期日までに提出してください。
夏季プログラム：2025年６月６日（金）15：30 / 春季プログラム：2025年11月28日（金）15：30
「短期認定留学参加申込書」「誓約書」は、PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 留学支援 ＞ 留学関連提出書類 ＞ 短期留学参加申込書類 ＞ 短期認定留学からダウンロードしてください。

4．海外安全対策セミナーに出席

詳細は、PorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］および［あなたへのお知らせ］にてお知らせします。
以下の日程で参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。
夏季：2025年７月 ２日（水）または７月 ４日（金）（予定）
春季：2026年１月 ９日（金）または１月14日（水）（予定）

5．海外旅行保険等に加入（Web手続き・支払い）・被保険者証の受信

短期認定留学参加者は全員、本学が指定する海外旅行保険に加入していただきます。
Web申込方法や金額・支払い方法等は海外安全対策セミナーで案内します。
手続き完了後、メールで受信する被保険者証は必ず印刷し、渡航先へ持参しましょう。

6．短期認定留学の単位認定申請手続き

「短期認定留学単位認定申請書」を研修先大学等発行の修了証、成績表、「短期認定留学参加者アンケート」とともに以下の期日までに国際交流センターに提出してください。締切日以降の単位認定申請はできません。
夏季プログラム：2025年10月20日（月）15：30 / 春季プログラム：2026年４月20日（月）15：30
「短期認定留学単位認定申請書」「短期認定留学参加者アンケート」は、PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 留学支援 ＞ 留学関連提出書類 ＞ 短期認定留学単位認定申請書類からダウンロードしてください。

2025年度短期認定留学プログラム一覧

以下は2025年２月現在の情報のため、最新のプログラム日程や費用は説明会で確認してください。
＊プログラムにより認定される単位数が異なります。
＊プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。変更が生じた場合は、PorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］にてお知らせします。

夏　季

研修先大学（国・地域名）	キングス　ボストン（アメリカ）
研修都市	ボストン
研修期間（予定）	2025/8/24～2025/9/21
認定単位数	2単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	920,000～950,000円
クラスレベル / クラス人数	初級～上級 / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学（国・地域名）	エンデランカレッジ（フィリピン）
研修都市	マニラ
研修期間（予定）	2025/8/17 ～2025/9/13
認定単位数	4単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	500,000～560,000円
クラスレベル / クラス人数	初級～上級 / マンツーマン：1名、グループ：4～10名
宿泊形態	大学寮

研修先大学（国・地域名）	チチェスターカレッジ　（英国）
研修都市	チチェスター
研修期間（予定）	2025/8/30～2025/9/21
認定単位数	2単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	638,000円
クラスレベル / クラス人数	初級～上級 /　最大16名
宿泊形態	カレッジ寮

研修先大学（国・地域名）	LSIポーツマス（英国）
研修都市	ポーツマス
研修期間（予定）	2025/8/23～2025/9/21
認定単位数	4単位
費用（予定）（燃油サーチャージを含む）	795,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級～ / 最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学（国・地域名）	カンタベリー大学（ニュージーランド）（運営：CCEL）
研修都市	クライストチャーチ
研修期間（予定）	2025/8/16～2025/9/7
認定単位数	2単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	608,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級～ / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学（国・地域名）	CLICインターナショナルハウス（スペイン）
研修都市	セビリア
研修期間（予定）	2025/8/29～2025/9/21
認定単位数	2単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	685,000円
クラスレベル / クラス人数	初級～上級 / 最大10名
宿泊形態	レジデンス

春　季

研修先大学（国・地域名）	キングス　ボストン（アメリカ）
研修都市	ボストン
研修期間（予定）	2026/2/22 ～2026/3/15
認定単位数	2単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	830,000～880,000円
クラスレベル / クラス人数	初級～上級 / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学（国・地域名）	エンデランカレッジ（フィリピン）
研修都市	マニラ
研修期間（予定）	2026/2/15～2026/3/14
認定単位数	4単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	500,000～560,000円
クラスレベル / クラス人数	初級～上級 / マンツーマン：1名、グループ：4～10名
宿泊形態	大学寮

研修先大学（国・地域名）	イーストサセックスカレッジ（英国）
研修都市	ルイース
研修期間（予定）	2026/2/7～2026/3/1
認定単位数	2単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	578,000～588,000円
クラスレベル / クラス人数	初級（A2)以上 / 最大20名
宿泊形態	カレッジ寮

研修先大学（国・地域名）	LSIポーツマス（英国）
研修都市	ポーツマス
研修期間（予定）	2026/2/14 ～2026/3/15
認定単位数	4単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	748,000～758,000円
クラスレベル / クラス人数	初級～上級　/　最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学（国・地域名）	カンタベリー大学（ニュージーランド）（運営：CCEL）
研修都市	クライストチャーチ
研修期間（予定）	2026/2/14～2026/3/8
認定単位数	2単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	598,000～608,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級～ / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学（国・地域名）	F+Uランゲージアカデミーハイデルベルク（ドイツ）
研修都市	ハイデルベルク
研修期間（予定）	2026/2/28～2026/3/22
認定単位数	2単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	658,000～668,000円
クラスレベル / クラス人数	初級～上級 / 最大15名
宿泊形態	レジデンスまたはホームステイ

研修先大学（国・地域名）	カヴィラム（フランス）
研修都市	ヴィシー
研修期間（予定）	2026/2/28～2026/3/22
認定単位数	2単位
費用（予定）（燃油サーチャージを除く）	レジデンス　：695,000～715,000円 ホームステイ：705,000～725,000円
クラスレベル / クラス人数	初級～上級 / 最大15名
宿泊形態	レジデンスまたはホームステイ

短期認定留学（学外ドイツ語活動）

ドイツ語学科においては、学科が推奨する短期留学に参加した場合、所定の手続きと申請に基づき、受講時間数に応じて、本学で修得すべき授業科目（2023年度以前入学者は選択科目、2024年度以降入学者は「学外ドイツ語活動」）の単位として認定することができます（ただし、ドイツ語学科以外の学生は、本制度を適用した単位認定の対象外になります）。プログラムへの申込、航空券・宿泊場所の手配などはすべて学生自身が手続きを行うことになります。

1．プログラム申込、航空券、宿泊手配

DAAD（ドイツ学術交流会）のウェブサイトに短期ドイツ語コースの情報がまとまっていますので、主体的に情報収集を行ってください。参加を希望するプログラムが決定したら、研修先大学名および渡航日程をドイツ語学科共同研究室（laboger@ml.dokkyo.ac.jp）に連絡し、参加許可を得たのちに、学生自身でプログラムへの申込、航空券・宿泊場所の手配を行ってください。事前に参加許可を得ていない場合、単位認定の対象となりませんので注意してください。

参考（DAADウェブサイト）：https://www2.daad.de/deutschland/studienangebote/sommerkurse/de/

以下のプログラムはあくまで一例であり、変更や中止などが生じる場合があります。必ず自身で最新の情報を確認してください。なお、以下のプログラム以外でも、所定の条件を満たせば単位認定が可能な場合があります。必ず事前にドイツ語学科の担当教員に相談してください。

2025年度夏季　短期認定留学（学外ドイツ語活動）候補プログラム（ドイツ）

研修先大学	プログラム期間	申込締切	費用（Euro）	レベル	時間数（h）	認定単位数
トリーア大学	8/4～8/29	7/15	770	A1, A2, B1, B2, C1	65.25	2
イェーナ大学	8/4～8/29	6/30	740	A2, B1, B2, C1, C2	120	4
フライブルク大学	8/4～8/29	6/30	880	A1, A2, B1, B2, C1	75	2
デュッセルドルフ大学	8/4～8/29	6/30	550	A2, B1, B2, C1	75	2
ハノーファー大学	8/4～8/28	5/1	750	A2	75	2
ハイデルベルク大学	7/31～8/27	6/15	880	A1, A2, B1, B2, C1, C2	84	2
ビーレフェルト大学	8/5～8/29	6/30	790	A2	75	2
テュービンゲン大学	8/4～8/29	6/30	790	A2, B1, B2, C1	96	4
ミュンスター大学	8/4～8/27	6/16	585	A2, B1, B2, C1	67.5	2
ミュンヘン大学	8/4～8/28	5/1	680	A1, A2, B1, B2, C1	75	2
ゲッティンゲン大学	8/4～8/29	5/31	750	A1, A2, B1, B2, C1	75	2

2．参加申込書、誓約書提出

ドイツ語学科教員から配付された「短期認定留学参加申込書（学外ドイツ語活動）」および「誓約書」をドイツ語学科共同研究室（laboger@ml.dokkyo.ac.jp）に2025年６月６日（金）15時までに提出してください。

3．海外安全対策セミナー参加（必須）

2025年７月２日（水）または７月４日（金）（予定）
詳細はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］および［あなたへのお知らせ］にてお知らせします。
授業との重複で参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

4．海外旅行保険等の加入（Web手続き・支払い）・被保険者証の受信

短期認定留学（学外ドイツ語活動）参加者は、渡航を許可された全日程について本学が指定する海外旅行保険等に加入する必要があります。Web申込方法や金額・支払い方法等は海外安全対策セミナーで案内します。手続完了後、メールで受信する被保険者証は必ず印刷し、渡航先へ持参しましょう。

5．単位認定申請手続き

「短期認定留学（学外ドイツ語活動）単位認定申請書」を研修先大学等発行の修了証、成績表と「短期認定留学（学外ドイツ語活動）参加者アンケート」とともに、2025年９月30日（火）までにドイツ語学科共同研究室（laboger@ml.dokkyo.ac.jp）まで提出してください。締切日以降の単位認定申請はできません。

短期認定留学体験記

英　国

LSI　ポーツマス　　**2024年度 夏季プログラム参加**　　**言語文化学科　K. S.**

私がこの留学を決めた理由は、自分がこれまで身につけた語学力を活かして実際に海外で生活してみたいと思ったからです。そのため、１ヶ月間ホームステイをしながら異文化体験ができ、毎日英語に触れることができるこのプログラムは、自分にとって魅力的で良い機会だと感じ、LSIポーツマスに決めました。

私は留学中、英語集中コースを受講しました。帰国後にIELTS試験を控えていたこともあり、平日はほとんどの時間を語学学校で過ごしました。クラスはレベル別に分けられ、授業では４技能に満遍なく触れることができましたが、自分の意見を求められることが多かったため、特に話す力が鍛えられたと思います。初めは、流暢に英語を話し、問題を淡々と解いてしまう他国の生徒に圧倒されて気持ちが萎縮してしまいましたが、毎日その環境で過ごしていくうちに、それは大きな刺激に変わり、自分を成長させてくれる貴重な経験となりました。特に文法を英語で学ぶことやイギリス英語のリスニングに苦労しました。そのため、理解できなかったことは質問し、毎日の授業の復習を心がけました。さらに学校から提供されたリスニングのサイトを利用して、イギリス英語に慣れることを意識しました。IELTSの勉強と並行して授業の復習をすることは大変でしたが、その結果、帰国後のIELTS試験では目標としていたスコアを取得することができました。

また、ホストファミリーとの出会いは私の考え方や気持ちを大きく変化させてくれました。１ヶ月間英語しか使えないホームステイという環境で、初めは伝えたいことが上手く伝わらず、大きな壁に直面して挫けそうになる時もありました。しかし、ホストファミリーは一生懸命理解しようと努めてくれたり、初めて見る料理を食べさせてくれたり、知らない単語をその都度教えてくれました。またホームステイ先では私の他にオマーン人の留学生も受け入れていたり、ホストファミリーの親戚が泊まるなど様々な国や年齢の方と話す機会が多くあったので、毎日が刺激的で異文化にも触れることができたと感じます。英語を話すことに自信がなかった私に、周りの人が「あなたなら絶対大丈夫、あなたはここに来て変わった」と言ってくれたので、この留学での出会いが何事も前向きに考えて自信を持つことの大切さを教えてくれました。

１ヶ月という期間は長期留学に比べると短く、「たったの１ヶ月」と思うかも知れませんが、自分の行動や過ごし方次第で人生を左右するような素敵な経験に変わると思います。自分から積極的に人との関わりを持ったことで、語学力の向上はもちろんのこと、新しい視点から物事を見ることができ、人として大きく成長することができたのではないかと思います。ぜひ皆さんにも、海外で自分だけのかけがえのない思い出を作って欲しいと強く思います。

ニュージーランド

カンタベリー大学（運営：CCEL）　　**2024年度 夏季プログラム参加**　　**言語文化学科　G. H.**

私は夏休みの３週間、ニュージーランドのクライストチャーチという都市で過ごしました。飛行機がクライストチャーチの空港に到着すると、ホストファミリーが迎えに来てくれました。とても緊張していましたが、優しい出迎えを受けて３週間の生活がとても楽しみになりました。１日の生活は朝８時から語学学校で授業があり、13時に授業が終わった後は、バスで友達とシティーの方へ行ったり、ショッピングモールに行ったりしました。

語学学校の授業は読む、書くことよりもとにかく英語を話し実践するもので、たとえ文法が正しくなくとも、伝えようという気持ちがあれば伝わるのだと感じました。クラスには中国、韓国、タイ、スペインからの学生もいましたが、お互いの国の言葉を全く知らず、唯一通じる言葉は英語であったため、授業中も普段の会話も自然とすべて英語で会話をするようになりました。このことが最も今回の留学を通して自分の英語力が向上した理由だと考えています。また私のクラスの先生はニュージーランドの先住民であるマオリ出身のため、マオリの音楽やダンス、言語を学ぶこともできました。

ホストファミリーとも素敵な思い出をたくさん作ることもできました。ホストマザーは料理がとても上手で、毎日おいしい夜ご飯を用意してくれたことはもちろん、帰国前日の夜にはパブロバというニュージーランド発祥の伝統的なケーキも作ってくれてとても嬉しかったです。ホストファザーは英語課題の添削のほかにも、ニュージーランドの文化などについてもたくさん話してくれましたし、ニュージーランドは常に自然と触れ合える環境であったので週末には丘や湖にピクニックにも連れて行ってくれました。

生活面では日本とは異なる部分にも気が付きました。ニュージーランドの人たちは早起きの人が多く、朝６時頃から運動をしている人が多かったです。またカフェなどは15時に閉まることが多く、夜は自分の趣味に時間を使っていました。ホストファザーも週に何回かテニスをしに行くなど充実した時間を過ごしていたように思います。また日本ではあまり経験したことのない体験もありました。例えば、カフェに行ったときに店員さんが服を褒めてくれたり、道ですれ違った面識のない人でも笑顔で挨拶をしてくれたり、ニュージーランドの人々は人と人のつながりを大切にしているように感じました。留学に行く前は、自分から積極的に意見を述べることや、はっきり自分の答えを言うことはありませんでしたが、今回の留学を通して自分の意見や考えをしっかりと述べることの大切さを学びました。留学経験で得た知識や経験を今後の大学生活や学習に活かしていきたいと思います。

短期留学　Q＆A

Q１．短期協定校留学と短期認定留学の違いは何ですか？

A１．主な違いは本学教職員の同行有無と実施校の違いです（詳細はP.14参照）。海外渡航を伴う短期協定校留学はプログラム開始時から約10日間は原則として本学教職員が同行しますが、短期認定留学は日本出発時から帰国まで参加者の個人行動となります。また短期協定校留学は本学協定校での実施に限られますが、短期認定留学ではさまざまな国・地域の教育機関によるプログラムを選択することができます。ただし、どちらのプログラムにおいても予め決められた留学期間を短縮・延長することはできません（短期認定留学（学外ドイツ語活動）は除く）。※日本国内での留学は協定校であっても教職員の同行はありません。

Q２．参加にあたり、語学力や成績の条件、選考はありますか？

A２．短期協定校留学：語学力や成績要件はなく募集人数を超過しない限り、原則的に選考はありません。
短期認定留学：一部のコースでは語学力要件が設けられています。またプログラム定員を超過した場合には、参加できないことがあります。

Q３．短期留学期間中に卒業を迎える予定ですが、参加できますか？

A３．短期留学は本学在学生が参加できるプログラムです。卒業を予定している８学期生は、卒業予定日（３月20日または９月20日）より前に研修が終了するプログラムのみ参加が可能です。なお８学期生が研修に参加した場合、単位認定の対象となりません。

Q４．短期認定留学（学外ドイツ語活動）の内容や参加条件を教えてください。

A４．参加希望者自身でドイツ語学科が推奨するプログラム等から興味のあるプログラムを選択し、申込や航空券、宿泊などの手配を行うドイツ語学科生のみが参加できるプログラムです。
本学が定める所定の手続きと申請をすることで、受講時間数に応じて単位認定をすることができます。詳細はP.30を確認してください。

Q５．留学中はどこに滞在しますか？

A５．滞在先は学生寮、ホームステイ等があります。協定校留学ではプログラムごとに指定されますが、認定留学では滞在先を選択できるプログラムもあります。滞在先により食事、シャワー、洗濯等のルールが異なります。初日に各自しっかり確認しておきましょう。特に短期認定留学（学外ドイツ語活動）では、安全面等に十分に配慮し、滞在先を決めましょう。

Q６．留学中、勉強以外にできることはありますか？

A６．プログラムにより、エクスカージョン等が組み込まれている場合と、オプションで選択可能な場合があります。現地の文化を体験するよい機会となりますので参加を検討してみてください。ただし、車やバイク運転、電気を動力とする乗り物（電動キックボード、ペダル付き原動機付自転車など）、パラグライダー、スカイダイビングなど危険を伴う活動は禁止されており、これらの活動に伴うケガや事故は保険適用対象外となります。

Q７．現地での生活費用はいくら必要ですか？

A７．留学先やプログラムに含まれる食事の回数等によっても金額は大きく異なります。過去の参加者のアンケートを国際交流センター内で公開していますので参考にしてください。また渡航時に多額の現金を持っていくのは危険です。クレジットカード（VISAかMastercard）、国際キャッシュカード、VISAデビットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポートなど、複数の手段を用意しましょう。なお、近年は電子マネーによる決済も増えています。

Q８．初めての海外です。渡航前に知っておくべきことはありますか？

A８．各研修のオリエンテーションおよび海外安全対策セミナーで基本的事項を説明しますので必ず出席しましょう。事前に外務省海外安全情報無料配信サービス「たびレジ」に登録し、外務省の海外安全ホームページに掲載されているパンフレット『海外安全虎の巻』（PDFファイル）にも目を通しておきましょう。現地では、「ここは日本ではない！」という意識を常に持ちながら行動することが大切です（P.108～参照）。

Q９．留学中に病気やケガをするなど、困った時は誰に相談できますか？

A９．全ての参加者は、大学が指定する海外旅行保険およびトータルサポートサービスへの加入が義務づけられています。「海外危機管理サポートデスク」に連絡（LINE無料通話にも対応）をすれば、病気、ケガ、盗難等のトラブルについて、24時間365日、日本語で相談することができます。

Q10．留学先にはどんな通信手段を持って行けばよいですか？

A10．日本で普段使用している携帯電話、スマートフォンを海外でそのまま利用すると、国際ローミングサービスを利用することになり、高額な費用がかかります。海外で通話をしたい場合や無料Wi-Fiスポット以外でもインターネットを利用したい場合には、海外で使用可能なポケットWi-FiやSIMカード等を手配しておくことをおすすめします。

短期留学により修得した単位の認定について

1．履修登録

短期協定校留学参加申込書または短期認定留学参加申込書を提出し、参加が認められた学生は、その申込書の提出をもって履修登録の手続完了とみなされます。この登録は履修登録上限には含まれません。

2．成績評価、単位認定および振替・換算について

短期協定校留学の場合は同行教員、短期認定留学の場合は原則として所属学部学科の教務委員が、オンラインプログラムの場合には同行教員がないため協定校留学、認定留学ともに所属学部学科の教務委員が帰国後またはプログラム修了後に提出された修了証と成績表をもとに評価します。

合格と評価された場合は、短期留学に参加した翌学期の単位として認定し、翌学期の成績通知表に研修参加校名とともに評価欄に「P」と記載し、通知します。

振替・換算される科目は学部・学科により異なるので、以下の学科別の単位認定方針を各自熟読し、不明点は事前に教務課各学部係で確認してください。

また、認定単位数や振替・換算科目等の単位認定方針はプログラムにより変更となる場合があるので、参加申込時に必ず確認してください。

なお、卒業予定時期に関わらず、８学期生が研修に参加した場合、単位認定の対象となりません。

3．単位の認定上限

認定できる単位数は通算８単位までです。

ドイツ語学科

ドイツ語研修	一研修につき、2023年度以前入学者は、選択科目［換算科目（【留学先名】短期留学）］（１単位×４科目まで）、2024年度以降入学者は、「学外ドイツ語活動」（２単位×２科目まで）として認定されます。
英語研修	一研修につき、「English」として１単位×４科目まで認定されます。

英 語 学 科

英語研修	一研修につき、2023年度以前入学者は「Communication Skills」、2024年度以降入学者は、「Communication Seminar」（各２単位×２科目まで）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」または「Communication Seminar」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（４単位まで）として認定されます。
ドイツ語研修 フランス語研修 スペイン語研修 中国語研修 韓国語研修	一研修につき、全学共通授業科目の選択科目（外国語部門（英語以外））「【言語名】」（4単位まで×1科目）として認定されます。 ただし、第二外国語としては認定されません。

フランス語学科

フランス語研修	一研修につき、2019年度入学者は、卒業要件外科目「フランス語」（１単位×４科目まで）、2020年度以降入学者は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（１単位×４科目まで）として認定されます。
英語研修	一研修につき、「English」として１単位×４科目まで認定されます。

交流文化学科

【英語】

英語研修	一研修につき、2023年度以前入学者は学科共通科目の「Communication Skills」、2024年度以降入学者は学科専門科目の「Discussion」（各２単位×２科目まで）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」または「Discussion」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（４単位まで）として認定されます。

【第二外国語（英語プラス１言語）】

卒業要件外科目として認定されます。ただし、下記科目を第二外国語（英語プラス１言語）として過去に履修登録し、単位認定時に未修得の場合は、以下に記載している順番に１単位×４科目まで振り替えます。

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
ドイツ語研修	1	ドイツ語（Ⅰa 総合１）	6	ドイツ語（Ⅰb 総合３）	11	ドイツ語（Ⅱb 総合２）
	2	ドイツ語（Ⅰa 総合２）	7	ドイツ語（Ⅱa 総合１）	12	ドイツ語（Ⅱb 総合３）
	3	ドイツ語（Ⅰa 総合３）	8	ドイツ語（Ⅱa 総合２）	13	ドイツ語（Ⅲa 応用）
	4	ドイツ語（Ⅰb 総合１）	9	ドイツ語（Ⅱa 総合３）	14	ドイツ語（Ⅲb 応用）
	5	ドイツ語（Ⅰb 総合２）	10	ドイツ語（Ⅱb 総合１）		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
フランス語研修	1	フランス語（Ⅰa 総合１）	6	フランス語（Ⅰb 応用）	11	フランス語（Ⅱb 総合２）
	2	フランス語（Ⅰa 総合２）	7	フランス語（Ⅱa 総合１）	12	フランス語（Ⅱb 応用）
	3	フランス語（Ⅰa 応用）	8	フランス語（Ⅱa 総合２）	13	フランス語（Ⅲa 応用）
	4	フランス語（Ⅰb 総合１）	9	フランス語（Ⅱa 応用）	14	フランス語（Ⅲb 応用）
	5	フランス語（Ⅰb 総合２）	10	フランス語（Ⅱb 総合１）		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
スペイン語研修	1	スペイン語（Ⅰa 総合１）	6	スペイン語（Ⅰb 会話）	11	スペイン語（Ⅱb 会話２）
	2	スペイン語（Ⅰa 総合２）	7	スペイン語（Ⅱa 会話１）	12	スペイン語（Ⅱb 総合）
	3	スペイン語（Ⅰa 会話）	8	スペイン語（Ⅱa 会話２）	13	スペイン語（Ⅲa 応用）
	4	スペイン語（Ⅰb 総合１）	9	スペイン語（Ⅱa 総合）	14	スペイン語（Ⅲb 応用）
	5	スペイン語（Ⅰb 総合２）	10	スペイン語（Ⅱb 会話１）		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
中国語研修	1	中国語（Ⅰa 講読･文法）	6	中国語（Ⅰb 会話２）	11	中国語（Ⅱb 会話１）
	2	中国語（Ⅰa 会話１）	7	中国語（Ⅱa 講読･文法）	12	中国語（Ⅱb 会話２）
	3	中国語（Ⅰa 会話２）	8	中国語（Ⅱa 会話１）	13	中国語（Ⅲa 応用）
	4	中国語（Ⅰb 講読･文法）	9	中国語（Ⅱa 会話２）	14	中国語（Ⅲb 応用）
	5	中国語（Ⅰb 会話１）	10	中国語（Ⅱb 講読･文法）		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
韓国語研修	1	韓国語（Ⅰa 総合１）	6	韓国語（Ⅰb 応用）	11	韓国語（Ⅱb 総合２）
	2	韓国語（Ⅰa 総合２）	7	韓国語（Ⅱa 総合１）	12	韓国語（Ⅱb 応用）
	3	韓国語（Ⅰa 応用）	8	韓国語（Ⅱa 総合２）	13	韓国語（Ⅲa 応用）
	4	韓国語（Ⅰb 総合１）	9	韓国語（Ⅱa 応用）	14	韓国語（Ⅲb 応用）
	5	韓国語（Ⅰb 総合２）	10	韓国語（Ⅱb 総合１）		

国際教養学部

研修に参加した翌学期に卒業要件外科目として認定されます。ただし、次の条件を満たす場合は、記載している表の科目を１単位×４科目まで（ただし、英語上級、英語演習Ⅱ、上級英語演習Ⅰ、上級英語演習Ⅱ、スペイン語上級、中国語上級、韓国語上級は２単位×２科目まで）卒業要件単位として振り替えることができます。

- 当該科目を未修得であること。
- 振り替えることができる科目は、研修に参加した学期までに当該学生が履修可能な科目に限る。
- ５学期に研修に参加した場合、英語上級は１科目２単位まで振り替え可とする。

該当科目への振替申請は、各学期の履修登録期間に行ってください。
研修修了者であっても、認定単位が成績通知表に記載されていない時点（認定確定前）での振替申請はできません。

【2023年度以前入学者】

		履修可能学期	科　目　名
英語研修	1から7学期で研修に参加	1	英語Ⅰ（IE)、(W)、(S)
		2	英語Ⅱ（IE)、(W)、(S)
		3	英語Ⅲ（IE)、(W)
		4	英語Ⅳ（IE)、(W)
		5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ

		履修可能学期	科　目　名
スペイン語研修	1から7学期で研修に参加	1	スペイン語Ⅰ（総合１)、(総合２)、(入門)、(会話)
		2	スペイン語Ⅱ（総合１)、(総合２)、(基礎表現)、(会話)
		3	スペイン語Ⅲ（総合)、(講読)、(会話１)、(会話２)
		4	スペイン語Ⅳ（総合)、(講読)、(会話１)、(会話２)
		5	スペイン語上級

		履修可能学期	科　目　名
中国語研修	1から7学期で研修に参加	1	中国語Ⅰ（総合１)、(総合２)、(入門)、(会話)
		2	中国語Ⅱ（総合１)、(総合２)、(基礎表現)、(会話)
		3	中国語Ⅲ（総合)、(講読)、(会話１)、(会話２)
		4	中国語Ⅳ（総合)、(講読)、(会話１)、(会話２)
		5	中国語上級

		履修可能学期	科　目　名
韓国語研修	1から7学期で研修に参加	1	韓国語Ⅰ（文法・読解１)、(文法・読解２)、 (コミュニケーション１)、(コミュニケーション２)
		2	韓国語Ⅱ（文法・読解１)、(文法・読解２)、 (コミュニケーション１)、(コミュニケーション２)
		3	韓国語Ⅲ（文法・読解１)、(文法・読解２)、 (コミュニケーション１)、(コミュニケーション２)
		4	韓国語Ⅳ（文法・読解１)、(文法・読解２)、 (コミュニケーション１)、(コミュニケーション２)
		5	韓国語上級

【2024年度以降入学者】

		履修可能学期	科　目　名
英語研修	1から7学期で研修に参加	1	英語Ⅰ（IE）、（W）、（S）
		2	英語Ⅱ（IE）、（W）、（S）
		3	英語Ⅲ（IE）、（EP）
		4	英語Ⅳ（IE）、（EP）
		5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ

		履修可能学期	科　目　名
スペイン語研修	1から7学期で研修に参加	1	スペイン語Ⅰ（総合１）、（総合２）、（入門）、（会話）
		2	スペイン語Ⅱ（総合１）、（総合２）、（基礎表現）、（会話）
		3	スペイン語Ⅲ（総合）、（講読）、（会話１）、（会話２）
		4	スペイン語Ⅳ（総合）、（講読）、（会話１）、（会話２）
		5・6	スペイン語上級

		履修可能学期	科　目　名
中国語研修	1から7学期で研修に参加	1	中国語Ⅰ（総合１）、（総合２）、（入門）、（会話）
		2	中国語Ⅱ（総合１）、（総合２）、（基礎表現）、（会話）
		3	中国語Ⅲ（総合）、（講読）、（会話１）、（会話２）
		4	中国語Ⅳ（総合）、（講読）、（会話１）、（会話２）
		5・6	中国語上級

		履修可能学期	科　目　名
韓国語研修	1から7学期で研修に参加	1	韓国語Ⅰ（文法・読解１）、（文法・読解２）、 （コミュニケーション１）、（コミュニケーション２）
		2	韓国語Ⅱ（文法・読解１）、（文法・読解２）、 （コミュニケーション１）、（コミュニケーション２）
		3	韓国語Ⅲ（文法・読解１）、（文法・読解２）、 （コミュニケーション１）、（コミュニケーション２）
		4	韓国語Ⅳ（文法・読解１）、（文法・読解２）、 （コミュニケーション１）、（コミュニケーション２）
		5・6	韓国語上級

経 済 学 部

研修に参加した翌学期に、卒業要件単位として以下の通り単位認定します。

研修区分	単位認定対象科目	単位認定数
英語研修	English（全カリ選択科目）	一研修につき、１単位×４科目まで
ドイツ語研修	ドイツ語	一研修につき、１単位×４科目まで
フランス語研修	フランス語	一研修につき、１単位×４科目まで
スペイン語研修	スペイン語	一研修につき、１単位×４科目まで
中国語研修	中国語	一研修につき、１単位×４科目まで
韓国語研修	韓国語	一研修につき、１単位×４科目まで

法　学　部

研修に参加した翌学期に、以下の通り単位認定します。ただし、翌学期に振り替える科目がない場合は、卒業要件外科目として認定します。

なお、英語研修修了者であっても、認定単位が成績通知表に記載されていない時点（認定確定前）において必修の英語科目の履修登録を削除することはできません。

研修区分	振り替え対象科目	単位認定数
ドイツ語研修	ドイツ語Ⅰまたは Ⅱの単位として振り替え	一研修につき４単位まで
英語研修	Englishの単位として振り替え	一研修につき４単位まで
フランス語研修	フランス語Ⅰまたは Ⅱの単位として振り替え	一研修につき４単位まで
スペイン語研修	スペイン語Ⅰまたは Ⅱの単位として振り替え	一研修につき４単位まで
中国語研修	中国語Ⅰまたは Ⅱの単位として振り替え	一研修につき４単位まで
韓国語研修	韓国語Ⅰまたは Ⅱの単位として振り替え	一研修につき４単位まで

長期留学　プランニングから留学出発まで

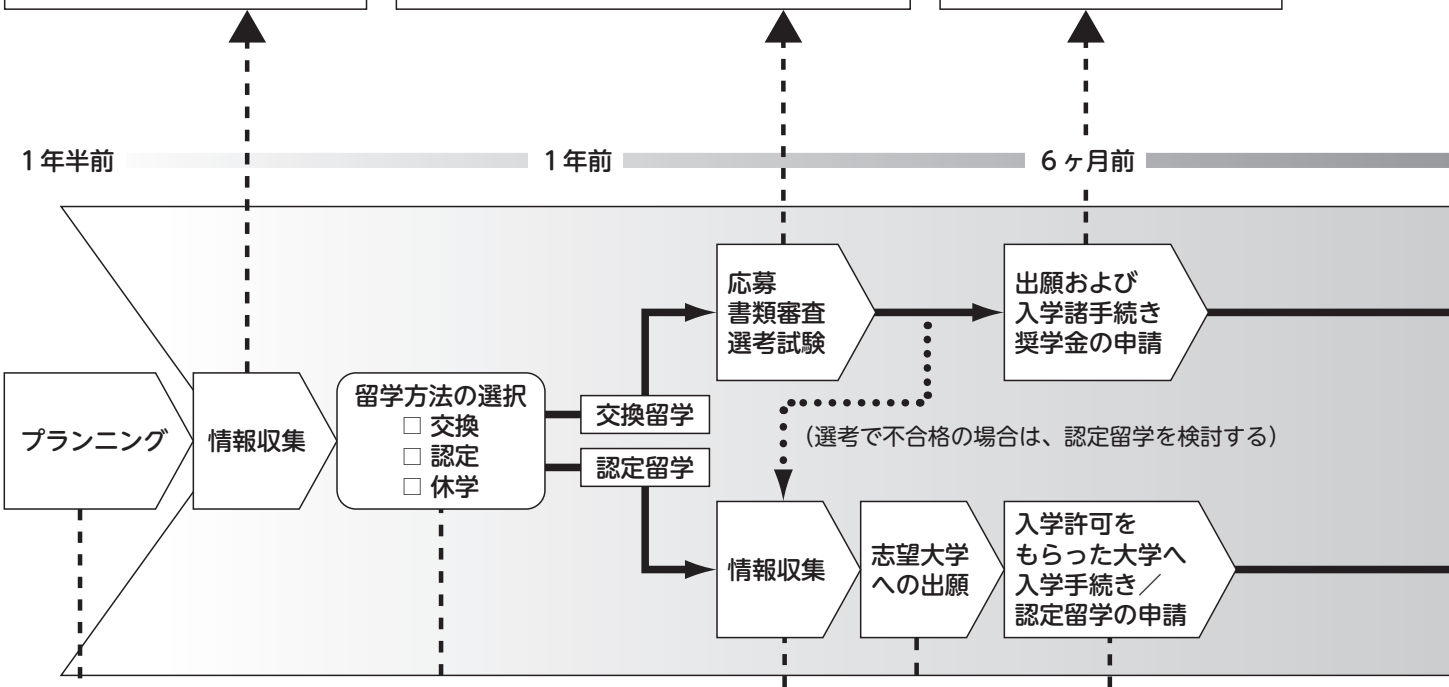
情報収集
必要な情報を入手し、留学方法・留学先候補を決めましょう。
□各国(大使館)のHP
□留学情報誌
□留学フェア参加(JASSO／各国大使館の主催)
□国際交流センター・PorTaⅡ掲示板およびHP
□国際交流センターで留学相談

交換留学の応募（P.40）
□募集説明会に参加
□資格・条件・応募書類・締切日確認

書類審査・選考試験
書類審査…応募条件を満たすかを審査
↓
選考試験…語学力に加え、明確な留学目的の有無、交換留学生としての適性を審査
※フランス語圏は筆記と面接、それ以外の言語圏は面接のみ

交換留学出願・入学手続き
□国際交流センターにて個別指導を受ける
□必要書類・締切日確認

留学直前学期履修相談
□各学科国際交流委員から指導を受ける



留学プランニング（P.2~9）
以下のポイントを明確にして計画を立てましょう
□目的
□時期／期間
□留学先
□進路／経験の活かし方
□必要な語学力／向上計画
□必要な知識・スキル（P.17参考）
□必要経費・資金計画
□奨学金（P.76）

留学方法の選択

交換留学へチャレンジ
□留学目的が協定校で達成できる
□交換留学の応募条件を満たすことができる(P.40~)

認定留学へチャレンジ
□協定校以外の大学のほうが留学の目的を達成できる
□認定留学の申請条件を満たすことができる(P.68~)

休学して海外体験
□主な目的が語学研修／ワーキングホリデー／インターンシップ／ボランティア等である
→所定の手続きにより本学授業料免除

留学先の選択
インターネット・ガイドブック等で情報収集
□入学条件
□学部・学科・科目
□立地条件・生活環境
□必要経費
□奨学金
□出願締切日
↓
決定・出願

留学前に行うこと（P.80～）
- □ 個別ガイダンス（国際交流センター）
- □ 単位振替事前相談（教務課）（P.88～）
- □ 長期留学予定者のための就職ガイダンス（キャリアセンター）
- □ 海外安全対策セミナー（７月・１月）（出席必須）
- □ 獨協大学国際奨学金（交換留学生、グローバルチャレンジ）申請（P.76）
- □ 奨学金各種手続き（学生課）
- □ 事前研修（P.81）

奨学金（P.76）

渡航手続き（P.82～）
- □ パスポート・ビザ取得
- □ 渡航先の入国・行動制限措置、安全情報等の確認と準備
- □ 航空券予約
- □ 健康診断・歯科検診
- □ 本学指定海外旅行保険等への加入
- □ 出発日程をPorTaⅡに入力

留学情報サイト

日本学生支援機構（JASSO）海外留学情報サイト
https://ryugaku.jasso.go.jp/
ドイツ大学検索サイト
https://www.hochschulkompass.de
スイス大学検索サイト
https://www.studyprogrammes.ch/
アメリカ大学検索サイト
https://educationusa.jp
https://www.petersons.com/
https://bigfuture.collegeboard.org/college-search
Study UK：Discover You
https://study-uk.britishcouncil.org/
カナダ留学情報
https://www.educanada.ca/index.aspx?lang=jpn
オーストラリア留学情報
https://www.studyaustralia.gov.au/ja
ニュージーランド留学情報
https://www.studywithnewzealand.govt.nz/ja
フランス政府留学局（Campus France）日本支局サイト
https://www.japon.campusfrance.org/ja
スペイン大学検索サイト
https://www.studying-in-spain.com/
メキシコ大学検索サイト
http://www.anuies.mx/anuies/instituciones-de-educacion-superior/
Study in China
https://www.studyinchina.edu.cn
Study in Taiwan
https://www.studyintaiwan.org
Study in Korea
http://www.studyinkorea.go.kr/en/main.do

３ヶ月前　**１～２ヶ月前**

ガイダンス個別指導　**渡航準備**

出発!!

留学先大学への入学手続き
- □ 留学先大学から受入許可通知受領
- □ 入学手続き（ドイツの場合は現地で行う）
  ※留学しない大学へは留学辞退の手続きも忘れずに行う

本学での手続き
- □ 認定留学の申請（P.71）

申請期限
秋学期からの留学…６月末日
春学期からの留学…１月末日

- □ 獨協大学国際奨学金（認定留学生）申請（P.76）
- □ 留学先大学の保険資料提出（留学先大学から指定保険への加入が義務付けられた場合のみ）

本ガイド　参考ページ

主な語学試験	P.8～9
2025年度国際交流センター・年間スケジュール	P.10～11
これまでの認定留学先大学一覧	P.74～75
海外留学奨学金・利用中の奨学金	P.76～79
海外渡航時に役立つサイト	P.119
留学と就職	P.120

交換留学の資格・条件

交換留学については応募時に、次の１. から５. の条件を満たしていることが必要です。

また、交換留学は留学開始時に本学に２学期以上在学（編入学生は１学期以上在学）していることが必要です（ドイツ語、英語、フランス語学科は３学期以上）。加えて、交換留学の場合は応募時から留学直前の学期まで、本学に在学していることが求められます。

※大学院生の場合は資格・条件が異なるため、大学院事務室にお問い合わせください。

１．修得単位数

応募時に次に掲げる各学科所定の単位を修得していること。

2024年度以降入学者

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
１学期											
２学期	16単位以上*注	16単位以上*注	16単位以上（「フランス語Ⅰ」5単位、基礎演習部門より2単位を含む）**注	16単位以上	16単位以上（外国語科目６単位を含む）	16単位以上（英語科目３単位を含む）			16単位以上		
３学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」10単位、基礎演習部門より4単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目６単位を含む）			32単位以上		
４学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」15単位、基礎演習部門より6単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目８単位を含む）			48単位以上		
５学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、基礎演習部門より8単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習２単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
６学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ」2単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習４単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
７学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習４単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
８学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習４単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

＊注：留学開始時期は４学期目以降とする。
＊＊注：留学開始時期は4学期目以降とする。また2学期目終了時に進級要件を満たしていない場合は、書類選考不合格（学内選考日程の都合により、面接選考を通過している場合でも遡って書類選考不合格）とする。

2023年度以前入学者

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期	16単位以上*注	16単位以上*注	16単位以上（「フランス語Ⅰ」6単位を含む）**注	16単位以上	16単位以上（外国語科目6単位を含む）	16単位以上（英語科目3単位を含む）			16単位以上		
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」12単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」18単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」2単位、「演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

＊注：留学開始時期は4学期目以降とする。
＊＊注：留学開始時期は4学期目以降とする。また2学期目終了時に進級要件を満たしていない場合は、書類選考不合格（学内選考日程の都合により、面接選考を通過している場合でも遡って書類選考不合格）とする。

2．評定平均値（GPA）

応募までの獨協大学における修得科目の評定平均値（GPA）が**2.30以上**であること（小数点以下第3位を四捨五入※）。

GPAの計算は次の方法で行います。自分の正確なGPAを把握するため、学期末に通知される成績通知表は必ず全部保管しておきましょう（成績証明書にはFと×の科目は記載されないので、注意してください。×は2023年度まで使用されていたものです）。

教職・司書・司書教諭課程科目ならびに各学科の学則別表のうち、卒業に必要な単位に算入できないと定められている科目は計算から除きます。　※2018年度以前入学者は小数点以下第2位を四捨五入。

$$\text{GPA}=\frac{(\text{AAの単位数}\times 4+\text{Aの単位数}\times 3+\text{Bの単位数}\times 2+\text{Cの単位数}\times 1)}{\text{総登録単位数（累計）}}$$

…「総登録単位数」は、Fと×の科目を含むが、Pの科目は除く。

※交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。
〈例〉マンチェスター大学3.0以上、ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校2.75以上等

3．語学力

P.44～47の「2026年度交換留学募集要項」の「語学力の条件」欄を参照のこと。

4．留学先の条件

所属する学部学科の授業科目と関連のあるコース、学科への留学であること、かつ所属学部学科が定める以下の条件を満たしていることが必要となります。

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
言語圏	制限なし	制限なし	フランス語圏	制限なし	制限なし	制限なし			制限なし		
教授言語	ドイツ語または英語	英語	フランス語	制限なし	英語 スペイン語 中国語 韓国語　等	制限なし			制限なし		
留学期間	２学期間を原則とするが、１学期間も可										

5．交換留学の期間

交換留学の期間は、１学期間または２学期間です。留学期間は本学の学期に合わせて取り扱われ、以下の期間となります。

- １学期間の留学：春学期または秋学期の１学期間（留学先での学修期間は３ヶ月以上）
- ２学期間の留学：春学期～秋学期、または秋学期～翌年春学期の２学期間（留学先での学修期間は６ヶ月以上）

※協定校の学事日程と本学の学事日程にずれがある場合、希望する時期からの留学ができない場合もあるので注意してください。例えば、アメリカや英国の大学の多くは、春学期が１月に開始となり、本学の秋学期日程と重なるため、春学期から留学を開始することはできません。

※留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くても１ヶ月以内に）帰国してください。

１学期間の留学に関する注意事項

①１学期間のみの受け入れを認めている協定校に限り応募が可能です。募集対象校は説明会等でお知らせします。

②同じ大学に対し、２学期間と１学期間の両方で応募することはできません。ただし、大学が異なれば、併願は可能です。

③各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において２学期間の留学志願者を優先する場合があります。

「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」とは

本学の交換留学プログラムは「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」の育成を目的としています。

この交換留学プログラムが目指す 「しなやかさ」とは、異質な文化や考え方を寛容に柔軟に受けとめる力であり、他者を助ける用意がある心の広さです。そして「逞しさ」とは、さまざまなバックグラウンドを持つ人々と物怖じせずにつきあうことができ、自らの主張を積極的に発信し、行動に変えることのできる力です。海外での学習を通して、この両方の力をバランスよく併せもつとともに、豊かな語学力、コミュニケーション能力、主体性、異文化理解の精神を備えた人材の育成を目指します。留学先では日本文化を発信し、日本の理解者を世界中に増やす“アンバサダー”として、留学終了後は他の学生を牽引するリーダーとして本学のグローバル化推進の原動力となる等、国内外問わずグローバルな環境下で自ら行動し活躍できる人材へと成長することを期待しています。

事前・事後研修について

交換留学生は、プログラム趣旨や留学目的を再確認し、充実した留学生活を送るための準備としての事前研修、留学後には留学で得た学びと経験を振り返るとともに、さらにそれぞれが次のステップに向け学修計画をブラッシュアップするための事後研修の参加を必須とします（本ガイドP.81およびP.86参照）。

交換留学の応募方法

長期留学の資格・条件および交換留学募集要項を熟読し、自分が条件を満たしているかを確かめた上で、以下「提出書類」の①～④（留学先により⑤⑥も）を揃え、応募締切日までに国際交流センターに提出してください。

応募締切日の目安はP.10の2025年度国際交流センター・年間スケジュールを参照してください。日程の詳細はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］および国際交流センター掲示板で確認してください。

提　出　書　類

所定様式はPorTaⅡダウンロードセンター ＞ 留学支援 ＞ 留学関連提出書類 ＞ 交換留学応募書類からダウンロードしてください。

①長期留学志願書（所定様式）
②誓約書（所定様式。本人および保証人の署名・捺印が必要）
③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからのダウンロード可）
④必要とされる語学力証明書（有効期限内のものに限る、コピー可）
⑤志望理由書（所定様式。ドイツ語圏、英語圏、韓国への応募者のみ）
⑥留学先での履修計画（所定様式。英語圏、韓国への応募者のみ）

長期留学志願書には、演習指導教員（またはクラス担任）の署名、面談時の所見が必要です。必ず事前に指導教員に相談をし、承認を得てから応募してください。応募の際は事前に教務課の確認印をもらった上で提出してください。

交換留学応募における注意点

①選考は、第一次の書類審査（フランス語圏は筆記試験も実施、P.61～62参照）と第二次の面接選考により行います。面接選考は主に（1）語学能力、（2）コミュニケーション能力、（3）研究計画・専門知識、（4）留学への意欲、の観点から評価します。
長期留学志願書には、第１希望、第２希望の協定校名を記載できますが、応募状況や語学力によっては、それ以外の協定校に内定する場合があります。
②各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において２学期間の留学志願者を優先する場合があります。
③提出書類である語学力の証明書を応募締切日までに提出できるよう、語学試験の証明書が手元に届く日を確認の上、受験日を設定しましょう。
④交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。また、GPA要件は応募書類提出時に満たしていなければなりません。
⑤応募書類提出後に、留学先・留学期間・留学開始時期の変更はできません。
⑥面接結果発表後に留学を辞退した場合は、原則として同じ派遣年度※の募集には応募できません。
⑦面接で不合格となった場合は、同じ派遣学期の二次・三次募集には応募できません。ただし、面接において交換留学生としての資質は有しているが派遣定員超過を理由に不合格となった場合は、再応募することができます。

※上記⑥で示す「派遣年度」とは、留学先の学事カレンダーに基づく学年度です。派遣始期が２通りある大学においても、「派遣年度」はあくまでも留学先大学の「学年度」を意味します（獨協大学の学年度は４月～翌年３月）。不明な場合は、国際交流センターで確認してください。

2026年度交換留学募集要項

No	国・地域名	大学・機関名	出発		募集人数	授業料		派遣開始時期
			秋	春		派遣先	本学	
1	ドイツ	イェーナ大学	○	○	2	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
2	ドイツ	デュースブルク=エッセン大学	○	○	4	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
3	ドイツ	デュッセルドルフ大学	○	○	2	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
4	ドイツ	ハイデルベルク大学	○	○	2	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
5	ドイツ	ハレ=ヴィッテンベルク大学	○	○	2	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
6	ドイツ	ヒルデスハイム大学	○	○	2	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
7	ドイツ	フランクフルト大学	○	○	2	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
8	ドイツ	ブレーメン専門単科大学	○	○	2※	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
9	ドイツ	ベルリン自由大学	○	○	2	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
10	ドイツ	マールブルク大学	○	○	5	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
11	ドイツ	ミュンスター大学	○	○	3※	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
12	ドイツ	リューネブルク大学	○	○	2	要	免除	2026年 3月～ 2026年 9月～
13	ドイツ	レーゲンスブルク大学	○	○	3※	要	免除	2026年 4月～ 2026年10月～
14	スイス	バーゼル大学	○	○	2※	要	免除	2026年 2月～ 2026年 9月～
15	アメリカ	ウィスコンシン大学 スティーブンス・ポイント校	○	×	2	免除	要	2026年 8月～
16	アメリカ	カリフォルニア大学 デービス校	○	○	10	要	免除	2026年 4月～ 2026年 9月～
17	アメリカ	カリフォルニア州立大学 モントレー・ベイ校	○	×	3	免除	要	2026年 8月～
18	アメリカ	サンフランシスコ州立大学	○	×	2	要	免除	2026年 8月～
19	英国	エセックス大学	○	×	7	要	免除	2026年10月～
20	英国	カーディフ大学	○	×	2	免除	要	2026年 9月～
21	英国	ニューカッスル大学	○	×	3	免除	要	2026年 9月～
22	英国	マンチェスター大学	○	×	3	免除	要	2026年 9月～
23	カナダ	フレーザーバレー大学	○	×	―	免除	要	募集予定なし
24	カナダ	ヨーク大学	○	×	1	免除	要	2026年 9月～
25	カナダ	レジャイナ大学	○	×	3※	免除	要	2026年 9月～

	語学力の条件		成績条件（GPA）	選考方法 第一次	選考方法 第二次	備考
	1）	1） Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定２級以上 ただし、学部科目の履修には原則としてB１以上が必要。B１に満たない場合は留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加 2） Goethe-Zertifikat B1以　上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準１級以上 ※各協定校の個別の応募条件は年度の途中で変更が生じる場合あり	2.30	書類審査	ドイツ語と日本語による面接	
	1）					
	1）					
	1）					
	1）					
	2）					
	2）					※教授言語が英語によるプログラムへの応募が可能 語学力の条件： 国際交流センターにお問い合わせください。
	1）					※教授言語が英語によるプログラムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 5.5以上または TOEFL iBT® 71以上
	1）					
	1）					
	2）					※教授言語が英語によるプログラムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 543／ iBT® 72以上
	1）					
	1）					※教授言語が英語によるプログラムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 80以上
	2）					※教授言語が英語によるプログラムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 72以上
	IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 78以上		2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
	①IELTS 6.5以上または TOEFL ITP® 550/iBT® 80以上 ②IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 530/iBT® 71以上		2.30	書類審査	英語と日本語による面接	語学力条件の①は学部科目履修の場合、②は指定されたコミュニケーション関連の科目（１科目）履修が必須。
	IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 500/iBT® 61以上		2.30	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 500/iBT® 61以上		2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.0以上		2.30	書類審査	英語と日本語による面接	１学期間のみの留学は不可
	IELTS 6.0以上		2.30	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上（6.0も可）		3.00	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上		3.00	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上または TOEFL iBT® 88以上		2.50	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上または TOEFL iBT® 83以上		2.30	書類審査	英語と日本語による面接	

注１）各語学力の条件は、原則として交換留学内定後の派遣先大学への出願締切日より遡って２年以内に取得したものを有効とします。
注２）英語圏は協定校により上記以外にもさまざまな出願要件があるので、各協定校のページを確認した後、最新の要件を応募前に必ず国際交流センターで確認してください（例：IELTSのバンドスコア要件、学部・学科により異なる語学力条件、GPA要件、履修可能なコースなど）。

2025年度交換留学募集要項

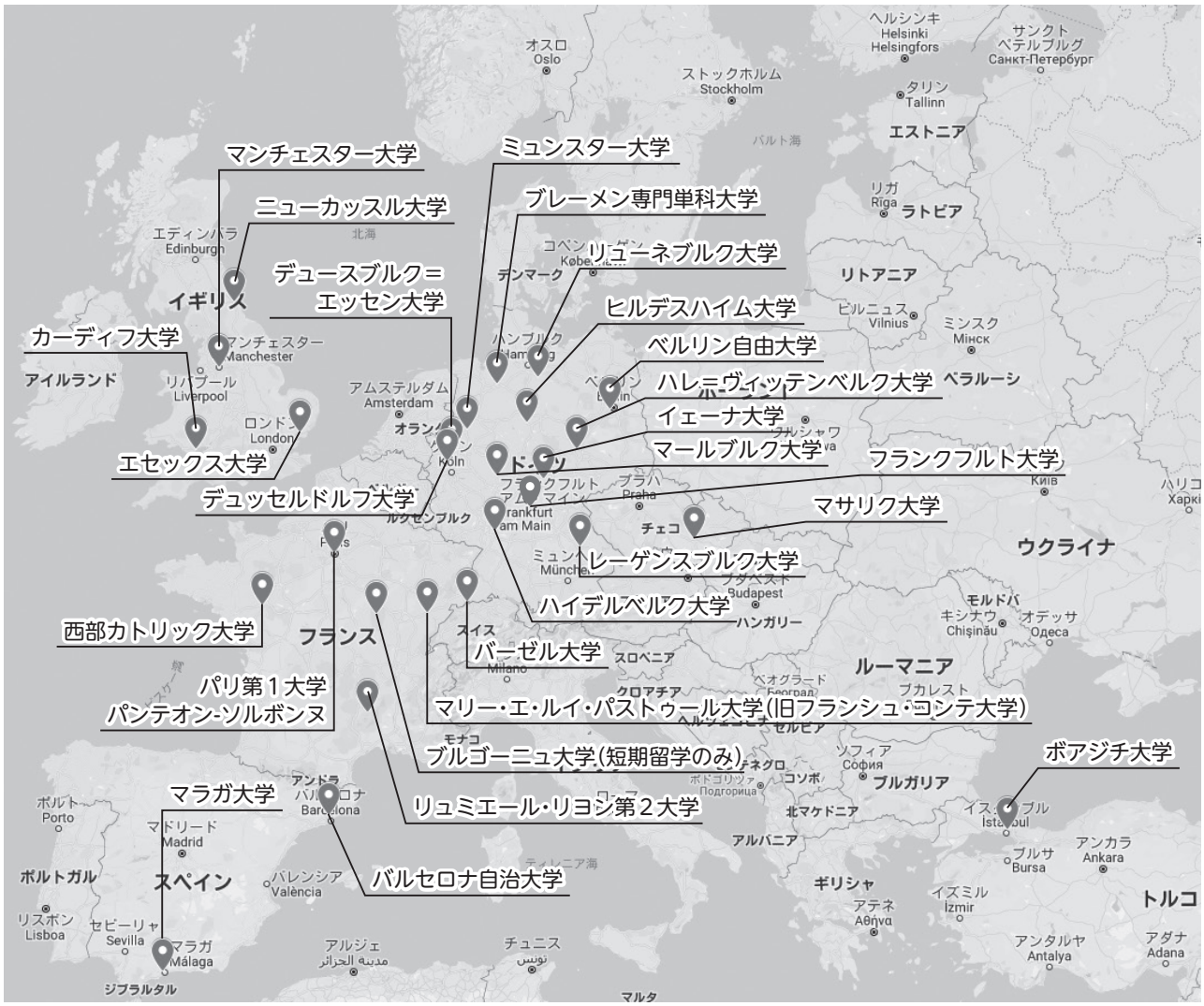
No	国・地域名	大学・機関名	出発		募集人数	授業料		派遣開始時期
			秋	春		派遣先	本学	
26	ジャマイカ	西インド諸島大学モナ校	○	×	2	免除	要	2026年 9月～
27	オーストラリア	ウーロンゴン大学	×	○	3	要	免除	2026年 2月～
28	オーストラリア	サザンクロス大学	×	○	ー	免除	要	募集予定未定
29	オーストラリア	サンシャインコースト大学	×	○	ー	免除	要	募集予定なし
30	インドネシア	ビヌス大学	○	○	5	免除	要	2026年 2月～ 2026年 9月～
31	トルコ	ボアジチ大学	○	○	3	免除	要	2026年 9月～ 2027年 2月～
32	チェコ	マサリク大学	○	○	2	免除	要	2026年 9月～
33	ウズベキスタン	ウズベキスタン国立世界言語大学	○	×	ー	免除	要	2026年 9月～
34	フランス	西部カトリック大学	○	○	4	要	免除	2026年 2月～
					2			2026年10月～
35	フランス	パリ第１大学 パンテオン-ソルボンヌ	○	×	2	免除	要	2026年 9月～
36	フランス	マリー・エ・ルイ・パストゥール大学（旧フランシュ・コンテ大学）	○	×	4	免除	要	2026年 9月～
37	フランス	リュミエール・リヨン第２大学	○	○	4	要	免除	2026年 2月～
								2026年 9月～
38	スペイン	バルセロナ自治大学	○	×	2	免除	要	2026年 9月～
39	スペイン	マラガ大学	○	×	2	免除	要	2026年 9月～
40	メキシコ	グアダラハラ大学	○	×	3	免除	要	2026年 8月～
41	中国	華東師範大学	○	○	1	免除※	要	2026年 2月～ 2026年 9月～
42	中国	大連理工大学	○	○	5	免除	要	2026年 2月～ 2026年 9月～
43	中国	北京師範大学	○	○	2	免除	要	2026年 2月～ 2026年 9月～
44	台湾	国立台南大学	○	○	3	免除	要	2026年 2月～ 2026年 9月～
45	台湾	国立高雄科技大学	○	○	2	免除	要	2026年 2月～ 2026年 9月～
46	台湾	東呉大学	○	○	2	免除	要	2026年 2月～ 2026年 9月～
47	韓国	仁荷（イナ）大学	○	○	3	免除	要	2026年 2月～ 2026年 8月～
48	韓国	慶熙（キョンヒ）大学	○	○	3	免除	要	2026年 2月～ 2026年 8月～
49	韓国	建国（コングク）大学	○	○	3	免除	要	2026年 2月～ 2026年 8月～
50	韓国	西江（ソガン）大学	○	○	1	免除	要	2026年 2月～ 2026年 8月～
51	韓国	成均館（ソンギュングァン）大学	○	○	3	免除	要	2026年 2月～ 2026年 8月～
52	韓国	誠信（ソンシン）女子大学	○	○	2	免除	要	2026年 2月～ 2026年 8月～
53	韓国	大邱（テグ）カトリック大学	○	○	3	免除	要	2026年 2月～ 2026年 8月～

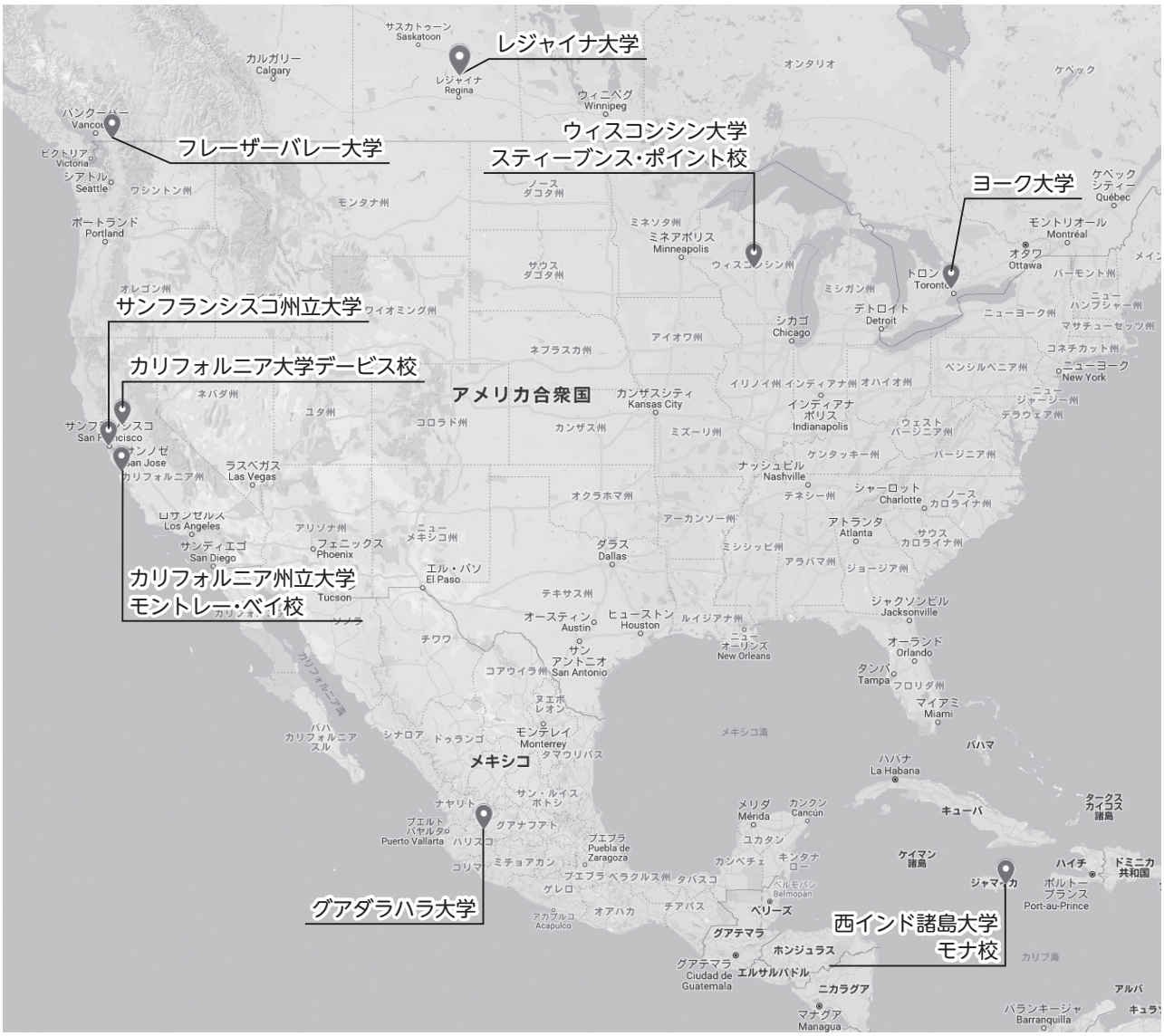
	語学力の条件	成績条件（GPA）	選考方法 第一次	選考方法 第二次	備考
	IELTS 6.5以上または TOEFL ITP® 500/iBT® 82以上	3.00	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 79以上	2.70	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上または TOEFL iBT® 79以上	2.30	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 550/iBT® 79以上	2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上または TOEFL iBT® 79以上	2.30	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 5.5以上または TOEFL iBT® 70以上	2.50	書類審査	英語と日本語による面接	
	実用フランス語技能検定２級程度	2.30	書類審査 筆記試験	フランス語と日本語による面接	
	DELFまたはTCF B2以上	2.30	書類審査	フランス語と日本語による面接	
	【語学留学】 実用フランス語技能検定２級程度 【学部留学】 DELFまたはTCF B2以上	2.30	書類審査 筆記試験 （注）	フランス語と日本語による面接	（注）語学留学のみ筆記試験を実施
	実用フランス語技能検定２級程度	2.30	書類審査 筆記試験	フランス語と日本語による面接	
	DELE B1程度	2.30	書類審査	スペイン語と日本語による面接	
	【語学留学】 中国語検定３級以上または HSK３級以上 【学部留学】 HSK５級180点以上	【語学留学】 2.30 【学部留学】 3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	※語学留学の場合、コースによっては授業料の自己負担あり
	【語学留学】 中国語検定３級以上または HSK３級以上 【学部留学】 HSK５級180点以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
	HSK５級180点以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
	中国語検定３級以上または HSK３級以上	2.30	書類審査	中国語と日本語による面接	
	中国語検定２級以上、 HSK５級180点以上、 TOCFL Level ３以上または TECC C以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
	中国語検定３級以上または HSK３級以上	2.30	書類審査	中国語と日本語による面接	
	「ハングル」能力検定試験３級または韓国語能力試験（TOPIK）３級程度※	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	※一部学科はTOPIK3級以上
	韓国語能力試験（TOPIK）５級以上	2.50	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	「ハングル」能力検定試験３級または 韓国語能力試験（TOPIK）３級程度	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	韓国語能力試験（TOPIK）４級以上	3.20	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	「ハングル」能力検定試験３級または 韓国語能力試験（TOPIK）３級程度	2.50	書類審査	韓国語と日本語による面接	
		2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
		2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	

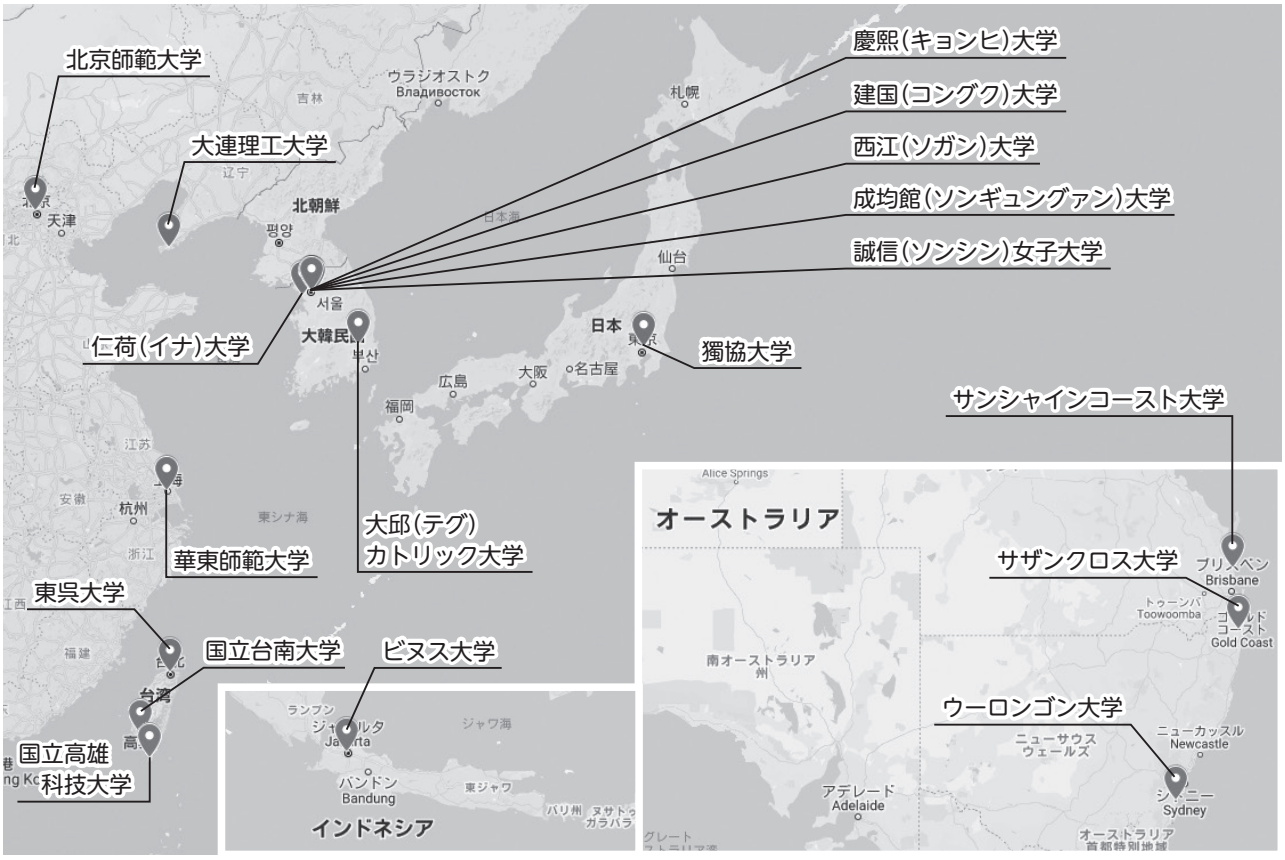
協定校情報

記載されている情報は2025年３月時点のものです。協定校の方針により応募条件等が変更となる場合があるので、詳細かつ最新の情報は各大学のHPまたは国際交流センターで確認してください。

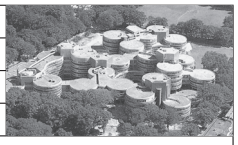
①協定校の追加、応募資格の変更、募集開始・停止等の情報は、言語圏別の交換留学説明会でお知らせします。
②派遣期間は各大学の学年暦により、多少前後する場合があります。
③協定校により、派遣留学生の留学先における所属や履修可能な科目または条件が定められていることがあります。
　留学先の条件等については、各大学のHPまたは国際交流センターで確認してください。
④授業料のほかに留学経費として登録費などの支払いが必要な大学もあります。
⑤留学先国・地域の情勢により、募集の中止、または内定後であっても派遣の中止を行う場合があります。




レジャイナ大学
フレーザーバレー大学
ウィスコンシン大学
スティーブンス・ポイント校
ヨーク大学
サンフランシスコ州立大学
カリフォルニア大学デービス校
カリフォルニア州立大学
モントレー・ベイ校
グアダラハラ大学
西インド諸島大学
モナ校
アメリカ合衆国
メキシコ


北京師範大学
大連理工大学
慶熙（キョンヒ）大学
建国（コングク）大学
西江（ソガン）大学
成均館（ソンギュングァン）大学
誠信（ソンシン）女子大学
仁荷（イナ）大学
獨協大学
サンシャインコースト大学
大邱（テグ）
カトリック大学
華東師範大学
東呉大学
国立台南大学
ビヌス大学
国立高雄
科技大学
サザンクロス大学
ウーロンゴン大学
北朝鮮
大韓民国
日本
オーストラリア
インドネシア

ドイツ	大学名	**イェーナ大学**		
		Friedrich-Schiller-Universität Jena		
	URL	https://www.uni-jena.de/		
	大学設立年	1558年	協定締結年 2022年	
	所在地	Fürstengraben 1, 07743 Jena, Deutschland		
	大学紹介	1558年設立のフリードリヒ・シラー大学イェーナ（通称：イェーナ大学）は、ドイツのほぼ中央に位置するテューリンゲン州最大の総合大学である。国内有数の研究所と連携し学際的なプロジェクトに積極的に参加し、50ヶ国以上200を超える大学と協定を結び、共同研究ならびに学生交換を盛んに行っている。 哲学部、社会学部など10の学部を有し、学生数は18,000名。そのうち留学生は約2,500名。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定２級以上　※備考を参照のこと		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	600ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約97,000円
		寮費	3,300～4,600ユーロ	約535,000～746,000円
		食費	2,500～3,000ユーロ	約403,000～486,000円
		教材費	600ユーロ	約98,000円
		その他	3,600ユーロ	約584,000円
		合計	10,600～12,400ユーロ	約1,710,000～1,996,000円
	備考	「外国語としてのドイツ語学科」に所属。語学力がB2以上であれば、学部科目の履修が可能。B2に満たない場合は交換留学生コース（ドイツ語・ドイツ事情）に参加。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。		

ドイツ	大学名	**デュースブルク＝エッセン大学**		
		Universität Duisburg-Essen		
	URL	https://www.uni-due.de		
	大学設立年	1972年	協定締結年 1984年	
	所在地	Campus Duisburg：Forsthausweg 2, 47057 Duisburg, Deutschland Campus Essen：Universitätsstr. 2, 45141 Essen, Deutschland		
	大学紹介	ドイツ中西部のノルトライン＝ヴェストファーレン州の中心部、ライン川沿いのデュースブルク市と隣町エッセン市に２つのキャンパスをもつ総合大学。1991年には東アジア研究科が設立され、日本研究も充実している。2003年にデュースブルク大学とエッセン大学が統合し、デュースブルク＝エッセン大学に改められた。11学部を擁し、総学生数は約40,000名。留学生は130ヶ国から約6,200名におよぶ。隣国オランダ国境にも近く、ケルン、ボンへは鉄道で１時間圏内で交通の便も良い。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	640ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約103,000円
		寮費	3,600～5,400ユーロ	約584,000～875,000円
		食費	2,500～3,400ユーロ	約403,000～551,000円
		教材費	100～500ユーロ	約17,000～81,000円
		その他	2,400～3,400ユーロ	約389,000～551,000円
		合計	9,240～13,340ユーロ	約1,488,000～2,148,000円
	備考	東アジア研究所に所属。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。		

ドイツ	大学名	**デュッセルドルフ大学**		
		Heinrich Heine Universität Düsseldorf		
	URL	https://www.uni-duesseldorf.de/		
	大学設立年	1965年	協定締結年 2019年	
	所在地	Universitätsstraße 1, 40225 Düsseldorf, Deutschland		
	大学紹介	ドイツ西部に位置するノルトライン・ヴェストファーレン州で２番目に大きい州都デュッセルドルフにある総合大学。1907年に設立された医学校を起源とする大学であり、1965年の大学設立時に医学部、数学・自然科学部、芸術人文学部の３学部が設置された。1988年に、デュッセルドルフ出身の詩人ハインリヒ・ハイネにちなんで正式名称をハインリヒ・ハイネ大学デュッセルドルフに変更し、新たに２つの学部を増設した。ハイネの理念に基づき、大学は文化的多元主義、人種および宗教の寛容さ、並びに男女同権を強く支持している。現在、５学部に約35,000人の学生が学ぶ。芸術人文学部の現代日本研究所は、この種の研究所としては、ドイツ最大規模を誇る（学生数：約600名）。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	600ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約97,000円
		寮費	3,600～4,800ユーロ	約584,000～778,000円
		食費	2,500～3,000ユーロ	約405,000～486,000円
		教材費	600ユーロ	約97,000円
		その他	1,700～2,200ユーロ	約276,000～357,000円
		合計	9,000～11,200ユーロ	約1,449,000～1,803,000円
	備考	芸術人文学部内の学科に所属。 留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。		

ドイツ	大学名	**ハイデルベルク大学**		
		Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg		
	URL	https://www.uni-heidelberg.de		
	大学設立年	1386年	協定締結年 2011年	
	所在地	Grabengasse 1, 69117 Heidelberg, Deutschland		
	大学紹介	バーデン＝ヴュルテンベルク州ハイデルベルクにあるドイツ最古の大学。1386年プファルツ選帝侯ループレヒト１世により設立。宗教改革を支持するオットー・ハインリヒ選帝侯の大学改革により、名声を確立。現在550名の教授陣を含め、学者・教員数は約6,500名にもおよぶ。歴史上名高い哲学のフリードリッヒ・ヘーゲル、社会学のマックス・ウェーバーなど著名な学者が数多く教鞭をとった。ハイデルベルクはドイツでも屈指の観光地であるため、人口約16万人の小都市でありながら、休日も店がオープンしインフラ設備が充実するなど、学生が生活するのに非常に便利な街だといえる。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	165ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約27,000円
		寮費	3,360～6,600ユーロ	約545,000～1,070,000円
		食費	1,900～2,500ユーロ	約306,000～405,000円
		教材費	350～500ユーロ	約57,000～81,000円
		その他	3,720～4,920ユーロ	約603,000～798,000円
		合計	9,495～14,685ユーロ	約1,529,000～2,364,000円
	備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。		

ドイツ	大学名	**ハレ＝ヴィッテンベルク大学**		
		Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg		
	URL	https://www.uni-halle.de		
	大学設立年	1817年	協定締結年 2011年	
	所在地	Universitätsplatz 10, 06108 Halle（Saale), Deutschland		
	大学紹介	ザクセン＝アンハルト州のハレとヴィッテンベルクにある総合大学。16世紀にヴィッテンベルク大学が、17世紀にハレ大学が設立され、19世紀に両大学が統合し、ますますの発展を遂げた。宗教改革の立役者であるマルティン・ルターが神学部で教鞭をとっていたことにちなみ、1933年にはその名をマルティン・ルター大学とした（本学での通称はハレ＝ヴィッテンベルク大学とする）。９学部からなり、学生数は約20,000名にのぼる。ハレは岩塩の採掘地として有名であり、中世にはハンザ同盟の加盟都市として繁栄した。ヴィッテンベルクにあるルター記念建造物群は、ユネスコの世界遺産に登録されている。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	560ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約90,000円
		寮費	4,200ユーロ	約676,000円
		食費	2,400～3,000ユーロ	約389,000～486,000円
		教材費	1,000ユーロ	約162,000円
		その他	3,200ユーロ	約518,400円
		合計	11,360～11,960ユーロ	約1,829,000～1,926,000円
	備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。		

ドイツ	大学名	**ヒルデスハイム大学**		
		Stiftung Universität Hildesheim		
	URL	https://www.uni-hildesheim.de/		
	大学設立年	1989年	協定締結年 2017年	
	所在地	Universitätsplatz 1, 31141 Hildesheim, Deutschland		
	大学紹介	北ドイツのニーダーザクセン州に５つある財団立の大学・専門単科大学の一つ。1855年に設立されたカトリック教会の神学大学を起源とする大学で、1946年に教育専門単科大学となった。その後、1978年には教育学以外の新たな学部が創設され、1989年にヒルデスハイム大学が設立された。ニーダーザクセン州では2001年に財団立の大学を設立する根拠法令が定められたため、2003年に認可され財団立大学に組織変更された。ヒルデスハイム大学は、理論のみにとどまらず、実践も学べることで知られており、文化政策研究所を所有している大学はドイツではヒルデスハイム大学のみである。４学部30以上の学科に約8,400人の学生が学ぶ。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定準１級以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	600ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約98,000円
		寮費	3,600～5,000ユーロ	約584,000～805,000円
		食費	3,000～4,200ユーロ	約486,000～681,000円
		教材費	500～1,800ユーロ	約81,000～292,000円
		その他	2,520～2,700ユーロ	約409,000～438,000円
		合計	10,220～14,300ユーロ	約1,645,000～2,302,000円
	備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。		

ドイツ	大学名	**フランクフルト大学**		
		Johann Wolfgang Goethe-Universität, Frankfurt am Main		
	URL	https://www.goethe-university-frankfurt.de/en		
	大学設立年	1914年	協定締結年	2024年
	所在地	Campus Westend:Theodor-W.-Adorno-Platz 1 60323 Frankfurt Campus Riedberg:Max-von-Laue-Straße 9 60438 Frankfurt am Main		
	大学紹介	43,000人以上の学生が在籍するドイツ国内最大規模の総合大学。フランクフルト市内に４つのキャンパスが散在し、法学、経済学、社会学、教育学、心理学・体育学、神学、哲学・歴史学、言語学・文化学などを含む16の専攻分野を開講している。フランクフルトはドイツ国内でも日本人が多い町であり公共交通機関も整っている。		
	派遣期間	春学期：2025年10月～2025年３月　　秋学期：2026年4月～2026年９月		
	成績条件	GPA2.30以上		
	語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準１級以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	345ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約56,000円
		寮費	400～600ユーロ	約64,000～97,000円
		食費	3,600～5,400ユーロ	約580,000～869,000円
		教材費	500～1,500ユーロ	約81,000～242,000円
		その他	2,200～4,400ユーロ	約354,000～708,000円
		合計	6,990～12,190ユーロ	約1,111,000～1,963,000円
	備考	留学費用「その他」には、現地健康保険料金含。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能（語学力条件は国際交流センターに確認してください）。		

ドイツ	大学名	**ブレーメン専門単科大学**		
		Hochschule Bremen		
	URL	https://www.hs-bremen.de		
	大学設立年	1982年	協定締結年	2006年
	所在地	Neustadtswall 30, 28199 Bremen, Deutschland		
	大学紹介	ドイツ北西部のハンザ都市ブレーメンにあり学生数約8,600名、５学部67以上の学科から成り、専門単科大学ではドイツ最大の規模を誇る。職業経験豊富な教授陣により実践分野に重点がおかれ、職業に直結する授業には定評がある。また、交換留学生は１学期に２つの語学コースを無料で受講できる。EU、経済、ツーリズムなどに興味のある学生に最適。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上　※備考を参照のこと		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	600ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約97,000円
		寮費	4,000～5,800ユーロ	約644,000～940,000円
		食費	3,000～3,500ユーロ	約486,000～567,000円
		教材費	100～500ユーロ	約17,000～81,000円
		その他	2,700ユーロ	約438,000円
		合計	10,400～13,100ユーロ	約1,674,000～2,109,000円
	備考	国際経営学科に所属。学部科目の履修にはB2を強く推奨。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能（語学力条件はP.45参照）。 留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。		

ドイツ	大学名	**ベルリン自由大学**		
		Freie Universität Berlin		
	URL	https://www.fu-berlin.de/		
	大学設立年	1948年	協定締結年	2013年
	所在地	Kaiserswerther Str. 16-18, 14195 Berlin, Deutschland		
	大学紹介	ドイツの首都ベルリンにある４つの大学のうち最も規模の大きい総合大学。社会科学、人文科学を中心に自然科学分野の学科も提供し、学際的な研究を特色としている。第二次世界大戦後、分割されたベルリンには東ベルリンのフンボルト大学があるのみであった。ソ連占領当局による統制への反発から、学生および教授陣により西ベルリンにおける大学設立が求められたことを受け、アメリカの支援によって1948年にベルリン自由大学が設立された。「政治的な影響から自由な学問」を目指した背景がベルリン自由大学の名前の由来となっている。12の専門分野に約33,500人の学生が学ぶ。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	540ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約88,000円
		寮費	4,200～10,800ユーロ	約681,000～1,750,000円
		食費	3,000～4,200ユーロ	約486,000～681,000円
		教材費	100～1,000ユーロ	約17,000～162,000円
		その他	2,700ユーロ	約437,400円
		合計	10,540～19,530ユーロ	約1,708,000～3,164,000円
	備考	歴史・人文科学学部内の学科に所属。ただし、他学部の科目履修も可能。 留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。		

ドイツ	大学名	**マールブルク大学**		
		Philipps-Universität Marburg		
	URL	https://www.uni-marburg.de		
	大学設立年	1527年	協定締結年	2005年
	所在地	Biegenstr. 10, 35037 Marburg, Deutschland		
	大学紹介	フィリップス大学（通称：マールブルク大学）は、ドイツのほぼ中央に位置するヘッセン州の中世のたたずまいを色濃く残す美しい大学街マールブルクにある。大学の歴史は古く、1527年に世界で初めてのプロテスタント系大学として創設された。経済学者のレプケ、作曲家のシュッツ、文学・言語学の分野ではグリム兄弟やドゥーデンなど、各方面で歴史的な著名人を数多く輩出している。現在は16学部、学生総数約22,000名の総合大学。ドイツで初めての障がい者用の寮など、設備面でも充実している。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	750ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約122,000円
		寮費	3,000～4,200ユーロ	約486,000～681,000円
		食費	2,100ユーロ	約341,000円
		教材費	100～500ユーロ	約17,000～81,000円
		その他	2,700ユーロ	約438,000円
		合計	8,650～10,250ユーロ	約1,402,000～1,661,000円
	備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。		

ドイツ	大学名	**ミュンスター大学**		
		Universität Münster		
	URL	https://www.uni-muenster.de		
	大学設立年	1780年	協定締結年	2004年
	所在地	Schloßplatz 2, 48149 Münster, Deutschland		
	大学紹介	ミュンスター大学のあるミュンスター市は、ノルトライン＝ヴェストファーレン州北部に位置し、デュースブルクとブレーメンのほぼ中間にある歴史のある古都。大学は1588年に設立されたイエズス会神学校を起源とし、古い歴史を持つ。1980年には教育大学を、2004年には音楽単科大学を統合し、現在は15学部120以上の学科を持ち、教育・研究界をリードしている。学生総数は約45,000名、留学生は約3,500名。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定準１級以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	700ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約114,000円
		寮費	4,800～6,000ユーロ	約778,000～972,000円
		食費	3,500～4,500ユーロ	約564,000～725,000円
		教材費	500～1,000ユーロ	約81,000～162,000円
		その他	2,700ユーロ	約438,000円
		合計	12,200～14,900ユーロ	約1,964,000～2,399,000円
	備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能（語学力条件はP.45参照）。		

ドイツ	大学名	**リューネブルク大学**		
		Leuphana Universität Lüneburg		
	URL	https://www.leuphana.de/		
	大学設立年	1946年	協定締結年	2019年
	所在地	Universitätsallee 1, 21335 Lüneburg, Deutschland		
	大学紹介	北ドイツのニーダーザクセン州の中心都市リューネブルクにある財団立の大学。1946年にニーダーザクセン州に８つある教員養成大学の一つとして設立され、1989年に大学として認定された。ニーダーザクセン州では2001年に財団立の大学を設立する法令が定められ、2003年に認可され財団立大学に組織変更された。 2007年に現名称ロイファナ大学リューネブルク（通称：リューネブルク大学）に変更され、それに伴い新しいカリキュラムが導入された。学士課程Leuphana College、修士課程・博士課程Leuphana Graduate School、社会人コース Leuphana Professional Schoolという名称の３つの課程に分かれている。現在、４学部に約10,000人の学生が学ぶ。		
	派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　冬学期：2026年10月～2027年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上　※備考を参照のこと		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	790ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）	約127,000円
		寮費	4,200～5,400ユーロ	約681,000～875,000円
		食費	3,600～6,000ユーロ	約584,000～972,000円
		教材費	360～1,000ユーロ	約59,000～162,000円
		その他	2,700～3,600ユーロ	約438,000～584,000円
		合計	11,650～16,790ユーロ	約1,876,000～2,703,000円
	備考	人文科学部以外の授業については、履修制限あり。B1に満たない場合は、秋学期開始前に８月の国際夏期講習（有料）に参加することが条件。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。		

ドイツ				
大学名	**レーゲンスブルク大学** Universität Regensburg			
URL	https://www.uni-regensburg.de/			
大学設立年	1962年	協定締結年	2018年	
所在地	Universitätsstraße 31, 93053 Regensburg, Deutschland			
大学紹介	ドイツ南部バイエルン州でユネスコの世界遺産に登録されているレーゲンスブルクにある、1962年設立の総合大学。12の学部（言語学・文学・人文科学部、法学部、経済学部など）と40以上の学科を有し、学生数は約20,000名にのぼる。外国人向けのドイツ語コースが充実しており、留学生はそれぞれのレベルに合ったクラスで学部の授業と並行して無料で学ぶことができる。また、学期中に行われる語学コースでは通常の授業に加えて発音、文法、英語の授業も選択できる。			
派遣期間	夏学期：2026年４月～2026年９月　　冬学期：2026年10月～2027年３月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上　※備考を参照のこと			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	370ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.84参照）		約60,000円
	寮費	3,400～4,800ユーロ		約551,000～778,000円
	食費	6,700ユーロ		約1,086,000円
	教材費	250～400ユーロ		約41,000～65,000円
	その他	2,700ユーロ		約438,000円
	合計	13,420～14,970ユーロ		約2,161,000～2,410,000円
備考	語学力がB2に満たない場合は学期開始前のドイツ語集中コースに参加、それでも達しない場合はDaF科目のみ履修可能。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能（語学力条件はP.45参照）。 留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。			

スイス				
大学名	**バーゼル大学** Universität Basel			
URL	https://www.unibas.ch			
大学設立年	1460年	協定締結年	2008年	
所在地	Petersplatz 1, CH-4001 Basel, Schweiz			
大学紹介	バーゼル大学のあるバーゼル市は、スイス北西部、ドイツ語圏のバーゼル＝シュタット準州の州都。フランスとドイツとスイスの３国の国境が接する地点に位置し、市街地はライン川をまたぐ形で広がっている。７学部、70以上の研究機関を持つ総合大学で、学生数は約13,000名、教員数は約380名。留学生数は約3,000名におよぶ。スイス最古の大学で、哲学者のニーチェやヤスパースなどが教鞭をとり、心理学者のユングなどが学んだ。560年を超える歴史と伝統に培われた教育・研究分野での業績をベースに、未来志向の取り組みを続け、近年はとりわけ生命科学分野や文化部門に重点が置かれている。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年８月　　秋学期：2026年９月～2027年１月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定準１級以上			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	1700スイスフラン（学期納付金）、本学免除（P.84参照）		約295,000円
	寮費	7,200～8,400スイスフラン		約1,246,000～1,454,000円
	食費	4,800～6,000スイスフラン		約831,000～1,038,000円
	教材費	1,000～2,000スイスフラン		約173,000～346,000円
	その他	8,000スイスフラン		約1,384,000円
	合計	22,700～26,100スイスフラン		約3,928,000～4,516,000円
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能（語学力条件はP.45参照）。			

アメリカ				
大学名	**ウィスコンシン大学　スティーブンス・ポイント校** University of Wisconsin-Stevens Point			
URL	https://www.uwsp.edu/			
大学設立年	1894年	協定締結年	2002年	
所在地	1108 Fremont Street, 103 SSC, Stevens Point, WI 54481-3109, USA			
大学紹介	アメリカ中西部ウィスコンシン州の自然豊かな地域にある、学生数約8,200名の州立大学。120以上の学士号プログラムを提供している。特に、生物学、コミュニケーション、美術、歴史、教育などの学科の評価が高い。学部のクラスサイズの平均は27名、学生：教師比は19：１で、教師陣と学生との距離が近い。課外活動も充実していて、学生の満足度が高く、留学生でも希望する科目を履修できることが多い。交換留学生はキャンパスにある学生寮に入居する。			
派遣期間	秋学期：2026年８月～2026年12月　　春学期：2027年１月～2027年５月			
成績条件	GPA 2.75以上			
語学力条件	TOEFL iBT® 78以上（17 in speaking & writing）またはIELTS 6.0以上（minimum band score of 5.5）			
留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約5,100米ドル		約801,000円
	食費	約3,750米ドル		約589,000円
	教材費	約200米ドル		約31,000円
	その他	約3,550米ドル		約557,000円
	合計	約12,500米ドル		約1,980,000円
備考	留学費用の「その他」には、登録料、現地健康保険料等を含む			

アメリカ	大学名	**カリフォルニア大学　デービス校**		
		University of California, Davis		
	URL	https://globalstudy.ucdavis.edu		
	大学設立年	1905年	協定締結年　2012年	
	所在地	1333 Research Park Drive, Davis, CA 95616 USA		
	大学紹介	カリフォルニア州北部デービス市（サンフランシスコから車で約１時間半）にある州立大学。文系・理系ともに多彩な専攻科目と研究施設を備える大規模な総合大学で、最新の U.S.News and World Reportの全米総合大学評価では33位にランキングされている。特に、農業、獣医学、生体科学、バイオテクノロジー、環境科学の分野では、全米トップの高い評価を得ている。学生数は約39,000名。留学生比率は約13%。交換留学生は、アジア、ヨーロッパ、アメリカ大陸諸国22ヶ国の125の協定校から派遣される留学生を対象とするGlobal Study Programに入学する。学期はQuarter制で、秋学期、春学期どちらも入学可能だが、１年間の留学の場合は必ず連続する3 quarters以上の留学となる。		
	派遣期間	春学期：2026年４月～2025年 6月　夏学期：2026年６月～2025年９月 秋学期：2026年９月～2025年12月　冬学期：2027年１月～2026年３月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	１）For full-time（12-13）academic units（履修科目は全て大学学部科目） TOEFL iBT® 80、ITP® 550以上またはIELTS 6.5以上 ２）For 12-13 academic units including one fixed communication-related course（指定されたコミュニケーション関連の科目要履修） TOEFL iBT® 71、ITP® 530以上またはIELTS 6.0以上		
	留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	25,800米ドル（3 quarters）、本学免除（P.84参照）	約4,051,000円
		寮費	約9,000～12,600米ドル（留学生用の寮はないためアパートかホームステイ）	約1,413,000～1,978,000円
		食費	約4,050米ドル	約636,000円
		教材費	約600～1,500米ドル	約94,000～236,000円
		その他	約2,000米ドル	約314,000円
		合計	約41,450～45,950米ドル	約6,508,000～7,214,000円
	備考	語学力条件の１）、２）ともに交換留学として認められる。		

アメリカ	大学名	**カリフォルニア州立大学　モントレー・ベイ校**		
		California State University Monterey Bay		
	URL	https://csumb.edu/		
	大学設立年	1994年	協定締結年　2012年	
	所在地	100 Campus Center, Seaside, CA 93955-8001 USA		
	大学紹介	カリフォルニア州立大学機構（California State University：1857年にカリフォルニア州立機関として設立）23校のうちの一つ。サンフランシスコの南、モントレー・ベイを臨むシーサイド市にある。日本語＆日本文化専攻を含む30以上の学士号取得プログラム、７つの修士号取得プログラムを提供している。学生数は約7,700名、ヒスパニック系の学生が多い（約47%）。		
	派遣期間	秋学期：2026年８月～2026年12月　春学期：2027年１月～2027年５月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	TOEFL iBT® 61、ITP® 500以上またはIELTS 6.0以上		
	留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	約7,200～14,200米ドル	約1,130,000～2,229,000円
		食費	約3,300～4,600米ドル	約518,000～722,000円
		教材費	約800米ドル	約126,000円
		その他	約3,300米ドル	約518,000円
		合計	約14,600～22,900米ドル	約2,292,000～3,595,000円
	備考	認定留学生での留学を希望する場合は国際交流センターにて確認すること（授業料11,400米ドル（2024年度）を留学先に納入）。		

アメリカ	大学名	**サンフランシスコ州立大学**		
		San Francisco State University		
	URL	https://www.sfsu.edu/		
	大学設立年	1899年	協定締結年　2013年	
	所在地	1600 Holloway Ave, San Francisco, CA 94132, USA		
	大学紹介	カリフォルニア州立大学機構（California State University：23大学で構成）に属する総合大学（1899年に教員養成大学として創立）。学生数は約26,000名、アジア系の学生が約26%、ヒスパニック系が約37%を占める。留学生比率は約４%。６つの学部（経営学、人文学、教育学、民族学、健康・社会科学部、理工学部）を擁し、学士号レベルで110以上、修士号レベルでも90の専攻分野を有する。民族学部は全米でもユニークな学部として有名で、アフリカ系、アジア系、メキシコ系のアメリカ文化や人種問題の研究に力を注いでいる。外国語学科には日本語専攻プログラムがある。		
	派遣期間	秋学期：2026年８月～2026年12月　春学期：2027年１月～2027年５月		
	成績条件	GPA 2.75以上		
	語学力条件	TOEFL iBT® 61、ITP® 500以上またはIELTS 6.0以上		
	留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	約14,040米ドル、本学免除（P.84参照）	約2,205,000円
		寮費･食費	約24,500米ドル	約3,847,000円
		教材費	約1,100米ドル	約173,000円
		その他	約7,800米ドル	約1,225,000円
		合計	約40,340米ドル	約7,450,000円
	備考	経営学部（観光学を含む）や教育学部の科目履修は不可。 協定に基づき授業料の10%割引あり。		

英国				
大学名	**エセックス大学**			
	University of Essex			
URL	https://www.essex.ac.uk/			
大学設立年	1962年	協定締結年	1983年	
所在地	Wivenhoe Park, Colchester, CO4 3SQ UK			
大学紹介	学生数約18,000名の公立大学。そのうち留学生は約140ヶ国から約6,000名。社会科学分野の研究は英国でトップレベルにランク付けされている。加えて、法学、経済・経営学、TESOLを含む言語学等の人文科学も評価が高い。キャンパスはイングランド東部のコルチェスターにあり、ロンドンから電車で約１時間の距離。広いキャンパスには、カフェなどの飲食スペースやスポーツセンター、24時間開館している図書館などの施設が充実している。アカデミックな行事（講演会等）や季節のイベント（クリスマス等）も多く、授業以外で学ぶ機会も多い。			
派遣期間	秋学期：2026年10月～2026年12月　春学期：2027年１月～2027年３月　夏学期：2027年４月～2027年６月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	IELTS 6.0以上　各セクション5.5以上（※英国ビザ発給条件）			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	約17,220ポンド、本学免除（P.84参照）		約3,375,000円
	寮費	約4,600～9,200ポンド		約902,000～1,803,000円
	食費	約1,350ポンド		約265,000円
	教材費	約100ポンド		約20,000円
	その他	約2,000ポンド		約392,000円
	合計	約25,270～29,870ポンド		約4,953,000～5,855,000円
備考	１学期のみの留学は不可。必ず、夏学期を含む３学期間履修すること。			

英国				
大学名	**カーディフ大学**			
	Cardiff University			
URL	https://www.cardiff.ac.uk/			
大学設立年	1883年	協定締結年	1999年	
所在地	Colum Road, Cathays, Cardiff, Wales, CF10 3EJ, UK			
大学紹介	学生数33,000名以上の国立大学。うち留学生は約35ヶ国から約6,400名。近年ではジャーナリズム、カルチャー研究、英語学および経営学などが高く評価されている。優れた研究活動に支えられた教育が、高い学生満足度につながっている。キャンパスはウェールズの首都カーディフにあり、ロンドンから電車で約２時間。英語と並びウェールズ語が公用語となっている。			
派遣期間	秋学期：2026年９月～2027年１月　春学期：2027年１月～2027年６月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	IELTS 6.0以上　各セクション5.5以上（英国ビザ発給条件）			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		－
	寮費	約5,200～6,800ポンド		約1,019,000～1,333,000円
	食費	約2,500ポンド		約490,000円
	教材費	約150ポンド		約29,000円
	その他	約2,550ポンド		約500,000円
	合計	約10,400～12,000ポンド		約2,038,000～2,352,000円
備考	主に外国語学部（MLANG）の科目を履修する。 詳細は、国際交流センターにて確認すること。			

英国				
大学名	**ニューカッスル大学**			
	Newcastle University			
URL	https://www.ncl.ac.uk/			
大学設立年	1834年	協定締結年	2009年	
所在地	Newcastle upon Tyne, Tyne and Wear, NE1 7RU, UK			
大学紹介	学生数約29,000名以上の公立大学で、うち留学生は約7,000名。QS World University Rankings（2025）では129位と高い評価を受けている。キャンパスはイングランド北部のニューカッスル・アポン・タインにあり、ロンドンから電車で約３時間の距離。交換留学生の履修はFaculty of Humanities and Social Sciencesの中の科目に限定される。徒歩圏にスーパーマーケット、ショッピングモール、映画館、アジアンマーケット等が揃う便利なキャンパスで、図書館は24時間開館。			
派遣期間	秋学期：2026年９月～2027年１月　春学期：2027年１月～2027年６月			
成績条件	GPA 3.00以上			
語学力条件	１）IELTS 6.5以上　各セクション5.5以上（英国ビザ発給条件） ２）IELTS 6.0以上　各セクション5.5以上（１学期目はStage 1 modulesのみ履修可）			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		－
	寮費	約4,150～7,750ポンド		約813,000～1,519,000円
	食費	約1,100～2,140ポンド		約216,000～419,000円
	教材費	約110～600ポンド		約22,000～118,000円
	その他	約2,310～4,600ポンド		約453,000～902,000円
	合計	約7,670～15,090ポンド		約1,503,000～2,958,000円
備考	語学力による履修制限あり。詳細は、国際交流センターにて確認すること。 １）、２）ともに交換留学として認められる。			

英国				
大学名	**マンチェスター大学** The University of Manchester			
URL	https://www.manchester.ac.uk/			
大学設立年	1824年	協定締結年	2010年	
所在地	Oxford Road, Manchester, M13 9PL, UK			
大学紹介	学生数約38,000名以上の公立大学。そのうち留学生は約15,000名。世界中から学生が集まるため、国際色豊か。25名ものノーベル賞受賞者を輩出し、ビジネスからサイエンスまで幅広い分野で英国の教育をリードしている（開発学、国際関係学などの評価が高い）。日本語学科もあり、交友関係を広げやすい。キャンパスはイングランド北西部の都市マンチェスターに位置し、中心街からバスで5～10分。ロンドンからは電車で約3時間の距離。			
派遣期間	秋学期：2026年9月～2027年1月　　春学期：2027年1月～2027年6月			
成績条件	GPA 3.00以上			
語学力条件	IELTS 6.5以上　各セクション5.5以上（英国ビザ発給条件）			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約6,900ポンド		約1,352,000円
	食費	約2,300ポンド		約451,000円
	教材費	約110ポンド		約22,000円
	その他	約2,750ポンド		約539,000円
	合計	約12,060ポンド		約2,364,000円
備考	• 履修を希望する分野や科目によって英語力の要件が異なるので、自身の希望する分野の語学要件を確認すること。 • 正規授業に加えて、英語の補講を受けなければならない場合がある。 • 認定留学生には、マンチェスター大学の授業料の10%が免除される“Exchange Extra”が適用される場合がある。 →協定校HP参照			

カナダ				
大学名	**フレーザーバレー大学** University of the Fraser Valley			
URL	https://www.ufv.ca/			
大学設立年	1974年	協定締結年	2009年	
所在地	33844 King Rd, Abbotsford, BC, Canada V2S 7M8			
大学紹介	ブリティッシュ・コロンビア州最大の都市バンクーバーから東に1時間ほどの距離にあり、周辺は湖や川など豊かな自然環境に恵まれている。学生数約15,000名の公立大学。留学生は世界60ヶ国から約2,000名が学んでいる。21の学士号課程、35以上の専攻プログラムを提供している。			
派遣期間	秋学期：2026年9月～2026年12月　　春学期：2027年1月～2027年4月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	TOEFL iBT® 88以上（no sub-score below 20）またはIELTS 6.5以上（minimum band score of 6.0）			
留学費用概算（約8ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約6,000カナダドル		約672,000円
	食費	約4,000カナダドル		約448,000円
	教材費	約1,300カナダドル		約146,000円
	その他	約4,000カナダドル		約448,000円
	合計	約15,300カナダドル		約1,714,000円
備考	**2025年度の募集予定なし。**			

カナダ				
大学名	**ヨーク大学** York University			
URL	https://www.yorku.ca/index.html			
大学設立年	1959年	協定締結年	1998年	
所在地	4700 Keele Street, Toronto, ON, Canada M3J 1P3			
大学紹介	カナダ東部のオンタリオ州トロント郊外にある、カナダで3番目に大きな州立大学で、学生数は約55,000名。さまざまな人種・民族が共存する多文化都市トロントにふさわしく、約180ヶ国から9,600名以上の留学生が在籍する。 11の学部と25の研究センターを擁し、時代の求める革新的かつ学際的な研究に取り組んでいる。ヨーク大学のビジネススクールは特に評価が高く、エコノミスト誌によるランキングではトップの評価を得ている。			
派遣期間	秋学期：2026年9月～2026年12月　　春学期：2027年1月～2027年4月			
成績条件	GPA 2.50以上			
語学力条件	TOEFL iBT® 88以上またはIELTS 6.5以上			
留学費用概算（約8ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約9,000カナダドル		約990,000円
	食費	約4,000～6,000カナダドル		約448,000～660,000円
	教材費	約1,200～1,500カナダドル		約132,000～165,000円
	その他	約4,000カナダドル		約448,000円
	合計	約18,200～20,500カナダドル		約2,002,000～2,255,000円
備考				

カナダ				
大学名	**レジャイナ大学（カナダ）**			
	University of Regina			
URL	www.uregina.ca			
大学設立年	1911年	協定締結年	2013年	
所在地	3737 Wascana Parkway, Regina, Saskatchewan S4S 0A2, Canada			
大学紹介	カナダ・中西部サスカチュワン州の州都レジャイナに位置する公立大学。学生数約17,000人、全学生の約20%が留学生、約13%を先住民が占め、グローバル・多様性を重んじる校風。認定留学・休学留学を含めた海外からの留学生も積極的に受け入れる体制が整っており、Visiting Studentとして大学授業を聴講も可能。日本語学科も大学内にある。			
派遣期間	秋学期：2025年９月～12月　春学期：2026年１月～４月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	TOEFL: iBT（83); Reading（20); Listening（20); Speaking（20); Writing（20). IELTS: Overall Band score of 6.5, with no band less than 6.0.			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約4,480～9,980カナダドル		約494,000～1,098,000円
	食費	約900～3,700カナダドル（年間）		約99,000～407,000円
	教材費	約1,200カナダドル		約132,000円
	その他	約4,000カナダドル		約440,000円
	合計	約8,340～13,890カナダドル		約1,165,000～2,077,000円
備考				

ジャマイカ				
大学名	**西インド諸島大学　モナ校**			
	The University of the West Indies, Mona Campus			
URL	https://www.mona.uwi.edu/			
大学設立年	1948年	協定締結年	2012年	
所在地	Mona, Kingston 7, Jamaica			
大学紹介	カリブ海に浮かぶ西インド諸島の一つ、ジャマイカの首都キングストンにある。イギリスの旧植民地で、英語を公用語とする。４つのキャンパスを有する西インド諸島大学（学生数45,000名）は、地域のニーズに応えることを大学のミッションとし、西インド諸島の経済的、文化的ポテンシャルを引き出すための研究に注力している。キングストン国際空港から車で約20分の距離にあるモナ校（学生数約20,000名）には、人文・教育、社会科学、科学・技術、工学、スポーツ、法学、医学の７つの学部があり、200以上の専攻プログラムを提供している。			
派遣期間	秋学期：2026年９月～2026年12月　春学期：2027年１月～2027年５月			
成績条件	GPA 3.00以上			
語学力条件	TOEFL iBT® 82、ITP® 500以上またはIELTS 6.5以上			
留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約1,600～4,600米ドル		約252,000円～723,000円
	食費	約3,000～4,600米ドル		約471,000～723,000円
	教材費	約400～1,200米ドル		約62,800～188,400円
	その他	約600米ドル		約94,200円
	合計	約5,600～11,000米ドル		約880,000円～1,720,000円
備考				

オーストラリア				
大学名	**ウーロンゴン大学**			
	University of Wollongong			
URL	https://www.uow.edu.au/			
大学設立年	1951年	協定締結年	1996年	
所在地	Wollongong NSW 2522 Australia			
大学紹介	ニューサウスウェールズ州ウーロンゴンにある国立総合大学。学生数は約33,000名、うち留学生は約7,300人。45ヶ国400を超える大学等と協定関係を結んでいる。QS World University Rankings（2025）では上位１%にランクインしている。ウーロンゴンは人口約30万人の海辺にある静かな街で、シドニーからは電車で約１時間半。中心部から約５km離れた所にキャンパスがあり、海岸へも２kmほど。			
派遣期間	秋学期：2026年２月～2026年６月　春学期：2027年７月～2027年11月			
成績条件	GPA 2.70以上			
語学力条件	TOEFL iBT® 79以上（minimum of 20 in writing, 18 in reading, 17 in listening, 16 in speaking）または IELTS 6.0以上（minimum of 6.0 in reading and writing）			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	21,200豪ドル、本学免除（P.84参照）		約2,078,000円
	寮費	約12,100～21,560豪ドル		約1,210,000～2,156,000円
	食費	約3,200豪ドル		約320,000円
	教材費	約200豪ドル		約20,000円
	その他	約3,750豪ドル		約375,000円
	合計	約40,350～49,810豪ドル		約3,964,000～4,891,000円
備考	南半球は、学期の呼称（季節）が北半球と反対。			

オーストラリア	大学名	**サザンクロス大学**		
		Southern Cross University		
	URL	https://scu.edu.au/		
	大学設立年	1994年	協定締結年	2014年
	所在地	Military Road, East Lismore NSW 2480		
	大学紹介	1994年設立の公立大学。約20,000名が学び、うち留学生は約3,000名。メイン・キャンパスはニューサウスウェールズ州リズモア。最寄の都市ブリスベンまではバスで約３時間の距離。開講科目は、アート、教育学、社会科学、ビジネス、観光学、法学、先住民研究、環境科学など。		
	派遣期間	秋学期：2026年２月～2026年６月　春学期：2026年７月～2026年10月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	TOEFL iBT® 61以上（no less than 17 for writing/speaking, 11 for reading/listening）またはIELTS 6.0以上（no band less than 5.5）		
	留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	約7,600～8,800豪ドル	約745,000～862,000円
		食費	約5,600～11,200豪ドル	約549,000～1,098,000円
		教材費	約600豪ドル	約60,000円
		その他	約2,520豪ドル	約252,000円
		合計	約16,320～23,120豪ドル	約1,599,000～2,266,000円
	備考	学期の長さ、呼称が独特なので注意。 2026年度の募集予定未定。		

オーストラリア	大学名	**サンシャインコースト大学**		
		University of the Sunshine Coast		
	URL	https://www.usc.edu.au/		
	大学設立年	1996年	協定締結年	2004年
	所在地	Locked Bag 4, Maroochydore DC QLD 4558 Australia		
	大学紹介	クイーンズランド州の比較的新しい公立大学。学生数約17,500名、留学生比率は約10%。Business and LawとScience, Health, Education and Engineeringの２学部に８学科を持つ。キャンパスはサンシャインコースト（ブリスベンから北へ100km）にある。		
	派遣期間	秋学期：2026年２月～2026年６月　春学期：2026年７月～2026年11月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	TOEFL iBT® 76以上（minimum writing score 18）またはIELTS 6.0以上（minimum band score of 5.5）		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	約3,600～11,600豪ドル	約360,000～1,160,000円
		食費	約4,300豪ドル	約430,000円
		教材費	約800豪ドル	約80,000円
		その他	約5,800豪ドル	約580,000円
		合計	約14,500～22,500豪ドル	約1,450,000～2,250,000円
	備考	学期の長さ、呼称が独特なので注意。**2025年度の募集予定なし。**		

インドネシア	大学名	**ビヌス大学**		
		Bina Nusantara (BINUS) University		
	URL	https://binus.ac.id/		
	大学設立年	1974年	協定締結年	2019年
	所在地	Jl. K. H. Syahdan No. 9, Kemanggisan, Palmerah Jakarta 11480 Indonesia		
	大学紹介	４つのキャンパスを持つインドネシア最大規模の私立大学。学生数は約14,000名、留学生数は50ヶ国から約700人。コンピュータ、ビジネス、コミュニケーション等の授業が充実しており、日本文学の学科もある。自動車業界、情報系の日系企業へ卒業生を輩出しており、日本企業との繋がりも強い大学。「QS University Rankings: Asia 2025」では、包括性、教育、雇用、社会的責任において５つ星評価、総合点においても５つ星を得ており、特にビジネススクールはアジアの大学ランキングで30位、世界ランキングは250位以内に位置している。		
	派遣期間	秋学期：2026年９月～2027年２月　春学期：2027年２月～2027年７月		
	成績条件	GPA 2.75以上		
	語学力条件	TOEFL iBT® 79、ITP® 550以上またはIELTS 6.0以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	約2,500～2,900米ドル	約393,000～455,000円
		食費	約2,500～3,500米ドル	約393,000～550,000円
		教材費	約150米ドル	約24,000円
		その他	約2,000米ドル	約314,000円
		合計	約7,150～8,150米ドル	約1,123,000～1,280,000円
	備考	教授言語は英語。		

トルコ	大学名	**ボアジチ大学**		
		Boğaziçi University		
	URL	https://www.boun.edu.tr/en-US/		
	大学設立年	1971年	協定締結年	2016年
	所在地	34342 Bebek, Istanbul, Turkey		
	大学紹介	イスタンブールにある公立大学。学生数は約17,000名（交換留学生数は約350名）。「ボアジチ」とはトルコ語でボスポラス海峡を意味する。1863年にアメリカ人ロバート・クリストファーによりリベラルアーツ教育を目的とし設立された米国高等教育機関であるロバート・カレッジを起源とする。ロバート・カレッジは1971年にトルコ政府に譲渡され、公立のボアジチ大学として創設された。８つの学群Faculty/School（人文、経済・経営学、法学、教育、コミュニケーション、工学、応用科学、外国語）を擁し、30を超えるプログラムがそれぞれ学士、修士、博士号を提供している。日本語学習者は常時150名程度在籍している。大学ランキングは国内第２位で、入学最難関の大学としてトルコ国内から最も優秀な学生を集めている。		
	派遣期間	秋学期：2026年９月～2027年１月　春学期：2027年２月～2027年６月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	TOEFL iBT® 79以上（minimum of 22 in writing）またはIELTS 6.5以上（minimum of 6.0 in writing）		
	留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	約5,400ユーロ	約869,000円
		食費	約2,700ユーロ	約435,000円
		教材費	約100ユーロ	約16,000円
		その他	約2,700ユーロ	約435,000円
		合計	約10,900ユーロ	約1,755,000円
	備考	教授言語は英語。		

チェコ	大学名	**マサリク大学**		
		Masaryk University		
	URL	https://www.muni.cz/en		
	大学設立年	1919年	協定締結年	2017年
	所在地	Komenskeho nam. 2, 602 00 Brno, Czech Republic		
	大学紹介	チェコ共和国第２の都市ブルノに位置する国立総合大学。教養、教育学、経済・経営学、社会科学、法学、理学、医学、薬学、情報科学、スポーツ科学の10学部を擁する。学生数は約33,000名（このうち留学生数は約5,500名）。チェコ国内の総合大学では、プラハのカレル大学に次いで高い評価を得ている。チェコの公用語はチェコ語であるが、英語を教授言語とする科目が多数あり、英語圏の交換協定校として協定を締結した。		
	派遣期間	秋学期：2026年９月～2027年２月　春学期：2027年２月～2027年６月		
	成績条件	GPA 2.50以上		
	語学力条件	TOEFL iBT® 70以上またはIELTS 5.5以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	約1,900～2,200米ドル	約298,000～345,000円
		食費	約2,300～2,800米ドル	約361,000～440,000円
		教材費	約110米ドル	約17,000円
		その他	約3,000米ドル	約471,000円
		合計	約7,310～8,110米ドル	約1,148,000～1,273,000円
	備考	教授言語は英語。 秋学期、春学期どちらからでも留学可能だが、秋学期募集を行い定員枠に空きがある場合のみ春学期募集を行う。		

ウズベキスタン	大学名	**ウズベキスタン国立世界言語大学**		
		Uzbekistan State World Languages University		
	URL	https://uzswlu.uz/en		
	大学設立年	1949年	協定締結年	2024年（予定）
	所在地	21a, block G-9a, S.Yusupov Street., Tashkent, Uzbekistan		
	大学紹介	1949年に設立されたタシケント外国語教育大学を起源とし、1992年に国立ロシア語ロシア文学大学と統合して誕生。ウズベキスタン国内トップレベルの外国語大学で、言語学、外国語教育、通訳・翻訳学の分野における最重要の教育研究機関の一つ。約23,000名以上の学生が英語、ロマンス・ゲルマン諸語、ロシア語、オリエンタル言語など、20を超える言語を学んでいる。また通訳学部には日本語を主専攻とするコースがあり、「第二外国語としての日本語教育プログラム」も提供されている。日本文化を紹介する交流イベント・協定校との学生交流も活発に行っている。本学からの交換留学生は教授言語が英語の科目を履修する。		
	派遣期間	秋学期：2026年９月～2026年12月　春学期：2027年１月～2027年６月		
	成績条件	GPA 2.90以上		
	語学力条件	TOEFL iBT® 61、ITP® 543以上またはIELTS 5.5以上		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	約100米ドル	約16,000円
		食費	約1,500米ドル～3,000米ドル	約236,000～471,000円
		教材費	―	―
		その他	―	―
		合計	約1,600米ドル～3,100米ドル	約252,000～487,000円
	備考	教授言語は英語。		

フランス				
大学名	**西部カトリック大学**			
	Université Catholique de l'Ouest			
URL	https://www.cidef.uco.fr			
大学設立年	1875年	協定締結年	1997年	
所在地	3 Place André-Leroy, BP 10808 49008 Angers, cedex 01 FRANCE			
大学紹介	フランス中西部、ロワールの城が点在し、物産も豊かで美しいペイ・ド・ラ・ロワール地方の中心アンジェ市にある。1373年に創られた学校を前身とし、1875年に改めて創立された名門私立大学。学生数は約12000名、世界中に170余りある協定校から約1,700名の交換留学生を受け入れている。本学学生が学ぶ西部カトリック大学付属国際フランス語教育センター（CIDEF）は、２学期制の通年コースと夏季コース（７月～９月）を開講。通年コースの中級以上になると選択科目として商業フランス語、歴史や文学、哲学、翻訳、観光業、ホテル業などを選択できる。DELF・DALF・TCF・パリ商工会議所認定フランス語試験受験可能。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年5月　　秋学期：2026年10月～2027年１月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験（一次筆記・二次面接）があり、仏検２級程度の語学力が求められる。			
留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	6,300ユーロ　春学期開始は7,200ユーロ、本学免除（P.84参照）		約1,020,000～1,166,000円
	寮費	4,000～7,000ユーロ（寮により異なる） ※ホームステイの場合：3,300～5,200ユーロ（食事の有無により異なる）		約534,000～1,134,000円
	食費	3,000～4,000ユーロ		約483,000～644,000円
	教材費	－		－
	その他	3,000～4,500ユーロ		約486,000～729,000円
	合計	約15,600～22,700ユーロ		約2,512,000～3,655,000円
備考				

フランス				
大学名	**パリ第１大学　パンテオン-ソルボンヌ**			
	Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne			
URL	https://www.pantheonsorbonne.fr/			
大学設立年	1971年	協定締結年	2013年	
所在地	12, place du Panthéon 75005 Paris, FRANCE			
大学紹介	パリ大学としての起源は12世紀に遡り、ヨーロッパで最も古い国立大学の一つである。1968年に７つの大学に分かれた後、1971年、新たに第１から第13大学までの独立大学として編成された。その１番目に名を連ねるパリ第１大学（「パンテオン-ソルボンヌ」を冠する別称を持つが、日本における通称は「パリ１」）は、現在、経済・経営学、人文科学・技術、法学・政治学の３つの専門分野の傘下に10の学科および４つの研究科を有する。学生数は約45,000名。本部は学生街カルチェ・ラタン地区の中心に位置する。交換派遣は法律・政治・経営・地理・歴史分野に限定される。			
派遣期間	秋学期：2026年９月～2027年１月　　春学期：2027年１月～2027年５月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	B2 以上（要証明書）			
留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		－
	寮費	4,000～8,000ユーロ		約664,000～1,288,000円
	食費	3,000～4,500ユーロ		約483,000～725,000円
	教材費	－		－
	その他	3,500～5,000ユーロ		約567,000～810,000円
	合計	約10,500～17,500ユーロ		約1,691,000～2,818,000円
備考	専攻分野は応募前に相談のこと。			

フランス				
大学名	**マリー・エ・ルイ・パストゥール大学（旧フランシュ・コンテ大学）**			
	Université Marie et Louis Pasteur			
URL	https://www.univ-fcomte.fr/			
大学設立年	1423年	協定締結年	2018年	
所在地	1 Rue Claude Goudimel, 25030 Besançon, FRANCE			
大学紹介	フランス東部に位置するフランシュ・コンテ地方の中心ブサンソン市にあり、中世からの伝統を誇る国立総合大学。医学、薬学、科学技術、教育、言語学など41分野の教育・研究を行っており、学生数は約27,000名である。外国人に対するフランス語教育において、フランス屈指の質の高いプログラムを提供し、毎年世界各国から3,000名以上の学生を受け入れている。			
派遣期間	秋学期：2026年９月～2026年12月　　春学期：2027年１月～2027年５月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	学部留学の場合B2以上（要証明書）。語学留学の場合、証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験（一次筆記・二次面接）があり、仏検２級程度の語学力が求められる（証明書提出推奨）。			
留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		－
	寮費	約2,400ユーロ。ホームステイの場合は7,500ユーロ程度		約388,000～1,215,000円
	食費	3,000～4,000ユーロ		約483,000～約644,000円
	教材費	－		－
	その他	3,000～4,500ユーロ		約486,000～729,000円
	合計	約8,400～18,560ユーロ		約1,352,000～2,988,000円
備考	１学期目に語学留学をし、要件を満たせば、２学期目は学部留学できる。			

フランス	大学名	**リュミエール・リヨン第２大学**		
		Université Lumiére LYON 2		
	URL	https://cief.univ-lyon2.fr		
	大学設立年	1973年	協定締結年	2022年
	所在地	18 quai Claude Bernard, F69365 Lyon Cedex 7 , FRANCE		
	大学紹介	フランス第２の都市リヨンにある国立大学。1809年創立のリヨン大学が1973年に３つの大学に分割。学問分野は人文科学、社会科学等。交換派遣は付属語学学校のみ。		
	派遣期間	秋学期：2026年９月～2026年12月　　春学期：2027年２月～2027年５月		
	成績条件	GPA 2.30		
	語学力条件	DU FOUコース B1以上（要証明書）、DUEFコースは証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験（一次筆記・二次面接）があり、仏検２級程度の語学力が求められる。		
	留学費用概算（約９ヶ月）	授業料	DUEFコース：3,200ユーロ、DU FOUコース：3,750ユーロ、本学免除（P.84参照）	約518,000～607,000円
		寮費	約2,700ユーロ、ホームステイの場合は5,200～7,200ユーロ	約435,000～1,022,000円
		食費	3,000～4,000ユーロ	約483,000～約644,000円
		教材費	－	－
		その他	3,000～4,500ユーロ	約483,000～729,000円
		合計	11,900～19,450ユーロ	約1,916,000～3,131,000円
	備考	DU FOUは専門フランス語コースで「メディア・コミュニケーション」「経営・経済」「芸術・言語」３分野あり。それぞれの分野の基礎知識があることが望ましい。		

スペイン	大学名	**バルセロナ自治大学**		
		Universitat Autònoma de Barcelona		
	URL	https://www.uab.cat/		
	大学設立年	1968年	協定締結年	2010年
	所在地	Campus de la UAB Bellaterra, 08193 Cerdanyola del Vallès, Barcelona, SPAIN		
	大学紹介	スペイン第２の都市バルセロナ郊外に３つのキャンパスを持つバルセロナ自治大学は、比較的新しい公立大学。学生数は約37,000名で、交換留学生は約1,600名。バルセロナ市街地より約20km北に位置し、人文学、コミュニケーション学、経済経営学、教育学、法学、医学、心理学、翻訳通訳学などの学部がある。交換留学生は、翻訳通訳学部に所属し、履修科目の50%以上を翻訳通訳学部の科目から登録しなければならない。カタルーニャ語のみで開講される授業もある。		
	派遣期間	１学期：2025年９月～2026年２月　　２学期：2026年２月～2026年７月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	DELE B1程度		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	－
		寮費	約3,000～8,050ユーロ	約483,000～1,296,000円
		食費	約2,500～3,500ユーロ	約405,000～567,000円
		教材費	約30～100ユーロ	約5,000～16,000円
		その他	約3,000～4,000ユーロ	約483,000～644,000円
		合計	約8,530～15,650ユーロ	約1,373,000～2,520,000円
	備考			

スペイン	大学名	**マラガ大学**		
		Universidad de Málaga		
	URL	https://www.uma.es		
	大学設立年	1972年	協定締結年	2017年
	所在地	Avda. Cervantes, 2 29071 Málaga, SPAIN		
	大学紹介	マラガ大学は、スペイン南部のアンダルシア州に２つのキャンパスを持つ、比較的新しい公立大学。学生数は約34,000名で、観光学、芸術、哲学・文学、コミュニケーション学、経済経営学、教育学、法学、医学、健康科学、心理学などの学部がある。交換留学生はどの学部の科目も履修することができるが、メインの学部を決めそこから50%以上を履修しなければならない。英語で開講される授業もある。		
	派遣期間	１学期：2025年９月～2026年２月　　２学期：2026年２月～2026年７月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	DELE B1程度		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	－
		寮費	4,000～9,600ユーロ	約644,000～1,546,000円
		食費	2,000～3,500ユーロ	約322,000～567,000円
		教材費	50～200ユーロ	約8,000～32,000円
		その他	3,000～4,000ユーロ	約483,000～644,000円
		合計	9,050～17,300ユーロ	約1,457,000～2,785,000円
	備考			

メキシコ	大学名	**グアダラハラ大学**		
		Universidad de Guadalajara		
	URL	https://www.udg.mx/		
	大学設立年	1792年	協定締結年 2012年	
	所在地	Av. Juárez No.976, Colonia Centro, C.P. 44100, Guadalajara, Jalisco, México		
	大学紹介	メキシコ中西部に位置するハリスコ州の州都グアダラハラに本部を置く、国内有数の高等教育機関として知られる州立総合大学。都市部に学科別に分かれた６つのキャンパス（Centro Universitario）、郊外に地域別に分かれた10のキャンパスを有する。総学生数は約120,000名。芸術・建築・デザイン、生物・農業、経済・経営、精密科学・工学、健康科学、社会人文学などの学部がある。		
	派遣期間	１学期：2025年８月～2025年12月　２学期：2026年１月～2026年５月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	DELE B1程度		
	留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	40,000～45,000メキシコペソ ※留学生用の寮はないためアパート	約360,000～450,000円
		食費	20,000～50,000メキシコペソ	約200,000～500,000円
		教材費	500～1,500メキシコペソ	約5,000～14,000円
		その他	25,000～60,000メキシコペソ	約250,000～600,000円
		合計	85,500～156,500メキシコペソ	約770,000～1,409,000円
	備考			

中国	大学名	**華東師範大学**		
		East China Normal University		
	URL	https://www.ecnu.edu.cn/		
	大学設立年	1951年	協定締結年 2013年	
	所在地	中山北路キャンパス：上海市普陀区中山北路3663号 閔行キャンパス：上海市閔行区東川路500号		
	大学紹介	1951年に設立された国家教育部直属の全国重点大学の一つ。世界都市上海にありながら、緑豊かで広大なキャンパスを有し、中心部へのアクセスもよい。学生数は約38,000名、そのうちおよそ1,500名の留学生が学部所属の正規生として学んでいる。国際交流を重視しており、交流協定を結ぶ教育機関は300にも上る。		
	派遣期間	春学期：2026年２月～2026年７月　秋学期：2026年９月～2027年１月		
	成績条件	＜語学留学＞GPA 2.30以上　＜学部留学＞3.00以上		
	語学力条件	＜語学留学＞ 中国語検定３級以上またはHSK３級以上（コースによりHSK4級以上） ＜学部留学＞ HSK５級180点以上		
	留学費用概算（約11ヶ月）	授業料	留学先免除※、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	11,550～48,400元	約254,000～1,065,000円
		食費	18,000～22,000元	約396,000～484,000円
		教材費	400～1,000元	約9,000～22,000円
		その他	11,000～22,000元	約242,000～484,000円
		合計	33,950～93,400元	約747,000～2,055,000円
	備考	本学交換留学生は、語言生として語学留学する方法と、普通進修生として学部留学する方法の２種類がある。 ※語学留学の場合、コースにより自己負担あり		

中国	大学名	**大連理工大学**		
		Dalian University of Technology		
	URL	https://www.dlut.edu.cn/		
	大学設立年	1949年	協定締結年 2018年	
	所在地	大連凌水キャンパス：大連市甘井子区凌工路２号		
	大学紹介	大連理工大学は全国重点大学の一つで、遼寧省大連市にメインキャンパスがあり、理系学部のほか、人文社会、経済管理、外国語学部などの文系学部も擁している。中でも国際教育学部は主に留学生を受け入れ、中国語コースや漢語言本科（経済・貿易）コースが開講されている。交流協定を結ぶ教育機関は43ヶ国313校に上る。		
	派遣期間	春学期：2026年２月～2026年７月　秋学期：2026年９月～2027年１月		
	成績条件	GPA 3.00以上		
	語学力条件	＜語学留学＞ 中国語検定３級以上またはHSK３級以上 ＜学部留学＞ HSK５級180点以上		
	留学費用概算（約11ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）	―
		寮費	6,600～9,900元	約145,000～218,000円
		食費	11,000～22,000元	約242,000～484,000円
		教材費	400～1,000元	約9,000～22,000円
		その他	11,000～22,000元	約242,000～484,000円
		合計	29,000～54,900元	約638,000～1,208,000円
	備考	本学交換留学生は、語言生として語学留学する方法と、普通進修生として学部留学する方法の２種類がある。		

中国				
大学名	**北京師範大学** Beijing Normal University			
URL	https://www.bnu.edu.cn/			
大学設立年	1902年	協定締結年	2010年	
所在地	海淀キャンパス：北京市海淀区新街口外大街19号			
大学紹介	北京師範大学は国家教育部直属の重点大学の一つであり、教師教育、教育科学、文理基礎学を主な特色とする著名な総合・研究型の大学である。40以上の国・地域の約250の大学や研究所と交流協定を結んでいる。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年７月　　秋学期：2026年９月～2027年１月			
成績条件	GPA 3.00以上			
語学力条件	＜学部留学＞ HSK５級180点以上			
留学費用概算（約11ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	19,800～26,400元		約436,000～581,000円
	食費	18,000～22,000元		約396,000～484,000円
	教材費	400～1,000元		約9,000～22,000円
	その他	11,000～22,000元		約242,000～484,000円
	合計	42,200～71,400元		約928,000～1,571,000円
備考	本学交換留学生は、「経済と工商管理学院」「法学院」のいずれかの学院を選択し、その学院が開設する科目を履修する。			

台湾				
大学名	**国立台南大学** National University of Tainan			
URL	https://www.nutn.edu.tw			
大学設立年	2004年	協定締結年	2022年	
所在地	府城キャンパス：台南市中西区樹林街二段33号 栄誉キャンパス：台南市東区栄誉街67号　他			
大学紹介	台湾西南部に位置する台南市に設置された国立大学。前身は1899年に創立された台南師範学校であり、2004年に国立台南大学に改組された。師範学校からの流れをくむ教育学部のほか、人文学部、理工学部、環境生態学部、芸術学部、管理学部の計６学部を有する総合大学である。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年６月　　秋学期：2026年９月～2027年１月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	中国語検定３級以上またはHSK３級以上			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	17,000～78,000ニュー台湾ドル		約85,000～390,000円
	食費	75,000～100,000ニュー台湾ドル		約375,000～500,000円
	教材費	2,000～10,000ニュー台湾ドル		約10,000～50,000円
	その他	27,000～50,000ニュー台湾ドル		約135,000～250,000円
	合計	121,000～238,000ニュー台湾ドル		約605,000～1,190,000円
備考	学部留学。一つの学部に所属するが、学部横断的に履修が可能。 留学生向けの中国語の授業も開講されている。			

台湾				
大学名	**国立高雄科技大学** National Kaohsiung University of Science and Technology			
URL	https://www.nkust.edu.tw/			
大学設立年	2018年	協定締結年	2023年	
所在地	第一キャンパス：高雄市燕巣区大学路１号/高雄市楠梓区卓越路２号 建工キャンパス：高雄氏三民区建工路415号　燕巣キャンパス：高雄市燕巣区深中路58号　他			
大学紹介	国立高雄科技大学（NKUST）は、2018年２月１日に国立高雄応用科技大学、国立高雄第一科技大学、国立高雄海洋科技大学が合併して設立された台湾最大の科学技術大学で、外国語学部や管理学院などの文系学部も有する。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年６月　　秋学期：2026年９月～2027年１月			
成績条件	GPA 3.00以上			
語学力条件	中国語検定２級以上、HSK５級180点以上、TOCFL Level ３以上またはTECC C以上			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	18,210～32,600ニュー台湾ドル		約91,000～163,000円
	食費	75,000～100,000ニュー台湾ドル		約375,000～500,000円
	教材費	2,000～10,000ニュー台湾ドル		約10,000～50,000円
	その他	27,000～50,000ニュー台湾ドル		約135,000～250,000円
	合計	122,210～192,600ニュー台湾ドル		約611,000～963,000円
備考	学部留学。獨協大学での専門と関連のある学部に所属するが、学部横断的に履修が可能。留学生向けの中国語の授業も開講されている。			

台湾				
大学名	**東呉大学** Soochow University			
URL	https://www-ch.scu.edu.tw/			
大学設立年	1951年	協定締結年	2013年	
所在地	外雙溪キャンパス：台北市士林區臨溪路70號 城中キャンパス：台北市中正区貴陽街一段56號			
大学紹介	台湾台北市にある私立の総合大学。もともとは1900年に中国蘇州に建学された、中国初の西洋式教育の大学で、1951年に台湾で再興された。人文社会学部、外国語文学部、理学部、法学部、商学部、ビッグデータ・マネジメント学部の６学部、計26学科を擁し、約180校の海外教育機関と交流協定を結んでいる。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年６月　　秋学期：2026年９月～2027年１月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	中国語検定３級以上またはHSK３級以上			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	26,000～79,800ニュー台湾ドル		約130,000～399,000円
	食費	75.000～100,000ニュー台湾ドル		約375,000～500,000円
	教材費	2,000～10,000ニュー台湾ドル		約10,000～50,000円
	その他	27,000～50,000ニュー台湾ドル		約135,000～250,000円
	合計	128,000～239,800ニュー台湾ドル		約640,000～1,199,000円
備考	学部留学。特定学部に所属せず、学部横断的に履修が可能。留学生向けの授業（中国語の授業含む）も複数開講されている。			

韓国				
大学名	**仁荷（イナ）大学** Inha University			
URL	https://www.inha.ac.kr			
大学設立年	1954年	協定締結年	2006年	
所在地	100 Inha-ro, Michuhol-gu, Incheon 22212, Korea			
大学紹介	仁川（インチョン）国際空港や7,000社を超える工業団地を擁する仁川市にある私立総合大学。ソウル中心地からは、電車やバスで１時間～１時間半の距離にある。約18,000名の学部生が学び、世界各国からの留学生も多い。文化体験プログラムなどの国際交流にも力を入れている。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年６月　　秋学期：2026年８月～2026年12月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	「ハングル」能力検定試験３級程度または韓国語能力試験（TOPIK）３級程度（韓国語文学科、国際韓国言語文化学科に所属する場合はTOPIK ３級以上）			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約2,000,000ウォン		約240,000円
	食費	約3,000,000～4,000,000ウォン		約360,000～480,000円
	教材費	約200,000ウォン		約24,000円
	その他	約3,000,000ウォン		約360,000円
	合計	約8,200,000～9,200,000ウォン		約984,000～1,104,000円
備考				

韓国				
大学名	**慶熙（キョンヒ）大学** Kyung Hee University			
URL	https://www.khu.ac.kr/			
大学設立年	1949年	協定締結年	2008年	
所在地	ソウルキャンパス：26, Kyungheedae-ro, Dongdaemun-gu, Seoul 02447, Korea 国際キャンパス：1732, Deogyeong-daero, Giheung-gu, Yongin-si, Gyeonggi-do 17104, Korea			
大学紹介	幼稚園から大学院まで一貫教育を行っている名門私立総合大学で、学部の学生数は約26,000名。ソウル市北東部と京畿道龍仁市にキャンパスを置く。在学生による留学生へのトウミ（チューター）制度をいち早く取り入れた大学として有名。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年６月　　秋学期：2026年８月～2026年12月			
成績条件	GPA 2.50以上			
語学力条件	韓国語能力試験（TOPIK）５級以上			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約3,200,000ウォン		約384,000円
	食費	約4,000,000～4,500,000ウォン		約480,000～540,000円
	教材費	約200,000ウォン		約24,000円
	その他	約3,000,000ウォン		約360,000円
	合計	約10,400,000～10,900,000ウォン		約1,144,000～1,199,000円
備考				

韓国				
大学名	**建国（コングク）大学**			
	Konkuk University			
URL	https://www.konkuk.ac.kr/			
大学設立年	1959年	協定締結年	2008年	
所在地	ソウルキャンパス：120 Neungdong-ro, Gwangjin-gu, Seoul 05029, Korea			
大学紹介	ソウル市東部にメインキャンパス、忠清北道忠州市に理系中心のキャンパスを置く名門私立総合大学。ソウルキャンパスは、緑に囲まれた自然豊かな環境で、ソウル中心地へのアクセスも良い。学部には約22,000名の学生が在籍する。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年６月　　秋学期：2026年８月～2026年12月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	「ハングル」能力検定試験３級程度または韓国語能力試験（TOPIK）３級程度			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約5,100,000ウォン（寮の利用は１学期目のみ可。２学期目は外部住居。）		約561,000円
	食費	約4,000,000～4,500,000ウォン		約480,000～540,000円
	教材費	約200,000ウォン		約24,000円
	その他	約3,000,000ウォン		約360,000円
	合計	約12,300,000～12,800,000ウォン		約1,353,000～1,408,000円
備考				

韓国				
大学名	**西江（ソガン）大学**			
	Sogang University			
URL	https://www.sogang.ac.kr/			
大学設立年	1960年	協定締結年	2024年	
所在地	35 Baekbeom-ro, Mapo-gu, Seoul 04107, Korea			
大学紹介	カトリックのイエズス会により設立されたミッション系の大学。韓国ではトップクラスの３大学に準じる大学群に属する。学生数は約8,000名。ロヨラ国際学部と本学国際教養学部との学部間協定だが、本学の他学部生も交換留学生として派遣できる。同学部では韓国、アジア、貿易、経済、経営、メディアなどをグローバルな視点から学ぶことができる。			
派遣期間	春学期：2026年2月～2026年6月　　秋学期：2026年8月～2026年12月			
成績条件	GPA 3.2以上が望ましい			
語学力条件	韓国語能力試験４級以上が望ましい			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約4,700,000ウォン		約517,000円
	食費	約4,000,000～4,500,000ウォン		約440,000～495,000円
	教材費	約200,000ウォン		約22,000円
	その他	約3,000,000ウォン		約330,000円
	合計	約11,900,000～12,400,000ウォン		約1,309,000～1,364,000円
備考				

韓国				
大学名	**成均館（ソンギュングァン）大学**			
	Sungkyunkwan University			
URL	https://www.skku.edu/eng/			
大学設立年	1946年	協定締結年	2025年	
所在地	人文科学キャンパス：25-2, Sungyunkwan-ro,Jongno-gu,Seoul03063 , Korea			
大学紹介	1946年に設立した韓国・ソウル特別市鍾路区にある私立大学。1398年に設立された朝鮮王朝の最高教育専門機関である成均館を母体と見なし、東アジアで最古の教育機関の一つといえる。1996年以降、韓国ではサムスングループのサポートを受けている大学として知られる。学生数は約26,000名、教員・研究者数約3,500名。本学と成均館大学校文科大学の協定（大学と学部間）のため、履修は文科大学（College of Liberal Arts）の科目に限定される。			
派遣期間	春学期：2026年2月～2026年6月　　秋学期：2026年8月～2026年12月			
成績条件	GPA 2.50以上			
語学力条件	「ハングル」能力検定試験３級程度または韓国語能力試験（TOPIK）３級程度			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約3,900,000～4,630,000ウォン※		約468,000～556,000円
	食費	約4,000,000～4,500,000ウォン		約480,000～540,000円
	教材費	約200,000ウォン		約24,000円
	その他	約3,000,000ウォン		約360,000円
	合計	約11,100,000～12,330,000ウォン		約1,332,000～1,479,600円
備考	※夏季又は冬季休業期間に寮滞在を希望する場合は、申込が必要（その場合は前半学期に利用していた寮からの移動を伴う）。			

韓国				
大学名	**誠信（ソンシン）女子大学** Sungshin University			
URL	https://www.sungshin.ac.kr/			
大学設立年	1963年	協定締結年	2017年	
所在地	スジョンキャンパス：2, Bomun-ro 34 da-gil, Seongbuk-gu, Seoul 02844, Korea ウンジョンキャンパス：55, Dobong-ro 76 ga-gil, Gangbuk-gu, Seoul 01133, Korea			
大学紹介	「誠信（誠実さと信頼）」「知新（新しい知識を広く深く）」「自動（自ら動き、自らの力で）」を教育理念に、社会をリードする女性人材の育成を目指す私立総合女子大学。ソウル市北東部に位置するスジョンキャンパスとウンジョンキャンパスに合わせて約9,900名の学生が在籍する。「女性」をキーワードにした授業やメイクやファッション等に関する授業を開設しているのも特徴の一つ。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年６月　　秋学期：2026年８月～2026年12月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	「ハングル」能力検定試験３級程度または韓国語能力試験（TOPIK）３級程度			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除※、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約2,800,000～5,300,000ウォン		約308,000～583,000円
	食費	約4,000,000～4,500,000ウォン		約480,000～540,000円
	教材費	約200,000ウォン		約24,000円
	その他	約3,000,000ウォン		約360,000円
	合計	約10,000,000～13,000,000ウォン		約1,100,000～1,430,000円
備考	※学部授業に加え大学付属の語学学校の授業を受ける場合も自己負担なし。			

韓国				
大学名	**大邱（テグ）カトリック大学** Catholic University of Daegu			
URL	https://www.cu.ac.kr/			
大学設立年	1914年	協定締結年	2003年	
所在地	ヒョソンキャンパス：Hayang-ro 13-13, Hayang-eup, Gyeongsan-si, Gyeongbuk 38430, Korea			
大学紹介	韓国のカトリック系大学の中で最大の規模を誇る私立総合大学。学部在籍者数は約15,000名。理系の３学部は大邱市内のキャンパスに、その他11学部は慶尚北道慶山市にあるヒョソンキャンパスに属している。大邱市内から電車やバスで１時間ほどの距離にあるヒョソンキャンパスには日語日文（日本語・日本文学）科もあり、日本語を学ぶ韓国人学生も多い。			
派遣期間	春学期：2026年２月～2026年６月　　秋学期：2026年８月～2026年12月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	「ハングル」能力検定試験３級程度または韓国語能力試験（TOPIK）３級程度			
留学費用概算（約10ヶ月）	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.84参照）		―
	寮費	約1,350,000ウォン		約149,000円
	食費	約3,600,000ウォン		約432,000円
	教材費	約200,000ウォン		約24,000円
	その他	約3,000,000ウォン		約360,000円
	合計	約8,150,000ウォン		約897,000円
備考				

認定留学の資格・条件

認定留学については申請時に、次の１. から５. の条件を満たしていることが必要です。

また、認定留学は留学開始時に本学に２学期以上在学（編入学生は１学期以上在学）していることが必要です（ドイツ語、英語、フランス語学科は３学期以上）。

※大学院生の場合は資格・条件が異なるため、大学院事務室にお問い合わせください。

１. 修得単位数

申請時に次に掲げる各学科所定の単位を修得している必要があります。

2024年度以降入学者

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
１学期											
２学期				16単位以上	16単位以上（外国語科目６単位を含む）	16単位以上（英語科目３単位を含む）			16単位以上		
３学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」10単位、基礎演習部門より4単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目６単位を含む）			32単位以上		
４学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」15単位、基礎演習部門より6単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目８単位を含む）			48単位以上		
５学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、基礎演習部門より8単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習２単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
６学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ」2単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習４単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
７学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習４単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
８学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習４単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

2023年度以前入学者

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期				16単位以上	16単位以上（外国語科目6単位を含む）	16単位以上（英語科目3単位を含む）			16単位以上		
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」12単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」18単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」2単位、「演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

2．評定平均値（GPA）

申請までの獨協大学における修得科目の評定平均値（GPA）が**2.30以上**であること（小数点以下第3位を四捨五入※）。

GPAの計算は次の方法で行います。自分の正確なGPAを把握するため、学期末に通知される成績通知表は必ず全部保管しておきましょう（成績証明書にはFと×の科目は記載されないので、注意してください。×は2023年度まで使用されていたものです）。

教職・司書・司書教諭課程科目ならびに各学科の学則別表のうち、卒業に必要な単位に算入できないと定められている科目は計算から除きます。

※2018年度以前入学者は小数点以下第2位を四捨五入。

$$\text{GPA}=\frac{(\text{AAの単位数}\times 4+\text{Aの単位数}\times 3+\text{Bの単位数}\times 2+\text{Cの単位数}\times 1)}{\text{総登録単位数（累計）}}$$

…「総登録単位数」は、Fと×の科目を含むが、Pの科目は除く。

※留学を希望する大学への出願に必要なGPA要件は、各留学先HP等で確認してください。

３．語学力

下表は、認定留学の申請時に必要な語学力の条件です。原則として申請日より遡って２年以内に取得した語学力の証明書コピー※を提出してください。

下表の学内条件を満たしていても、留学先が個々に定める条件を満たしていないと入学許可が下りないので、詳細は各大学（機関）に問い合わせてください。

※留学先での教授言語が認定留学申請者の母語である場合は、語学力の証明書提出の代わりに、その母語を主な教授言語とした中等教育機関（高等学校等）の卒業証明書（または卒業証書の写し）等を提出することで、下表の学内語学力条件を充足しているとみなすことができます。該当する方は事前に国際交流センターまでお問合せください。

教授言語	語学力の条件
ドイツ語	留学先が指定する語学力を有していること（Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level ３以上またはドイツ語検定２級以上）
英語	TOEFL iBT® 61以上、TOEFL ITP® 500以上（本学実施の団体受験のみ）、IELTS 5.5以上または実用英語技能検定準１級以上 注：国際教養学部生が申請時にIELTSスコアを提出する際は、5.0以上を目安とする。
フランス語	実用フランス語技能検定準２級以上、DELF A2以上またはTCF（TCF SOを含む）270点以上
スペイン語	DELE A2以上、SIELE A2以上またはスペイン語技能検定４級以上
中国語	中国語検定３級以上またはHSK ３級以上
韓国語	「ハングル」能力検定４級以上または韓国語能力試験（TOPIK）２級以上

４．留学先の条件

①言語圏および教授言語

所属する学部学科の授業科目と関連のあるコース、学科への留学であり、所属学部学科が定める以下の条件を満たしていることが必要となります。

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
言語圏	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし			制限なし		
教授言語	ドイツ語または英語	英語	フランス語または英語	制限なし	英語 スペイン語 中国語 韓国語　等	制限なし			制限なし		
留学期間	１学期間または２学期間										

②認定留学における教育機関

学位（学士、修士、博士号等）の授与権を有する大学か、それと同等の高等教育機関であること。大学の場合は、原則として専門課程への入学許可を得ていること。また、教授言語をドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語とする場合のみ、下表の条件を満たしている機関でも認められます。

なお、P.74の「これまでの認定留学先大学一覧」に記載のない大学（機関）への認定留学を希望する場合は、留学先大学（機関）への**出願手続き開始前**に同大学（機関）の資料（パンフレット、コースカタログ、大学や開設科目、自身の履修計画に関する詳しい資料等）を国際交流センターに提出し、認定留学先として認められるかを必ず相談しましょう（認定留学が認められない場合もあります）。

教授言語	大学（またはそれと同等の高等教育機関）以外の場合の条件
ドイツ語	大学の留学生用語学コースまたは大学付属の語学学校
フランス語	大学付属の語学学校（単に大学と提携しているだけの場合は不可）
スペイン語	大学付属の外国人コース（この場合認定できる単位は、原則としてスペイン語およびコースの中に含まれている文化論、歴史などに限られる）。ただし、事前にコースの内容を検討した上で、判断する。 〈例〉スペインの場合：サラマンカ大学付属語学学校および国立大学の付属語学学校 メキシコの場合：メキシコ国立自治大学外国人コース（UNAM CEPE）
中国語	外国人向け高等教育施設（機関）
韓国語	大学付属の語学学校（単に大学と提携しているだけの場合は不可）

5．認定留学の期間

認定留学は原則として１学期間または２学期間です。留学期間は本学の学期に合わせて取り扱われます。したがって、留学開始日と留学終了日を以下の要領で設定し、この期間を目安に留学を完結させてください。

- １学期間の留学：春学期または秋学期の１学期間（留学先での学修期間は３ヶ月以上）
- ２学期間の留学：春学期～秋学期、または秋学期～翌年春学期の２学期間（留学先での学修期間は６ヶ月以上）

※留学先大学・機関の学事日程と本学の学事日程にずれがある場合、希望する学期からの認定留学の申請ができない場合もあるので注意してください。（例：留学先の学期開始が１月あるいは６・７月などの場合は、本学の秋あるいは春学期日程と重なるため、認定留学の申請はできません。）

※所定の手続きを経て、最長４学期間まで延長することができます（詳細はP.76参照）。

※留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くても１ヶ月以内に）帰国してください。

認定留学申請までの流れ

■資料請求

留学先大学を決めるには、自分の留学目的に合う大学をHP等で調べ、候補を絞りましょう。また、HPで資料や願書請求用のフォームがあれば、これを利用しましょう。近年は、HP上のオンライン申請が一般的です。

■志望大学への出願

出願の際は、HPや送られてきた資料などをよく読んで、書類の不備や不足がないようにしましょう。出願資格、出願締切日もよく確かめてください。オンライン出願が一般的ですが、出願書類の原本提出が必要な場合は、提出物のコピーを取っておくほか、郵便局のEMS（国際スピード郵便）などの配達記録が残るものを利用しましょう。

留学先大学から受入れ許可の通知が届いたら、その大学の指示に従い入学手続きをします。

留学ビザが必要な場合は、該当国の大使館のHPで申請方法を確認し、余裕をもって手続きを行いましょう。特に留学生の出発が多い時期は込み合いますので、注意が必要です。

なお、複数の大学から許可が届いた場合は、留学しない大学には必ずその旨を連絡して下さい。今後留学する獨協生や他の日本からの留学生のためにもマナーを守りましょう。

■認定留学の申請

留学先から入学許可がもらえたら、獨協大学に認定留学の申請をします。申請期限までに申請をしないと、留学期間は在学期間と認められません。

認定留学の申請

認定留学生の身分で留学するには、国際交流センターに申請する時点で、本学が定めた要件をクリアしていなければなりません（要件を満たしていない場合は休学扱いとなります）。「認定留学の資格・条件」を熟読し、自分が要件を満たしているかを確かめた上で、以下に記載の提出書類①～⑤を揃えて国際交流センターに提出してください。

なお留学先で健康保険加入が義務づけられている場合は、その保険の詳細（補償内容、保険料等）がわかる資料を提出してください。

提　出　書　類

所定様式はPorTaⅡダウンロードセンター ＞ 留学支援 ＞ 留学関連提出書類 ＞ 認定留学申請書類からダウンロードしてください。

①長期留学志願書（所定様式）

②誓約書（所定様式。本人および保証人の署名・捺印が必要）

③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからダウンロード可）

④必要とされる語学力証明書コピー（有効期限内のものに限る）

⑤留学先大学等（P.70「4．留学先の条件」の②参照）が発行した入学許可証明書コピー

■認定留学の申請期限

秋学期から留学する場合……**6月末日**
春学期から留学する場合……**1月末日**

※上記の申請期限は、あくまでも認定留学生としての身分を得るための学内申請期限であり、それ以外の留学手続きにかかる期間は考慮していません。渡航のためのビザ取得等には時間を要することから、早めに国際交流センターに相談し、時間に余裕をもって希望する留学先に出願してください（特にスペインの場合は学生ビザの取得に2ヶ月ほどかかるため、留学開始5ヶ月前の出願が目安）。
※やむを得ず期限までに申請できない可能性がある場合は、必ず事前に国際交流センターまでご相談ください。
※本学「海外危機対応マニュアル」に基づき、派遣が認められない場合があります（P.12およびP.118参照）。

■休学から認定留学への切り替え申請

認定留学については出発前の申請が原則ですが、例えば休学して海外で語学研修中の人が、認定留学申請に必要な要件を満たせば、学期単位で認定留学に切り替えることができる場合があります。ただし、出発前に国際交流センターおよび教務課でその旨を相談し、指導を受けていること、「海外安全対策セミナー」に出席していることが条件となります。

認定留学への切り替えには、前述の認定留学申請手続きが必要なほか、国際交流委員会による承認後、速やかに復学手続きを行う必要があります。復学手続きについては、大学HPまたは教務課学事係で確認してください。また、「海外安全対策セミナー」で案内している本学指定の海外旅行保険への加入も必須となります。

認定留学先の選び方

1. 認定留学は、自分で留学先となる高等教育機関等を選択するので、対象となる機関は世界中にたくさん存在します。その中から自身に最適の留学先を見つけるためには、まず留学の目的や勉強したい分野をはっきりさせましょう。
2. 次に、留学したい国・地域を定め、どのような機関で、どんな授業が開講されているかを調べましょう。機関選択の際には、条件（立地、治安、出願条件、学費、奨学金、留学生サポート等）を書き出した一覧表を作り、比較検討してみてください。また、留学に関する情報収集には、日本にある各国大使館のHPや、日本学生支援機構の海外留学支援サイト等を活用するとよいでしょう。
3. 留学先がある程度絞れたら、出願方法を確認し、出願書類を準備します。機関により出願締切が異なるので、注意してください。また、学内の認定留学申請期限（秋学期：6月末日、春学期：1月末日）に間に合うよう、余裕を持って出願手続きを進めてください。
4. 無事に入学許可を取得したら、国際交流センターで認定留学申請手続きをしてください。

なお、留学エージェントを通して出願することも可能です。獨協大学では、学部留学をサポートする一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション（JSAF）および一般財団法人海外留学推進協会（SAA）とパートナーシップを結んでいます。JSAFおよびSAAは学内で定期的に留学説明会を実施していますので、関心のある方は参加してみてください。日程はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］でお知らせします。

ただし、JSAFやSAAの留学プログラムは、本学の認定留学とは直接的な関係はありません。留学エージェントを利用した留学プログラムが必ずしも本学の認定留学として認められるとは限りませんので、注意してください。

MEMO

これまでの認定留学先大学一覧（2025年３月31日時点）

ドイツ 143

イェーナ大学	4
ヴュルツブルク大学	3
オスナブリュック大学	1
ゲッティンゲン大学	1
ケルン大学	1
ザールラント大学	3
デュースブルク＝エッセン大学	27
トリーア大学	26
ドレスデン工科大学	5
ハイデルベルク大学	4
ハノーファー大学	2
ハレ＝ヴィッテンベルク大学	1
ハンブルク大学	2
ヒルデスハイム大学	3
フライブルク大学	7
フランクフルト大学	1
ブレーメン専門単科大学	1
ベルリンフンボルト大学	1
ベルリン自由大学	1
ボン大学	1
マインツ大学	1
マールブルク大学	18
ミュンスター大学	4
ミュンヘン大学	3
ライプツィヒ大学	2
リューネブルク大学	15
ロストック大学	5

オーストリア 7

ウィーン経済大学	1
ウィーン大学	6

スイス 4

ジュネーヴ大学*2	1
バーゼル大学	3

アメリカ 291

アシュランド大学	2
アパラチアン州立大学	5
アベレットカレッジ	1
アラバマ州立南アラバマ大学	1
アラバマ大学	12
アリゾナ大学	1
イースタン・コネチカット州立大学	1
イースタン・ミシガン大学	1
イースタン・ワシントン大学	1
イリノイ州立大学サウスベンド校	15
イリノイ大学シカゴ校	1
インディアナ大学-パデュー大学インディアナポリス	1
インディアナ州立大学	2
インディアナ州立大学ブルーミントン校	1
ウィスコンシン大学グリーンベイ校	5
ウィスコンシン大学スティーブンスポイント校	3
ウィスコンシン大学ホワイトウォーター校	1
ウィスコンシン大学マディソン校	1
ウィチタ州立大学	2
ウィッテンバーグ大学	1
ウイノナ州立大学	1
ウィバー州立大学	1
ウィラメット大学	1
ウェスタンオレゴン大学	4
ウェスタンカロライナ大学	2
ウェスタンミシガン大学	2
エヴァンスヴィル大学	3
エッカードカレッジ	1
オハイオ州立大学コロンバス校	3
オハイオ大学	1
オリベットナザレーナ大学	1
オルブライト大学	1
オレゴン大学	5
カリフォルニア州立大学イーストベイ校	5
カリフォルニア州立大学サンバナディーノ校	6
カリフォルニア州立大学チコ校	14
カリフォルニア州立大学ノースリッジ校	7
カリフォルニア州立大学フラトン校	8
カリフォルニア州立大学フレズノ校	1
カリフォルニア州立大学ヘイワード校	1
カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校	1
カリフォルニア州立大学モントレー・ベイ校	30
カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校	1
カリフォルニア大学サンディエゴ校	1
カルヴィンカレッジ	1
カンザス大学	1
キーン大学	1
キャロルカレッジ	1
キャンベルズビル大学	4
サウスイースト・ミズーリ州立大学	3
サウスフロリダ大学	1
サザンイリノイ大学	1
サンフランシスコ州立大学	4
シエラネバダ大学レイクタホ校	1
シャウニー州立大学	1
ジャクソンビル州立大学	1
ジョージワシントン大学エリオット校	2
スリパリーロック大学	1
セントクラウド州立大学	1
セントジョセフカレッジ	1
セントラルオクラホマ大学	1
セントラルミシガン大学	1
セントラルワシントン大学	1
ソノマ州立大学	3
タウソン大学	1
テネシー工科大学	15
テネシー大学マーティン校	1
トレド大学	2
ドーンカレッジ	1
ニューオリンズ大学	1
ニュースクールフォーソシアルリサーチ	1
ニューヨーク州立大学オールド･ウェストバリー校	1
ニューヨーク州立大学オールバニ校	1
ニューヨーク州立大学バッファロー校	2
ニューヨーク大学	1
ノーザン・コロラド大学	1
ノースアラバマ大学	12
ノースイースタン大学	2
ノースウエスタンカレッジ	1
ノースカロライナ大学ウィルミングトン校	1
ノックスカレッジ	1
パシフィック・ルーテラン大学	1
ハートウィックカレッジ	1
ハノーヴァーカレッジ	1
ヒューストンバプテスト大学大学院	1
フィンドレー大学	1
フェアリー・ディキンソン大学	1
ブラックヒルズ州立大学	1
ブリガムヤング大学	2
ブリガムヤング大学ハワイ校	1
ベルビューカレッジ	2
ペンシルバニア州立インディアナ大学	1
ボストン大学	1
ポートランド大学	1
ホートンカレッジ	1
マイアミ大学	1
マッケンドリーカレッジ	1
ミズーリ州立大学	6
ミネソタ州立大学マンケート校	1
ミネソタ大学ツインシティ校	4
メイン大学	1
メリーランド大学カレッジ・パーク校	1
モンタナ州立大学	2
モンタナ大学	10
ユタ大学	8
ユティカカレッジ	1
ラッセルカレッジ	1
ルイスアンドクラークカレッジ	1
ワシントン州立大学	2

カナダ 8

アルゴマ大学	1
ヴィクトリア大学	1
バンクーバーアイランド大学	1
フレーザーバレー大学	1
ブリティッシュコロンビア大学	1
マギル大学*2	1
モントリオール大学*2	1
ヨーク大学	1

英国 48

イーストアングリア大学	1
ウェールズ大学	1
エクセター大学	1
エセックス大学	9

留学時点の大学名称としています。統廃合・名称変更により、現在の大学名とは異なることがあります。

エセックス大学大学院	1
エディンバラ大学	2
オックスフォード・ブルックス大学	2
キール大学	1
グラスゴー大学	1
グラスゴー・カレドニアン大学	1
サリーローハンプトン大学	1
サンダーランド大学	1
シェフィールド大学	2
テムズバレー大学	1
ノッティンガム大学	1
バーススパ大学	2
バースユニバーシティカレッジ	1
マンチェスター大学	2
ランカスター大学	1
リーズ大学	6
レスター大学	1
レスター大学大学院	1
レディング大学大学院	2
ローハンプトン大学	1
ロンドン大学	1
ロンドン大学クイーンメアリー校	2
ロンドン・メトロポリタン大学	2

アイルランド	1
メイヌース大学	1

ハンガリー	1
エトヴェシュ・ロラーンド大学	1

チェコ	3
マサリク大学*1	3

エストニア	3
タリン工科大学*1	3

リトアニア	3
ビリニュス大学*1	1
ミコラス・ロメリス大学*1	2

フィンランド	2
ヘルシンキ大学*1	2

イタリア	2
ミラノカトリック・サクロクオーレ大学*1	2

オーストラリア	25
ウーロンゴン大学	6
オーストラリア国立大学	1
オーストラリアカトリック大学	1
グリフィス大学	8
サザンクロス大学	5
スウィンバーン工科大学	1
ディーキン大学	1
マッコーリー大学	1
ラ・トローブ大学	1

ニュージーランド	2
オークランド大学	1
カンタベリー大学	1

マレーシア	1
リンカーン・ユニバーシティ・カレッジ*1	1

フランス	205
アヴィニヨン大学	2
エクス・マルセイユ大学（旧プロヴァンス大学）	3
オルレアン大学	1
カン大学	5
グルノーブル・アルプ大学（旧ノーブル第３大学）	4
サヴォワ・モンブラン大学（旧サヴォワ大学）	14
ストラスブール大学	12
ソルボンヌ大学	11
トゥール大学	2
ナント大学	3
コート・ダジュール大学（旧ニース大学）	3
パリ・カトリック学院	6
パリ-デカルト大学	1
ブルゴーニュ大学	20
ペルピニャン大学	3
ボルドー・モンテーニュ大学（旧ボルドー第３大学）	1
ポール・ヴァレリモンペリエ第３大学（旧モンペリエ第３大学）	10
マリー・エ・ルイ・パストゥール大学（旧フランシュ・コンテ大学）	11
ラ・ロシェル大学	1
ランス大学	2
リュミエール・リヨン第２大学	5
リヨンカトリック大学	37
リール大学（旧リール第３大学）	4
レンヌ第２大学	3
西部カトリック大学	31

スペイン	12
アリカンテ大学	3
アルカラ大学	3
サラマンカ大学	1
バルセロナ大学	5

メキシコ	5
グアダラハラ大学	2
メキシコ国立自治大学	3

ブラジル	1
ミナスジェライス･カトリック大学	1

チリ	1
チリ大学	1

中国	59
厦門大学	1
華東師範大学	5
山西大学	1
四川大学	1
西安交通大学	3
清華大学	1
浙江大学	3
対外経済貿易大学	3
中央民族大学	3
天津理工大学	1
東華大学	1
復旦大学	7
北京大学	10
北京外国語大学	4
北京語言大学	3
北京師範大学	7
香港中文大学*1	2
遼寧師範大学	3

台湾	11
国立中山大学*1	1
国立台湾師範大学	1
国立台湾大学*1	1
東呉大学	8

韓国	13
慶熙（キョンヒ）大学	1
高麗（コリョ）大学	1
建国（コングク）大学	1
淑明（スンミョン）女子大学	1
西江（ソガン）大学	2
漢陽（ハニャン）大学	1
延世（ヨンセ）大学	6

＊1　教授言語：英語
＊2　教授言語：フランス語

長期留学生（交換・認定）共通事項

留学期間の延長

長期留学生（交換・認定）は、獨協大学が許可した留学期間を含め最長４学期間まで延長することが可能です。留学の延長を希望する場合は、以下に示すとおり所定の手続きが必要です。なお、編入学生の留学期間は最長２学期間であるため、１学期間の留学生がさらに１学期間の留学を希望する場合に限り延長申請ができます。

留学期間を延長した場合でも、本学の単位として認定できる単位数の上限（32単位）は変わりません。

【交換留学生】

交換留学の期間を問わず、留学延長後の身分は認定留学生となります。身分が変更となるため、改めて長期留学志願書を提出してください。

【認定留学生】

留学中の大学等を変更せずに留学期間の延長を希望する場合は、長期留学延長願を提出してください。なお、留学先を変えて留学期間の延長を希望する場合は、改めて長期留学志願書を提出してください。

提　出　書　類

①長期留学延長願または長期留学志願書・誓約書（いずれも所定様式）
②留学先大学等が発行した延長（入学）許可証明書
③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからダウンロード可）
④留学延長を希望する大学等の資料（新たに留学を希望する大学が「これまでの認定留学先大学一覧」（P.74）に記載されていない場合のみ。本学における当初の留学期間終了予定日の４ヶ月前までに資料を国際交流センターに提出すること）

長期留学延長願および長期留学志望書には演習指導教員（またはクラス担任）の署名と所見、誓約書には保証人の署名・捺印が必要です。海外からの書類の準備・提出には時間がかかるので、余裕を持って申請手続きを進めてください。

■留学期間延長の申請期限

当初の留学期間が春学期に終了予定（～９月23日）の場合……**6月23日**
当初の留学期間が秋学期に終了予定（～３月31日）の場合… **12月20日**

奨学金

2025年度からの変更点

- **獨協大学国際奨学金に月額上限100,000円を支給する「グローバルチャレンジ奨学金」を新設しました。**
- **獨協大学国際奨学金（交換留学生奨学金、認定留学生奨学金）の支給金額を月額20,000円→月額30,000円にアップしました。**
- **獨協大学国際奨学金と大学推薦を必要とする外部奨学金（JASSO協定派遣奨学金を含む）の併給が可能になりました。**

1．「獨協大学国際奨学金」（給付型奨学金）

奨学金名	対象者	採用人数	金額	支給期間と回数	支給時期
交換留学生奨学金	交換留学生	グローバルチャレンジ奨学金を除く全交換留学生	月額　30,000円	留学期間に応じ、６ヶ月分を一括して支給（年１回または２回）	６月・11月
グローバルチャレンジ奨学金*		年間５名まで	月額　100,000円（上限**）		
認定留学生奨学金	認定留学生	若干名***	月額　30,000円		

*交換留学生奨学金とグローバルチャレンジ奨学金を重複して受給することはできません。
**大学推薦を必要とする外部奨学金（JASSO協定派遣奨学金を含む）が併給基準を定めている場合は、その範囲内での支給となります。
***留学先の授業料や本学GPA等の条件を満たし、選考により採用された者が対象です。

※獨協大学国際奨学金の申請方法や選考等についての詳細は、国際交流センターにお問い合わせください。
※獨協大学国際奨学金と文部科学省による修学支援新制度（給付奨学金）は従来どおり併給が可能です。
※獨協大学国際奨学金は交換留学生、認定留学生ともに、特に考慮すべき点がある場合に限り、月額60,000円を上限として給付する場合があります。
※交換留学をする大学院生の場合は、「獨協大学大学院国際奨学金（大学院交換留学生奨学金）」を受給することができます。詳細は、大学院事務室にお問い合わせください。

2．独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
「海外留学支援制度（協定派遣）奨学金」（給付奨学金）
【対象：交換留学生】

JASSOによる海外留学支援制度（協定派遣）は、協定大学等に派遣される学生（大学院生含む）に対して、留学に係る費用の一部を奨学金として支援することにより、グローバル社会において活躍できる人材を育成するとともに、我が国の高等教育機関の国際化・国際競争力強化に資することを目的として支給される奨学金制度です。採用者は、派遣先大学において一定の単位の修得（一部の国では修了証）が求められます。JASSOから本学に対して支給枠の割当があった場合、国際交流センターから対象者に通知します。対象者のうち、定められた期日までに必要書類を提出した者の中から、学内選考およびJASSOによる最終承認を経て、支給の採用者が決定します。採用者には派遣留学期間中、本学を通じて月額８～12万円（派遣先の地域によって支給額が異なる）が支給されるほか、「渡航支援金」として、一定の派遣期間を満たす者へは１万円が支給されます。

主な申請要件は次の通りです。

（A）成績評価係数（GPA）2.30以上（３点満点。奨学金採用者選考時の前年度の成績）。本学の成績通知表に記載のGPAとは計算式が異なります。

$$成績評価係数＝\frac{（AA・Aの単位数×３）＋（Bの単位数×２）＋（Cの単位数×１）＋（F・FGの単位数×０）}{総登録単位数^{※}}$$

※総登録単位で算出するため、F・FGが多いと成績評価係数は低くなります。十分に注意してください。

（B）在籍大学等において「経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者」として認められる者。

※海外留学支援制度（協定派遣）奨学金は、本学に対して毎年支給枠の割当があるとは限らないため、募集がない場合もあります。

●修学支援新制度を利用している方へ

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金と修学支援新制度(給付奨学金)は同時に受給できません。詳細は「■現在奨学金を利用中の方への注意（学生課）」（P.79）をご確認のうえ、学生課に相談してください。

3．海外留学奨学金（大学推薦）

大学推薦を必要とする海外留学者向けの各奨学金財団による奨学金募集は、随時PorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］または出願要件を満たす対象者に個別に案内します。なお、大学推薦による奨学金に合格した場合でも、当該奨学金の併給基準によりJASSO海外留学支援制度（協定派遣）および獨協大学国際奨学金の併給ができない場合があります。

本学宛に募集が案内された奨学金実績（参考）

奨学金名	支給内容	学内募集時期
（公財）飯塚毅育英会　海外留学奨学生	学部生　年額60万円	６月頃
（公財）業務スーパージャパンドリーム財団奨学生	月額　15万円または20万円 留学一時金　15万円または20万円	12月頃・６月頃（年２回）
官民協働海外留学支援制度 トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム	月額６～16万円 留学準備金15～25万円 （第17期の例）	12月頃

※個人応募の奨学金には推薦状の提出が必要なものもあります。

4．海外留学奨学金（個人応募）

各奨学金団体が募集している奨学金の一部を紹介します（日本学生支援機構（JASSO）の海外留学情報サイト（https://ryugaku.jasso.go.jp/）等より、大学在籍者に給付する奨学金を抜粋）。このほかにも外国政府、自治体、民間団体等が募集する奨学金も多数あります。応募を希望する場合は必ず各団体に直接問い合わせ、最新の募集要項等を入手してください。留学開始時期の１年以上前に応募を締め切るものが多いので、早いうちから情報の収集に努めましょう。海外留学情報サイトでは、国・地域のほか募集期間等による検索もすることができます。

実施機関	奨 学 金 名	支 給 内 容
外国政府等	ドイツ学術交流会（DAAD） 夏期ドイツ語講座参加奨学金（HSK）	奨学金1,192ユーロ、旅費補助、健康・傷害・個人賠償責任保険料
	オーストリア政府給費留学生	月額1,150ユーロ、旅費1,500ユーロを上限に実費支給、授業料免除
	メキシコ政府奨学金アカデミックプログラム留学生	入学金・授業料、生活費月額10,274.00ペソ相当、往復航空券支給等
	日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画	滞在費月額14,852.39ペソ、医療保険、往復航空券、入学金・授業料支給
	埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画	
	中国政府奨学金（普通進修生、高級進修生）	学費免除、寮費免除、生活費月額（普通進修生：月額3,000元、高級進修生：月額3,500元）、総合医療保険料免除
	教育省華語文奨学金（台湾への語学留学）	月額25,000元
地方自治体	埼玉県・オハイオ州スカラシップ（集中英語・学部・大学院留学コース）	派遣期間中の授業料免除
	埼玉県・クィーンズランド州スカラシップ （大学附属英語学校派遣）	授業料免除
	埼玉県・山西大学への奨学生派遣事業［中国］ （１ヶ月・３ヶ月・６ヶ月・１年コース）	派遣期間中の授業料と寮費の免除
	「埼玉発世界行き」奨学金 一般奨学金地域活躍コース・冠奨学金	地域活躍コース20万円 ※冠奨学金は種類ごとに異なる（50万～120万円）
	戸田市海外留学奨学制度	授業料、生活費、渡航費用　最大150万円
民間団体	（一財）霞山会　留学奨学金（中国・台湾）	月額13万円
	（公財）松下幸之助記念志財団　松下幸之助国際スカラシップ	月額20万円、往復渡航費補助
	（公財）村田海外留学奨学会　海外留学奨学金	学費、生活費、往復旅費
	（公財）ロータリー財団　ロータリー財団奨学生　第2770地区（他地区でも募集あり）	上限20,000米ドル相当

※獨協大学PorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］にも随時奨学金情報を掲載しています。
※募集を中断、中止している場合があります。

■ 現在奨学金を利用中の方への注意（学生課）

1．修学支援新制度の扱い

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金と修学支援新制度（給付奨学金）とは併給できません。両方の支給金額を確認のうえ、どちらを受給するかを選択してください。修学支援新制度を停止するためには書類提出が必要なため、協定派遣奨学金受給開始月の1ヶ月以上前に、学生課に相談してください。

また、修学支援新制度（授業料減免）は本学に授業料を納める場合しか適用されません。

2．JASSO奨学金（修学支援新制度、貸与第一種、貸与第二種）

JASSO奨学金は、交換留学・認定留学を含む在籍期間が4年間で支援終了となります。4年生で留学を開始する場合は、留学終了後の学納金や履修計画にもご注意ください。

なお、貸与奨学金利用中の方は「留学時特別増額貸与奨学金」が申請可能です。

3．獨協大学学部奨学金の扱い

獨協大学学部奨学金は、留学・休学の方は受給できません。春学期に学部奨学金に採用された方が秋学期から留学する場合、秋学期分の奨学金は受け取れません。

春学期に留学していた方が秋学期から在学する（本学で講義を受ける）場合、秋学期半年分の学部奨学金を申請できます。詳細は9月に案内します。

また、長期留学のために４年間で卒業できない場合でも、2025年度から、申請可能になる予定です。

4．民間・自治体等奨学金の扱い

本学から推薦する民間・自治体等の奨学金を受けている場合は、事前に学生課奨学係へご相談ください。個人で直接応募した奨学金を受けている場合は、自分で支給団体に相談してください。

留学前に行うこと

長期留学生は、「留学は学生本人の自発的選択と責任において行われるべきものである」ということをしっかり理解してください。主体的に自己管理を行うとともに、渡航準備から帰国までを含む留学中の一切の行動を、学生自身の責任において進めることが求められます。本留学ガイドを熟読し、事前に十分に理解した上で、必要な手続きや行動を進めてください。

留学に関する情報は、何もせずに待っていて得られるものではありません。受身の態度からは何も始まりません。自ら留学先大学（機関）のHPや国際交流センター窓口で情報収集を図るとともに、不明点は留学先の担当者に直接確認するよう心掛けてください。

1．留学前ガイダンス

教務課で、留学内定者を対象に留学後の単位認定手続き等に関するガイダンスを行います。対象者は教務課各学部係と日程調整の上、必ずガイダンスを受けてください。

また、教職課程や司書課程履修者は、上記のガイダンスに加え、各課程の科目履修方法や実習等の手続きについて説明を受けてください。

2．語学力の向上

留学先の語学条件を満たすことがゴールではありません。留学決定後も語学力の向上に努めましょう。特に学部留学では、「外国語を学ぶ」ことではなく、「自身の専門を学ぶ」ことが求められます。現地の学生とともに講義を受け、ディスカッションやグループワークに参加することに加え、予復習や宿題として日々大量の教科書や資料を読みこなし、課題のレポートも作成しなければなりません。そのため、日常会話能力に加え、自分の学問分野に関する専門的な語学力が要求されます。留学先大学によっては、入学条件の語学要件のほかに、分野や科目ごとに必要な語学要件を定めている場合も少なくありません。

多くの学生は、留学先大学が求める所定の語学検定試験を受験し、その試験結果（スコアレポート）を確認していることと思います。自身の足りないスキルを留学までに確実に伸ばすことが、留学先でのさらなる成長につながります。本学では、授業以外での「毎日レッスン！実践英会話」（有料）、ゲーテ・インスティテュートドイツ語講座（有料）の開講、アテネ・フランセフランス語講座サポートプログラム（有料）など、学ぶ意欲のある学生を支援する仕組みを提供しているので、積極的に活用しましょう。

【「毎日レッスン！実践英会話」について（エクステンションセンター）】

授業の合間に毎日40分英会話が学べる「毎日レッスン！実践英会話」を開講しています。この講座では、教授経験豊富なネイティブスピーカー講師が少人数（最大12名）のレベル別クラスでレッスンを行います。毎日実践的な会話練習を行うため、留学先ですぐに使える英会話力を養えます。受講は月曜から金曜の毎日40分、年間100回。さらに、希望者は追加料金なしでフリートーククラスに参加できます。

開講時期：春期　５月上旬～７月中旬　秋期　９月下旬～12月中旬（１回40分、計100回）
受 講 料：125,000円（テキスト代込、税込）
本講座はオープンカレッジ講座の一つであるため、初めてオープンカレッジ講座を申し込む方は別途登録料2,200円（税込）が必要です。
問い合わせ先：エクステンションセンター
詳しくは、PorTaⅡ掲示板［図書館・学修支援・語学学習］にてご確認ください。

また語学力の向上についてはP.6～9も参照してください。

３．留学中の学習計画立案

留学開始前に、留学先大学で具体的にどのような分野（科目）を履修するか決める必要があります。留学先大学では、本学が提供している分野のみならず、その大学ならではの科目や分野も多く提供されています。自分の専門分野や興味ある分野を軸にしつつ、新たな知見を獲得するため、さまざまなことに積極的に挑戦してください。ただし、科目や分野によっては単位認定の対象とならないものや、留学先大学の都合で急きょ開催されない場合などもあるので、事前に教務課や指導教員との確認が必要です。

留学先大学では、十分な予備知識を持って授業に臨むことが求められます。また、出願時に提出する成績証明書（Academic Transcriptなど）に記載されている過去の学修履歴を判断し、履修の可否が決められる場合もあります。自身の学びたい分野をより深く探求するために、留学前に関連する分野や科目について自己学習を進めておきましょう。

４．事前研修（交換留学生は参加必須）

学術交流協定を結んでいる大学へ本学学生を派遣する交換留学は「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」を育成することを目的としています。原則として全ての交換留学生は、派遣前に行われる事前研修と留学終了後の事後研修の参加を必須とします。認定留学生の参加も推奨します。

事前研修内容等（予定）　　**※各回の対象者には事前に案内します。**

日時・内容・対象		秋学期留学開始者 （出発時期８月～10月）	春学期留学開始者 （出発時期２月～４月）
第１回	プログラム目的の共有、 留学研究課題の明確化	2025年５月24日（土） 13：35～16：35	2025年10月25日（土） 13：35～16：35
第２回	留学計画のブラッシュアップ	2025年６月28日（土） 13：35～16：05	2025年12月６日（土） 13：35～16：05

〔参考　事後研修内容等（予定）〕

日時・内容・対象		春学期留学終了者 （帰国時期　５月～７月）	秋学期留学終了者 （帰国時期　11月～３月）
第１回	留学の振り返り	2025年７月26日（土） 13：35～16：35	2026年２月21日（土） 13：35～16：35
第２回	留学後の学修計画のブラッシュアップ	2025年８月１日（金） 13：35～15：35	2026年２月27日（金） 13：35～15：35

５．海外安全対策セミナー（短期・長期留学生は参加必須）

本学の留学制度を利用して短期・長期留学する学生は、「海外安全対策セミナー」への参加を義務づけています。このセミナーでは留学前の情報収集や海外で注意すべき点、トラブル発生時の対処方法等について説明し、留学者自身の危機管理意識を高めることを目的としています。また、本学指定の海外旅行保険についても案内します。日程等の詳細はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］、［あなたへのお知らせ］にてお知らせします。授業時間と重なるため、以下の日程に参加できない場合は、事前に国際交流センターに申し出てください。

実施予定

夏季：　2025年　７月２日（水）または　７月 ４日（金）

春季：　2026年　１月９日（金）または　１月14日（水）

渡航手続き

1．パスポート（旅券）の取得

下表の書類を用意し、都道府県のパスポート申請窓口または、オンラインで申請してください。オンライン申請はアプリのインストールが必要です。旅券には10年有効と５年有効の２種類があります。民法および旅券法の改正により、2022年４月１日より18歳以上の方は、有効期間が10年のパスポートを申請することが可能になりました。申請から受領までに通常１週間程度（土・日・祝日・振替休日・年末年始を除く）かかります。手数料（窓口申請：11,300円、オンライン申請：10,900円（５年間有効）／窓口申請：16,300円、オンライン申請：15,900円（10年間有効））はパスポート受取時に納めます。代理人申請や現住所と住民登録の住所が異なる場合は、各都道府県のパスポート申請窓口に問い合わせてください。代理人が申請した場合も含め、パスポートは本人でなければ受け取ることができません。

【必要書類】

一般旅券発給申請書	外務省ホームページからダウンロード、または都道府県のパスポート申請窓口のほか市区町村役所で配布。全国共通書式。2023年３月改正のもの。（古い様式のものは不可）
戸籍謄本	• ６ヶ月以内に発行されたもの • 有効なパスポートを所有し、氏名・本籍（都道府県名）に変更がない場合は省略可 • 戸籍事務がコンピューター化された市区町村では戸籍謄本に代わって「戸籍の個人事項証明書」や「戸籍の全部事項証明書」が発行される。
住民票の写し	• ６ヶ月以内に発行されたもの • 必要となるのは次の場合 （ア）住民基本台帳ネットワークシステムの利用を希望しない （イ）住民登録をしていない都道府県で申請する（詳細はパスポート申請窓口で確認）
写真	• 4.5cm×3.5cm正面無帽・無背景。６ヶ月以内に撮影されたもの
本人確認の書類	マイナンバーカード（個人番号カード）、運転免許証、または健康保険証と学生証。コピー不可
発給済みの旅券（該当者のみ）	有効なパスポートまたは期限切れのパスポート

2．学生ビザ（査証）の取得

ビザ取得の要件・手続きは国・地域によって異なります。また変更となることも多いので、各自で最新情報を大使館等に確認してください。

【主な必要書類】

パスポート（旅券）	残存有効期間に注意
写真	サイズ・必要枚数については大使館等に確認
入学許可書	留学先大学等が発行したもの
財政証明書	金融機関による証明（ただし、国・地域により免除される場合がある）
学生査証申請書（所定用紙）	大使館または大使館HPで入手可能
その他	国・地域により必要な書類が異なるので、大使館または大使館HPで確認

3．渡航先の入国・行動制限措置等の確認と準備

コロナ下においては、国・地域や時期により入国（入境）者に対し、新型コロナウイルス陰性証明やワクチン接種証明の提示、到着後検査や一定期間の隔離等を求めるといった状況が発生しました。渡航先の入国等に必要な書類、手続きについては事前によく調べ、準備を行いましょう。各種措置はさまざまな状況に応じて流動的に変更される可能性がありますので、現地の日本国大使館・領事館や各国当局のホームページ等で最新情報を入手することが大切です。

4．航空券の購入

多くの国は片道チケットで支障なく入国できますが、国によっては、入国の際に帰国用の航空券の提示を求められることもあります。留学期間が１年以内であれば、帰国日を後で設定できるオープンチケット（帰国日は出発日から最長１年間）を使うのもよいでしょう。格安航空券でも問題ありませんが、出発が旅行のハイシーズンと重なる人は早めに予約しましょう。

5．海外旅行保険の加入

海外で病気にかかったりケガをしたりした場合、治療費は非常に高額となり、かつ、皆さんの安否について大学が正確な情報を収集するのは極めて難しくなります。

そこで本学では、留学生全員（休学して留学する者、個人での語学留学等は除く）に大学指定の海外旅行保険とトータルサポートサービスへの加入を義務づけています。留学先で健康保険加入が義務づけられている場合は、その保険の詳細（補償内容、保険料等）がわかる資料を提出してください。詳細はP.108（「危機管理・安全対策」のページ）をご覧ください。

6．在留届の提出

外国での在留期間が３ヶ月以上にわたる日本人は、旅券法および同法施行規則により在留届を提出する必要があります。日本出発前でも現地到着の90日前から住所未定でも届け出ることができますので、外務省「在留届電子届出システム（ORRnet)」サイトから提出してください。また、留学先での引越や帰国など記載事項に変更が生じた場合は、必ず変更届・帰国届を提出してください。

※日本国籍以外の方は、各自、留学先最寄りの自国の大使館または領事館で必要手続きを確認してください。

出典：外務省ホームページ ＞ 海外渡航・滞在 ＞ 届出・所在調査

7．外貨購入・送金手続

留学中の費用の持参・調達の方法としては、現金持参、クレジットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポート、現地銀行口座を開設して日本から送金（銀行振込や小切手の送付）等が考えられます。海外に多額の現金を持っていくことは大変危険です。また、外資系の銀行で現地に支店がある場合は渡航前に口座開設ができるため便利ですが、銀行口座開設には時間を要する場合があります。現地到着後、口座開設まで使える現金、クレジットカード、デビットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポート等を持参することをおすすめします。

外貨現金	外国為替取扱銀行で購入できます。現金を持参する場合は、多額になりすぎないよう気をつけるとともに、人目にふれる場所に置かず、スリ等の危険にも注意しましょう。
クレジットカード	身分証明にもなり便利です。ただし、紛失や使い過ぎ、カード犯罪等に十分に注意する必要があります。また、万一紛失した際に即時に利用停止手続きができるよう、カード番号やカード会社の緊急連絡先を別に控え保管しておきましょう。地域によっては利用できないカードもあるため、事前に留学先国において利用可能か調べることが重要です。
デビットカード	利用代金は銀行口座から即座に全額引き落としになります。カードに紐づいた銀行口座の預金残高を超える利用はできません。VISAやMastercardなど国際ブランドが付いているものが留学には便利です。
トラベルマネーカード キャッシュパスポート	事前に入金して利用するプリペイドタイプのカードで、留学先のATMで現地通貨を引き出すことができ、デビットカードとしても利用できます。入金した額だけ利用できるため、使い過ぎや紛失の際にも安心です。また、残額が少なくなったら、日本の家族等に追加で入金してもらうこともできます。
現地で口座開設 （海外送金）	留学先において口座を開設し、日本の口座から海外送金することができます。送金するルートは次のような方法があります。受取銀行への仲介手数料や口座登記料が別途かかる場合があります。 **【銀行からの外国向け送金方法】** 電信送金（Telegraphic Transfer） 銀行窓口での手続きのほかインターネットバンキングにより送金できる場合もあります。手数料は割高です。基本的には銀行手数料は送金人負担となります。 **【ゆうちょ銀行および国際送金取扱郵便局からの外国向け送金方法】** 口座あて送金／口座間送金があります。 詳細は、ゆうちょ銀行HPで確認しましょう。 ※個人番号（マイナンバー）の届出等が必要です。事前に必要書類を確認し、余裕をもって手続きを行いましょう。
海外送金サービス	Wise、PayPal、Western Unionなどのサービスを利用した海外送金も可能です。手数料、為替レート、必要な書類（マイナンバーカード等）が異なりますので、ご自身で比較検討してから決めてください。

8．渡航日程の届け出

留学先に渡航する日程や利用する航空会社が決まり次第、PorTaⅡ（留学支援 ＞ 海外渡航情報入力）で入力してください。

留学時の学納金の取り扱い

1．長期留学中の本学への学納金（参考）

①入学年度2024年度以降

交換留学（協定校の授業料が免除の場合）

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	420,000円	420,000円	840,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
教育充実費（在籍基本料分）	80,000円	80,000円	160,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
合計	506,800円	506,000円	1,012,800円	

交換留学（協定校に授業料を納付する場合）、または認定留学の場合

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	0円	0円	0円	
教育充実費（在籍基本料分）	80,000円	80,000円	160,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
合計	86,800円	86,000円	172,800円	

②入学年度2016～2023年度

交換留学（協定校の授業料が免除の場合）

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	380,000円	380,000円	760,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
合計	526,800円	526,000円	1,052,800円	

交換留学（協定校に授業料を納付する場合）、または認定留学の場合

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	0円	0円	0円	
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	２回に分納（春学期・秋学期）
合計	146,800円	146,000円	292,800円	

上記以外に、獨協大学が指定する海外旅行保険に加入する必要があります。また、留学先でも別途保険加入を義務づけている場合があります。留学先大学が現地の保険加入を義務づけている場合、本学が指定する海外旅行保険の低補償プランを利用できることもありますが、補償内容が異なりますので、詳細は35周年記念館１階にある同窓会事務室（保険手続き窓口）で十分に確認してください。

2．本学からの学納金納付案内のスケジュールについて

留学期間中の学納金の納付は以下の通りです。不明な点は、会計課までお問い合わせください。

	学期	Web画面によるオンライン手続き締切日	口座振替日
Web口座振替（金融機関・ゆうちょ銀行）制度による納入 （※振替日前の個別案内なし）	春学期	３月20日	４月14日
	秋学期	８月20日	９月12日
銀行振込による納入	学期	振込用紙の発送予定日	納入期限
	春学期	４月１日	４月末日
	秋学期	９月１日	９月末日

※高等教育の修学支援新制度に申込をされている方は、Web口座振替をご利用いただけません。
学納金に関する詳細は、以下のHPで確認することができます。
https://www.dokkyo.ac.jp/about/openinfo/activity2/payment.html

留学中に行うこと

留学先に到着したら、以下の手続きを順に行ってください。

1．在留届の提出

外務省「在留届電子届出システム（ORRnet）」サイトから在留届を提出してください（P.83参照）。

2．連絡先等の届け出（住所連絡・変更届）

留学先の住所、電話番号、携帯電話、Ｅメールアドレス、在留届登録日等を、到着後１週間以内にPorTaⅡ（留学支援 ＞ 海外渡航情報入力）で入力してください。

3．履修報告の届け出（履修報告届）

各学期の履修登録期間終了日から１週間以内にPorTaⅡ（留学支援 ＞ 海外渡航情報入力）で入力してください。

4．中間報告書を提出する（所定様式）

最初の学期終了後１ヶ月以内に、学修・生活状況について、中間報告書（所定様式）を以下の学部・学科別メーリングリスト宛にメール送信してください。中間報告書は長期留学中の学生の学修・生活状況を大学側で把握するために利用するとともに、次期留学予定の学生に公開することがあります。

【学部・学科別メーリングリスト】

（国際交流センタースタッフに加え、関連教員、教務課スタッフが情報共有できるようになっています）

ドイツ語学科学生	ryugaku1@ml.dokkyo.ac.jp
英語学科学生	ryugaku2@ml.dokkyo.ac.jp
フランス語学科学生	ryugaku3@ml.dokkyo.ac.jp
交流文化学科学生	ryugaku7@ml.dokkyo.ac.jp
言語文化学科学生	ryugaku4@ml.dokkyo.ac.jp
経済学部学生	ryugaku5@ml.dokkyo.ac.jp
法学部学生	ryugaku6@ml.dokkyo.ac.jp
大学院生	a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp

※「中間報告書」とは別に、留学中に相談事や問題がある場合は、国際交流センターにメールしてください（a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp）。個人的な相談は、直接担当者に連絡してもかまいません。
また、Zoomによる面談も実施可能です。

5．帰国連絡の届け出（帰国日程届）

留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも１ヶ月以内に）帰国するスケジュールを組み、帰国予定日１ヶ月前を目途に、PorTaⅡ（留学支援 ＞ 海外渡航情報入力）に入力してください。

万が一、帰国日が出発前に加入した大学指定の海外旅行保険の期間を過ぎてしまう場合は、保険期間終了前に保険の延長手続きが必要となります。

詳細は大学HPに掲載していますので、以下の順にアクセスし手続きを進めてください。

国際交流 ＞ 留学制度 ＞ 留学予定・留学中・帰国学生へ ＞ 留学期間の延長 ＞ 海外旅行保険の延長手続き

留学後に行うこと

留学を終了して帰国したら、以下の順に帰国後の手続きを行ってください。

1．各種書類の提出（国際交流センター）

国際交流センターHP（留学制度＞留学予定・留学中・帰国学生へ＞帰国後の手続き）にアクセスし、帰国後１ヶ月以内※に次の書類を提出してください。**以下４点の書類提出をもって留学が終了したとみなされますので、交換・認定留学生とも、必ず提出**してください。※留学成果報告書を除く。なお国内での留学の場合はコース、課程、その他の留学プログラム終了日から1ヶ月以内に提出してください。

留学終了届	保健センターで健康診断（復学者健診）を受け、所定の欄に確認印をもらってください。この健康診断受診は、原則として学校医（内科）の来校日となりますので、詳細や日程は保健センターに確認してください。 教務課に帰国の報告を行い、所定の欄に確認印をもらってください。 保健センター、教務課の確認印を得た上で、国際交流センターに提出してください。
留学アンケート	国際交流センター内の閲覧資料として活用します。留学を希望する学生にとって貴重な情報源となりますので、できるだけ詳しく記入してください（原則、氏名を伏せて公表）。 所定様式への入力後、メールによる提出可。
留学体験記と写真	国際交流センター内の閲覧資料および次年度発行の「獨協大学留学ガイド」に体験記を掲載します。体験記（ワード文書にて1,500文字程度）を作成し、写真数枚とともに国際交流センターにデータ送信してください（a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp）。 また、体験記の掲載にあたっては、紙面の都合により編集する場合があります。あらかじめご了解ください。 ※提出原稿は、「留学ガイド」以外の獨協大学の刊行物に掲載する場合があります。
留学成果報告書	留学統計資料の一つとして大学HP等で公表します（原則、氏名は伏せて公表）。 事後研修参加後、１週間以内にP.85に記載の【学部・学科別メーリングリスト】宛に提出してください。※事後研修に参加していない認定留学生も提出は必須。

「留学終了届」「留学アンケート」はPorTaⅡダウンロードセンターよりダウンロード（留学支援 ＞ 留学関連提出書類 ＞ 留学終了時提出書類）、「留学成果報告書」は所定様式をメール添付にて配布

2．単位認定に関する書類、資料の提出（教務課）

出発前の個人面談での指示のもと、単位の認定に関する諸手続きを確実に行ってください。

3．その他手続き（就職・奨学金・資格課程等）

就職指導、奨学金受給再開（留学による中断がある場合）、資格課程等については、関連する窓口に行き、速やかに必要な手続きを済ませてください。特に帰国後すぐに就職活動を予定している場合は、留学前・帰国後ともに、キャリアセンターでガイダンスを受けてください。

4．事後研修（交換留学生は参加必須）

交換留学生は以下の日程で行われる事後研修に参加することが必要です。国際交流センターからの案内に従い、必ず参加してください。認定留学生も参加を強く推奨します。

事後研修内容等（予定）

日時・内容・対象		春学期留学終了者 （帰国時期　５月～７月）	秋学期留学終了者 （帰国時期　11月～３月）
第１回	留学の振り返り	2025年７月26日（土） 13：35～16：35	2026年２月21日（土） 13：35～16：35
第２回	留学後の学修計画のブラッシュアップ	2025年８月１日（金） 13：35～15：35	2026年２月27日（金） 13：35～15：35

5．語学検定試験の受験（交換留学生は受験必須※）

留学の成果を測定するため、交換留学生には、原則として**留学終了後に語学検定試験を受験することが義務**づけられています。これは、言語運用能力の向上を客観的に評価し、留学を考えている学生に対してモデルケースとして示すことを目的としています。またその結果は自身の留学後の就職活動や進学準備等にも役立てることができますので、**交換留学終了後、速やかに受験申込をし、受験後はスコアレポートを提出**してください。
※留学終了時に卒業を予定している場合は、卒業までに受験および受験料補助申請を完了させてください。

※交換留学生については下記の語学検定試験の受験料に関し、１人につき１回分の受験料を全額補助します（受験料の支払いにかかる振込手数料、交通費等は自己負担）。
※交換留学生のための授業料補助とは別に、長期留学の語学力条件に必要なレベル取得のための語学試験受験料の補助についてはP.8～9を参照してください。

【補助の対象および範囲】

- 留学前に受験したものと同一の試験を受験してください（英語については原則としてTOEIC受験としますが、海外への進学希望者に限りIELTS™、TOEFL iBT® の受験も可とします）。
- 試験がレベル別の場合、留学出願時より１ランク以上上のレベルを申し込んでください。
- 留学先の留学期間終了日から起算し、６ヶ月以内※に受験した語学検定試験を原則として対象とします。
  ただし、６ヶ月以内に受験を希望する試験が実施されない場合、または、留学期間中に１ランク以上上の語学検定試験を受験するに足る能力を有していると自己判断し、かつ留学先での受験を希望する場合は、事前に国際交流センターに相談してください。国際交流センターが補助対象として適切と判断した場合は、受験料補助の対象とします。

※留学終了学期に卒業を予定している場合は、卒業までに受験し、補助申請手続きを完了させてください。

対象試験

言　　語	試 験 名 称	受験費用（参考）
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	19,500円～34,500円
英語	TOEIC® ※	7,810円
	IELTS™	25,380円
	TOEFL®	iBT　245 USD
		ITP　4,000円
フランス語	TCF	15,000円
	DELF/DALF	19,000円～30,000円
	実用フランス語技能検定試験	10,000円～14,500円
スペイン語	DELE	15,000円～21,000円
	スペイン語技能検定	10,450円～13,200円
中国語	HSK	7,920円～11,550円
	中国語検定	7,800円～11,800円
	TOCFL	7,500円
	TECC	7,590円
韓国語	韓国語能力試験（TOPIKⅡ）	7,000円
	「ハングル」能力検定	6,300円～10,000円

※留学前に受験したTOEFL® またはIELTS™の結果とCEFRで比較
注：上記の受験費用は、実施団体により改訂される場合があります。

【補助申請手続】

	手　続　内　容
受験前	各自、該当試験の受験申込を行う。以下の場合は、申込前に国際交流センターに相談してください。 • 留学終了後６ヶ月以内に受験を希望する試験が実施されない場合 • 帰国前に留学先での受験を希望する場合
受験後	スコアレポート到着後、１ヶ月以内に以下３点を国際交流センターに提出してください。 ①「留学後の語学検定試験受験料補助申請書」 ②語学検定試験受験料の領収書（電子も可） ③試験結果のスコアコピー ※１ WEB申込等でクレジットカード払いのため領収書が発行されない場合、カード会社発行の利用明細書（電子も可）および受験者氏名、試験名、受験日、受験費用が分かる書類を提出してください。 返却不可につき、必ず控えをとってください。 ※２ 外貨で現金払いの場合、換算レート基準日は、領収書の発行日にかかわらず「留学後の語学検定試験受験料補助申請書」を国際交流センターが受領した日とします。 ※３ レベル別の試験の場合、万一不合格となった場合でも申請可とします。

長期留学により修得した単位の認定について

受験料支給	原則として書類提出の翌月末までに、奨学金振込口座として指定した口座に獨協大学が振り込みます。

概　要	「学生の留学により修得した単位の認定に関する細則」の第６条により、交換または認定留学期間中に留学先大学等で修得した単位については、学部教授会の承認を得て、在学期間を通じて合計32単位を限度として、大学院にあっては研究科委員会の承認を得て、10単位を限度として認定することができます。

認定の流れ	（１）帰国後、速やかに必要書類（各学科のページ参照）を教務課各学部係へ提出します（郵送は不可）。 （２）提出された書類を教務課でチェックします。 （３）各学部・学科で審査します。 （４）教務委員会および各学部教授会で承認されれば単位が認定されます。
認定の種類 （振替と換算）	**「振替」** 留学先大学で修得した科目の学修時間数と学修内容を検討し、本学の開設科目の中に類似した科目がある場合は、本学の科目を修得したものと見なします。 **「換算」** 留学先大学で修得した科目の内容が学修効果の上で本学の卒業に必要な単位として含めることができるが、それに類似した科目が本学に開設されていないか、あるいは類似した科目をすでに修得している場合に、その単位を選択科目の分野を修得したものと見なし認定します。 振替と換算については、単に学生が留学先大学で修得した科目の内容ばかりでなく、既修科目や現在履修中の科目の状況等を考慮して、教務委員あるいは、演習担当教員およびクラスアドバイザーが協議のうえ、個々に判断されます。詳細は教務課各学部係窓口（大学院生は大学院事務室）で相談してください。
算定基準	本学学則第22条を原則とし、留学先で修得した科目の授業時間数に基づいて、本学で単位として認定します。 なお、授業時間数については、各大学の制度とともに留学先で修得した科目の「科目内容、授業形態、難易度、成績、修得単位数等」を考慮して審査します。 また留学中に修得した科目を本学の科目として認定できるのは、本学が留学生として認定した期間に修得した科目に限られます。 成績証明書・通知表には留学の記録（留学年度、長期留学〔交換・認定〕、留学先大学名）と認定された科目名および評価「Ｐ」（認定）が表示されます。
認定日	所定の手続き・審査を経て、各学部教授会で承認された日が認定日となります。
４年生への 注意	留学終了と同時に卒業を希望する場合、出発前の教務課ガイダンスで「希望」を伝えるとともに必要な手続きとスケジュールをよく確認してください。 **３月卒業→２月20日**までに単位認定の手続きを完了させること **９月卒業→８月20日**までに単位認定の手続きを完了させること **※教職課程および日本語教員養成プログラム履修者は、出発前に担当係で指導を受けてください。**
問い合わせ先	単位の認定に関する問い合わせ先は、教務課各学部係です。 外国語学部係 ドイツ語学科担当　inquiry_doitsugo@ml.dokkyo.ac.jp 英語学科担当　inquiry_eigo@ml.dokkyo.ac.jp フランス語学科担当　inquiry_furansugo@ml.dokkyo.ac.jp 交流文化学科担当　inquiry_kouryu@ml.dokkyo.ac.jp 国際教養学部係　inquiry_gengo@ml.dokkyo.ac.jp 経済学部係　keizai_mail@stf.dokkyo.ac.jp 法学部係　inquiry_hou@ml.dokkyo.ac.jp

※大学院の単位認定については、大学院事務室で確認をしてください。

外国語学部　ドイツ語学科生

ドイツ語学科で認定される科目	【2023年度以前入学生】 （1）外国語科目群 （2）演習科目群 （3）概論・専門講義・テクスト研究科目群 ＊専門演習は、留学期間に応じて最大４単位まで認定できます。 ＊英語による授業（講義・演習）は最大10単位まで認定できます。 ＊ドイツ語圏の大学で行われる外国人留学生向けの語学コースや、大学付属の語学学校における授業で、国際交流センターに長期留学の出願・申請時に提出した語学資格のレベルより上のものを受講し、成績証明書または修了書を修得した場合、外国語科目群のうち「初級・中級ドイツ語」および「上級ドイツ語」部門の科目として認定できます。 ＊科目特性表に準じますので、熟読してください。 詳細については、ガイダンスで説明します。
	【2024年度以降入学生】 （1）外国語科目群 （2）リベラルアーツ科目群 （3）演習科目群 ＊リベラルアーツコースの学生は、「卒業論文演習」を２単位まで、「専門演習」「専門講読演習」を留学期間・時期に応じてそれぞれ最大４単位まで認定できます。ただし、「SeminarⅠ」「SeminarⅡ」「SeminarⅢ」の単位認定はできません。 ＊プロジェクトコースの学生は、留学期間・時期に応じて「SeminarⅠ」「SeminarⅡ」の単位を合計最大４単位まで、「SeminarⅢ」の単位を最大４単位まで認定できます。ただし、「専門演習」「専門講読演習」「卒業論文演習」の単位認定はできません。 ＊英語による授業（講義・演習）は最大10単位まで認定できます。 ＊ドイツ語圏の大学で行われる外国人留学生向けの語学コースや、大学付属の語学学校における授業で、国際交流センターに長期留学の出願・申請時に提出した語学資格のレベルより上のものを受講し、成績証明書または修了書を修得した場合、外国語科目群のうち「初級ドイツ語」「中級ドイツ語」および「選択ドイツ語」部門の科目として認定できます。 ＊科目特性表に準じますので、熟読してください。 詳細については、ガイダンスで説明します。
ドイツ語学科で認定されない科目	語学としての英語の授業は、認定の対象としません。 また、以下の科目の単位としては認定できません。 ・「ドイツ語卒業研究」（2024年度以降入学生） ・「卒業論文」 ・他学部の科目 ・他学科の科目 ・外国語学部共通科目 ・「交流文化論」 ・免許課程科目 ・全学共通授業科目
必要書類	（1）「単位の認定・換算願」（教務課で配布） （2）成績証明書（修得単位の記載されたもの） （3）審査資料 ・認定を希望される科目の講義概要（シラバスなど） ・授業のノート（ノートを清書した場合はオリジナルも提出） ・提出したレポート（口頭発表などの場合は、その原稿を提出） ・授業時に配布された資料 ・講義の時間数が確認できる資料（Vorlesungsverzeichnisあるいはそれに該当する資料）
単位認定のプロセス	教務課で提出書類のチェック→教務事項の担当教員および関係する教員による審査（必要に応じて面談）→ドイツ語学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会

外国語学部　英語学科生

<table>
<tr><td>英語学科で
認定される科目</td><td>
英語を教授言語とする学部教育課程で修得した単位が認定の対象になります。
通常、英語を教授言語とする学部教育課程で履修する科目には、内容によって以下の表のような番号が振られています。その番号により本学のどの範囲の科目に認定できるかが決定します。留学先の国や大学により番号が異なりますので、留学をする前に必ず演習担当教員（またはクラスアドバイザー）と教務委員に単位認定の可能性について確認してください。
<table>
<tr><th>認定可能な科目</th><th>４年制の学士課程
〈例〉アメリカ合衆国、カナダ</th><th>３年制の学士課程
〈例〉英国、オーストラリア、カナダ</th></tr>
<tr><td>（2023年度以前入学者）
学科基礎科目、学科共通科目、第二外国語</td><td rowspan="2">100番台相当以上</td><td rowspan="2">100／1000番台相当以上</td></tr>
<tr><td>（2024年度以降入学者）
専門基礎科目、英語基礎科目、英語応用科目、第二外国語</td></tr>
<tr><td>学科専門科目
（特殊講義、文献セミナーを除く）</td><td>200番台相当以上</td><td>200／2000番台相当以上</td></tr>
<tr><td>特殊講義、文献セミナー、演習</td><td>300番台相当以上</td><td>200／2000番台相当以上</td></tr>
</table>
ただし、第二外国語、演習については次のとおりです。
●第二外国語…本学で第二外国語科目が未修得の場合のみ認定できます。
●演　　習…申請時において３年生以上を認定対象とします。留学期間が半年で最大２単位、１年以上で最大４単位までを認定します。
</td></tr>
<tr><td>英語学科で
認定されない科目</td><td>
以下の科目の単位としては認定できません。
• 他学部の科目
• 他学科の科目
• 外国語学部共通科目
•「交流文化論」
• 免許課程科目
• 全学共通授業科目（第二外国語を除く）
</td></tr>
<tr><td>必要書類</td><td>
（１）「単位振替・換算願」（教務課で配付）
（２）成績証明書（評価基準が記載されたものを含む）
原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課へ相談。
（３）審査資料
• シラバス、講義概要
• 授業時間数が明記された文書
• 教科書、ノート、レポート等授業内容が確認できるもの
</td></tr>
<tr><td>単位認定の
プロセス</td><td>
教務課によるチェック→演習担当教員による審査＊→教務委員による審査→英語学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会
＊演習が決定していない場合は、原則として教務委員による審査となります。
</td></tr>
</table>

外国語学部　フランス語学科生

フランス語圏への留学

フランス語学科で認定される科目

（1）単位認定対象となる留学先は、大学または大学付属の語学学校に限られます。
（2）フランスの大学も通常、１年を２学期に分けて授業を行っています（一般的には、10月～１月、２月～５月・６月）。大学の学部へ留学する場合、１学期16単位まで単位認定することができます。大学付属の語学学校の場合、各学期の初めにクラス分けのためのテストが実施され、その結果で授業を受けるクラスが決まります。単位認定を受けるためには中級以上に入らなければなりません（初級クラスの場合は、認定対象となりません）。どのレベルのクラスで授業を受けるかによって、帰国後に本学で「単位認定」を受ける際に、申請できる単位の上限も違ってきます。下記の表を参考にしてください。

留学中の獨協大学の１学期あたりに認定できる単位数の上限

初級（A1/A2）	認定できません
中級（B1/B2）	10単位まで
上級（C1/C2）	16単位まで

〈例〉１学期目中級→２学期目上級：10＋16＝26単位まで
　　１学期目初級→２学期目中級：０＋10＝10単位まで

（3）認定科目一覧
- 学科基礎科目
- 学科共通科目
- 学科専門科目
- 演習（専門演習※）
- 全学共通授業科目の英語

※2024年度入学者より「専門演習」となる

単位認定の一例

留学先大学の授業科目	獨協大学の授業科目（2023年度以前入学者）	獨協大学の授業科目（2024年度以降入学者）
Compréhension et expression orales	「総合フランス語」や「フランス語会話」	「総合フランス語」や「フランス語会話」
Expression écrite	「フランス語文章表現法」など	「フランス語文章表現法」など
Compréhension écrite	「フランス語コミュニケーション講読」、「フランス芸術文化講読」、「フランス現代社会講読」など	「フランス語圏国際発信講読」、「フランス語圏文化構想講読」、「フランス語圏社会共創講読」など
Littérature	「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」	「フランス語圏文化構想各論」や「フランス語圏文化構想講読」
Economie	「フランスの経済」や「フランス現代社会講読」	「フランス語圏の経済」や「フランス語圏社会共創講読」

フランス語学科で認定されない科目

以下の科目の単位としては認定できません。
- 他学部の科目
- 他学科の科目
- 外国語学部共通科目
- 「交流文化論」
- 免許課程科目
- 全学共通授業科目（英語は認定可能）

必要書類

（1）「単位振替・換算願」（教務課で配付）
（2）「成績証明書」の原本
（3）審査資料
- 留学先のパンフレット、シラバス、講義概要
- 時間割表（授業時間数が明記されたもの）
- 教科書、ノート、プリント等授業内容が確認できるもの

単位認定のプロセス

教務課によるチェック→演習のみ演習担当教員による審査→教務委員による審査→フランス語学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会

フランス語圏以外への留学（認定留学のみ）

・交換留学の場合は、フランス語圏以外への留学は認められません。
・単位の認定は、教授言語が「英語」で、留学先が大学である場合に限られます。大学付属の語学学校は単位認定対象ではありません。
・留学先で修得した単位については、上記「フランス語学科で認定される科目」に相当するもののみ認定されます。単位を修得した授業の内容によっては認定単位数が非常に少なくなる場合もあります。事前に教員と相談するなど、慎重に履修計画を立てるようにしてください。

外国語学部　交流文化学科生

留学先で修得した単位が、全て認定の対象になるわけではないので、留学の準備段階、また現地での履修登録の段階で、本学の指導教員と十分に相談をしてください。

英語圏への留学

大学で専門教育を受けることを目的とします。語学学校や大学附属の英語学校で留学生用に開設されている英語科目の単位は認定されません。

交流文化学科で認定される科目とその範囲

（1）学科基礎科目
（2）学科共通科目（2023年度以前入学者のみ）
（3）学科専門科目
（4）全学共通授業科目 外国語科目群外国語部門（英語以外）
（第二外国語（英語プラス１言語）として履修している言語で、単位が未修得の科目のみ）
（5）演習（３年生以上のみ、留学期間が半年で最大２単位、１年以上で最大４単位までを認定します）

なお、英語圏の大学では、履修する科目に、内容によって以下の表のような番号が振られることが一般的です。その番号により、本学ではどの範囲の科目に単位認定できるかが決まります。留学先の国や大学により科目番号の振り方が異なる場合もありますので、履修にあたっては、科目の内容を指導教員とよく相談してください。

認定可能な科目	４年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国など	３年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリアなど
学科基礎科目、学科共通科目、学科専門科目（英語部門）、第二外国語（英語プラス1言語）＊	100番台相当以上	100／1000番台相当以上
学科専門科目（ツーリズム／トランスナショナル文化／グローバル社会部門）	200番台相当以上	200／2000番台相当以上
演習	300番台相当以上	200／2000番台相当以上

＊認定を希望する科目のレベルにより、内容から判断します。

交流文化学科で認定されない科目

以下の科目の単位としては認定できません。
- 他学部の科目
- 他学科の科目
- 外国語学部共通科目
- 免許課程科目
- 全学共通授業科目（第二外国語（英語プラス１言語）は除く）

必要書類

（1）「単位振替・換算願」（教務課で配付）
（2）成績証明書（評価基準が記載されたものを含む）
原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課へ相談。
（3）履修科目の時間数および単位数を証明する文書またはそれにかわるもの
（4）その他（授業内容が確認できる資料）
- シラバス、講義概要等
- 教科書、ノート、レポート、授業での発表原稿、ポートフォリオ等

履修と学習の状況をあわせて確認するため、直筆ノートやPCによるメモ、配布資料への書き込みなどがわかる資料を留学中にしっかり保存し、できるだけ提出してください。

単位認定のプロセス

教務課によるチェック→指導教員による審査→教務委員による審査→交流文化学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会

英語圏以外への留学	
大学で専門教育を受けること、また、大学および大学と同等の単位認定資格を持つ高等教育機関で語学教育を受けることを目的とします。	
交流文化学科で認定される科目とその範囲	（1）学科基礎科目 （2）学科共通科目（2023年度以前入学者のみ） （3）学科専門科目 （4）全学共通授業科目 外国語科目群外国語部門（英語以外） （第二外国語（英語プラス１言語）として履修している言語で、単位が未修得の科目のみ） （5）演習（３年生以上のみ、留学期間が半年で最大２単位、１年以上で最大４単位までを認定します）
交流文化学科で認定されない科目	以下の科目の単位としては認定できません。 • 他学部の科目 • 他学科の科目 • 外国語学部共通科目 • 免許課程科目 • 全学共通授業科目（外国語科目群外国語部門（英語以外）は除く）
必要書類	（1）「単位振替・換算願」（教務課で配付） （2）成績証明書（評価基準が記載されたものを含む） 原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課に相談。 （3）履修科目の時間数および単位数を証明する文書またはそれにかわるもの （4）その他（授業内容が確認できる資料） • シラバス、講義概要等 • 教科書、ノート、レポート、授業での発表原稿、ポートフォリオ等 履修と学習の状況をあわせて確認するため、直筆ノートやPCによるメモ、配布資料への書き込みなどがわかる資料を留学中にしっかり保存し、できるだけ提出してください。
単位認定のプロセス	教務課によるチェック→指導教員による審査→教務委員による審査→交流文化学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会

国際教養学部　言語文化学科生

英語・スペイン語・中国語・韓国語圏への留学	
概　要	□長期留学の単位認定は、所定の手続に従って標記言語圏にある大学および英語圏を除く大学附属の語学学校に留学し、単位を修得した場合に限り取り扱います。 □単位認定を希望する学生は帰国後、所定の手続に従い教務課に申請してください。 □単位認定の種類は「振替」または「換算」のいずれかです。所定の手続きを経て、適当と認められた場合に認定を行います。 □認定できる単位の数には上限があります。
振　替	□国際教養学部では、留学先大学等で修得した単位について、その科目が「学科基盤科目」、「外国語科目」、「各研究科目」のいずれかの部門に属する科目、または「演習」に類似し、かつ本学で単位未修得の場合、これらの科目への振替を受け付けます。 □他方、「卒業研究」、「卒業論文」、「全学共通授業科目」、「他学部開設科目」、「海外実践プログラム」（2024年度以降入学者対象）、および「免許課程科目（教科法を含む）」への振替は受け付けません。これらの科目は本学で履修のうえ、単位を修得してください。 □国際教養学部教授会が単位の振替を認定したときは、本学の成績証明書の科目欄に「振替科目名」と「P」が記載されます。
換　算	□国際教養学部では、振替の対象とならない単位について換算を受け付けます。 □ただし、外国語科目（英語およびスペイン語・中国語・韓国語）で必修科目または選択必修科目に相当する単位の換算は受け付けません。 □国際教養学部教授会が単位の換算を認定したときは、本学の成績証明書の科目欄に「換算科目」と「P」が記載されます。
必要書類	□（1）「単位振替・換算願」（教務課で配付） □（2）「成績証明書」の原本 □（3）審査資料 • 留学先のパンフレット、シラバス・講義概要（授業内容のわかるもの） • 時間割表（授業時間数が明記されたもの）、学事日程表 • 教科書、ノート、プリント、レポート等授業内容が確認できるもの
単位認定のプロセス	□教務課によるチェック→教務委員および関係する科目担当の教員による審査→教務委員会→学部教授会

英語・スペイン語・中国語・韓国語圏以外への留学
留学を希望する場合は、あらかじめ演習指導教員および教務課に相談してください。

経済学部生

経済学部の学生は、留学先の言語圏にかかわらず、次の通り認定されます。

<table>
<tr><td>認定される科目</td><td>学部基礎科目
学科基礎科目
学科専門科目
全学共通授業科目
演習</td></tr>
<tr><td>認定されない科目</td><td>以下の科目の単位としては認定できません。
• 教職関連科目
• 他学部の科目
• 免許課程科目</td></tr>
<tr><td>出発前</td><td>留学が決定した場合、単位認定希望の有無にかかわらず、必ず事前に教務課経済学部係窓口へ来課し、次の事項を書面で報告してください（A4用紙１枚、様式自由)。
（１）学籍番号、氏名
（２）留学先大学
（３）留学中の連絡先
（４）留学先での履修予定科目、単位数、総授業時間数と獨協大学で振替を希望する科目名と単位数（表形式、下記例参照）
<table>
<tr><td>外国での履修予定科目
（原文のまま）</td><td>単位</td><td>総授業時間数
分×　回＝　分</td><td>獨協大学での
振替希望科目</td><td>単位</td></tr>
<tr><td>212 International Economics</td><td>8</td><td>60分×48回＝2880分</td><td>国際経済学ａ
国際経済学ｂ</td><td>2
2</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>留学中</td><td>帰国後の単位認定審査（面接・書類審査）に備えて、必要書類の収集・保管を心がけてください。</td></tr>
<tr><td>帰国後</td><td>単位認定を希望する場合、帰国後速やかに以下の必要書類を揃えて提出し、単位認定申請手続きを行ってください。
（１）「留学により修得した単位の認定・振替願」（教務課で配付）
（２）「成績証明書」（原本）　※評価基準が記載されたもの
（３）審査資料
①シラバス、講義概要、授業時間割表、授業時間数が明記された資料
②教科書、ノート、レポートほか、授業内容が確認できるもの
（審査時に追加資料の提出を求める場合があります）</td></tr>
<tr><td>単位認定の
プロセス</td><td>（１）教務課で提出書類のチェック→教務主任、学科長、学部長による審査（必要に応じて面接）
※審査により、単位認定・振替を希望する各科目の認定・振替可否を決定します（授業内容・時間数により認められない場合があります)。
（２）審査の結果、教務主任により単位認定申請が認められた場合、教務委員会→経済学部教授会の順で承認</td></tr>
</table>

法学部生

法学部の学生は、留学先の言語圏にかかわらず、次の通り認定されます。

<table>
<tr><td>法学部で
認定される科目</td><td>法学部専門科目に振り替えられる科目</td></tr>
<tr><td>法学部で認定
されない科目</td><td>以下の科目の単位としては認定できません。
• 学則別表の「関連」部門にある科目（2018年度以前入学者）
• 学則別表の「免許」部門にある科目（2019年度以降法律学科入学者）
• 全学共通授業科目
• 他学部の科目
• 免許課程科目</td></tr>
<tr><td>出発前</td><td>留学が決定した場合、単位認定希望の有無にかかわらず、必ず事前に教務課法学部係窓口へ来課し、次の事項を書面で報告してください（A4用紙１枚、様式自由)。
（１）学部学科、学年、学籍番号、氏名
（２）留学先大学、留学期間、留学の種類（交換・認定の別）
（３）単位認定希望の有無
（４）留学出発予定日、獨協大学で履修を再開する年月日
（５）単位認定を希望する場合、以下事項の予定（単位認定しない場合は不要)
①留学先での専攻・コース名等
②留学時の連絡先（確実に連絡の取れるメールアドレス、日本の連絡先）
③留学先での履修予定科目、単位数、総授業時間数と獨協大学で振替を希望する科目名と単位数（表形式、下記例参照）
<table>
<tr><th>外国での履修予定科目
（原文のまま）</th><th>単位</th><th>総授業時間数
分×　回＝　分</th><th>獨協大学での
振替希望科目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>GV214 International Relations</td><td>8</td><td>60分×48回＝2880分</td><td>国際関係史ａ
国際関係史ｂ</td><td>2
2</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>留学中</td><td>単位認定を希望する場合、留学先大学の履修登録が決定した後に、あらためて上記（５）①②③等を教務課法学部係へ速やかにメール報告してください。
教務課法学部係：inquiry_hou@ml（エムエル）.dokkyo.ac.jp
出発前の提出内容と変更がない場合も報告してください。また、帰国後の単位認定審査（書類審査、必要に応じて面接も実施）に備えて、必要書類の収集・保管を心がけてください。
なお、単位認定を希望しない場合、留学中の報告は不要です。</td></tr>
<tr><td>帰国後</td><td>単位認定を希望する場合、帰国後速やかに以下の必要書類を揃えて教務課法学部係に提出し、単位認定申請手続きを行ってください（単位認定を希望しない場合は不要)。
（１）「留学により修得した単位の認定・振替願」（教務課で配付）
（２）「成績証明書」（原本）　※評価基準が記載されたもの
（３）審査資料
①シラバス、講義概要、授業時間割表、授業時間数が明記された資料
②教科書、ノート、レポートほか、授業内容が確認できるもの
（審査時に追加資料の提出を求める場合があります）</td></tr>
<tr><td>単位認定の
プロセス</td><td>（１）帰国後、教務課で提出書類のチェック→教務主任・学科長・学部長による審査（書類審査、必要に応じて面接も実施）
※審査により、単位認定・振替を希望する各科目の認定・振替可否を決定します（授業内容・時間数等により認められない場合があります)。
（２）審査により単位認定申請が認められた場合、教務委員会→法学部教授会の順で承認</td></tr>
</table>

長期留学　Q＆A

これまで受けた問合せの中で特に多いものを、Q＆Aの形でまとめました。

単位の認定

Q１．留学中に修得した単位は32単位までしか獨協大学での単位として認められないそうですが、それは留学中にそれ以上の単位を履修することができないということですか？

Ａ１．学部生については32単位まで、大学院生については10単位まで、本学の単位として認定することができます。留学先の許可があれば、何科目（単位）でも履修できますが、本学では上限を超える単位の認定はできません。なお、在留資格の関係上、学期ごとに最低履修科目（単位）数が定められている場合があるので注意してください。

Q２．昨年度、休学して外国の大学で勉強し、単位を修得することができました。今からでもこれを獨協大学の単位として認めてもらえますか？

Ａ２．休学して留学した場合は認められません。単位の認定は交換・認定留学生として認められた場合に限られます。本学を休学して渡航した後、大学への入学資格を得ることができた場合は、身分の変更（休学から認定留学）を申請することができます。しかし、この場合でも、遡っての身分変更はできません。休学から認定留学への変更を申請する場合は、申請期限に間に合わせるために早急に国際交流センターと連絡をとり、その指示に従ってください。（出発前に国際交流センターおよび教務課で相談をし指導を受けていること、「海外安全対策セミナー」に出席していることが申請の条件となります。）

※休学から認定留学への切り替え申請については、P.72を参照。

Q３．１年間留学して、４年間で卒業できますか？

Ａ３．出発時期、振替・換算される単位数や卒業要件にもよるため、教務課各学部係にご相談ください。

履修と卒業

Q１．教職課程を履修していますが、教育実習はどのように行えばよいですか？

Ａ１．教育実習を行うには、実施前年度に教育実習校の開拓が必要です。また教育実習実施までに実習要件科目等※の要件を満たさなければなりません。

※英語学科、交流文化学科、言語文化学科（実習教科：英語）の学生は教育実習前年度末までに英語資格要件の証明書の提出が求められます。

中学校の教育職員免許状取得には、教育実習のほかに介護等体験が義務づけられています。実施前年度の秋学期に申し込み、特別支援学校および社会福祉施設で指定の日（合計７日間）に体験します。

上記のとおり、留学時期によって、各種手続きに支障がないよう計画する必要があります。

留学を検討する段階から必ず教務課免許課程係に相談してください。

Q２．３学年の秋学期から留学して４学年の春学期終了後に帰国する場合、卒業見込証明書は発行してもらえるのでしょうか？

Ａ２．「卒業見込証明書」は、留学終了届を国際交流センターに提出し、所定の要件を満たせば発行できます。詳細については、教務課各学部係にお問い合せください。

留学中の学生生活

Q１．留学継続が困難になり帰国しなければならない場合、どのような扱いになりますか？

Ａ１．留学期間の途中で留学を中止して帰国する場合、留学を中止した理由や帰国の時期によって扱いが異なりますので、帰国しなければならなくなった場合は速やかに国際交流センターに連絡し、指示を受けてください。
学業不振やカルチャーショック等は改善される可能性もあります。どうしても帰国しなければならない状況に陥る前に、困ったことがある場合はできるだけ早く国際交流センターに相談してください。
なお、交換留学生や認定留学生対象の奨学金の給付を受けていた場合、中止した理由によっては全額返還していただくことがあります。

Q２．外国の大学の学期制について教えてください。

Ａ２．以下に主要国の一般的な学期制度について簡単に説明します。詳細は留学を希望する大学のパンフレット等で確認してください。

ドイツ オーストリア スイス	２学期制です。ドイツの場合、冬学期は10月～３月、夏学期は４月～９月、オーストリアの場合、冬学期は10月～１月、夏学期は３月～６月となります。ドイツの専門大学やスイスの場合、各学期は１、２ヶ月早く始まり、１、２ヶ月早く終わります。多くの科目が学期ごとに開設されていることから、冬学期または夏学期から１年間という単位で留学することができます。
英国	２学期制は、９月～12月、１月～６月、３学期制は９月～12月、１月～３月、４月～６月に分かれます。
アメリカ	一般に９月から翌年５月までの９ヶ月間が１学年（academic year）となります。６月～８月は夏休みまたは夏学期（summer session ／ school）です。その１学年（９ヶ月間）を２期に分けるのがセメスター（semester）制で、１年間（12ヶ月間）を夏学期を含む４期に分けるのがクオーター（quarter）制です。１セメスターは17～18週間（秋：８月下旬～12月中旬、春：１月中旬～５月中旬）、１クオーターは10～12週間（秋：９月下旬～12月中旬、冬：１月上旬～３月中旬、春：３月下旬・４月上旬～６月中旬）です。他にも大学独自の学期制度を設けている場合があります。
オーストラリア ニュージーランド	多くは２学期制。第１学期は２月下旬～６月末、第２学期は７月末～11月末です。 ※北半球と季節が逆
カナダ	２学期制を採用している大学が多いです。９月初旬から翌年４月までが１学年となっています。
フランス	一般に約４ヶ月からなる２学期で１学年度が構成されています。第１学期は９月・10月初旬から12月下旬・翌年１月下旬まで、第２学期は１月中旬・２月初旬から５月下旬・６月中旬まで。３学期制の場合は、学校によって異なります。
スペイン	２学期制が多く、第１学期は９月～２月、第２学期は２月～７月です。
メキシコ	２学期制が多く、第１学期は８月～12月、第２学期は１月～６月です。
中国、台湾	２学期制です。第１学期は９月～１月、第２学期は２月～６月・７月です。台湾の語学コースでは、４学期制を採用している大学が多いです。
韓国	２学期制です。第１学期は３月～６月、第２学期は８月～12月です。
インドネシア	２学期制が多く、第１学期は９月～12月・１月、第２学期は２月～６月・７月です。
チェコ トルコ	２学期制です。第１学期は９月～１月、第２学期は２月～６月です。

Q３．私はこれまで海外経験が一度もありません。海外のトラブルにはどんなことに気をつければよいですか？

Ａ３．よくあるトラブルとしては、次のようなものがあります。

【パスポートの紛失】

海外では命の次に大切なものはパスポートだと言われています。旅券番号と発行年月日のページのコピーを必ず持参しましょう。特に短期留学の場合は、紛失すると翌日から団体行動が取れなくなりますので、十分注意してください。紛失に気づいたら、直ちに最寄りの在外公館で再発給の手続きを取ってください。

パスポートは即時発給ができません。発給までに２週間程度を要します。なお、帰国のための渡航書を受給するには、一般旅券発給申請書の代わりに渡航書発給申請書および日程等が確認できる書類等の提出が必要です。パスポート再発行の手続き方法については、外務省HPで確認してください。

【クレジットカードの紛失】

あらかじめクレジットカード会社の連絡先、カード番号等を控えておきましょう。紛失の際は不正利用を防止するために、一刻も早く連絡してください。

【スマートフォンの紛失・盗難】

特に電子決済機能を利用している場合は、二次被害のリスクが高くなります。決済機能の利用を停止するための連絡先やクレジットカード会社の連絡先などは、スマートフォン内に保存するのではなく、別の場所に控えておくことが大切です。またスマートフォンのメモ機能にIDやパスワードなどの情報を保存していると不正利用される可能性が高くなるので、注意が必要です。

【現金の紛失】

まず戻ってくることはないと思われますが、最寄りの警察に届けてください。

※その他の注意点については、P.113の「渡航先での注意事項」を必ず参照すること。

Q４．長期留学中に休暇を利用して留学先国以外に旅行したいと考えています。手続きや注意すべきことを教えてください。

Ａ４．まず、再入国に必要な手続きを、留学先大学の担当者に必ず確認してください。例えばアメリカの場合、滞在許可の有効期限内であっても、再入国の際に留学先大学が発行した書類の提示が必要となります。

また、日本人が短期の観光を目的とした入国をするのに、査証（ビザ）を必要とする国としない国があります。必要とする場合は、査証取得のための申請をしなければなりません。出発前にインターネットなどで情報を集めましょう。

地域によっては単独旅行を控えたほうがよい場合もあります。最近のテロ等の治安情勢を踏まえ、常に最新の「海外安全情報」を入手し、たびレジに登録するとともに身の安全に注意した行動をとるようにしましょう。

なお、留学前・留学中・帰国途中に第三国に渡航する場合や長期間滞在先を変更する場合は、必ず事前にPorTaⅡ（留学支援 ＞ 海外渡航情報入力）に入力して、報告してください。保険加入の際は、帰国途中の旅行期間もカバーするよう、加入期間を設定してください。

※詳しくは、P.110の「海外旅行保険の加入（必須）」を参照してください。

長期留学体験記【交換留学】ドイツ語圏

ドイツ　**リューネブルク大学**

交流文化学科　I.R.
留学期間：2023年３月～2024年２月

【街について】

リューネブルクは、北ドイツのニーダーザクセン州に位置する小さなかわいい街で、とてもゆったりとした雰囲気が漂っています。また戦争の被害を受けていないため、昔ながらのドイツの街並みが残っていて、野生のウサギやリスもよく見かけるので、散歩をしているとおとぎ話の中に入り込んだような感覚になります。リューネブルクは大学の街とも呼ばれているだけあって、住人は学生の割合が高く、そのためか治安もとても良いです。また、大都市ハンブルクまで電車で乗り換えなしで30分～１時間で行くことができるところも魅力のひとつだと思います。

【大学、授業の様子】

私が交換留学をしたリューネブルク大学（現地名はロイファナ大学）は、サステナビリティ学に強く、主専攻としてサステナビリティを学んでいる学生がとても多い印象を受けました。さらにそれだけでなく、法律学＋サステナビリティ学というようにサステナビリティ学を副専攻として学んでいる学生も多かったです。学食メニューの半分以上がヴィーガンまたはベジタリアン食であることからも、サステナビリティを強く意識していることが感じられました。個人的に面白いと思ったのは、トイレなどに乱雑に貼られているシールでさえ、そのほとんどが「環境を守ろう！」「動物はモノじゃない！」「気候変動を止めるのは私たちだ！」といった意識高めの内容だったことです。また食堂前で「毛皮を着るのはやめよう」という看板を持った学生が抗議していたこともありました。このような環境は、サステナビリティに興味のある私にとってとても興味深く、魅力的でした。授業もサステナビリティにかかわるものが充実していて、私が参加したある授業では座学に加えて、リューネブルク郊外にある風力発電所や、ベルギーの立法機関を見学する課外学習などがありました。特にベルギーの課外学習では、欧州議会などを訪問してサステナビリティに関するEUの取り組みなどについて尋ねるなど、本当に貴重な経験ができました。ただ、リューネブルク大学には「東アジア学科」などがないため、日本語を専攻している学生はいません。他大学にあるような独日交流会といったものも特にないので、大学内で現地の友だちを作るのは想像以上に難しく、授業が同じ学生と知り合いになった程度でした。また国際センターのサポートがあまり親身ではなかったことや、バディプログラムが機能していなかったことが少し残念でした。それでも他国から来ている留学生（香港、トルコ、ロシア、韓国など）や他大学から留学中の日本人と支え合えたことは良い思い出であり、とても充実した刺激的な大学生活が送れたと思います。

【課外活動ついて】

大学での授業とは別に、インターンシップとアルバイトにも挑戦しました。特にインターンシップを行った夏季休暇の２ヶ月間は、学生寮を離れてドイツ人家庭でホームステイをさせてもらいながら働いていたため、１日中ドイツ語に触れることができ、その結果会話力が急激に伸びました。アルバイトでは、小さいカフェレストランだったということもあり、３回目のシフトから１人でオープン作業や接客などを任せてもらえました。優しいお客様が多かったので、ストレスフリーに働くことができてとても楽しかったです。どちらも２～３ヶ月という短い期間ではありましたが、２つのタイプの労働をドイツでやり切ったことで、外国で、外国語を使って働くということに自信を持てるようになりました。

【留学を終えて】

この１年間は間違いなく私の人生の中で一番刺激が多く、自身の成長を実感できた年になりました。ドイツはヨーロッパの中心に位置していることもあり旅行がとてもしやすいので、国内だけでなく7ヶ国（ベルギー、オランダ、フランス、トルコ、チェコ、イタリア、ポーランド）への海外旅行もでき、たくさんの世界と文化を自分の目で見てくることができました。もちろんその裏では大変なこともあり、例えば授業中のディスカッションについていけなかったり、なんとなく疎外感を感じたりということはよくありました。それ以外にも、緊急で手術と入院をすることになったり、冬季は天候の影響で気分が沈んでしまったり、さらには旅行先でポケットに入れていたスマートフォンを盗まれてしまうという経験もしました。そんな濃い１年間をなんとか乗り越えられたことを嬉しく思うと同時に、支えてくれたすべての方には感謝の気持ちでいっぱいです。これからはこの特別な経験を生かして、私らしい人生を開拓していきたいと思っています。

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 学生用フォルダ ＞ 留学支援 ＞ 留学体験記 ＞ 交換留学・認定留学体験記

長期留学体験記【交換留学】英語圏

ドイツ　**ブレーメン専門単科大学（教授言語：英語）**

英語学科　I.A.
留学期間：2023年10月～2024年６月

【大学の紹介・授業について】

私の留学先はドイツ北西部、グリム童話の音楽隊で有名なブレーメンという街にあるブレーメン専門単科大学（Hochschule Bremen）でした。この専門単科大学というのは、少人数制クラスで学びたい人や、学んだ知識を実際の現場で活かしたいという人に向いています。まず大学の１つ目の特徴として挙げられるのは、全学生数が留学生を含めても9,000人前後と、ドイツの他大学と比較して少なく、授業が学生数10人から30人程度と小規模で行われていることです。ほぼ全ての授業課題や発表はグループワークで行われ、１人１人の意見や知識が求められます。２つ目は、在学生全員が留学＋インターンシップに参加するのが必須で、実践的な授業がほとんどだということです。教授の講義の後に、実際の企業や商品、時事問題などを題材に課題の解決や分析を行います。例えば、市場となる国の分析をした後に、新たなサービスを提案する、また少ないコストで多くの消費者に届く広告媒体を計算して選択するなどの課題がありました。

【日常生活：友人作りとアドバイス】

友人は比較的作りやすい環境だったと思います。ブレーメン専門単科大学には日本語を学んでいる学生もいて、私が仲良くなったほとんどの友人はもともと日本に興味を持っている人たちでした。授業後や休日には、お互いの言語を教え合うタンデム（tandem）をして、私は日本語を教える一方で英語やドイツ語を教えてもらいました。前述した通り全員が留学に行くため、彼らのモチベーションは明確でとても高く、常に刺激をもらっていました。

また、私が所属していた国際ビジネス学部は、授業が英語で開講されているプログラムだったため、世界各国から来た学生とも授業を通じて仲良くなれました。他の国と文化が大きく異なることや、アニメ・漫画の影響により、日本に関心のある人が以前より増えているそうです。皆さんは、なぜ鳥居が赤いか説明できますか？日本の選挙の仕組み、次の投票日がいつか知っていますか？日本ではどんな宗教が一般的ですか？これらは全て私が留学中に聞かれたことです。国によらず、これから留学する皆さんに声を大にしてお伝えしたいのが、SNSなどを活用して日本のことを英語でしっかり説明できるように知識を蓄えるべきだということです。

【留学を終えて】

私がブレーメンに滞在していたのはたったの10ヶ月でしたが、その時間は自分の価値観や生き方に大きな影響を与えてくれた人生のマイルストーンになりました。自分の中の大きな変化を２つ挙げるとすれば、自己表現と情報感度です。

まず日本と海外ではコミュニケーションの文化に違いがありますが、私は典型的な日本人のコミュニケーション方法（非直接的）から抜け出すことができず、さらに英語を間違えるのが恥ずかしくて、留学当初はあまり話すことができずにいました。しかし生活していく中で、仲の良い友だちに指摘されたこともあり、自分の意見や感情を率直に表現するようになりました。今では間違った英語でも相手に伝えようとすることが大事だと思っています。

２つ目は、留学前語学の学習には力を入れていましたが、世界のことや日本について知る努力は十分にはしていませんでした。海外の学生が異なる文化や世界情勢のこと、歴史、政治について話す中、自分だけ何も言えず悔しい思いをしました。そこから、海外の学生はSNSで情報収集していることに気づき、私もInstagramやポッドキャストなどで情報収集をするようになりました。その結果、約１年間の留学生活を通して、留学に行かなければ知ることができなかった多くの価値観に触れることができました。

この留学を支えてくれた家族、きっかけをくださった工藤先生、ドイツでの素敵な出会いの全てに本当に感謝しています。

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 学生用フォルダ ＞ 留学支援 ＞ 留学体験記 ＞ 交換留学・認定留学体験記

長期留学体験記【交換留学】フランス語圏

フランス　**リュミエール・リヨン第２大学**

フランス語学科　T. M.
留学期間：2023年９月～2024年５月

私は、リュミエール・リヨン第２大学に２学期間、約10ヶ月の交換留学をしました。

リヨンはフランス第２の都市と言われる街で、パリからTGV（高速鉄道）で２時間ほどのところにあります。一部の地域を除けば比較的治安もよく、１年を通して気候も穏やかで、過ごしやすいところです。スーパーやショッピングモール、レストランなどの商業施設をはじめ、バスやトラム、メトロなどの公共交通機関も充実していて生活に不便はありません。街並みはとても美しく、旧市街や教会、大聖堂、そしてブッションというリヨンの伝統的なレストランなど、観光スポットもたくさんあります。大学のすぐ横には川があり、天気がいい日には多くの学生が川沿いでランチをしていました。またクリスマスの時期には、クリスマスマーケットが開催され、とてもきれいでした。特に「光の祭典」は、リヨンが１年で最も力を入れているイベントで、フランス国内のみならず海外からもたくさんの人が集まります。５日間ほどの日程で、街のあちこちで見られるプロジェクションマッピングや光を使ったスペクタクルは圧巻でした。この時期リヨンに行く際は必見のイベントです。

大学ではフランス語専門のコースに所属し、前期はB1レベル、後期はB2レベルのクラスに入りました。キャンパスは昔ながらのヨーロッパ建築で、本当にフランス留学に来たのだと実感しました。B1レベル全体の人数は200人近くいますが、１クラスは20人程度で、４技能それぞれの授業が必修になっており、集中的にフランス語力を伸ばすことができます。その他に選択授業があり、政治、経済、現代社会、文学、歴史などの授業から選択して履修することができます。授業は全てフランス語で、少し大変でしたが、その分とても力がつきました。授業によってはプレゼンテーションや発表などがあります。母国について紹介したり、フランスと母国を比較したりする機会が多くあり、日本の歴史や現代社会について事前にもっと知っておくべきだったと後悔しました。

また、私は課外活動の１つとしてバスケットボールのクラスに参加していました。通常は週１回の練習のみですが、経験者クラスを選択したので、練習以外にも隔週で他チームとの試合がありました。はじめは運動がしたい、フランス人の友だちを作りたい、という理由で参加しましたが、バスケットを通して少しずつフランス語でコミュニケーションを取れるようになり、たくさんの人と交流できました。１時間ほどかけて別のキャンパスに行かなければならなかったので、少し大変でしたが、参加して本当によかったと思います。学期の最後には大学の全スポーツチームが集まる表彰式にも出席し、貴重な経験ができました。

平日は、寮に帰ってから授業の予習復習をしたり、買い物に行って自炊したりして節約を心がけていました。週末は課題やプレゼン準備などをして過ごし、余裕があれば友だちとバーに行ったり、１人でカフェに行ったりしました。また、長期休暇や連休を利用してフランス国内やイタリア、スペイン、フィンランドなどもまわることができました。円安の影響もあり、交通費や宿泊費が高いので、ホステルを利用したり、夜行バスなどをうまく活用したりして、お金がかからないように工夫しました。

後期は授業のレベルが一気に上がり、ついていくだけで精一杯でした。B2レベルになると聞き取りが得意だったり、ネイティヴのように流暢に話せたりする人もいて、自分と比較して落ち込むこともありました。でも、クラスメイトや先生が励ましてくれたり、時々日本人の友だちで集まって悩みを相談したり、近況を報告しあったりして、周りの人に支えてもらい乗り越えることができました。また、中間テストの結果がよくなかったことを受けて、自分は何が苦手なのか、どうすればそれを改善、克服できるのかを考えて行動したことで、学期末試験では目標を達成することができました。

１年間はあっという間でしたが、この留学を通してフランス語はもちろん、異国で生活していく力や、課題を解決していく力をつけることができました。さまざまな国から来た人々と出会えたのは語学留学ならではのとても貴重な経験です。生活やクラスメイトとの交流を通じて多文化を肌で感じることができ、とても有意義で濃密な時間となりました。この留学を実現させてくれた周りの人に感謝し、今後の人生に活かしていきたいと強く思っています。

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 学生用フォルダ ＞ 留学支援 ＞ 留学体験記 ＞ 交換留学・認定留学体験記

長期留学体験記【交換留学】スペイン語圏

メキシコ　**グアダラハラ大学**

言語文化学科　Y. T.
留学期間：2023年８月～2024年５月

【街と大学の様子】

私が留学していたグアダラハラは、メキシコ第２の都市と言われており、メキシコの中では寒暖差があまりなく、１年中穏やかな気候の地域です。私は中心地に近い所に住んでおり、最低限の危機管理を怠らなければ危険を感じずに過ごせる環境でした。

大学は移転したばかりの大きなキャンパスでした。学生の雰囲気もとてもよく、多くの学生が声をかけてくれたり、助けてくれたりしました。グアダラハラ大学には、日本人留学生は私を含め５人しかいませんでしたが、ヨーロッパやラテンアメリカ地域からの留学生がたくさんいました。私はフランス人の仲のよい友人ができ、楽しい時間を過ごすことができました。時には留学生ならではの悩みや不安を共有することもあり、とても心強い存在でした。

【授業】

獨協大学ではアメリカに関するゼミナールに所属しており、留学前からアメリカとメキシコの移民問題についてとても興味がありました。後期に受講した国際移民の授業は全てスペイン語で講義が進められ、課題の量も多かったので大変でしたが、予習復習を徹底して行うことで、とても意義のある時間にすることができたと思います。ただ教授の講義を聞くだけではなく、常に学生が質問や発言をするので、とても刺激的な授業でした。座学だけではなく、実際に移民施設を訪問したり、グループワークをする機会が多かったので、当事者の話を直接聞いたり、メキシコの若者の生の声を聞くことができ、自分の興味のある学問分野において、メキシコでしかできない視点で知識を深めることができました。

【生活】

キューバ人、メキシコ人３人、私を含む日本人２人の計６人でルームシェアをしていました。ルームメイトはみんな仲が良く、休日に遊びに行ったり家でパーティーをしたり、多くの楽しい時間を共有することができました。何も分からず戸惑っていた時には、街のことやメキシコの文化について私が分かるまで丁寧に説明してくれました。彼らと一緒に住んでいたから乗り越えられた困難もたくさんあったと感じています。

続いた休みがある時には、メキシコの首都であるメキシコシティや、観光地として有名なマサトラン、ラ・パスに旅行に行きました。高校時代に出会ったメキシコ人の友人に６年ぶりに再会することもできました。他にもハイキングに行ったり、友人とカフェに行ったりと、充実した日々を送ることができました。また、メキシコ第２の都市ということもあり、国際女性デーなどのデモ活動も盛んに行われ、自分の権利を堂々と主張する人々を目の当たりにしました。そのような環境に身を置けたことはとてもよい経験になったと思います。

【留学を終えて】

メキシコは日本と比較すると不便なことは多かったですが、人々が純粋に人生を楽しんでおり、彼らが作り出す幸せなエネルギーに溢れている印象を受けました。他人を受け入れ、思いやる姿勢をメキシコ人に学ばせてもらった１年間だったように思います。留学期間中は想像もできないような困難や問題に多く向き合いましたが、そのどれをとってもメキシコでなかったら乗り越えられなかったと思います。今後、どのような人生を送りたいか、どのような人になりたいかというテーマにおいて、メキシコからたくさんのヒントをもらうことができました。

留学中は、何かしなくてはいけないという焦りや不安を感じて身構えるのではなく、純粋に何をしたいのかということを軸にしながら生活をしていくと、充実した留学にすることができると思います。メキシコだからこそ感じられることや、発見できることが必ずあるはずです。この１年間で出会えた人、私の留学生活を支えてくれた全ての方に感謝しながら、残りの学生生活を送っていきたいです。

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 学生用フォルダ ＞ 留学支援 ＞ 留学体験記 ＞ 交換留学・認定留学体験記

長期留学体験記【交換留学】中国語圏

台湾　**東呉大学**

言語文化学科　K. M.
留学期間：2023年９月～2024年６月

【台湾での生活】

台湾への出発も２ヶ月に迫ったころ、その年の交換留学生は学校の寮に入れないことが分かり、急遽ホームステイをすることになりました。ホストファミリーの言語環境は中国語と台湾語。最初は混乱しましたが、毎日のコミュニケーションを通じてより身近に台湾の生活を感じることができたので、得るものは大きかったと思います。彼らは本当の家族のように私と接してくださり、中秋節のBBQや、春節の親戚の集まり、結婚式などにも連れて行ってくれたので、活きた台湾文化を体験することができました。

台湾はバイク王国。歩道への侵入や駐車は当たり前で、日本では考えられない状況でした。家の近くに市場があったのですが、道が狭い上に、バイクで入り込み買い物をする人もいて、最初はハラハラしましたが次第に慣れました。道路を渡る際は、横断歩道でも青信号であっても、必ず左右を見て安全確認をする習慣をつけるべきです。それに加えて車間距離がとても近く、バスの先頭部分に乗っているとハラハラしっぱなしでした。

留学当初から高温多湿な日々が続きとても暑かったので、12月中旬くらいまで半袖で過ごしていました。しかし、年越しごろには気温がぐっと下がったので、やはり上着は必要だと思います。それほど冷えないと思っていたので、セーターだけしか持って行かなかったのですが、それだけではさすがに寒かったです。

【大学・授業】

東呉大学は、地下鉄士林駅からバスで15分ほどのところに位置します。緑に囲まれ、自然を感じられる大学です。私が取った授業は全て外雙溪キャンパスで行われました。「樓梯（階段）大學」と呼ばれるほど段差が多かったので、学内を歩くだけでもとても運動になりました。食堂には７つほどのお店が並び、その他カフェやファーストフード店、コンビニエンスストアもあったので、食事には困りませんでした。

朝と夕方のラッシュ時になると、日本ではお目にかかれないほどたくさんの学生が、大行列をつくりバスを待ちます。もし朝バスで登校する場合は、時間に余裕を持ってでかけるほうが安心です。

大学には、留学生１人につき１人か２人の台湾人学生が、「學伴(バディー)」としてサポートしてくれる制度がありました。私のバディーは日本語が話せなかったので、中国語を話すとても良い機会でした。キャンパスが違ったので、それほど頻繁には会えませんでしたが、休日にいろいろなところへ一緒に遊びに行ったり、ご飯を食べに行ったりしました。

１学期目は、中国語にあまり自信がなかったので、交換留学生向けに開講されている授業をメインに、日本語学科の授業も取りました。日本語を話せる台湾人の友人を作ることができますし、授業では自分の中国語力を試せます。さらに日本の文化を中国語で学べるのでとても新鮮でした。２学期目は、自分の中国語力に少し自信がついたので、日本語学科の中でも翻訳の授業や、台湾文化の授業を主に取りました。日本では、台湾について扱う授業がほとんどなかったので、受けてみて初めて分かることがたくさんありました。

【課外活動】

テニスは全くできないのにもかかわらず、テニスサークルに参加しました。台湾は美味しい食べ物がたくさんありついつい食べ過ぎてしまうので、運動する機会を作ろうと思ったことと、部費が他の運動部に比べて安かったため、入部を決めました。部員の中には日本にとても関心を持ち、日本語を独学で勉強している学生もいました。テニスをするほかに、彼らとは日常生活で使う中国語や日本語をお互いに教えあいました。中国語で説明する場面も多かったので、とても難しかったですが、日本語に改めて向き合うことができ、勉強にもなりました。仲の良い友達もできたので、参加して本当に良かったと思います。

またその他に、台湾で日本語を学ぶ中学生や高校生を対象としたサポートボランティアに参加しました。第二外国語を大学から学び始めても大変なのに、中学生や高校生のうちから学んでいることに感心するとともに、自分ももっと頑張らなければと刺激を受けました。普段何気なく使っている母国語を海外で教えることは不思議でしたが、とても良い経験になりました。

【留学を終えて】

最初は不安だらけの留学生活でしたが、実際台湾で暮らしてみると、毎日楽しく日本に帰りたくなくなるほど充実していました。振り返れば、本当にあっという間の１年でした。台湾の方々はとても明るく優しいので、こちらが分からなかったり、不安そうにしているとすぐ相談に乗ってくれます。私も最初は不安でいっぱいでしたが、台湾に留学して心から良かったと思っています。迷っていたら、チャレンジするべきです！

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 学生用フォルダ ＞ 留学支援 ＞ 留学体験記 ＞ 交換留学・認定留学体験記

長期留学体験記【交換留学】韓国

韓国　**慶熙大学（キョンヒ）大学**

交流文化学科　Ｉ．Ｙ．
留学期間：2024年３月～2024年12月

【大学や街の様子】

韓国の大学は日本の大学と雰囲気が大きく異なると感じました。まず勉強に対する熱意が高い学生が多く、試験２週間前からみんな図書館やカフェにこもって勉強します。成績が就職活動に大きく影響するので学業にプラスして課外活動を行っている人も多かったです。

一方で学園祭やイベント事の際には思いきり遊ぶのも韓国らしいと感じました。学園祭では有名なアイドルの公演もあり、非常に盛り上がりました。また大学周辺は飲食店が多く友だちと一緒に大学周辺のお店に食べに行くのが楽しみでした。

【授業】

私は教養の授業と観光学科の授業を中心に履修しました。観光学科は留学生が多く、履修者の半分ほどが留学生の授業もありました。それでも授業のレベルが下がることはなく、現地の学生に追いつけるように日々勉強することが求められます。私は２学期で計９個の講義を履修しました。教養の授業の中に乗馬という授業もあり２泊３日の集中授業で単位を取得できる授業も履修しました。交換留学生は学部を問わず履修することができるので興味のある授業は積極的にとることをおすすめします。韓国の大学の授業はグループワークが多く外国人にはハードルが高かったのですが良い経験ができたと思います。

【生活】

日本ではインドアな私ですが、留学中はほぼ休みなく毎日どこかに出かけていました。勉強も寮でするのではなく、カフェの多い韓国ということもあり、友だちとその日の気分に合ったカフェを訪れ勉強していました。所属した日韓交流会は毎週土曜日に活動があり、週に１回ほどのペースで日本語と韓国語の言語交換活動にも参加しました。また動物保護サークルにも入っていたので、月に１回は保護犬施設を訪れたり、校内にいる猫の餌やり活動を行ったりしていました。その他の日も友だちとご飯に出かけたり、コンサートに行ったり、連休があれば旅行をしたりと、毎日忙しく過ごしました。

【留学を終えて】

人生で一番挑戦し、充実した１年でした。日韓交流会、動物保護サークルに所属し、夏休みは語学堂に通うなど、多くの活動に参加し、たくさんの人たちと交流したことが私の視野を大きく広げてくれました。そして知らなかった世界をたくさん見せてくれました。留学を通して語学力が向上したのはもちろんですが、人の温かさに触れ自分も成長できたことが一番の成果だと感じています。また挑戦する大切さも知り、興味のあることは何でもやってみました。留学したからには勉強はもちろん求められますが、私は勉強だけが目的だとは思いません。たくさんの経験をし、今後の人生をより豊かに過ごすための期間なような気がしました。私は旅行が好きなので休みがあれば釜山、大邱、慶州、全州、広陵、水原、済州島、DMZや韓国人でも行かないような場所まで足を運び、たくさんの思い出ができました。帰国した今、留学を振り返ると韓国での日常も毎日が夢のような日々だったと感じます。やりたいことは全部やり悔いなく留学を終えることができました。

【アドバイス】

できる限り韓国語のレベルを上げていくことをおすすめします。韓国語ができればできるほど勉強の理解度も上がりますし、何より友だちの輪が広がります。また、留学をしたら何かの団体に所属することを強くおすすめします。授業だけで友だちを作るのは思った以上に難しいです。サークルでも課外活動でも良いと思いますが何か１つでも自分の居場所になる場所を見つけてください。留学は自分のマインド次第だと思います。勇気を出してなんでもやってみる精神で頑張ってみてください。

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 学生用フォルダ ＞ 留学支援 ＞ 留学体験記 ＞ 交換留学・認定留学体験記

長期留学体験記【認定留学】英語圏

マレーシア　**リンカーン・ユニバーシティ・カレッジ**

英語学科　M. R.
留学期間：2023年３月～2024年２月

【大学や街の様子】

私はマレーシアのリンカーン・ユニバーシティ・カレッジに１年間留学しました。大学は都心から電車で40分ほどのとても便利な立地にありました。電車に時刻表はなかったのですが、６～７分に１本の間隔で走っていたのでとても便利でした。大学自体は小さく、とてもこぢんまりとしたキャンパスでした。

私の住んでいた街は大学からバスで15分程度のところでした。マンションの周りにローカルのレストランがたくさんあったため、毎日通っていました。いわゆる郊外だったため、昼夜を問わず基本的には静かな街でしたが、祝日や宗教的な行事の前日には深夜の12時に花火が上がることも多々ありました。初めて深夜に爆音を聞いたときは非常に驚きました。ベランダに出て外を確認すると、マンションの入り口で打ち上げ花火を上げている人が見えました。人生で初めて上から花火を見た日になりました。

【授業について】

獨協大学では英語学科に所属していますが、留学先では経済学部の航空マネジメント学科に入ったので、自分の専攻とは異なる科目がたくさん勉強できて、楽しかったです。ただ、授業の３分の１が未だにオンラインで行われていたのは少し残念でした。

留学当初はマレーシア訛りの英語がほとんど分かりませんでした。体感で20%から30%ほどしか分からなかったと思います。クラスメイトに聞いても、彼らも留学生だったため同じように苦労していて、授業内容がほとんどわからない日もありました。

【日常生活について】

留学当初はクラスメイトとなかなか馴染めず、友人作りにはとても苦労しました。しかし大学には日本人が私１人しかいなかったため、日本に興味のある学生たちが積極的に話しかけてくれたため、少し時間はかかりましたが、結果的にはたくさんの友人に恵まれました。

授業以外の時間はとにかく友人たちと遊びに出かけました。マレーシアではレストランに行って飲み物を頼んで長時間話すlepak（マレー語）が付き合いの主流だったので、頻繁に友だちを誘ってlepakを楽しみました。

またイベントアプリなどを使って１人でイベントに参加し、知り合いをたくさん作ったのも良い思い出です。最初は心理的なハードルがとても高かったのですが、行って後悔することは何もないと自分に言い聞かせ、参加していました。実際にそこでは、私を訪ねて日本まで来てくれるほど親しくなった友人に出会うこともできました。これから留学に行く方には、地元のイベントがあれば、１人でもどんどん飛び込むことを強くおすすめします。

【留学を終えて】

私が留学を終えてまず思ったことは、留学に行って本当に良かったということです。未知の環境に誰一人頼れる人もおらず飛び込むことに、ドキドキしつつも、より大きなワクワクを感じながら、人生を変えてやるぞ！と飛行機に乗ってマレーシアに行った時のことを、未だに鮮明に覚えています。留学に行って良かったと思う理由は挙げたらきりがありませんが、最も大きな理由の一つは、日本では決して起こらないであろうたくさんの理不尽な経験が私を精神的にとても強くしてくれたということです。

【これから留学される方へ】

これから留学する人、もしくは留学に行こうか考えている人の中には、いわゆるキラキラした留学を期待している人も多いかと思います。しかし実際の留学は、留学前に想像したほどきらびやかなものではありません。それに気づいたときに、留学に対してしっかりと目的意識を持っているかどうかが大切になります。私の場合は、自分で決めた３つの力、すなわち積極的な発信力、異文化・価値観を受容する力、問題解決に向けた行動力をこの１年間で絶対に伸ばすこと、それに付随する他の目標も絶対達成すると決めて留学に行ったので、キラキラしていない生活でも踏ん張ることができました。

もし今この留学体験記を読んでくださっている方が、経済的な理由以外で留学に行くか迷っているのなら、まずは自分が留学で何をして、自分のどんな力を伸ばしたいのかを再確認して、目標を立てることを強くおすすめします。語学力の向上だけでなく、自分のこんなところを変えたい、この国のこの文化を知りたい！など、できるだけ自分事に落とし込んで具体的な目標が立てられるとさらに良いと思います。

私の知る限り、「留学をしたい」と言った人の中で、「留学をした」人の割合はとても低いです。アルバイトや課題をこなしながら、準備を進め、実際に留学に行くことはとても大変です。奨学金の手続きや、認定留学の場合は、自分でビザ申請や大学の入学・登録手続きをしなければならないため、非常に大変だと思います。やるかやらないかは、今この文章を読んでくださっているあなた次第です。留学に行かずに後悔した人はたくさんいると思いますが、留学に行って後悔したという人の話はあまり聞きません。

繰り返しになりますが、私が留学を終えて思ったのは、留学に行って本当に良かったということです。私の体験記が少しでも皆さんの役に立てば嬉しいです。心の底から応援しています。

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 学生用フォルダ ＞ 留学支援 ＞ 留学体験記 ＞ 交換留学・認定留学体験記

長期留学体験記【認定留学】スペイン語圏

スペイン　**サラマンカ大学**

言語文化学科　Y. T.
留学期間：2024年４月～2024年12月

サラマンカはスペイン内陸部のCastilla y León州にある県の１つであり、首都マドリードからは車で３時間弱、特急列車では１時間半程度の距離です。また、旧市街全体がユネスコの世界遺産に登録されるほどの歴史ある街です。学生の街と言われることもよくあり、若者がたくさんいますが、治安は良いです。夏や冬の長期休みの時期になると学生たちが帰省し、とても静かな雰囲気になります。２つのCatedral（大聖堂）やスペインで１番美しいと評判のPlaza Mayorなど観光地としても有名です。朝と日中との寒暖差が激しいのは少し留意すべき点です。サッカーへの関心も高く、サラマンカには３部と４部に１チームずつ所属しているクラブがあります。夏に開催されたEUROでは代表チーム（La Roja）が優勝しましたが、決勝はPlaza Mayorでのパブリック・ビューイングがあり、街中の飲食店のテレビも決勝戦を中継していました。

サラマンカ大学は現存するスペイン最古の大学かつヨーロッパ全体で見ても上から数えるほどの歴史ある大学です。旧市街のあらゆるところに学部ごとのキャンパスが存在しています。私の場合はサラマンカ大学の付帯施設であるCursos Internacionalesという語学学校のようなところで勉強をしました。スペインでスペイン語を学びたい留学生に向けた施設なので学生は全て外国人です。アメリカ人や中国人が多かった印象です。日本人も多くはないですが各クラスに２～３人の割合でいます。どの授業も上限は20人前後で行われます。Cursos Internacionalesではスペイン語文法の授業が中心で加えて歴史や文化、文学などの授業をとることができます。また、会話や作文などの技能をメインに扱う授業もあります。基本的には学期に２度のペーパーテストが基本ですが、普段の授業をしっかり復習しておけば問題なく解けるくらいの難易度です。授業によっては別にプレゼンや小レポートなどが課されることもあります。

留学中は大学から歩いて30分弱のところにあるPisoでホームステイでの生活でした。おばあちゃん１人のホストファミリーで他に留学生との３人での生活が基本でした。ひとり部屋だったのでプライベートの空間も確保でき、ホストファミリーとも過干渉にならずとても過ごしやすかったです。食事は３食用意してもらえますが、友人と外食に行ったりする時は事前に食事がいらない旨を伝えるようにしました。飲料やちょっとしたお菓子などは近くにあるCarrefourに買いに行っていました。毎週木曜日の夜に、日本に興味のあるスペイン人との交流（Intercambio）ができる場があり、そこにはよく通っていました。週末は授業の復習をしたり、サブスクとVPNを利用して日本のドラマやバラエティを見たり、カフェに行ってみたりと自由にのんびりと過ごしていました。

留学する前とサラマンカでの生活が始まった直後は言語の面で不安な部分はありましたが、同じクラスの日本人の学生に助けてもらったり、先生に丁寧に教えてもらったり、ホストファミリーには聞き返すと嫌な顔せずもう一度説明してもらえたりなど、周りに助けられたこともあり、少しずつですが上達できたと思います。旅行先でスペイン語を話すと良い意味で驚かれたり、お世辞かもしれませんが、地元の人にスペイン語を誉めてもらったりした時には上達を感じて嬉しかった記憶があります。Intercambioを通じて知り合った学部に留学している日本人の友人にもとても親切にしてもらい、旅行に連れて行ってもらったり、マドリードでサッカー観戦をしたりたくさんの経験を積むことができたと思います。長期休みを利用して行ってみたい都市やスペイン以外の国にも行けたのもとても良い思い出です。

留学中は色々な人とかかわる機会、それもさまざまな国籍の外国人とかかわる機会が多くあり、良くも悪くも色々なことを考えるきっかけにもなりました。金銭面での不安や、進路の不安などで留学することを悩んでいる方が少なからずいるとは思いますが、目の前にそのチャンスがあるならぜひ留学してみると良いと思います。あとになって行けるという保証はどこにもありませんし、やれるうちに経験することがとても重要なことだと、個人的には感じています。「～を学びたい」のような大層な目標や「就職に○○のような形で活かしたい」などの明確な目標を持つ必要は必ずしもないと思います。もちろん目標を持って留学しようとされている方は素晴らしいと思います。ただ、何か明確な目標がないから留学を断念しようとしている方はもう一度考え直してみてもいいかもしれません。異国の地で生活をすること自体が大きな経験であり、日本なら何ともないちょっとした日常の場面でも思いがけない経験をすることがたくさんあります。そういった経験を通して新たな価値観が形成されるかもしれないし、今の価値観により磨きがかかるかもしれません。しかし、行くことがなければそれらの経験を得ることはとても難しいと思います。海外旅行とはまた違った経験を得ることができるのが留学の１つの醍醐味だと思います。不安やプレッシャーで頭でっかちになったり、気負いしたりせずになんとかなるくらいのイメージで全く問題ないです。これを書いている私は実際に何とかできた人だからです。今これをご覧になっている皆様の、少しでも参考になることができれば幸いです。

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター ＞ 学生用フォルダ ＞ 留学支援 ＞ 留学体験記 ＞ 交換留学・認定留学体験記

危機管理・安全対策

Risk Management and Security Measures

安全な海外留学のために

安全のためのガイドライン

世界各地では紛争、襲撃事件、テロ、暴動や内乱、さまざまな感染症や大規模な災害などが発生しており、私たちは流動的な状況への対応を日々迫られています。海外渡航にあたっては基本的な安全管理・危機管理対策に加え、感染症対策や関連措置への対応等の備えが求められています。そのためには渡航者である学生自身による状況確認と判断力、情報収集力や危機管理能力を高めることが必要です。渡航後、常にその国や地域の最新情報入手に努めることはもちろんですが、渡航前から目的地について調査したり、オリエンテーション等に参加し危機管理に対する意識を高めるとともに、起こりうるリスクを可能な限り想定し準備をしておくことが大事です。

渡航と安全対策

日本は世界でも特に治安の良い国です。そのため、日本にいる時と同じ安全意識を持ったまま渡航することは非常に危険です。さらに、渡航先で問題が生じた場合や予期しないトラブルに巻き込まれた場合は、自己責任において対処しなければなりません。そのため、個人でできる予防策を講じておく必要があります。

獨協大学では、短期・長期を問わず留学の決まった学生に、学内で実施する「海外安全対策セミナー」への参加を義務づけています。これにとどまらず、渡航前に「外務省海外安全ホームページ」「世界の医療事情（外務省・在外公館医務官情報）」等のサイトにアクセスし、常に最新の情報を入手するように心がけましょう。渡航を予定している国・地域の政府観光局や、旅行会社や保険会社なども貴重な情報源となります。外務省海外安全ホームページのメールサービスを利用すれば関心のある地域について発出された最新の情報を受け取ることもできます。また在留届の提出（P.83）が不要な３ヶ月未満の渡航を予定している場合は、いざという時に在外公館などから緊急時情報提供を受けられる海外旅行登録システム「たびレジ」に必ず登録しましょう。「たびレジ」には本人以外のメールアドレスも登録することができるため家族とも情報を共有しておくことをおすすめします。これらを踏まえ、P.119には「海外渡航時に役立つサイト」を掲載しているので、渡航を計画している方は各自確認してください。

また、本学では、危機管理の対策として大学から派遣する長期・短期留学生に対し、本学指定の海外旅行保険への加入を義務づけています。病気になったり、不慮の事故に遭遇した場合はもちろんですが、派遣先大学や他人の物品を破損した場合等の賠償問題に対応するためにも、保険加入は必須です。

なお保険加入以外にも渡航前にすべきことををP.110～に掲載しているので、必ず目を通しておきましょう。

※長期留学（交換・認定）、短期留学（協定校・認定）、および休学して留学する場合も含め、本学は在籍学生の渡航中の車やバイクはもちろん、電気を動力とする乗り物（電動キックボード、ペダル付き原動機付自転車（モペット）、電動アシスト自転車）等の運転を禁止しています。

■外務省海外安全ホームページで、以下の情報を出発前に確認しましょう。

- 海外安全情報（危険・スポット・広域情報、安全対策基礎データ、安全の手引等）
- たびレジ、オンライン在留届
- 「海外安全虎の巻」
- 「海外旅行のテロ・誘拐対策」
- 「海外安全劇場　海外へ渡航するあなたへ～外務省からのお知らせ（動画）」
- 「海外で困ったら　大使館・総領事館でできること（パンフレット・アニメーション資料）」

普段から心がけたい危機管理の心がまえ

危機管理は重大な事故や犯罪に巻き込まれることを防ぐためだけでなく、日常のちょっとしたことで起こるトラブルを未然に防いだり、拡大させないためにも大切です。快適な留学生活を送るためには安全への気配りが常に大切です。

出発前	• パスポートの残存有効期間を確認する • パスポートの迅速な再発行のため写真やコピーを準備しておく • 国際キャッシュカードやトラベルマネーカード、キャッシュパスポート等の準備をする • 滞在先の文化、風俗、気候等の事情を調べておく • 常備薬の準備／特別に処方された薬を持っていく際は英語で書かれた診断書や処方箋を作ってもらう • 海外旅行保険に加入する（留学期間と、留学に付随する旅行期間の全てをカバーするもの） • 持参するクレジットカード等の番号や発行会社、発行連絡先を確認しメモしておく • 出国や渡航先入国に関する制限がないか情報収集
留学中	• 心身両面における健康に留意する（無理をしないように） • 体調不良を感じたら、早めに医者にかかるなど対処する（もしもに備えてモバイルバッテリー／充電器を持参すると良い） • カルチャーショックを感じた時は周囲の人やカウンセラーに相談し、無理をせず現実的な解決方法を探る • 日本と同じ感覚で行動しないよう注意し、日本人を含めた面識のない人を安易に信用しない • 現地の交通手段・交通事情について確認する • 政治的な話や特定の国や民族、宗教、習慣、文化などについて人前で大声で話さない • 話し相手に対して意思表示をはっきりする • 想定されるトラブル対応会話を準備する（とっさの一言が言えるように） • クレームを言うべきときはきちんと伝え、納得のいく回答や対応を求める • 毎日使う財布には必要最低限の現金と使用予定のクレジットカードのみを入れ、余分なお金や使わないクレジットカード等は別の場所に保管する • レシートの金額や釣り銭はどんな場面でもきちんと確認し、買い物時のレシート、カード使用時の控えを管理する • クレジットカードの利用明細をチェックする • 飲酒が認められる年齢は国によって違うため、事前に調べ、必ず遵守する • 夜の公園、地下の薄暗いカフェなどには近づかない、１人で行動しない • ブランド物はなるべく身につけない • 麻薬や覚せい剤などの薬物には絶対に手を出さない • 携帯電話やスマートフォンとは別に、家族や現地の緊急連絡先（大使館、領事館、大学緊急連絡先等）の情報を紙にメモし保管する • 現地の報道に注意し、デモ・集会・テロ等を見たら速やかにその場を離れる • 現地で発せられている規制や制限を把握し、遵守する • 日本の家族等にも定期的に近況報告をする
帰国時 帰国後	• 荷物の重量オーバー、日本への持ち込み禁止物等に気をつける • 麻薬等のいわゆる「運び屋」とならないよう、知人に荷物の運搬を頼まれても断る • 帰国時に検査証明提出や自主隔離などの制限がないか確認する • 体調不良時には早めに医者にかかる

海外安全対策セミナー

獨協大学では、本学の留学制度を利用して短期・長期留学する学生に、学内で実施する「海外安全対策セミナー」への参加を義務づけています。このセミナーでは、海外で注意すべき点、トラブル発生時の対処方法について説明し、学生の危機管理意識を高めることを目的としています。本学の制度を利用せずに海外に渡航する学生にも参加をおすすめしています。

2025年度は、以下の日程で実施する予定ですが、最新の情報はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］で確認してください。

夏季：2025年７月 ２日（水）または７月 ４日（金）（予定）

春季：2026年１月 ９日（金）または１月14日（水）（予定）

危機管理

学生・家族（保証人）の責任

海外滞在中に問題が生じた場合や予期しないトラブルに巻き込まれた場合は、自分の判断で対応しなければなりません。海外滞在中の事故やトラブルには、本学がコントロールできない種類のものが多いということも認識してください。「自分の身は自分で守る」という自己責任の意識を常に持つことが大切です。

留学で渡航する学生が事故や事件に巻き込まれた場合、本学は学生の安全確保や救援に最大限の努力をします。速やかに連絡が取れるよう、学生は滞在中の所在地を明確にし、電話番号やメールアドレスなどの連絡先を忘れずに本学に届け出るとともに、変更があった場合も必ず連絡してください。

また、渡航する学生のご家族や保証人等には、学生が無事に出発し無事に帰国できるように協力する責任があります。学生と一緒に留学先の国や地域の治安や生活環境を確認し、文化・風習などを調べることをおすすめします。また、留学前には留学に対応できる健康状態にあるかを確認し、留学中は定期的に連絡をとるようにして現地生活の様子を把握し、問題や心身不調の早期発見に心がけてください。

出発前にすべきこと

1．海外旅行保険の加入（必須）

留学中は、自然災害被災をはじめとして、感染症罹患、交通事故といったトラブルに巻き込まれる可能性が常にあります。特に、海外で病気にかかったり、ケガをした場合、その治療費は非常に高額であり、かつ、皆さんの状況について大学が正確な情報を即座に収集することは極めて難しいのが実情です。

そこで、海外での危機管理体制強化の一環として、本学から留学に派遣する学生には、大学指定の海外旅行保険およびトータルサポートサービスへの加入を、留学の必須条件としています。この保険は包括契約であることから、学生の皆さんが個人で加入する場合よりも割安な保険料で加入することができます。トータルサポートサービスは、病気、ケガ、盗難等のトラブルについて24時間365日、日本語で相談できるサービスで、学生本人だけでなく、ご家族からの相談にも対応します。

なお、長期留学の場合、上記海外旅行保険とは別に留学ビザ取得の要件として保険加入が求められる国があります。また留学先大学でも現地の保険への加入を指示される場合があります。この場合、留学先国・大学の指示に従って加入することになりますが、本学で加入した保険の内容を証明する書類（英文の付保証明書）を提示すれば、現地での保険加入が免除（または一部免除）されることもありますので、事前にしっかり調べて準備してください。また、英文の付保証明書は渡航の際は必ず携行してください。

2．健康管理等

■健康診断

留学先の機関によっては健康診断書の提出を求められることがあります。また書類の提出を求められない場合でも、自分の健康状態を把握するために、出発前には健康診断を受けましょう。

本学で毎年４月に行われる定期健康診断の受診は最低限必要ですが、足りない項目については、医療機関等で追加検査を受けてください。また、健診や追加検査後に再検査や受診をすすめられた時には、必ず受診してください。特に持病がある場合は、事前に国際交流センターにもその旨を知らせてください。

なお、健康に不安のある人、アレルギーや持病がある人、服用している薬がある人などは英文の診断書や処方箋等を持参しましょう。

国によっては医療過誤の際の損害賠償が厳しいなどの理由から、医療情報が不明確な患者に対して医師が十分な処置を行ってくれない場合があります。そのような時に英文診断書等があると現地の医師にも患者の症状や処置方法・処方薬がわかるので、スムーズに治療を受けることができます。かかりつけの病院で英文診断書等を出してもらえない場合、日本旅行医学会等のHPから英文診断書を発行してくれる医師や病院を確認し、発行してもらいましょう。

■歯科検診

留学が決まったら早めに歯科検診を受けましょう。海外では歯科医に行きたくても何ヶ月も診察の予約が取れなかったり、実際に治療を受けた後、高額な費用を請求されることがあります。なお、長期留学の場合、大学指定の海外旅行保険で治療費の８割が補償されます（低補償プランを除く）が、歯科治療の場合は一旦自分で立替払いをする必要があります（帰国後に請求）。必要な治療は必ず日本で終わらせてから渡航してください。

■予防接種

海外渡航時の予防接種には、入国時に法的に要求されるものと、入学の条件として留学先大学等から要求されるものがあります。これらの予防接種を受けないと留学や旅行が不可能となりますので、詳しくは渡航先国の大使館や最寄りの検疫所、留学先大学などに確認してください。

・法的に要求される場合

特定の国（主にアフリカの熱帯地域や南アメリカの熱帯地域）では、入国の際に黄熱病予防接種証明書を提示しないと入国できません。またこれらの国からインドや東南アジアの国へ入国する際や、帰国時の乗り換えの際などに必要になる場合もあります。予防接種は予約制で、実施機関が限られています。厚生労働省検疫所HPで早めに確認しておきましょう。

・留学先の大学等から要求される場合

必要な予防接種の種類は留学先により異なりますので、早めに詳細を確認しましょう。数回（２～３回）接種が必要なものもあるので、できるだけ出発の６ヶ月以上前には医療機関または本学保健センターに相談してください。

また特に要求がなくても、破傷風や風疹等はどの国へ行くにも予防接種がすすめられていますし、はしかの抗体検査・予防接種も受けておくことをおすすめします。渡航先によってはＡ型・Ｂ型肝炎、狂犬病等の予防接種も要求される場合があるので、早めに自分の留学先の国と教育機関の規定を確認しましょう。

■持病・常用薬

・現在服用中の薬がある場合

持病のため普段から薬を服用している人、治療中や経過観察中の人は、その病気の経過や治療法、服用中の薬剤等に関して、主治医に診断書や処方箋等を書いてもらいましょう。できれば渡航先の国の言語で書いてもらうことが望ましいのですが、難しい場合は英文診断書でも役に立ちます。

また、薬を使用している場合は、現地ですぐに適当な医療機関が見つからない場合も考えて、２～３ヶ月分の薬を持参することをおすすめします。ただし、海外へ大量の医薬品を持ち出すときは、検疫等で問題が起こらないように必ず英文診断書等を携行しましょう。

・常用薬

海外では医師の処方箋がないと薬が買えないことがありますし、一般の薬局で売っている薬も日本で入手できるものとは異なる場合があるため、特に自分がよく使う薬は持参しましょう。乗り物酔い止め、頭痛・生理痛薬、腹痛・下痢止めや胃腸薬、風邪薬などは、普段自分が使っているものを持っていくと安心です。

日本から医薬品を送ってもらう場合は、国・地域によって発送に関する条件が異なりますので、出発前に必ず確認しておきましょう。

■体調管理

出発直前に友人等との壮行会を行い、体調を崩し出発を延期するケースが散見されます。出発前はそうしたリスクも考えて準備、行動してください。

到着後にすべきこと

1．緊急時の連絡と対策

渡航中、思わぬ事件や事故に遭遇した時や自然災害等で生命が危険にさらされた場合には、直ちに救助や救援を求めましょう。このような場合に備えて、滞在国や滞在している地域の警察や消防署、日本大使館・領事館の連絡先を必ずメモしておいてください。

また、本学指定で加入する「海外留学生トータルサポートサービス」の利用方法をあらかじめ理解し、緊急事態発生の場合はすぐに連絡してください。

2．留学中の健康管理について

留学中の健康管理のために、自分のペースをつかんで、規則正しい生活を心がけましょう。特に食事は、栄養のバランスや食べる量など、自分で管理するしかありません。好きなものだけを好きなだけ食べて、体重は10キロも増加したのに栄養失調になった人や、ストレスから拒食症・過食症になってしまう人もいます。健康であることが充実した留学生活にもつながります。また海外では食べ物や水を介した消化器系の感染症や動物や蚊・ダニなどが媒介する感染症も発生しています。時差や気候、環境の変化からくるストレスにより免疫力が低下すると、これらの感染症にかかりやすくなります。季節性のインフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症対策同様にうがいや手洗いを励行し、食事管理（生水や氷を避け、十分に火が通った安心・安全なものを食べる）や適切な自衛（虫よけの利用、着衣の工夫、感染症発生時には人ごみに近寄らない等）を心がけましょう。またアレルギーが重症化する場合もあるため、動物やペットへのむやみな接触も避けましょう。

体調不良を感じたら早めに医師やカウンセラーに相談してください。本学の指定する「海外留学生トータルサポートサービス」でも、看護師、医師が日本語で各種相談に応じます（専門医による電話相談サービスは事前予約が必要です）。加えて、現地の病院の紹介も行っています。

渡航先での注意事項

滞在地では、その国の法の遵守は当然ながら、**「目立たない」「行動を予知されない」「用心を怠らない」という“安全の三原則”**を守りましょう。それが自分の身を守る安全対策につながります。

現地での行動について不安がある場合は、一人で判断せずに留学先の責任者やアドバイザー、短期留学の場合は同行教職員やホストファミリーなどに相談するようにしてください。

安全の原則 ①：目立たない
• 華美な身なり、目立つ格好はしない • 公共の場で大声で話をしたり、大笑いしたりしない • ウロウロ、キョロキョロしない
安全の原則 ②：行動を予知されない
• 自分の行動予定をむやみに他人に話さない • 行動のパターン化（移動ルートや時間などの固定化）を避ける
安全の原則 ③：用心を怠らない
• 親しげに近づいてくる人物を無条件に信用しない、スキを見せない • 電車や車、カフェの座席に荷物を置いたまま席を離れない • 自分の名前や住所をむやみに知らせない • 見知らぬ人からすすめられたものを安易に口にしない（パーティ等での麻薬への誘いにも注意） • 知り合って間もない人物からの誘いには要注意（特に夜間や 1 対 1 での外出） • ホームステイ先等でセクハラ等に遭わないように注意する • 夜の公園、危険な場所、雰囲気の悪い場所へは近づかない • 人けのないところを歩くのは昼間でも避ける、特に夜間の単独行動は避ける • 万一に備え、自分の旅行日程・連絡先を家族・知人に残す • ATMを利用するときは周りに注意し、道路に露出したATMはできるだけ使わない • 釣り銭などの受領時、お金を財布にきちんとしまってから次の行動に移る • 多額の現金は持ち歩かず貴重品は安全な場所に預け、パスポートはコピーを携行する • ファスナー等で閉まらず簡単に開いてしまうバッグは使わず、ショルダーバッグは斜め掛け、リュックサックは前に抱える

■貴重品の取扱い

現金、クレジットカード、パスポート、デジタルカメラ、スマートフォン、パソコンなどの貴重品が盗難に遭う被害が多数報告されています。外出先はもちろん、残念ながらホームステイ先や寮においても実際に起こっています。共同生活の中で物を紛失すると、同居人を疑わざるを得ない状況になり、お互いに非常に嫌な思いをします。そんな状況を作り出さないためにも、すぐに戻るからと安心せず、外出時には必ず部屋の鍵だけでなく、スーツケース等の鍵もかける、貴重品は目につくところに置かない、留学先大学のガイドラインに従って防止策をとるなど、十分注意してください。

■麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ

麻薬や覚醒剤等に関する取り締まりや罰則は世界中で厳しさを増しています。麻薬関連の犯罪で科される刑罰は、日本とは比べものにならないほど重いもので、国によっては極刑に処せられることもあります。いかなる種類の麻薬でも、所持、譲渡、売買、製造、輸出入など全て厳重に禁止されています。一方、非医療用大麻（嗜好用マリファナ）についてはカナダやアメリカの一部の州において購入や所持等がすでに合法化されています。また、チョコレートやクッキーなどの菓子、飲料など「大麻入り食品」も市場に出回っているため、手軽に入手できます。しかし、日本では大麻取締法において、大麻の所持・譲受（購入を含む）等については違法とされ、合法地域での行為も処罰の対象となります。大麻を吸うと視覚・聴覚の変化や情緒不安定、集中力の低下や思考の変化等が現れ、長く続けると幻覚・妄想や暴力的な行動等、精神的に異常をきたしたり、知的機能の低下等を招くことがあります。また「危険ドラッグ」には、液体、粉末、葉片、気体とさまざまな形状のものがあり、「お香」「アロマリキッド」「合法ハーブ」「タイヤ充填用（自転車）」等と称して販売されているものもあります。その成分には、麻薬や覚醒剤等と同様の成分が含まれており、人体にとって大変有害です。これを使用すると、意識障害、おう吐、痙攣、呼吸困難等の症状を引き起こし、死に至るケースもあります。大学の寮やパーティなどで学生が遊び半分にマリファナなどをすすめてくることがあるかもしれませんが、毅然とした態度で断りましょう。そのような場に居合わせてしまった場合は、その場からできるだけ早く立ち去ることが大切です。軽い気持ちで手を出し、一生を棒に振るような結果を招かないようにしてください。

また、自らは意識しなくても、土産を手渡されたり、小荷物を託されたりする形で、不本意に麻薬を所持させられてしまうこともあります。中身のわからないものには最大の注意を払う、無用心に引き受けない、ということを忘れないでください。実際に他大学の学生が麻薬の運び屋として、逮捕された例があります。

■各種ハラスメント

文化の異なる社会においては、ジェンダーや性的行為、教員と学生の関係に文化的な差異があったり、制度や法律的な扱いが異なることもあります。ハラスメントに関する知識や現地の文化を知ることは重要です。知らないと被害を受けやすいだけでなく、思いがけず加害者になってしまう危険性すらあります。

キャンパスや寮、ホームステイ先、地域コミュニティーなど場所はどこであれ、留学先において、もしセクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメント、あるいは何らかの差別的な扱いを受けたと感じたら、すぐに大学のカウンセリング・センターやインターナショナル・オフィスの留学生担当者に相談しましょう。教職員が同行する短期留学の場合は、まず同行の教職員に相談してください。プライバシーは確実に守られますので、心配は不要です。

文化によってジェンダー問題の扱われ方は大きく異なります。特に外国人の場合、人種が異なるというだけで目立ちますし、言葉が十分に話せなければ、騙される危険性も残念ながら高いと言えるでしょう。男女間においても、デート時の暗黙のルールが日本とは違っていたり、あなたの行動があなたの意図したものとは違う解釈をされてしまう危険性もあります。曖昧な態度を続けると、YESと誤解されてしまうことがありますので、嫌だと感じたら、はっきりとNOと言う態度をとることが大切です。

安心して過ごせる環境を確保することはあなたの権利であり、充実した留学生活を送るための大切な課題です。

■セーフセックス

性行動においても安全や健康に留意しましょう。コンドームの使用や禁欲的な生活は、性感染症、HIV感染等を防ぐだけでなく、望まない妊娠を避ける有効な手段となります。また海外で注意すべきなのは、文化によって性に対する考え方やモラルが異なることです。イスラム教国や仏教国等ではあからさまな性がタブー視される傾向にあり、日本とは状況がかなり異なることを認識してください。

■カルチャーショック

ある程度の期間外国で暮らしていると、程度の差はあれ必ずカルチャーショックを体験します。カルチャーショックとは、異なった文化や環境の中で、今まで自分の国や文化の中で培ってきたものが通用しなくなり、精神的な打撃を受けることです。例えば、見るもの聞くもの全てが新鮮な時期を過ぎると、だんだん周囲に疑問や反発を感じたり、敵意を抱いたりするようになります。

疲労・倦怠感、ホームシック、イライラ、うつ、食欲不振、不眠、欲求の増加、高揚感などの症状はカルチャーショック時によく見られます。

こういった症状に気づいたら、あまり深く考え込まずに身近な友人に話してみたり、気分転換に自分の好きなことや趣味に没頭してみましょう。また、日記を書いてみることは、混乱し、舞い上がっている自分を客観視できる良い対処法です。それでも症状が軽くならない場合には早めに留学アドバイザーやカウンセラーなどに相談しましょう。

「せっかく留学をしているのだから日本人の友だちはいらない！」という人がいますが、つらい状況の時に微妙な心境を理解してくれるのは、やはり同じ文化・生活習慣の中で育ってきた日本人です。完全に日本人のネットワークを遮断するのではなく、困った時には助け合える良い関係を築いておきましょう。

■差別・偏見、異文化間のトラブル

留学先の国や地域で、差別や偏見を受けることは、多かれ少なかれあります。また同時に、自分の中にある差別や偏見といった意識に気がつくかもしれません。世界は実に多種多様な人々で構成されているという当然のことを、肌で感じるはずです。価値観、考え方はもちろん、文化的背景の異なる人々にも出会うでしょう。その時大切なのは、自文化と他文化を構成するアイデンティティを意識・尊重し、人間としての尊厳をもって自らも行動し、相手にも接するということです。留学先の国の人々が、日本人をどのようなイメージで捉えているのかを知っておくことも、助けになるかもしれません。

外国人とのコミュニケーションでは、国民性による表情やジェスチャーの違いが思わぬ誤解を生むこともあります。言葉によるコミュニケーションがスムーズにいかない場合、表情やジェスチャーといった別の情報源から相手のメッセージを曲解してしまう危険度が増します。誤解が一旦生じてしまうと不信感が募り、修復不可能な状況に陥ってしまうことも珍しくありません。相手から「こんなひどいことを言われた」「こんなひどい態度を取られた」と感じた時は、素直に相手に疑問をぶつけてください。それにより、お互いの誤解はほぼ解けるでしょう。

日本人は“察する”文化の中で育っていますが、外国では言葉として“発する”ことが重要です。「郷に入っては郷に従え」で現地に溶けこむよう努めましょう。

コロナ禍が始まって以降、特にアメリカなどではアジア系住民に対する嫌がらせや暴力行為が増えています。攻撃を受けた場合は、逃げる、周囲に助けを求めるなど、被害を最小限に抑えるよう行動してください。また人けの少ない場所や乗り物、夜間の一人歩きを避けるなど、自分の身は自分で守ることが大切です。

■宗教・民族

日本では宗教に無関心な人が多いため、他国の宗教に対しても無頓着になりがちです。しかし、海外には信仰心の篤い人が多くおり、私たちの何気ない言動が相手を傷つけ、誤解や食い違いを生むこともありえます。偏見や差別などは、その多くが宗教や民族感情に根ざしており、無知や無理解がトラブルの引き金になります。渡航先の国の宗教や慣習を調べるのはもちろんですが、国際人として他国の人の宗教や文化に対する尊敬の念を忘れないように行動しましょう。

また、記念日や祝祭日などは、その起源が宗教や歴史的事件に関連していることが多々あります。国によっては、その前後に過激集団間の紛争や宗教的な対立が起こりやすくなる場合がありますので、留学先の国の記念日や祝祭日、安息日などについても外務省HP等で下調べをしておきましょう。

提出書類等に宗教を記入する欄がある場合、特に信仰している宗教がなければ空欄にしておきましょう。「信仰している宗教はない」という意味で「NO」と記入すると、国によっては「宗教を否定している＝無政府主義者である」とみなされ危険人物扱いを受ける場合がありますので注意してください。

■マイノリティ

日本で体験することはほとんどないでしょうが、海外で生活を始めた途端、自分がその社会ではマイノリティ（社会的少数者・社会的弱者）であることに気づかされます。特にアジア系の居住者が少ない国や地域では、時には周囲から好奇の目で見られたり、物珍しい存在としての扱いを受けたりするかもしれません。そのため人間関係がうまく築けなかったり、存在を無視されて誤解が生じたりと、不快な気持ちを味わうこともあるかもしれませんが、ほとんどは悪意のないものです。自分の国と文化に誇りをもって毅然とした態度で臨みましょう。

■法律・条例

改めて言うまでもなく、留学先の国や地域は日本とは異なる法律や条例で統治され、社会的秩序が保たれています。その際気をつけたいのは、法律もまたその国の文化によって規定されているため、日本国内では当たり前で合法的な言動が、海外では非合法となる場合もあるということです。例えば、日本では20歳になると飲酒ができますが、アメリカでは21歳で、しかも州により詳細は異なります。日本の常識は海外の常識ではありません。

その国の法律や条例についての基本的な知識を得るというのは、実は大変重要なことなのです。メディアで問題視された日本人学生の世界遺産の建造物への落書きなども、こうした自覚に欠けた軽率な行為と言えます。

事故や事件を引き起こしたり巻き込まれたりしたとき、鍵を握るのは現地の法律です。万一、現地の法律や条例を犯してしまい、現地警察に逮捕・連行されるような事態に陥った時は、速やかに日本大使館や領事館と連絡を取り、弁護士を紹介してもらうなど法的な対応や適切な助言を得ることが大切です。ただし、在外公館ができることは国によってはかなり限定される場合もあります。

また、留学先機関の学則や懲罰規程なども日本の大学とは異なります。自分の留学先の規程には必ず目を通しましょう。

■逮捕・誤認逮捕

海外滞在中に警察に連行されたり逮捕されたりした時は、弁護人や通訳の要請を最優先に行いましょう。最初に、在留邦人の安全を主要任務としている大使館・領事館等の在外公館への連絡を要請し、領事等との面会を求め、家族・大学等への連絡支援を依頼しましょう。また、万が一差別的・非人道的な扱いを受けた時は、関係当局に改善の要求をしなくてはなりません。

■銃とキャンパス内の安全対策

日本でもしばしば報道されているように、北米諸国では一般市民が銃を所持する割合が高く、特にアメリカでは銃関連の犯罪が多発しています。日本とは異なり、銃犯罪は身近な問題になりえるということを認識しましょう。

危機意識の持ち方は大学生活においても同様です。アメリカの大学の多くは銃規制に関する方針（Firearms Policy）を設けていますが、許可制や登録制により大学構内に銃を持ち込むことが可能な大学も少なくありません。アメリカの大学のHPには、University PoliceやSecurity Office等の部署が独自のページを設けていて、キャンパスやその周辺の治安の確認や、犯罪関連の情報収集ができるようになっています。必ず目を通して、万が一学内で銃犯罪が起こった時にはどのように対応すればよいのか、確認しておくことが大切です。

アメリカの場合、ほとんどの大学では24時間体制の警備を行っていますので、何かあった時に助けを求められるように、場所や連絡先を確認しておきましょう。また、授業が始まると夜遅くまで図書館で勉強することもあるでしょうが、夜間の移動等には、Campus EscortやSafe Walk等のサービスがある場合、活用するようにしましょう。

■性暴力

統計調査等で、欧米諸国の大学のキャンパスやキャンパス周辺で性暴力に関する事件が予想以上に多いことが報告されています。このような強姦や性暴力といった痛ましい事件は、特にパーティやデートなどで飲酒した後に発生しやすいようです。望まないときにはNO！ときっぱりとした意思表示をすること。それが被害を防ぐ第一の対策です。

アメリカやカナダの大学では、University PoliceやSecurity Officerなどが24時間体制で警備を行っていますし、いざという時に助けを求められる緊急電話（Emergency Phone）が大学構内に設置されていますので、必ず場所を確認しておきましょう。被害を防ぎ自分の身を守るためには、これら緊急時のサポート制度や対策を最大限活用することが大切です。

■Date Rape Drugに要注意！

海外で多発して社会問題になっている事件のひとつに、Date Rape Drugという薬物をアルコールやジュースに混入し、昏睡状態に陥らせて暴行におよぶというものがあります。自分の身を守るのは自分自身であることを十分認識し、対策を講じてください。信用できない人とは飲食をともにしない、信頼の置ける友人と席をともにする、他人から飲み物をもらわない、店で注文した飲み物は自分でグラスを受け取る、グラスに飲み物が入っている間は席を外さない、などを心がけましょう。

■政治関連

政治問題や社会制度等について議論や意見を交わすことは、語学力はもとより情報収集力や思考能力を伸ばす上でも格好の学習機会といえます。しかし、過度の議論や過激な応酬に発展しそうな場合にはクールダウンが必要です。国によっては、熱がこもりすぎてデモや暴動が発生してしまうことも全くないとはいえません。デモや情宣活動など過激な政治行動に不用意に参加したり、興味本位で近づいたりしないようにしましょう。歴史や領土等に関わる微妙な問題について、迂闊に人を刺激するような言動は慎むのが賢明です。特に政治的衝突やその影響とみられる事件・事案が生じている場合には、たとえ意見を求められたとしても、よくわからないまま、安易に意見を述べることのないように注意しましょう。

■テロ被害に遭わないために

世界各国でテロ事件が多発しています。特に最近の傾向として、ソフトターゲット（民間人）に対するテロが増加しています。外務省「海外安全ホームページ」等で現地情報を確認し、「狙われやすい人、場所、日時」の情報を収集し、危険回避に努めてください。最終的には、個人による「予防」と「対処」が不可欠です。

・事前対策

①人混みを避ける（観光地、宗教施設、ホテルロビーなど）。目立つ服装を避ける。
②イヤホン等で外部の音を遮断しない。
③レストラン等では、出入口付近やガラス面の近くを避け、入口を見通せる奥の壁際か柱の近くに席をとる。

・もしテロに遭遇した場合　→発生から10分が勝負

①爆発音・銃撃音が聞こえたら、直ちに伏せる。
②頑丈な物陰に隠れる。
③できるだけ速やかに現場から離れ、近寄らない。
④避難する時間がない時は、隠れる。
⑤群衆パニックに巻き込まれない。冷静に。
⑥安全な場所に移動できたら、体に異常がないかを確認。

【爆発テロの場合】

①カバン等で頭部を保護し、姿勢を低くして現場を離れる。
②複数の爆発物が仕掛けられている可能性に注意。

【銃撃事件の場合】

①低い姿勢で、ジグザグに逃げる。
②不用意に動くと狙われるので、目立たない、叫ばない。
③落ち着いたら、スマートフォン、携帯電話の電源を切る。

安全な場所に移動できたら、速やかに自宅および本学国際交流センターに状況報告をお願いします。事態の重大性によっては、留学の中止、帰国等の措置をとりますので、大学の指示に従ってください。

■自然災害

自然災害には、地震、津波、噴火、暴風雨、洪水、ハリケーン、竜巻、異常気象（猛暑、豪雨、豪雪）などがあります。特に地震や竜巻等、予測が難しい自然災害では、一瞬の判断の誤りが確実に生命に関わります。留学先の国や地域でどのような種類の自然災害が起きやすいか、いざという時はどうしたらよいのかを入念に調べておき、事前の心構えを忘れないようにしましょう。暴風雨など、ある程度の予測ができるものに対しては、対処の仕方を周りに確認しておくと安心です。また、災害発生後は衛生状態が悪くなることが考えられるので、健康状態に留意してください。

■被害に遭ってしまったら

強盗や引ったくりに出くわした際に抵抗すると、命を失う危険もあります。むやみに抵抗しないでください。被害に遭ったら直ちに警察に届けましょう。後日、海外旅行保険の保険金請求に必要となるため、現地の警察からDamage Report ／ Police Report（被害届／事故調書）等を必ずもらっておいてください。

軽いケガだと思っても、思わぬ後遺障害により保険金を請求する時のためにも、必ず病院へ行き、診断書を出してもらってください。

被害に遭うと、気が動転して後の対処を怠ってしまうことがあります。警察への届け出、保険金請求の準備、パスポートや航空券などが盗まれた場合の再発行手続き、クレジットカード等が盗まれた場合のカード会社への連絡等、対応を迅速かつ適切に行ってください。

なお、本学指定で加入する「海外留学生トータルサポートサービス」に連絡すれば、必要な手続きについて日本語で説明を受けられます（24時間365日対応）。

■最悪の事態への対応

海外滞在中に死亡例が発生する可能性も全くないとは言い切れません。万が一、このような緊急事態が発生した場合、本学では第一報を入手し次第、緊急対策本部を設け、事実や身元の確認および事故処理等に最大限の努力を注ぎます。

本学では第一に在外公館の支援のもと、ご家族や関係者との連絡、遺体の荼毘あるいは日本への搬送等に関する手続き等、事故対応に最善を尽くします。

■メディアへの対応

獨協大学の学生が、本学が企画する留学で海外滞在中に事件・事故等に遭遇し、メディアからの取材を受ける場合は、基本的には本学の緊急対策本部が対応窓口となります。取材については、個人情報の取り扱いや提供情報の内容を詳細に確認した上で、本学が慎重かつ適切に対応します。

本学の危機管理について

本学では、学生・教職員の海外派遣に際し、大学として安全配慮義務を全うするとともに、万が一緊急事態が発生した場合、危機発生時に迅速かつ適切に対応するため、「海外危機対応マニュアル」を制定しています。危機発生時は、同マニュアルに基づき、関係各省庁とも連携し危機管理対応を行います。
大学HPに掲載していますので、以下の順にアクセスし、出発前に一読ください。

HOME > 国際交流 > 留学関連情報 > 危機管理 > 海外における危機管理対応について > 危機管理対応マニュアル

海外渡航時に役立つサイト

海外安全	外務省	ホームページ		海外安全ホームページ	
		https://www.mofa.go.jp/mofaj/index.html		https://www.anzen.mofa.go.jp	
		渡航３ヶ月未満の方 たびレジ （海外安全情報無料配信サービス）	渡航３ヶ月以上の方 ORRネット （オンライン在留届）	海外安全アプリダウンロード	
				for iPhone	for Android
	NHKワールド・ラジオ日本	短波放送の受信方法・周波数		https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/howto/	
健康・衛生	WHO	世界保健機関		https://www.who.int/	
	厚生労働省	新型コロナウイルス感染症について		https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html	
		検疫所FORTH　海外で健康に過ごすために		https://www.forth.go.jp	
	外務省	世界の医療事情		https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/	
日本国 在外公館 および 窓口機関	ドイツ	在ドイツ日本国大使館		https://www.de.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html	
	アメリカ	在アメリカ合衆国日本国大使館		https://www.us.emb-japan.go.jp	
	英国	在英国日本国大使館		https://www.uk.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html	
	カナダ	在カナダ日本国大使館		https://www.ca.emb-japan.go.jp	
	ジャマイカ	在ジャマイカ日本国大使館		https://www.jamaica.emb-japan.go.jp	
	オーストラリア	在オーストラリア日本国大使館		https://www.au.emb-japan.go.jp	
	インドネシア	在インドネシア日本国大使館		https://www.id.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/	
	トルコ	在トルコ日本国大使館		https://www.tr.emb-japan.go.jp	
	チェコ	在チェコ共和国日本国大使館		https://www.cz.emb-japan.go.jp	
	ウズベキスタン	在ウズベキスタン日本国大使館		https://www.uz.emb-japan.go.jp	
	フランス	在仏日本国大使館		https://www.fr.emb-japan.go.jp	
	スペイン	在スペイン日本国大使館		https://www.es.emb-japan.go.jp	
	メキシコ	在メキシコ日本国大使館		https://www.mx.emb-japan.go.jp	
	中国	在中国日本国大使館		https://www.cn.emb-japan.go.jp	
	台湾	（公財）日本台湾交流協会		https://www.koryu.or.jp	
	韓国	在大韓民国日本国大使館		https://www.kr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/	
国・地域別 観光サイト	ドイツ	ドイツ政府観光局		https://www.germany.travel/en/home.html	
	アメリカ	GoUSA		https://www.gousa.jp	
	英国	英国政府観光庁		https://www.visitbritain.com/jp	
	カナダ	カナダ観光局		https://jp-keepexploring.canada.travel	
	ジャマイカ	Visit Jamaica		https://www.visitjamaica.com	
	オーストラリア	オーストラリア政府観光局		https://www.australia.com/ja-jp	
	インドネシア	Visit Indonesia		https://www.visitindonesia.jp	
	トルコ	Go Turkiye		https://goturkiye.com	
	チェコ	チェコ政府観光局		https://www.visitczechrepublic.com/ja-JP	
	ウズベキスタン	Uzbekistan.travel		https://uzbekistan.travel/en/	
	フランス	フランス観光開発機構		https://www.france.fr/ja/	
	スペイン	スペイン政府観光局		https://www.spain.info	
	メキシコ	Visit Mexico		https://visitmexico.com	
	中国	中国駐東京観光代表処		http://www.cnto-tokyo.jp	
	台湾	台湾観光協会		https://jp.taiwan.net.tw	
	韓国	韓国観光公社		http://japanese.visitkorea.or.kr	

就職活動 <キャリアセンター>

Job Hunting

留学と就職

就職活動のグローバル化

グローバル化がますます加速するなか、企業は生き残りを賭け、海外経験豊かな学生の採用を重視しています。海外で事業展開している日本企業のなかには、国内の人材だけではなく、海外拠点での現地採用や、海外の大学に留学中の学生に内定を出すなどの「グローバル採用」を行う企業が増えています。

海外に市場を持つか否かにかかわらず、国籍を問わず優秀な人材を採用したい、外国人を採用することで社内を活性化させたいという目的でグローバル採用を実施する企業も増えています。企業だけでなく公共団体等にも、同様の動きは広がっています。今や外国人の学生も日本人にまじって就職活動をするなど、“就職活動のグローバル化”は、すでに当たり前になっているのです。グローバル人材とは、単に外国語のスキルをもつだけではなく、世界の激しい変化にも対応できる「しなやかさと逞しさ」をもち、それらをビジネスの現場で発揮できる人材をさします。海外留学は、グローバル人材になるための“はじめの一歩”だと言えるでしょう。留学先では、日本とは異なる社会の在り方や文化の違いを、自分の目で確かめ、考え、貪欲に吸収してください。そして、留学先で得た知識や出会いを通じて、自分の将来を考え、どうすれば社会に貢献できるかを、じっくり考えてください。

留学経験を就職活動に生かすために

「留学すると就職活動に不利ですか？」という質問をよく受けます。確かに、留学中は企業訪問や会社説明会に直接出席できない等の地理的な問題はありますが、海外でもグローバル採用の説明会が開催されていたり、WEBでの説明会や選考を実施する企業も増えています。また、帰国時期がエントリー時期に間に合わなくても、留学先でインターネットを駆使して情報を収集し、企業にアプローチする学生もいます。一方、就職活動にとらわれず、留学生活を優先させる学生もいます。いずれも、自分が留学で得たものを採用担当者にしっかり説明できるようになってほしいと思います。ただ海外にいたというだけでは、就職に有利にはなりません。留学して自分がどう変わり、成長したのかを客観的に見つめ直す視点をもってください。

2026年４月採用（現大学４年生）は、会社説明会等の広報活動開始時期が３年生の３月１日以降、選考活動（面接など）が４年生の６月１日以降とされていますが、実際は早期化（３年生の夏休みごろ）しています。留学を思いたったら早い段階からキャリアセンターにも相談し、就職に関する状況を理解した上で留学計画を立てましょう。

キャリアセンターによる「長期留学予定者のための就職ガイダンス」

キャリアセンターでは、留学が決まった学生を主対象とする「長期留学予定者のための就職ガイダンス」を開催（７月）し、出発前の注意事項、留学中にすべきこと等を説明しています。また、留学中でもキャリタスUCを活用して就職活動の準備が可能です。キャリタスUCで進路希望登録を行い、適宜キャリアセンターからの情報を確認してください。大学に届く求人情報もキャリタスUCから確認できます。現在、オンラインでのWEB相談も受付けていますので、不安なことがあれば予約してご利用ください。大学のキャリアセンターに送られてくる求人票は、獨協大生を積極的に採用しようとする企業からの求人ですが、帰国留学生の採用を別枠で、あるいは通年で実施する企業が増えています。帰国留学生の就職活動のチャンスは広がっています。

皆さんが充実した留学生活を送り、その経験を自分のキャリアに活かすことができるよう、キャリアセンターは国際交流センターとともにサポートいたします。

〔キャリアセンターメールアドレス〕shuushoku@stf.dokkyo.ac.jp

キャリタスUC

長期留学した学生の主な進路一覧

長期留学した学生の主な進路一覧（過去５年）

留学年度	ドイツ語圏	英語圏	フランス語圏	中国語圏/韓国語圏/スペイン語圏 ★は韓国語圏 ☆はスペイン語圏
2023年度	㈱テラスカイ 全日本空輸㈱ ㈱ファーストリテイリング	㈱NHKグローバルメディアサービス 全日本空輸㈱ 郵船ロジスティクス㈱ 住友商事パワー＆モビリティ㈱ 近畿日本ツーリスト㈱ ㈱JTB 日通NECロジスティクス㈱ ㈱東京早稲田外国語学校	国際空港上屋㈱ 双日食料㈱ 東京建物不動産販売㈱ ㈱帝国ホテル	㈱ユニシス 羽田空港サービス㈱★ ㈱あらた★ ユアサ商事㈱ 獨協医科大学
2022年度	日工㈱ 全日本空輸㈱ 日本通運㈱ 東京都医業保険組合	㈱T&K TOKA ルネサスエレクトロニクス㈱ 日本電波工業㈱ ㈱時事通信社 キャセイパシフィック航空 全日本空輸㈱ 日本航空㈱ パシフィックセンチュリーホテル㈱ ㈱ミリアルリゾートホテルズ ㈱森ビルホスピタリティコーポレーション KNT-CTホールディングス㈱ （財）海外産業人材育成協会 地方公務員（長野県・市町村）	㈱サラダクラブ クリスチャンディオール（同） ㈱成城石井 RIMOWA JAPAN㈱ 三菱地所ホテルズ＆リゾーツ㈱ ㈱ＪＴＢグローバルマーケティング＆トラベル	古河電気工業㈱☆ ㈱韓進インターナショナルジャパン★ ㈱近鉄エクスプレス☆ ㈱日新★ 羽田空港国際旅客サービス㈱★ 双日食料㈱☆ ㈱タウ★ ㈱良品計画☆ 三井住友ファイナンス＆リース㈱☆ クラブツーリズム㈱ NAAセーフティサポート㈱★ 郵船コーディアルサービス㈱☆ 長野県人事委員会★
2021年度		㈱ヨコソー イースタン・カーライナー㈱ （公財）日本英語検定協会	㈱JALスカイ	日鉄物流㈱☆ アサヒグループホールディングス㈱ （一社）国際交流サービス協会☆
2020年度	富士フイルムロジスティックス㈱	日本通運㈱	㈱三井不動産ホテルマネジメント	㈱アダストリア★ 地方公務員（茨城県・市町村）★
2019年度	㈱日立ビルシステム ブリマハム㈱ 日本アイ・ビー・エム㈱ 西濃シェンカー㈱ 日本ロジステックホールディングス㈱ ㈱コンピュータマインド社 ㈱ムラキ (学)帝京大学	㈱イシダ 千代田インテグレ㈱ 日本アイ・ビー・エム㈱ ㈱サイバーエージェント ㈱すららネット ティー・エス・ビー㈱ ㈱ＮＴＴドコモ ㈱エスブール・ロジスティクス 日本ヒューレット・パッカード(同) アマゾンジャパン(同) ㈱イーオン	中外鑛業㈱ 三喜商事㈱ ㈱セブン-イレブン・ジャパン	東京東信用金庫★ ㈱クイック★ 星野リゾート・マネジメント☆ ㈱LAVA International★

「留学年度別」のデータのため、卒業年度に達していない学生の進路情報は含まれません。

留学経験者による就職活動レポートとアドバイス

国際環境経済学科　2025年３月卒業　O. M.

留 学 先：マサリク大学（チェコ）
留学期間：2023年９月～2024年６月（交換留学）
就 職 先：NHKグローバルメディアサービス

私の就職活動が少しでも皆さんの参考になれば幸いですが、就職活動に正解・不正解はないので、あくまで１つの例として読んでくださいね。

留学生の就職活動はだいたい以下に分かれます。
１．留学先で就職活動をする。かつ卒業を延ばさない。（少数）
２．帰国してから就職活動をする。（大多数）
３．卒業を延ばす。（こちらも多数）
私は、１つ目のパターンでした。結論から言うと、帰国してからでも就職活動は間に合います。留学帰国者のための６月中旬のサマー・キャリアフォーラムを利用することも可能です。帰国後の安心材料として選択肢を広げたいなら、１を選択するといいと思います。

なぜ私が１を選択したかというと、日本にいる友人からの「就職先決まった！」の報告に堪え切れなくなったからです。この時点ですでに2024年１月。流されやすいたちなので、ただの焦りから私の就職活動inチェコは始まりました。手始めにキャリアセンターの方とZoomで何回か面談をしました。そこでアドバイスをもらったり、今後の予定を一緒に考えてもらったりしました。この時点で私は「就職なんてしたくない」という精神状態だったので、あこがれている業界を手が届く、届かないは一切考えずに選びました。開発援助、報道、そして大学、という３つに絞り、そこから興味のある企業や大学、機関を書き出し、マイナビのアプリや各採用サイトからエントリーをして、エントリーシートを送りまくりました。

ここで注意すべきことがあります。それは証明写真です。私は証明写真をデータで持っていたので問題なかったのですが、海外で就職活動を始めようとする方は必ず証明写真原本とデータを持って渡航しましょう。また自分が持っている資格証明書などもデータで持っておくこと。さらに忘れがちなことですが、ワイシャツなどのきれいめな服もオンライン面接で必要になります。

エントリーシートやSPIが通れば面接です。（私はSPIは運だと思っていたのでほとんど勉強しませんでした！）今はほとんどの企業がオンライン面接を行いますが、エントリーシートを送る段階で海外在住であること、オンライン面接で対応してほしいことを伝えておくのがよいと思います。

私は結局20社ほど受けましたが、内定先以外から内定をいただくことはありませんでした。内定先には三次面接までオンラインで対応してもらいました（本来三次面接は対面だったのですが、特別に対応してもらいました）。帰国して５日後が最終面接の日だったので、最後だけ対面で受けました。学期が終わり次第早めに帰国すれば、最終面接に間に合います。目指していた３つの業界のうち、開発援助の業界は選考が早く、早い段階で全滅でした。その段階で、それでは報道に全振りしよう！と舵を切りました。大学職員も平行して進めていましたが、先にNHKに内定をいただいたので、選考途中のものもありましたが辞退させていただきました。

どの企業の面接でも、留学の動機、チェコを選んだ理由、留学先で何を学んだのか、大変だったこと、などを聞いてくれます。留学経験があると、面接で話せることが広がります。また獨協大学では学べないことを留学先で学べたことで、進路の幅がさらに広がったと思います。私はチェコでジャーナリズムを勉強できたおかげで、報道への道を開くことができました。また、マイナーな留学先を選んだからこそ話せるユニークなエピソードというのもあります。それを面接官はかなり興味を持って聞いてくれます。

私は絶対に留学経験を活かしてやる、という気持ちで就職活動をしていました。留学経験が不利になることは絶対にありませんが、どれだけ有利にできるかは、自分が留学体験をどこまでしっかり言語化して相手に伝えられるか、にかかっていると思います。なんでも話しましょう。その話の要不要は相手が判断することです。話していて楽しいと感じられる企業は、きっとあなたと合う企業です。そして周りの人と比べずに自分のペースで行きましょう！応援しています！

留学経験者による就職活動レポートとアドバイス

フランス語学科　2025年３月卒業　Y. R.

留 学 先：西部カトリック大学（フランス）
留学期間：2023年１月～2024年１月（交換留学）
就 職 先：株式会社帝国ホテル

留学が決まっている人も、まだ行くか迷っている人も、就職活動に関する不安を持っている人が多いかと思います。そこで、３年生の春学期から１年間、フランス留学をしていた私の就職活動経験を皆さんにお伝えしたいと思います。

はじめに、私が留学から帰ってきたのは４年生になる年の２月でした。日本にいた友人たちの中にはもうその頃に就職活動をほとんど終えている人もいました。早い人では３年生の６、７月辺りからインターンや就職活動を始めるので、私は、３月から始めることに出遅れを感じ、少し焦っていました。ちなみに留学中は勉学に集中したいと思い、就職活動は全く行っていませんでした。そんな状態で就職活動をスタートした私ですが、結果的には７月上旬に第一志望の企業から内定をもらうことができました。ではどのように就職活動を行ったのか、具体的に説明していきます。

帰国後に最初に行ったのは、マイナビに登録をして自分の希望する職種でエントリーができる企業を片端から調べることです。私は語学を生かした業界を希望していたので、ホテル・観光業界で探しました。企業側の正式な広報活動の解禁日は３月１日からなので、エントリーできる企業数が少ないとは全く感じませんでした。企業を選ぶ際に重要視したことは、海外研修制度が充実していることです。１年間の留学で培った語学力を無駄にしたくなかったので、海外派遣や研修の可能性が高い企業を探しました。留学後、いざ就職活動を始めると、これといって行きたい業界が見つからない人もいると思います。そういう時は、幅広くいろいろな業界を見てみるとよいと思います。私も、沢山迷い考えた上で、やはり語学力を生かせる仕事を選びました。

そして、ある程度エントリーする企業を絞ることができてからエントリーシートの書き方を学びました。基本の書き方はネット等で調べればすぐに出てきます。それでも不安な場合は、大学のキャリアセンターで添削をしてもらうこともできます。キャリアセンターでは、OB・OG訪問や就職活動の相談も行っているので、積極的に活用するといいと思います。

エントリー後、いくつかの企業で選考が通り、面接やグループディスカッションをしました。面接では、留学経験が非常に役に立ったと感じています。もちろんただ「楽しかった」や「大変だった」だけではだめです。自分が何を経験してどう考えたか、留学前より何ができるようになったのか、学んだことをしっかりと言語化することが大切です。本当にあったエピソードを交えて話すとよりよく伝わります。こうして、選考が順調に進み、内定をもらうことができました。

最後に、留学を経験した後に、海外の大学に進むか、海外で働くか、日本で働くか迷う人も多いと思います。実際私も非常に迷いました。最終的に私は、再び留学するにしても、海外で働くにしても金銭面に不安を感じ、まずは日本で働き、お金を貯めようと思いました。それは、就職先が自分の納得するものだったからでもあります。そうでなければ、在外公館派遣員や奨学金に応募すること、休学してお金を貯めることやワーホリで海外へ行く等、他の選択をしていたと思います。

ここで皆さんに伝えたいことは、選択肢は思っている以上にたくさんあります。何を選ぶのも自身の自由です。ただ、やらなかったことを将来後悔しないように選ぶことを、私はおすすめしたいと思います。そしてもう１つ、長期の留学ができるのは大学生の特権だと思います。私は人生で一番多くの新しい経験をした１年間でした。世界各国から来た留学生たちと一緒に学ぶことで、語学以上のことを学ぶこともできます。留学に行ける機会があるなら、是非行くことを選んでほしいと心から思います。

留学統計資料 (過去５年)

Statistical Data

※2019～2022年度については新型コロナウイルス感染症の影響により、留学の中止・延期が生じています。

■交換留学生数

国・地域名	留学先大学	2020		2021		2022		2023		2024		過去５年間合計		大学別計	国・地域別計
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春学期	秋学期		
ドイツ	イエナ大学									1		1		1	34(3)
	デュースブルク＝エッセン大学						2	1				1	2	3	
	デュッセルドルフ大学	1							1			1	1	2	
	ハイデルベルク大学					1	1	1	1	1	1	3	3	6	
	ハレ＝ヴィッテンベルク大学													0	
	ヒルデスハイム大学			1	1				1			1	2	3	
	ブレーメン専門単科大学				1		1	1	1		1	1	4	5	
	ベルリン自由大学					1	1	1	1		1	2	3	5	
	マールブルク大学										1		1	1	
	ミュンスター大学													0	
	リューネブルク大学		1(1)					1	1(1)			1	2(2)	3(2)	
	レーゲンスブルク大学				1	1		1	1(1)	1		3	2(1)	5(1)	
スイス	バーゼル大学													0	0(0)
アメリカ	ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校				2		2		3		2(1)		9(1)	9(1)	12(1)
	カリフォルニア大学デービス校				1								1	1	
	カリフォルニア州立大学モントレー・ベイ校										2		2	2	
	サンフランシスコ州立大学													0	
英国	エセックス大学				1				1		1		3	3	14(0)
	カーディフ大学										1		1	1	
	ニューカッスル大学				1		3		1		3		8	8	
	マンチェスター大学						2						2	2	
カナダ	ヨーク大学						1				1		2	2	2(0)
ジャマイカ	西インド諸島大学モナ校													0	0(0)
オーストラリア	ウーロンゴン大学					1		2		2(1)		5(1)		5(1)	5(1)
	サザンクロス大学													0	
チェコ	マサリク大学				2			1(1)	2		2(1)	1(1)	6(1)	7(2)	7(2)
インドネシア	ビヌス大学								1				1	1	1(0)
フランス	西部カトリック大学	2	1(1)		1	5(2)	3(1)	2	2	4(1)	4(1)	13(3)	11(3)	24(6)	31(7)
	マリー・エ・ルイ・パストゥール大学（旧フランシュ・コンテ大学）						2						2	2	
	リュミエール・リヨン第2大学								3		2(1)		5(1)	5(1)	
スペイン	バルセロナ自治大学				1	1	2		2		2	1	7	8	15(1)
	マラガ大学				3(1)		2				2		7(1)	7(1)	
メキシコ	グアダラハラ大学				1		3		2		3		9	9	9(0)
中国	華東師範大学													0	2(1)
	大連理工大学				1		1(1)						2(1)	2(1)	
	北京師範大学													0	
台湾	東呉大学						2	2	1			2	3	5	5(0)
韓国	仁荷（イナ）大学	1			2	2	1		1(1)			3	4(1)	7(1)	36(9)
	慶熙（キョンヒ）大学					4		4(1)		3		11(1)		11(1)	
	建国（コングク）大学	2(1)			1	2	1(1)	4(3)	1(1)	2(1)	1	10(5)	4(2)	14(7)	
	誠信（ソンシン）大学								1				1	1	
	大邱（テグ）カトリック大学						1						1	1	
	延世（ヨンセ）大学	1			1							1	1	2	
小計		7(1)	2(2)	1(0)	21(1)	18(2)	31(3)	21(5)	28(4)	14(3)	30(4)	61(11)	112(14)	173(18)	
合計		9(3)		22(1)		49(5)		49(9)		44(7)		173(25)			

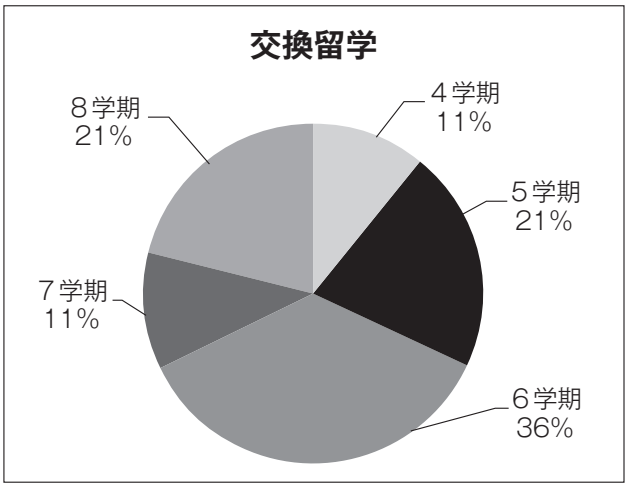
（　）内は留学期間が半年の学生の内数

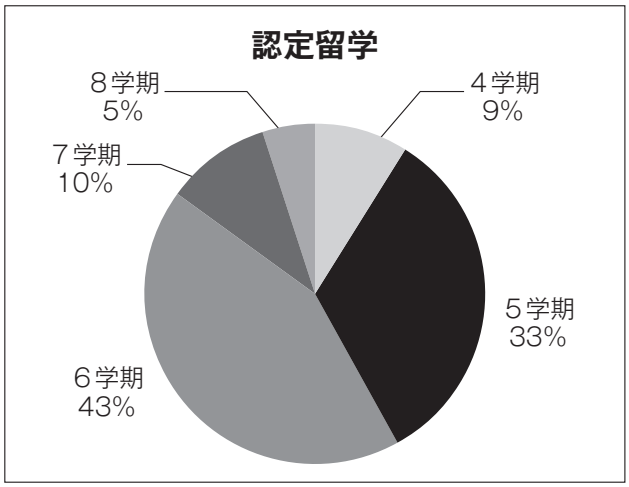
■認定留学生数

国・地域名	2020		2021		2022		2023		2024		過去5年間合計		合計
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春学期	秋学期	
ドイツ			新型コロナウイルス感染症のため、派遣中止	新型コロナウイルス感染症のため、派遣中止	新型コロナウイルス感染症のため、派遣中止		1 (1)		1	1	2 (1)	1	3 (1)
アメリカ	1 (1)					11 (3)	2 (2)	7 (1)	1 (1)	4 (2)	4 (4)	22 (6)	26 (10)
英国													0
カナダ													0
オーストラリア		1 (1)					1 (1)	2 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	4 (4)	7 (6)
ニュージーランド													0
アイルランド													0
ハンガリー									1 (1)		1 (1)		1 (1)
チェコ								1 (1)		2		3 (1)	3 (1)
エストニア													0 (0)
リトアニア													0 (0)
フィンランド													0
イタリア													0 (0)
マレーシア							1				1		1
フランス	1 (1)	1 (1)				1 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	3 (3)	6 (5)	9 (8)
スペイン									1		1		1
メキシコ													0
チリ													0
中国													(0)
台湾						1	1 (1)	1 (1)	3 (3)		4 (4)	2 (1)	6 (5)
韓国								2 (2)		1 (1)		3 (3)	3 (3)
小計	2 (2)	2 (2)				13 (4)	7 (6)	15 (8)	10 (7)	11 (6)	19 (15)	41 (20)	60 (35)
合計	4 (4)				13 (4)		22 (14)		21 (14)		60 (35)		

（　）内は留学期間が半年の学生の内数

■長期留学開始学期（2024年度参考）





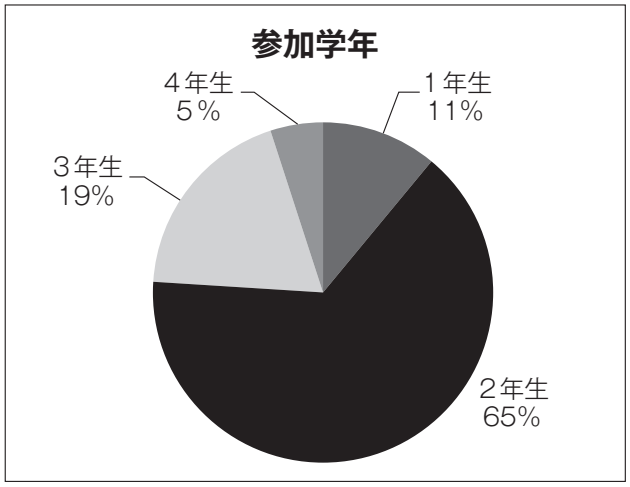
■短期協定校留学参加者数

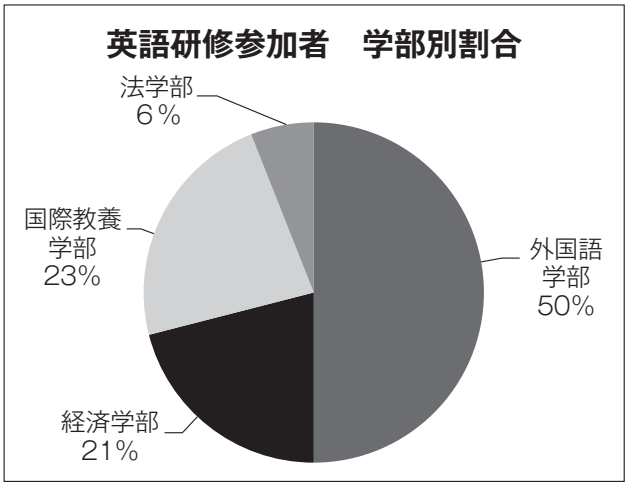
国・地域名	留学先大学	2020	2021	2022	2023	2024	合計
ドイツ	ハレ＝ヴィッテンベルク大学	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	4	15	15	34
アメリカ	ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校						0
	カリフォルニア大学デービス校						0
カナダ	ヨーク大学			30	28	18	76
	レジャイナ大学			8	27	30	65
オーストラリア	ウーロンゴン大学				30	23	53
フランス	マリー・エ・ルイ・パストゥール大学（旧フランシュ・コンテ大学）					17	17
	ブルゴーニュ大学				14		14
スペイン	マラガ大学			16	9	中止	25
メキシコ	グアダラハラ大学						0
中国	大連理工大学						0
台湾	東呉大学			2	中止	6	8
韓国	建国（コングク）大学						0
	慶熙（キョンヒ）大学			2	10	10	22
合計				62	133	119	314

■短期認定留学参加者数

国・地域名	2020		2021		2022		2023		2024		合計		
	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	国・地域別
ドイツ	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止				2	4	2	4	6
アメリカ						7	4	11	4	2	8	20	28
アイルランド													0
英国							12	11	23	14	35	25	60
カナダ													0
オーストラリア													0
ニュージーランド							12		9	7	21	7	28
フィリピン						7	3	3	4	5	7	15	22
マレーシア													0
フランス													0
スペイン									2		2		2
中国													0
韓国													0
合計						14	31	25	44	32	75	71	146
					14		56		76		146		

■短期留学（協定校・認定）参加者データ（2024年度参考）





滞在先の緊急連絡先（留学する際に記入し、活用してください）

連絡先	施設名／住所／担当者名	電話番号／ URL ／メールアドレス
留学先大学		
受入担当部署		
カウンセリング		
セキュリティー		
保健センター		
その他		
滞在先		
ホテル		
アパート・寮・ホストファミリー		
現地緊急連絡先		
日本大使館領事館		
警察		
病院		
消防		
海外留学生トータルサポートサービス	海外危機管理サポートデスク	

獨協大学　緊急連絡先

連絡先	施設名／住所／担当者名	電話番号／ URL ／メールアドレス
獨協大学	〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1	https://www.dokkyo.ac.jp/ https://www.dokkyo.ac.jp/international/
	国際交流センター	+81-48-946-1918 a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp
	学生課	+81-48-946-1671
	保健センター	+81-48-946-1944
	カウンセリング・センター	+81-48-946-1931
通常業務時間：月～金 9：00～17：00、土 9：00～12：00 ※一斉休業時や上記業務時間外の緊急連絡先：+81-48-946-1698（守衛所）		

留学ガイド 2025

獨協大学 国際交流センター
〒340-0042 埼玉県草加市学園町1番1号　TEL.048-946-1918　FAX.048-946-2892
E-mail a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp　https://www.dokkyo.ac.jp/international/